

令和 3 年度決算における
主要な施策の成果の説明書

大 和 市

令和3年度決算における主要な施策の成果について

令和3年度一般会計並びに特別会計の決算を議会の認定に付するにあたり、地方自治法第233条第5項の規定により提出します。

大和市長 大 木 哲

目 次

1. 令和3年度決算の状況	1
令和3年度歳入歳出決算総括表	2
2. 令和3年度一般会計決算	3
(1) 決算の概要	3
決算の状況	3
(2) 歳入決算の概要	4
①総括	4
歳入の状況	5
自主・依存財源	6
②市税	7
市税の状況	7
③市債	8
市債の状況	8
市債に関する参考資料	9
(3) 歳出決算の概要	10
①総括	10
歳出の状況（目的別）	10
歳出の状況（性質別）	11
目的別・性質別経費の状況（クロス表）	12
(4) 健全化判断比率	13
(5) 地方消費税（社会保障財源）交付金の充当	14
(6) 森林環境譲与税の充当	14
(7) 令和3年度一般会計施策の成果	16
3. 令和3年度国民健康保険事業特別会計	277
4. 令和3年度介護保険事業特別会計	279
5. 令和3年度後期高齢者医療事業特別会計	281
6. 索引	283

※各表及びグラフの数値は、端数処理のため、内訳と合計が合わない場合があります。

1. 令和3年度決算の状況

令和3年度一般会計決算において、歳入の総額は、対前年度△129.3億円（△12.2%）の932億円、歳出の総額は、対前年度△141.7億円（△13.8%）の882.5億円となりました。歳入歳出ともに大幅に減少していますが、これは主に、特別定額給付金給付事業など、国庫支出金を財源とする事業の減少によるものです。実質収支は、コロナ禍の市税への影響が想定よりも小さかったことなどから、対前年度+14.1億円（+40.8%）の48.8億円となりました。

歳入では、市税が前年度と比べて微減に留まり、また、地方消費税交付金、地方交付税等が増加したものの、前述のとおり国庫支出金が減少したため、総額は前年度を下回りました。

一方、歳出については、12回にわたって補正予算を措置し、新型コロナウイルス感染症への対応として、子育て世帯への臨時特別給付事業や、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業など、様々な取組を行ってきました。同時に、「健康都市 やまと」の実現に向けて事業を着実に推進し、人の健康分野においては、県内の公立校では初となる不登校特例校分教室を開設したほか、保育施設の整備を積極的に行い、7年連続で待機児童数ゼロを達成しています。まちの健康分野においては、自転車通行空間の整備など、交通事故防止に向けた取組により、令和3年の市内の交通事故による死者数ゼロを実現しました。社会の健康分野においては、大和市企業活動振興条例に基づき、企業の新規立地や事業拡大、設備投資等に対して奨励金を交付するなど、地域経済の発展に努めました。

今後の財政運営について、少子高齢化の進展に伴う社会保障関係経費の増加が見込まれる中であって、最近の不安定な国際情勢等により、物価上昇のリスクや市税を始めとする歳入への影響が懸念されるなど、厳しさが増していくことも予測されます。引き続き、事業の選択と集中により、限りある財源を効率的に活用することはもちろん、健全性に配慮しつつ対応してまいります。

令和3年度歳入歳出決算総括表

歳入

(単位：千円、%)

会 計		令和3年度	令和2年度	比 較	増減率
一 般 会 計		93,203,602	(106,035,162) 106,135,162	(△12,831,560) △ 12,931,560	(△ 12.1) △ 12.2
特 別 会 計	国民健康保険事業	21,939,100	21,293,016	646,084	3.0
	介護保険事業	17,039,206	16,487,250	551,956	3.3
	後期高齢者医療事業	3,227,846	3,157,466	70,380	2.2
	計	42,206,152	40,937,732	1,268,420	3.1
合 計		135,409,754	(146,972,894) 147,072,894	(△11,563,140) △ 11,663,140	(△ 7.9) △ 7.9
純 計		130,213,268	(142,145,285) 142,245,285	(△11,932,017) △ 12,032,017	(△ 8.4) △ 8.5

歳出

(単位：千円、%)

会 計		令和3年度	令和2年度	比 較	増減率
一 般 会 計		88,252,827	(102,327,018) 102,427,018	(△14,074,191) △ 14,174,191	(△ 13.8) △ 13.8
特 別 会 計	国民健康保険事業	21,669,841	21,045,205	624,636	3.0
	介護保険事業	16,849,503	16,097,253	752,250	4.7
	後期高齢者医療事業	3,104,654	3,020,076	84,578	2.8
	計	41,623,998	40,162,534	1,461,464	3.6
合 計		129,876,825	(142,489,552) 142,589,552	(△12,612,727) △ 12,712,727	(△ 8.9) △ 8.9
純 計		124,680,339	(137,661,943) 137,761,943	(△12,981,604) △ 13,081,604	(△ 9.5) △ 9.5

※ () 内は、まほろば市民債借換債を除いた数値です。

※ 純計とは、一般会計と特別会計間での繰出金、繰入金を除いた額です。

2. 令和3年度一般会計決算

(1) 決算の概要

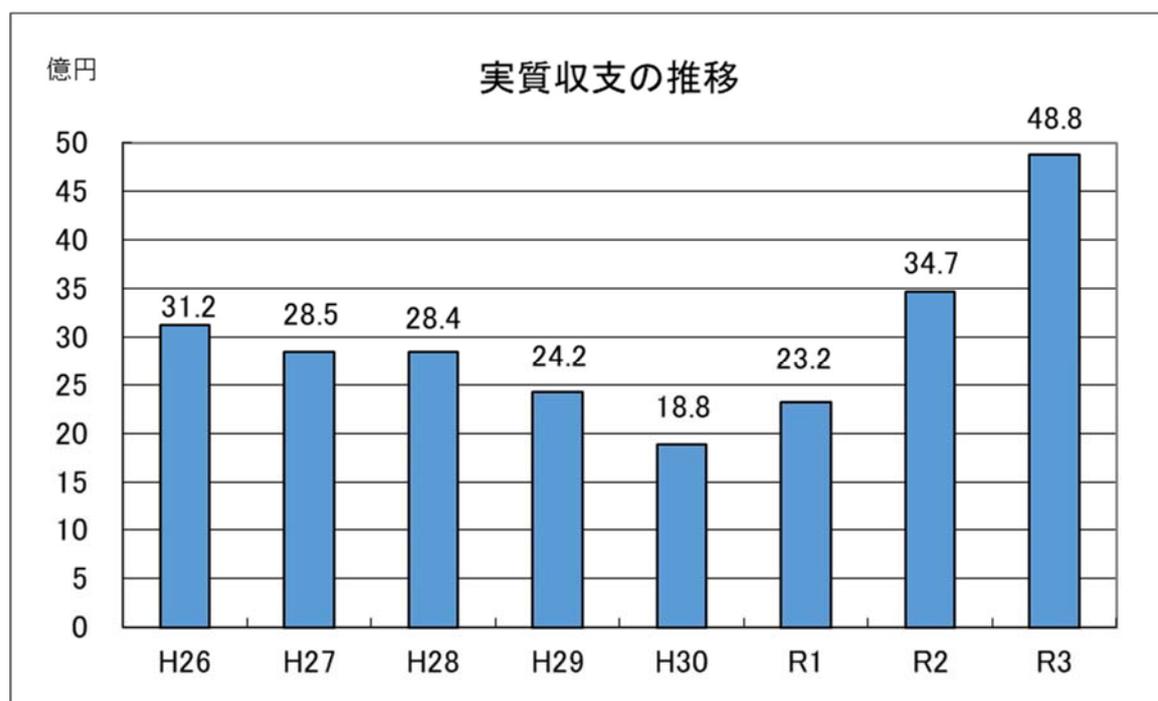
「実質収支」は、4,880,601千円となりました。

歳入総額は93,203,602千円で、前年度と比較して12,931,560千円、12.2%減少しました。
 歳出総額は、88,252,827千円で、前年度と比較して14,174,191千円、13.8%減少しました。
 また、実質収支額（決算剰余金）は、前年度と比較して1,413,545千円、40.8%増加の4,880,601千円となりました。

決算の状況

(単位：千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	増減率
歳 入	93,203,602	106,135,162	△ 12,931,560	△ 12.2
歳 出	88,252,827	102,427,018	△ 14,174,191	△ 13.8
形 式 収 支	4,950,775	3,708,143	1,242,632	33.5
翌年度繰越財源	70,173	241,086	△ 170,913	△ 70.9
実 質 収 支	4,880,601	3,467,056	1,413,545	40.8



(2) 歳入決算の概要

① 総括

「歳入総額」は、93,203,602 千円となりました。

前年度と比較して 12,931,560 千円、12.2%減少し、収入率は、96.0%となりました。主な内訳は、以下のとおりです。

○ 市税

市民税及び固定資産税の減などにより、前年度と比較して 281,421 千円、0.8%減少の 36,638,738 千円となりました。

○ 地方交付税

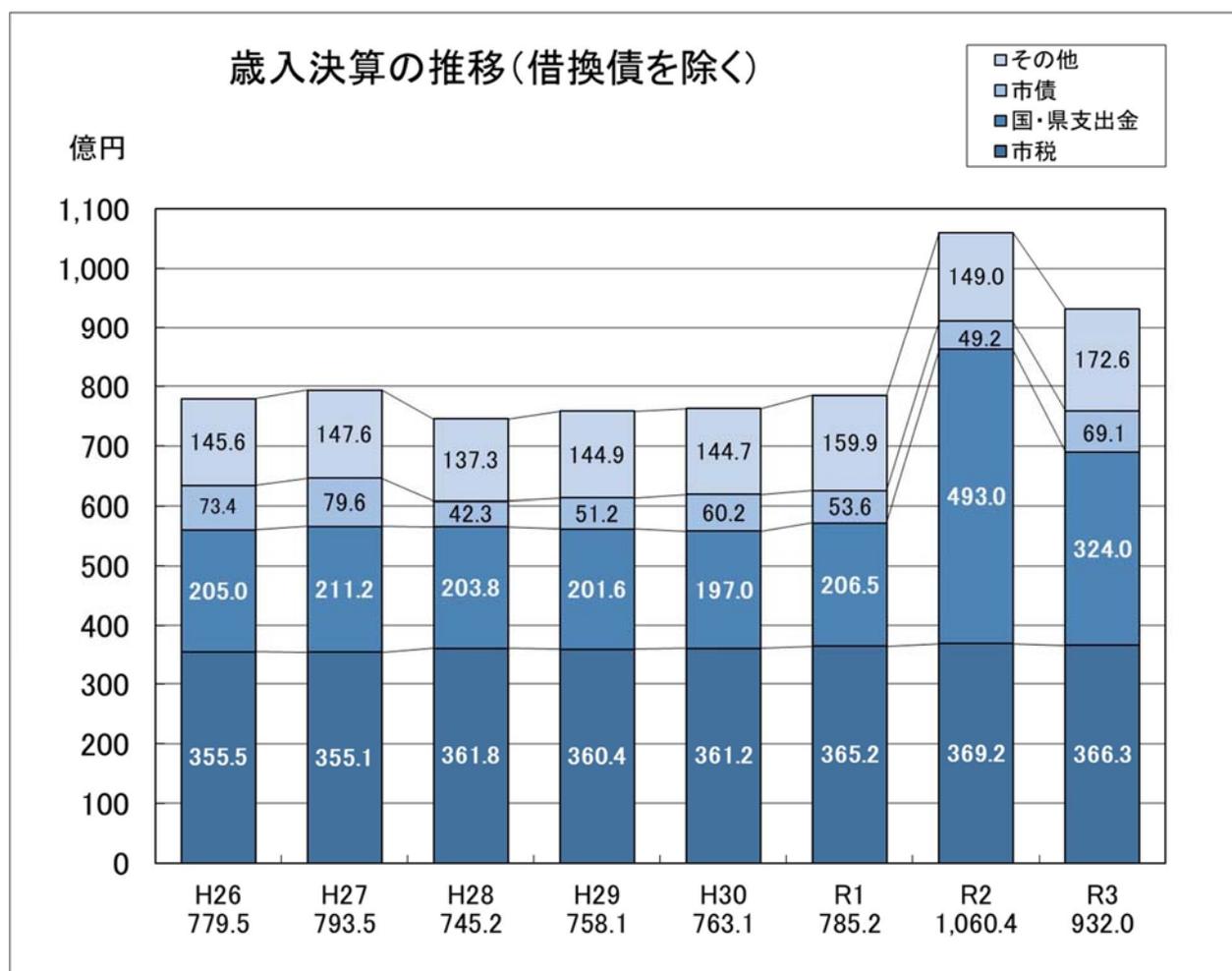
前年度と比較して 1,560,428 千円、128.3%増加の 2,776,968 千円となりました。

○ 国庫支出金

特別定額給付金給付事業補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の減などにより、前年度と比較して 17,049,876 千円、39.3%減少の 26,379,997 千円となりました。

○ 市債

環境管理センターごみ処理施設維持補修事業に係る市債や、臨時財政対策債の発行額増加などにより、前年度と比較して 1,886,800 千円、37.6%増加の 6,909,700 千円となりました。



歳入の状況

(単位：千円、%)

区 分	令和3年度			令和2年度		対前年度比較	
	予算現額	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1 市 税	35,868,000	36,638,738	39.3	36,920,159	34.8	△ 281,421	△ 0.8
2 地 方 譲 与 税	384,000	405,717	0.4	396,563	0.4	9,154	2.3
3 利 子 割 交 付 金	29,000	18,993	0.0	22,700	0.0	△ 3,707	△ 16.3
4 配 当 割 交 付 金	218,000	283,190	0.3	191,865	0.2	91,325	47.6
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	235,000	360,601	0.4	227,109	0.2	133,492	58.8
6 法 人 事 業 税 交 付 金	230,000	310,449	0.3	159,966	0.2	150,483	94.1
7 地 方 消 費 税 交 付 金	4,790,000	5,097,981	5.5	4,647,570	4.4	450,411	9.7
8 ゴルフ場利用税交付金	6,000	11,546	0.0	7,945	0.0	3,601	45.3
9 環 境 性 能 割 交 付 金	67,000	74,759	0.1	69,303	0.1	5,456	7.9
10 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金 等	362,066	359,992	0.4	362,066	0.3	△ 2,074	△ 0.6
11 地 方 特 例 交 付 金	301,000	507,338	0.6	301,060	0.3	206,278	68.5
12 地 方 交 付 税	2,697,602	2,776,968	3.0	1,216,540	1.1	1,560,428	128.3
13 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	32,000	34,410	0.0	34,913	0.0	△ 503	△ 1.4
14 負 担 金	717,897	703,822	0.8	601,288	0.6	102,534	17.1
15 使 用 料 及 び 手 数 料	1,528,150	1,503,909	1.6	1,476,609	1.4	27,300	1.8
16 国 庫 支 出 金	29,914,613	26,379,997	28.3	43,429,873	40.9	△ 17,049,876	△ 39.3
17 県 支 出 金	6,251,229	6,015,401	6.5	5,866,869	5.5	148,532	2.5
18 財 産 収 入	268,592	275,846	0.3	71,809	0.1	204,037	284.1
19 寄 附 金	148,431	130,235	0.1	71,698	0.1	58,537	81.6
20 繰 入 金	402,767	392,438	0.4	1,964,559	1.8	△ 1,572,121	△ 80.0
21 繰 越 金	1,658,143	1,658,144	1.8	1,206,712	1.1	451,432	37.4
22 諸 収 入	2,211,627	2,353,428	2.5	1,864,975	1.8	488,453	26.2
23 市 債	7,419,700	6,909,700	7.4	5,022,900	4.7	1,886,800	37.6
24 自 動 車 取 得 税 交 付 金	0	0	0.0	111	0.0	△ 111	△ 100.0
合 計	95,740,817	93,203,602	100.0	106,135,162	100.0	△ 12,931,560	△ 12.2

自主・依存財源

(単位：千円、%)

区 分		令和3年度		令和2年度		対前年度比較	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
自主財源	市 税	36,638,738	39.3	36,920,159	34.8	△ 281,421	△ 0.8
	使用料及び手数料	1,503,909	1.6	1,476,609	1.4	27,300	1.8
	繰 入 金	392,438	0.4	1,964,559	1.8	△ 1,572,121	△ 80.0
	繰 越 金	1,658,144	1.8	1,206,712	1.1	451,432	37.4
	諸 収 入	2,353,428	2.5	1,864,975	1.8	488,453	26.2
	そ の 他	1,109,903	1.2	744,795	0.7	365,108	49.0
	計	43,656,560	46.8	44,177,809	41.6	△ 521,249	△ 1.2
依存財源	地 方 譲 与 税	405,717	0.4	396,563	0.4	9,154	2.3
	地方消費税交付金	5,097,981	5.5	4,647,570	4.4	450,411	9.7
	自動車取得税交付金	0	0.0	111	0.0	△ 111	△ 100.0
	環境性能割交付金	74,759	0.1	69,303	0.1	5,456	7.9
	地方特例交付金	507,338	0.6	301,060	0.3	206,278	68.5
	国庫支出金	26,379,997	28.3	43,429,873	40.9	△ 17,049,876	△ 39.3
	県 支 出 金	6,015,401	6.5	5,866,869	5.5	148,532	2.5
	市 債	6,909,700	7.4	5,022,900	4.7	1,886,800	37.6
	そ の 他	4,156,149	4.4	2,223,104	2.1	1,933,045	87.0
計	49,547,042	53.2	61,957,353	58.4	△ 12,410,311	△ 20.0	
合 計	93,203,602	100.0	106,135,162	100.0	△ 12,931,560	△ 12.2	

<解 説>

- 自主財源とは、市税や使用料など市が自主的に収入することができる財源です。この自主財源が多ければ多いほど、市の行政活動の自主性と安定性が確保されていると言えます。
- 依存財源とは、国や県の意思決定によって交付される、補助金などの財源です。依存財源の多くは、使途が制限されています。
- 令和3年度収入総額 93,203,602 千円のうち、自主財源の割合は 46.8%となっています。前年度と比較して、自主財源が 521,249 千円減少し、自主財源割合は 5.2 ポイント増加しました。自主財源割合の増加は、繰入金などの自主財源が減少した一方で、国庫支出金などの依存財源が大きく減少したことによるものです。

② 市税

収入総額は、36,638,738千円となりました。

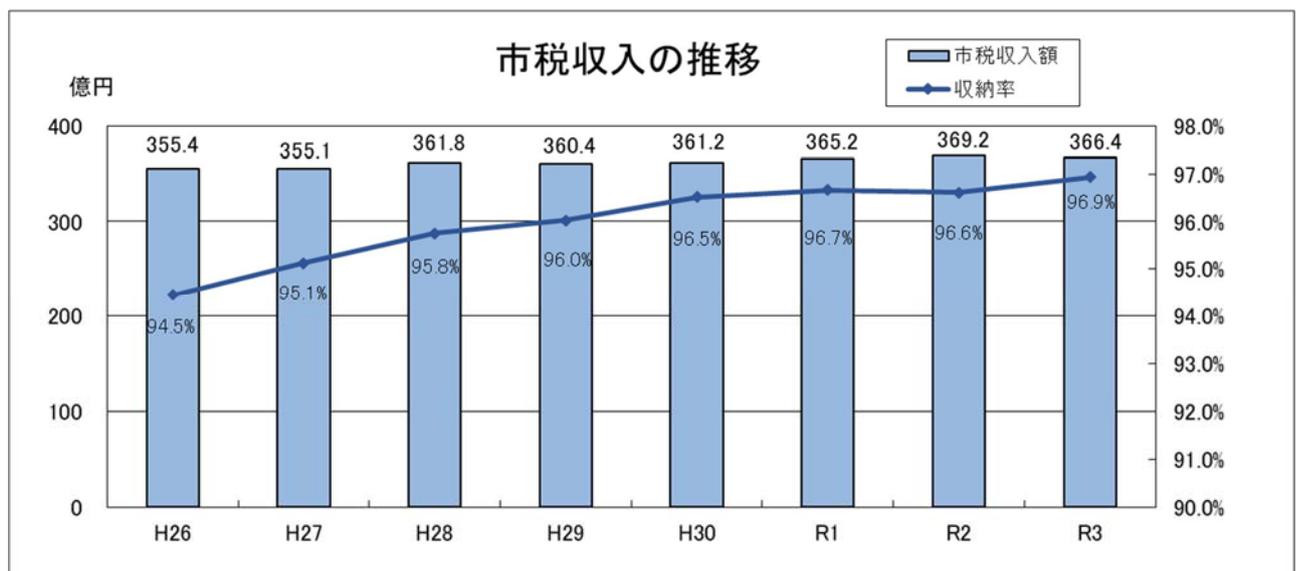
前年度と比較して281,421千円、0.8%減少し、収納率は96.9%となりました。

市民税は、納税義務者が増えたものの、各種控除の影響により121,438千円の減収となりました。また、固定資産税は、新型コロナが拡大する中、納税者の負担軽減を図るため、土地の課税標準額を前年度と同額に据え置いたことなどにより237,896千円の減収となりました。

市税の状況

(単位：千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
市 民 税	17,827,740	17,949,178	△ 121,438	△ 0.7
個人	16,164,557	16,240,423	△ 75,866	△ 0.5
法人	1,663,183	1,708,755	△ 45,572	△ 2.7
固 定 資 産 税	14,668,256	14,906,152	△ 237,896	△ 1.6
土地・家屋	12,771,444	12,961,753	△ 190,309	△ 1.5
償却資産	1,810,905	1,859,066	△ 48,161	△ 2.6
国有資産等所在 市町村交付金	85,907	85,333	574	0.7
軽自動車税	283,645	273,195	10,450	3.8
市たばこ税	1,731,516	1,634,116	97,400	6.0
都市計画税	2,127,581	2,157,518	△ 29,937	△ 1.4
合 計	36,638,738	36,920,159	△ 281,421	△ 0.8



③ 市債

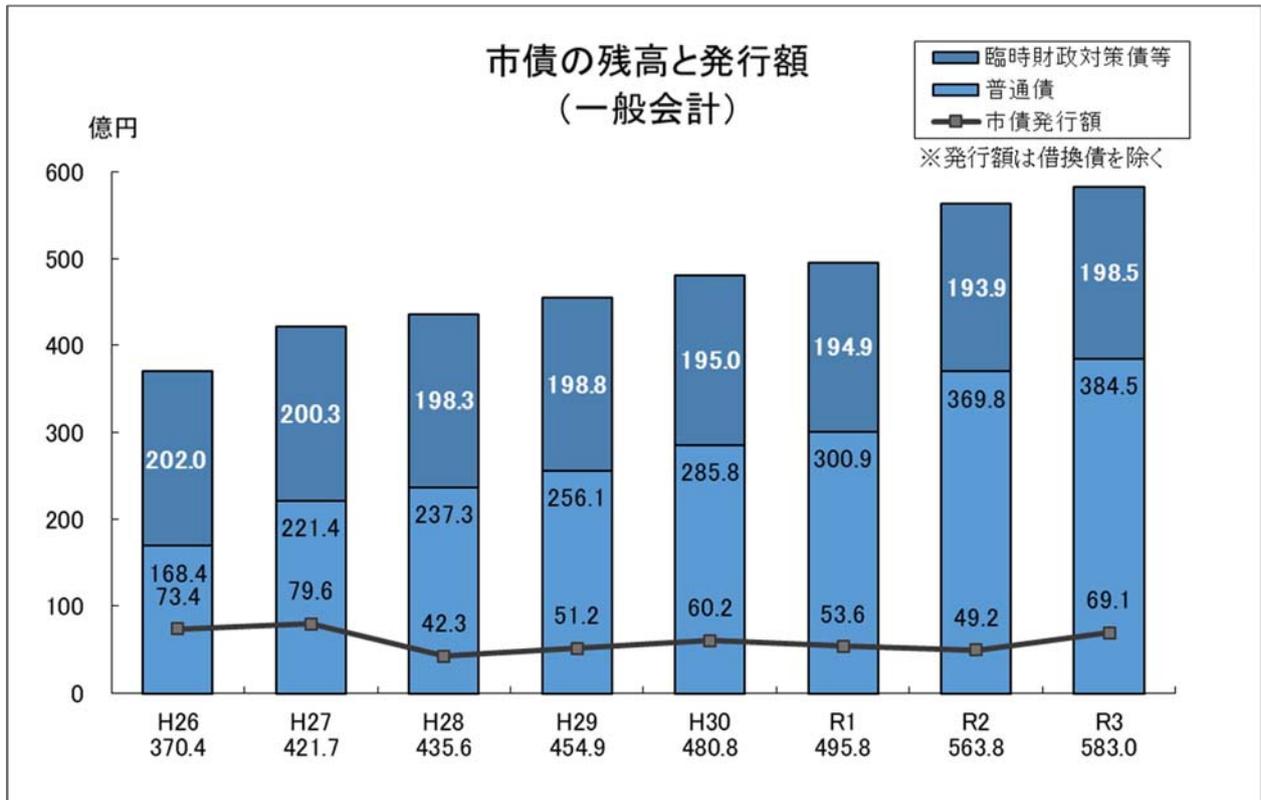
発行総額は、6,909,700千円となりました。

環境管理センターごみ処理施設維持補修事業に係る市債や、臨時財政対策債の発行額増加などにより、前年度と比較して1,886,800千円、37.6%増加の6,909,700千円となりました。

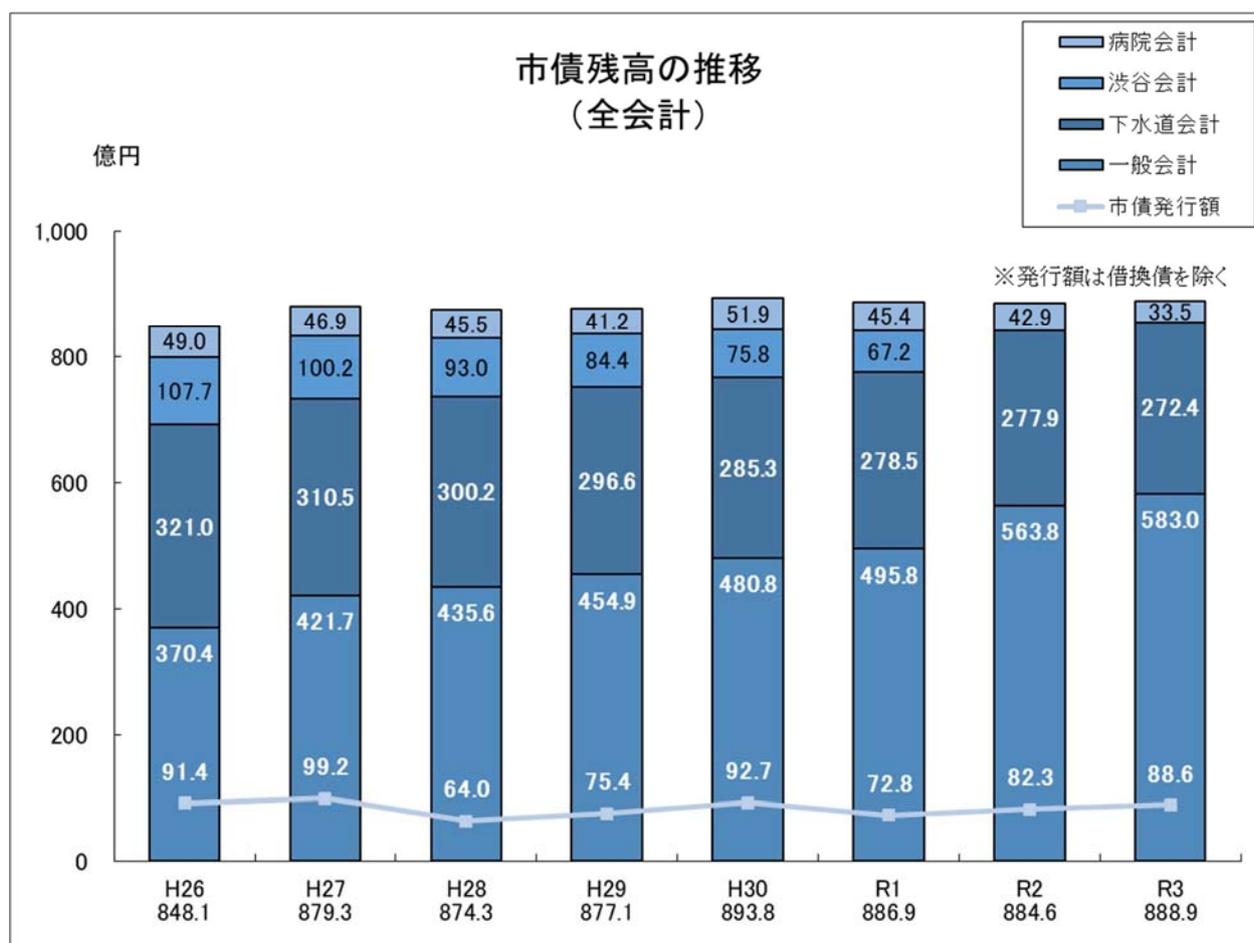
市債の状況

(単位：千円)

区分	令和2年度 末現在高	令和3年度		令和3年度 末現在高	
		発行額	償還元金		
一般会計債	普通債	36,982,917	4,629,700	3,159,052	38,453,565
	減税補てん債	590,464	0	175,264	415,200
	臨時財政対策債	18,522,366	2,280,000	1,651,891	19,150,474
	減収補てん債	280,800	0	0	280,800
	計	56,376,547	6,909,700	4,986,207	58,300,039
企業債（下水道）	27,796,363	1,788,200	2,349,820	27,234,744	
企業債（病院）	4,288,783	165,500	1,102,793	3,351,489	
合計	88,461,693	8,863,400	8,438,820	88,886,272	



市債に関する参考資料



<解説>

- 全会計の市債残高は、平成9年度の112,293,549千円をピークに平成25年度の82,637,492千円まで減少傾向にありましたが、平成26年度以降、公債費（返済）を上回る額を市債発行（借入）したため増加に転じました。令和3年度は、下水道事業会計及び病院事業会計の残高が減少したものの、一般会計の残高が増加し、年度末残高は88,886,272千円（前年度比0.5%、424,579千円増）となりました。
- 渋谷土地区画整理事業特別会計は、令和2年度から一般会計に統合しています。

(3) 歳出決算の概要

① 総括

「歳出総額」は、88,252,827千円となりました。

前年度と比較して14,174,191千円、13.8%減少し、執行率は92.2%となりました。主な内訳は、以下のとおりです。

○ 総務費

特別定額給付金給付事業などの減少により、前年度と比較して24,138,940千円、76.6%減の7,385,102千円となりました。

○ 民生費

子育て世帯への臨時特別給付事業や、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業などの増加により、前年度と比較して6,838,114千円、18.0%増の44,734,760千円となりました。

○ 衛生費

新型コロナウイルスワクチン接種事業や、環境管理センターごみ処理施設維持補修事業などの増加により、前年度と比較して3,794,434千円、47.4%増の11,791,694千円となりました。

○ 商工費

新型コロナウイルス感染症拡大防止および雇用維持給付金支給事業などの減少により、前年度と比較して190,866千円、10.6%減の1,613,618千円となりました。

○ 土木費

道路ストック修繕事業や街区公園等整備事業などの減少により、前年度と比較して362,186千円、6.1%減の5,575,834千円となりました。

○ 教育費

GIGAスクール端末整備事業やGIGAスクールネットワーク整備事業などの減少により、前年度と比較して293,385千円、3.3%減の8,508,193千円となりました。

歳出の状況（目的別）

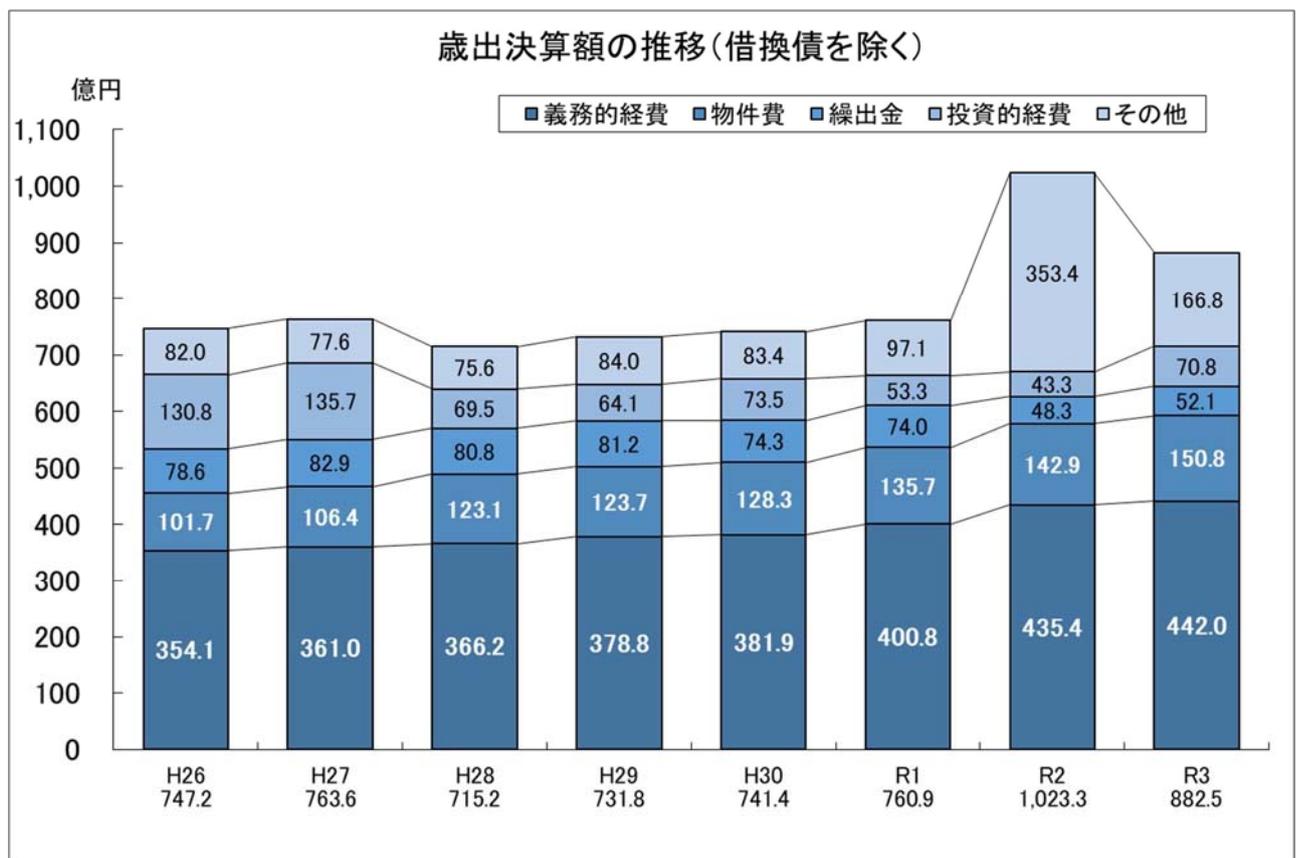
（単位：千円、%）

区 分	令和3年度			令和2年度		対前年度比較	
	予算現額	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1 議会費	402,237	379,049	0.4	381,102	0.4	△ 2,053	△ 0.5
2 総務費	7,965,966	7,385,102	8.4	31,524,042	30.8	△ 24,138,940	△ 76.6
3 民生費	48,670,733	44,734,760	50.7	37,896,646	37.0	6,838,114	18.0
4 衛生費	13,533,105	11,791,694	13.4	7,997,260	7.8	3,794,434	47.4
5 労働費	225,386	209,051	0.2	221,639	0.2	△ 12,588	△ 5.7
6 農林費	111,898	100,760	0.1	110,538	0.1	△ 9,778	△ 8.8
7 商工費	1,786,231	1,613,618	1.8	1,804,484	1.8	△ 190,866	△ 10.6
8 土木費	5,978,121	5,575,834	6.3	5,938,020	5.8	△ 362,186	△ 6.1
9 消防費	2,793,979	2,711,713	3.1	2,512,994	2.4	198,719	7.9
10 教育費	8,967,786	8,508,193	9.7	8,801,578	8.6	△ 293,385	△ 3.3
11 災害復旧費	17,000	0	0.0	0	0.0	0	—
12 公債費	5,239,834	5,239,550	5.9	5,236,907	5.1	2,643	0.1
13 諸支出金	3,513	3,503	0.0	1,808	0.0	1,695	93.8
14 予備費	45,028	0	0.0	0	0.0	0	—
合 計	95,740,817	88,252,827	100.0	102,427,018	100.0	△ 14,174,191	△ 13.8

歳出の状況（性質別）

（単位：千円、％）

区 分	令和3年度		令和2年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	44,195,219	50.0	43,638,484	42.6	556,735	1.3
人件費	12,832,718	14.5	13,077,262	12.8	△ 244,544	△ 1.9
扶助費	26,122,951	29.6	25,324,315	24.7	798,636	3.2
公債費	5,239,550	5.9	5,236,907	5.1	2,643	0.1
投資的経費	7,083,764	8.0	4,330,248	4.2	2,753,516	63.6
補助事業	2,608,881	3.0	1,535,333	1.5	1,073,548	69.9
単独事業	4,474,883	5.0	2,794,915	2.7	1,679,968	60.1
物件費	15,077,933	17.1	14,290,071	14.0	787,862	5.5
維持補修費	1,230,357	1.4	1,241,607	1.2	△ 11,250	△ 0.9
補助費等	14,177,977	16.1	32,846,398	32.1	△ 18,668,421	△ 56.8
繰出金	5,213,237	5.9	4,828,068	4.7	385,169	8.0
貸付金	1,195,000	1.4	1,220,000	1.2	△ 25,000	△ 2.0
積立金	79,340	0.1	32,142	0.0	47,198	146.8
合 計	88,252,827	100.0	102,427,018	100.0	△ 14,174,191	△ 13.8



目的別・性質別経費の状況（クロス表）

（単位：千円、％）

区分	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	諸支出金	合計	構成割合
人件費	343,357	3,771,599	2,599,670	1,399,330	26,069	86,957	89,259	767,244	2,034,928	1,714,305			12,832,718	14.5
物件費	24,222	2,607,516	1,470,436	6,066,347	1,247	7,361	8,196	1,207,713	305,139	3,379,756			15,077,933	17.1
維持補修費		22,541	17,901	412,256				655,073	11,860	110,726			1,230,357	1.4
扶助費			25,770,742	47,814						304,395			26,122,951	29.6
補助費等	11,470	586,568	9,170,164	2,182,648	31,735	6,442	486,163	1,566,524	31,955	104,308			14,177,977	16.1
公債費											5,239,550		5,239,550	5.9
積立金		59,735	14,988							1,114		3,503	79,340	0.1
貸付金			15,000		150,000		1,030,000						1,195,000	1.4
繰出金		3,119	5,209,881					237					5,213,237	5.9
建設事業		334,024	465,978	1,683,299	0			1,379,043	327,831	2,893,589			7,083,764	8.0
補助事業		101,647	283,670	31,815				636,933	133,230	1,421,586			2,608,881	3.0
単独事業		232,377	182,308	1,651,484				742,110	194,601	1,472,003			4,474,883	5.0
合計	379,049	7,385,102	44,734,760	11,791,694	209,051	100,760	1,613,618	5,575,834	2,711,713	8,508,193	5,239,550	3,503	88,252,827	100.0
構成割合	0.4	8.4	50.7	13.4	0.2	0.1	1.8	6.3	3.1	9.7	5.9	0.0	100.0	

(4) 健全化判断比率

財政の健全化に関する比率について、監査委員の審査を受け、その意見を付けて市議会へ報告し、公表をするものです。

【健全化判断比率及び資金不足比率】

指 標		説 明	大和市 令和3年度	大和市 令和2年度	早期健全化 基準	財政再生 基準
健 全 化 判 断 比 率	①実質赤字比率	一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する割合	—	—	11.33%	20%
	②連結実質赤字比率	全会計を対象とした赤字の標準財政規模に対する割合	—	—	16.33%	30%
	③実質公債費比率	一般会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する割合	2.8%	1.8%	25%	35%
	④将来負担比率	一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合	34.5%	39.2%	350%	
⑤資金不足比率 (公営企業ごと)		資金不足額の事業規模に対する比率	—	—	経営健全化基準 20%	

<用語解説>

- ア. 早期健全化基準 ～ ①から④の指標のうち、1つでも基準以上となった場合、「財政健全化計画」を作成し、議会の議決を経たうえで、県知事に報告しなければなりません。
- イ. 財政再生基準 ～ ①から③の指標のうち、1つでも基準以上となった場合、「財政再生計画」を作成し、議会の議決を経たうえで、県知事に報告しなければなりません。
- ウ. 経営健全化基準 ～ 公営企業会計ごとに算定した資金不足比率が基準以上となった場合、「経営健全化計画」を策定し、議会の議決を経たうえで、県知事に報告しなければなりません。
※大和市で地方財政健全化法上の資金不足比率の対象となる会計は、病院事業会計および下水道事業会計です。
- エ. 標準財政規模 ～ 地方公共団体の一般財源の標準的な規模を示す指標（臨時財政対策債を含む）です。

(5) 地方消費税（社会保障財源）交付金の充当

令和3年度の地方消費税（社会保障財源）交付金約28億7千万円を下表のとおり充当しました。

(単位：千円)

区分	主な事業	事業費	地方消費税 充当額	
			うち、一般 財源の額	
社会福祉	保育所等施設型給付事業 生活保護事業 自立支援給付事業 ほか	29,253,916	8,961,893	1,450,831
社会保険	介護保険事業特別会計繰出金 後期高齢者医療広域連合負担金事務 国民健康保険事業特別会計繰出金 ほか	6,128,071	4,956,847	802,462
保健衛生	健康診査事業 予防接種事業 後期高齢者健康診査事業 ほか	6,197,078	3,795,805	614,499
合 計		41,579,065	17,714,545	2,867,792

(6) 森林環境譲与税の充当

令和3年度の森林環境譲与税約1千9百万円を下表のとおり充当しました。

(単位：千円)

事業名	使途	事業費	森林環境 譲与税 充当額
緑地保全事業	樹木病虫害防除委託 森林間伐業務委託 地籍測量調査委託 保全緑地案内看板設置委託	12,000	19,356
既設公園等大規模改修事業	泉の森木道改修工事	11,044	
合 計		23,044	19,356

(7) 令和3年度一般会計施策の成果

決算書ページ 91	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 01	一般管理費
事業名	24 海外友好都市交流事業				担当課	国際・男女共同参画課
目的	海外友好都市と市民相互の理解を深め、国際社会の平和と発展に寄与します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					600	
手段手法	・やまと国際交流指針に基づき、海外友好都市との交流事業を推進します。 ※令和3年度は、新型コロナで事業を中止				令和3年度 予算現額	
					2,593	
					令和3年度 決算額	
					580	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	580					
令和4年度 予算額						
2,703						
活動内容						
指標	1	友好都市との交流イベントの数 相互訪問等	2		3	
	2		3		4	
	予定(目標)	2回				
	令和3年度実績	0回				
令和2年度実績	0回					
具体的内容	【 】内は前年度数値 新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限により、青少年交流事業は実施できませんでした。 <決算額の内訳> ・韓国語通訳賃金 578千円 ・光明市友好交流事業委託 2千円					
評価課題	・新型コロナウイルス感染症拡大防止により、対面交流は実施できていないものの、定期的に、通訳を介した職員間の情報交換を行いました。 ・引き続き情報交換を行うとともに、渡航制限解除後の、対面での交流に向けて、担当部局と調整を行い、交流事業の再開に向けた協議を進めていきます。					

決算書ページ 91	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 02	人事管理費
事業名	04 一般研修事業				担当課	人財課
目的	職員としての基本能力、地方分権を担う職員として施策を推進する能力の向上を目指します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					2,281	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 基本研修を実施します。 (新採用職員研修、新任管理・監督者研修、各公務意識研修、ファシリテーション研修、民法研修、行政法研修他) 政策形成能力育成研修を実施します。 (政策形成基礎研修、政策法務研修(入門・実践)) ※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で一部の事業を中止、及び一部の事業手法を変更				令和3年度 予算現額	
					3,329	
					令和3年度 決算額	
					2,750	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	2,750					
令和4年度 予算額						
3,279						
活動内容						
指標	1 一般研修実施回数	2 一般研修受講者数	3 研修開催日数	4		
	一般研修を実施した回数	一般研修を受講した延べ職員数	研修を開催した延べ日数			
	予定(目標)	23 回	2,800 人	48 日		
	令和3年度実績	16 回	457 人	21 日		
令和2年度実績	14 回	325 人	17 日			
具体的内容	【 】内は前年度数値 新採用職員研修(前期等2研修) ・全2日 8時間 受講者 25人 【2研修 全2日 64人】 公務意識研修(セクハラ・パワハラ防止研修) ・全0日 1.5時間 受講者181人 【1研修 全0日 74人】 その他基本研修(ファシリテーション、民法、行政法等8研修) ・全11日 66.5時間 受講者171人 【8研修 全9日 135人】 管理・監督者研修(新任管理者、新任管理・監督者2研修) ・全2日 18.25時間 受講者 42人 【0研修 全0日 0人】 政策形成能力育成研修(政策形成基礎、政策法務入門、政策法務実践3研修) ・全6日 42時間 受講者 38人 【3研修 全6日 52人】 <決算額の内訳> ・新採用職員研修～その他基本研修 1,560千円 ・管理・監督者研修 564千円 ・政策形成能力育成研修 626千円					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 選択制研修制度により、職員自らが必要とする知識や技能についてタイミング良く習得できるようになり、研修効果は向上していると考えられます。 職員が研修に集中して取り組めるよう、周囲の職員の協力体制など職場環境の評価課題整備を図るとともに、習得した知識や技能を効果的に普及させていくための工夫が必要です。 集合研修の開催にあたっては、受講者数の上限設定や感染対策の徹底を図り実施していますが、引き続き、オンライン研修の実施など、コロナ禍における研修の実施手法について研究していきます。 					

決算書ページ 91	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 02	人事管理費
事業名	08 職員健康管理事務				担当課	人財課
目的	職員の心身の健康の維持増進を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					21,085	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断により職員の健康状態を把握し、必要に応じて健康指導を行います。 職員の健康障害の防止対策を充実するため衛生委員会を開催します。 健康管理講習会（メンタルヘルス研修等）を開催して職員の健康の維持増進を図ります。 産業医、臨床心理士等の専門家による健康相談を実施します。 				令和3年度 予算現額	
					26,408	
					令和3年度 決算額	
					20,540	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	275					
令和4年度 予算額	20,265					
		21,831				
活動内容						
指標	1	定期健康診断実施回数	2	本庁舎衛生委員会開催回数	3	健康管理講習会開催回数
		法令に基づき、年2回（8月、2月）健康診断を実施		法令に基づき設置が義務付けられている同委員会の開催回数		新採用職員、管理監督者などを対象に実施
	予定（目標）	2 回	3 回	15 回	3,400 件	産業医、臨床心理士、保健師が行った健康相談件数
	令和3年度実績	2 回	2 回	2 回	3,728 件	
	令和2年度実績	2 回	3 回	0 回	3,357 件	
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p><一般健康診断>（年度末在籍職員の定期健診受診者年間実数）</p> <ul style="list-style-type: none"> 正職、週20時間以上勤務の非常勤職員 1,885人（受診率98%） 【1,930人（98%）】 <特殊健康診断委託、予防接種委託等> 有機溶剤 8月 7人、2月 7人 【8月 7人、2月 7人】 B型肝炎 延べ60人【延べ49人】 ・破傷風 延べ35人【延べ49人】 <ストレスチェック> 受検者 1,693人（受検率90%） 【1,729人（91%）】 <その他> ・産業医相談25回【25回】 ・臨床心理士相談36回【36回】 精神科医相談48回【48回】 <決算額の内訳> 一般健康診断 12,136千円 ・各種健康相談 6,663千円 特殊健康診断 933千円 ・その他 808千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断、人間ドック、産業医面談等により職員の健康状態の確認と健康指導を行いました。 今後も全ての職員の健康状態を把握し、適切な健康指導ができるよう努めていきます。 ストレスチェックの集団分析結果等を活用して、職場環境の更なる改善を図ります。 					

決算書ページ 93	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 04	広報連絡費
事業名	03 市政等PR事業				担当課	広報広聴課
目的	冊子、視聴覚媒体などのほか、マスコミなどを通じて市政情報を発信します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					72,340	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティFMやテレビ、インターネット動画などの音声・映像媒体、チラシや広報PRボードの活用など、幅広い手段で市政PRを図ります。 ・市の重要な施策を分かりやすく紹介する「やまとニュース」を年12回発行します。 ・市長会見やニュースリリースをタイムリーに行い、市政の報道を促します。 ・市勢などを紹介する「市勢ガイド」を発行します。 				令和3年度 予算現額	
					67,282	
					令和3年度 決算額	
					65,805	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	8,238
					県支出金	0
地方債	0					
その他	446					
一般財源	57,121					
令和4年度 予算額						
58,974						
活動内容						
指標	1	ニュースリリース件数	2	記者会見回数	3	放送回数
	ニュースリリースによる情報提供件数		定期及び臨時の記者会見を実施した回数		テレビ及びラジオの放送委託で放送した回数	
	4	やまとニュース発行回数				
	タブロイド判「やまとニュース」の発行回数					
予定(目標)	150	件	5	回	1,906	回
令和3年度実績	141	件	6	回	1,802	回
令和2年度実績	90	件	10	回	1,790	回
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p>市政などについて、さまざまな媒体を活用し、広く市民にPRを図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ広報（tvk「猫ひたワイド」）：年24回放送 【 24回】 ・やまとニュース年12回発行（各115,000部） 【 12回】 ・FMやまと「市政情報やまと」：360日1,596回【1,596回】 ・FMやまと特別番組・PRスポット：18種182回 【170回】 ・記者会見：6回【10回】 ・ニュースリリース141回【90回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・FMやまと「市政情報やまと」 27,256千円 ・FMやまと特別番組・PRスポット 2,143千円 ・やまとニュース・ポスター作成 9,104千円 ・その他 27,302千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・やまとニュースを2ページから4ページに増やすなど、掲載する情報を質・量ともに充実しました。また、新型コロナウイルス対応として、臨時的にちらしの全戸配布や、広報PRボードへのポスター掲示も実施するなど、市民への適時・適切な情報提供を行いました。 ・SNSの活用により、さまざまな情報を広く周知することができました。 					

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 09	企画費
事業名	02 寄附金等管理事業				担当課	政策総務課
目的	寄附の用途についての透明性を高めるとともに、寄附を通して市民の意向を反映した施策の展開につなげます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					2,475	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 寄附の使い道を細かく設定(17の事業メニュー)し、寄附者に選択してもらうことで、意向に沿った形での寄附金の活用を図ります。 寄附の状況などについて公表します。 ふるさと納税した市外の方に返礼品を贈呈することで、より積極的に寄附を募ります。 				令和3年度 予算現額	
					130,844	
					令和3年度 決算額	
					110,941	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	110,457					
一般財源	484					
令和4年度 予算額						
130,822						
活動内容						
指標	1	ポータルサイトを通じた寄附の件数	2	返礼品等提供事業者数(累計)	3	ふるさと納税返礼品等品目数(累計)
		ふるさと納税ポータルサイトを通じた寄附の件数		返礼品等提供事業者として承認した事業者数		ふるさと納税返礼品等のポータルサイトへの掲載品目数
	予定(目標)	3,300 件	50 社	150 品目		
	令和3年度実績	2,937 件	44 社	140 品目		
	令和2年度実績	165 件	33 社	73 品目		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税(寄附)をした市外在住の希望者に返礼品を贈呈します。 返礼品の贈呈を伴うふるさと納税を令和3年1月から開始しています。 返礼品は市内事業者等から公募しています。 返礼品の贈呈を伴うふるさと納税は、ポータルサイト(さとふる、ふるさとチョイス、楽天ふるさと納税の3社)等を利用して募ります。 返礼品の贈呈に伴う費用を除き寄附者が選択した基金へ積み立てます。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 管理代行業務委託料 43,941千円 ポータルサイト利用料 3,115千円 積立金 62,081千円 その他 1,804千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 事業開始当初から返礼品提供事業者及び返礼品数の増加により、多くの寄附をいただきました。 引き続き、本市の魅力発信及び市内産業の振興を図るため、返礼品等の品目数の増加に努めるとともに、効果的なPR手法を検討する必要があります。 					

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 09	企画費		
事業名	03 健康都市推進事業					担当課	総合政策課	
目的	健康都市の考え方について広く啓発を行うとともに、健康都市関連施策の推進を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	487	
						令和3年度 予算現額	1,318	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 健康都市について、普及啓発を行います。 健康都市推進に向けて関係部署と調整を図ります。 健康都市連合、同連合日本支部等に参加し、情報の収集、発信に努めます。 ※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で一部の事業（健康フェア）を中止					令和3年度 決算額	194	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和4年度 予算額	1,036							
活動内容								
指標	1	健康都市推進庁内検討会議開催回数	2	健康都市推進市民会議開催回数	3	大和市健康都市シンボルマーク利用の申請・届出件数	4	健康都市連合関係イベント・会議への参加回数
		健康都市推進のための庁内調整を行う会議の開催回数		健康都市推進に関する市民による会議の開催回数		健康都市シンボルマークの利用の際に必要な申請・届出の件数		健康都市連合、同連合日本支部の総会・大会等への参加回数
	予定(目標)	2 回	2 回	30 件	2 回			
	令和3年度実績	1 回	2 回	14 件	2 回			
	令和2年度実績	1 回	2 回	12 件	1 回			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康都市連合等の都市間のネットワークを通じて、健康都市に関する施策の情報収集や本市の取り組みの情報発信を行いました。 健康都市推進市民会議で意見を聴取するとともに、関係部署と調整を図りながら、健康都市プログラムの改訂および進行管理を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 健康都市イベント関係経費 0千円 健康都市連合関係経費 80千円 健康都市普及啓発等 114千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、健康都市連合国際大会がオンライン開催であったこと、健康都市やまとフェアを中止したことなどにより、予算執行率が下がりました。 健康都市に関する取り組みを広く市民に発信し、一人でも多くの方が自らの健康について考え、行動できるよう促していくことが必要となります。 							

決算書ページ	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	企画費
97									
事業名	08 デジタルサービス運用管理事業							担当課	デジタル戦略課
目的	各種デジタルサービスの提供を通じて、市民生活の利便性向上を図ります。							令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
								22,937	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> アクセシビリティ (利用しやすさ) に配慮してホームページを公開します。 市民がスマートフォンやパソコンを利用して行政情報を円滑に取得できる環境を提供します。 インターネットを利用した電子申請等を実施し、行政手続を手軽に行うことができる環境を提供します。 							令和3年度 予算現額	
								66,566	
								令和3年度 決算額	
								54,912	
								令和3年度 財源内訳	
								国庫支出金	0
								県支出金	0
地方債	0								
その他	165								
令和4年度 予算額	23,359								
活動内容									
指標	1	PSメール配信回数	2	電子申請・届出システム追加手続き数	3	公開している地図の数	4		
		PSメールを配信した数		新たに電子申請・届出システムを利用した手続きの数		公開型GISサービスにて利用できる地図			
	予定 (目標)	300 回		10 種類		20 種類			
	令和3年度実績	416 回		7 種類		21 種類			
令和2年度実績	293 回		6 種類		20 種類				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>各種デジタル技術を活用した行政サービスを提供しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ及び公開型GISシステムの再構築 ホームページ、FAQサービス、メール配信サービス及び施設予約システム等の運用管理 神奈川県市町村電子自治体共同運営協議会への参加 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ再構築委託料 28,314千円 ホームページ作成システム使用料 7,865千円 FAQシステム使用料 3,049千円 メール配信サービス使用料 2,893千円 施設予約システム使用料 4,594千円 その他 8,197千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ及び公開型GISシステムを再構築したことから決算額が増加しています。 スマートフォンの普及等デジタル利活用が社会に広く、かつ急速に浸透している状況を踏まえ、オンラインで申請可能な手続を拡大するなど、デジタル時代に即した行政サービスの提供に向け、継続的に取り組んでいく必要があります。 市民に分かりやすく、かつ情報にアクセスしやすい環境を整えるとともに、市が提供するオンラインサービス等についてより多くの人にとって使いやすいUI (ユーザーインターフェース) となるよう追求していく必要があります。 								

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 09	企画費
事業名	10 デジタル推進事業				担当課	デジタル戦略課
目的	デジタル施策を推進し、市民サービスの質的向上や業務改善を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					6,057	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 各課が調達、運用する情報システムの導入サポートなどを行うことで、行政サービスのデジタル化を進めます。 また、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の円滑且つ効果的な運用を進めます。 				令和3年度 予算現額	
					8,421	
					令和3年度 決算額	
					6,680	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	6,680					
令和4年度 予算額						
8,935						
活動内容						
指標	1	システム導入サポート回数	2		3	
	各課がシステムを導入する際のヒアリング回数					
	予定 (目標)	60	回			
	令和3年度 実績	55	回			
令和2年度 実績	61	回				
具体的 内容	<p>行政におけるデジタル化の推進を図りました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 行政分野におけるデジタル化推進 番号制度（マイナンバー）の運用 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> アドバイザー報酬 630千円 AI-OCR使用料 1,320千円 AI議事録使用料 946千円 ぴったりサービス使用料 647千円 RPAライセンス料 3,124千円 その他 13千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の著しい進化によりシステムやサービスが複雑化していく中において、市民の利便性向上や業務課題解消への有効性を見極めながら、システム調達の最適化を図る必要があります。 マイナンバー制度について、国の動きに適切に対応し、市民が利活用しやすくなるよう環境整備や周知に取り組んでいく必要があります。 AIやRPAをはじめとして、急速な進化を遂げているデジタル技術を調査・研究し、導入効果の高いシステム等について庁内業務の負担軽減・効率化に活用していく必要があります。 					

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 09	企画費
事業名	13 男女共同参画意識啓発事業				担当課	国際・男女共同参画課
目的	男女共同参画の意識の浸透・向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					134	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に係る意識を効果的に浸透、向上させることができる場と機会をより多く提供します。 行政と市民が一体となり、市民の視点を取り入れた、男女共同参画意識啓発事業の展開を図ります。 あらゆる分野で市民が男女共同参画の視点が持てるよう、広報啓発活動の充実を図ります。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止				令和3年度 決算額	
					168	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
令和4年度 予算額						
435						
活動内容						
指標	1	啓発事業の開催回数	2	セミナー等の参加者数	3	情報誌の年間発行部数
	キャンペーンやセミナー、パネル展の開催回数		男女共同参画意識啓発のため講座等の参加者数		情報誌「わくわく」の発行部数	
	予定(目標)	5 回	230 人	10,000 部		
	令和3年度実績	2 回	0 人	4,000 部		
令和2年度実績	2 回	0 人	10,000 部			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市民及び職員に対し、男女共同参画に係る意識を啓発するためのキャンペーン・パネル展の開催及び情報誌の発行を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン(男女共同参画週間・DV防止) 2回【1回】 ・フォーラム(人権の集いと共催事業) 0回【0回】 ・市民セミナー 0回【0回】 ・職員研修(女性のためのキャリアデザイン) 0回【0回】 ・男女共同参画情報誌「わくわく」の発行 1回【1回】 ・企業表彰(女性活躍及びワークライフバランス) 1社【1社】 ・中学生向けデートDVセミナー 2回【0回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー等講師謝礼 60千円 ・情報誌作成委託 99千円 ・その他 9千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・従前は、高校生を対象として実施していたデートDVセミナーを、市内中学校に対象を広げ、若年層への啓発を行いました。また、例年発行している情報誌の見直しを図り、誌面の充実に努めました。 ・普及啓発活動の実施内容について、コロナ禍においても効果的な手法を適宜検討していくとともに、幅広く市民の理解促進につながるような事業展開を行う必要があります。 					

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 09	企画費
事業名	14 国際化推進事業				担当課	国際・男女共同参画課
目的	日本語が母語ではない外国人市民の支援や、日本人市民向けに日本で暮らす外国人市民に関する理解を促進するよう働きかけ、多文化共生社会の実現を目指します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					13,080	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・(公財)大和市国際化協会と連携して国際化を推進します。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止 				令和3年度 予算現額	
					12,672	
					令和03年度 決算額	
					11,721	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	1,010
地方債	0					
その他	0					
一般財源	10,711					
令和4年度 予算額						
15,115						
活動内容						
指標	1	通訳相談件数	2	生活ガイド配布部数	3	協働事業の実施回数
	国際化協会及び市役所において、協会の通訳者が対応		(スペイン語版・英語版・中国語版)		「つるま読み書きの部屋」開催	
	予定(目標)	2,300 件	900 部	18 回		
	令和3年度実績	2,394 件	870 部	3 回		
令和2年度実績	2,387 件	933 部	0 回			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>国際化推進事業として多言語通訳窓口設置、通訳・翻訳ボランティア派遣、情報誌やFMやまよによる情報提供、外国人市民サミット等を委託しました。外国人市民支援事業として、日本語学習支援員の配置や、小中学校の児童生徒への日本語指導、学習支援のコーディネート等を委託しました。</p> <p>通訳員による相談件数 2,394件【2,387件】</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際化推進業務委託 9,519千円 ・外国人市民支援事業委託 2,076千円 ・その他 126千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・通訳・翻訳業務について、行政案内や翻訳文書を通して、外国人市民に対し迅速かつ適切に情報を提供し、またコロナ禍において、生活困窮等の通訳相談件数が高止まりしている中、適切に関係部署に繋げ、支援をすることが出来ました。 ・外国人市民の日本語学習におけるニーズにこたえるため、国の補助金を活用し地域日本語教育の体制づくりを充実させました。引き続き、外国人市民の課題やニーズに応じた支援体制を構築していきます。 					

決算書ページ	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	企画費	
97										
事業名	17 平和都市推進事業							担当課	国際・男女共同参画課	
目的	各種事業を実施することにより、平和意識の普及及び啓発を図ります。							令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	740	
								令和3年度 予算現額	1,812	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民に平和の尊さ、大切さを考える機会として、市民等で組織する大和市平和都市推進事業実行委員会とともに「平和映画上映会」や「パネル展」を実施します。 ヒロシマ平和学習派遣、語り部の学校派遣などを通して、児童・生徒の平和意識を高めます。 ※令和3年度は新型コロナの影響で、一部の事業手法を変更。							令和3年度 決算額	458	
								令和3年度 財源内訳		
								国庫支出金	0	
								県支出金	0	
								地方債	0	
								その他	0	
令和4年度 予算額	1,880									
活動内容										
指標	1 実施事業数 (含む定例会)	2 語り部の派遣事業	3 語り部の講話を記録に残す事業	4						
	平和都市推進事業の実施回数	学校からの求めに応じた語り部の派遣した回数	戦時体験の講話を記録に残す事業実施回数							
	予定 (目標)	14 回	10 回	1 回						
	令和3年度実績	12 回	6 回	1 回						
令和2年度実績	11 回	3 回	2 回							
具体的内容	【 】内は前年度数値 <主要な事業内容> <ul style="list-style-type: none"> パネル展 : 入場者数 741名 【140名】 戦時体験講演会 : 入場者数 71名 【 0名】 語り部の講話を記録に残す事業 : 動画収録実施人数 3名 【 6名】 語り部を学校に派遣する事業 : 小学校4, 中学校2 計6校 【 10校】 ヒロシマ平和学習派遣事業 : 市内学習参加者数 2名 【 0名】 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 平和都市推進事業実施委託料 415千円 日本非核宣言自治体協議会 負担金 30千円 その他 13千円 									
	評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ヒロシマ平和学習派遣事業は市内学習に変更し、広島平和記念資料館と連携したオンライン学習や調べ学習により、児童の理解度を高めました。 シリウス・ギャラリーでのパネル展は、コロナ禍において、密にならずに実施できる事業として、多くの来場を招き、次世代への平和推進へと繋げることができました。 高齢化した語り部の講話は、次世代の平和意識を高めるための貴重な資料として、引き続きデータ化の取り組みを行います。 								

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費
事業名	02 市民活動推進事業				担当課	市民活動課
目的	「新しい公共を創造する市民活動推進条例」の運用により、市民活動を活発にします。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					949	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業提案を募集し、推進していきます。 ・新しい公共を創造する市の施策や計画等に関する意見提案を受け課題解決を図ります。 ・協働推進庁内検討会議及び協働推進会議を開催し、協働事業の推進及び啓発を行います。 ・市民等が行う市民活動への支援、周知を行い、市民事業の裾野を広げます。 				令和3年度 予算現額	
					1,441	
					令和3年度 決算額	
					1,022	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,022					
令和4年度 予算額						
1,423						
活 動 内 容						
指標	1	NPO法人数	2		3	
	NPO法人の設立数					
	予定 (目標)	75 法人				
	令和3年度 実績	65 法人				
令和2年度 実績	63 法人					
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働事業等提案募集要領に基づき協働事業等提案制度を実施しました。 ・採択された協働事業：8事業【1事業】 ・公共の場の確保（協働事業等提案審議過程をホームページで公開） ・やまとボランティア総合案内所の運営：登録者484人、0日 【登録者503人、延べ2日】 <p>※日数は、担当課窓口とは別の場所に、やまとボランティア総合案内所を出張して設置した日数です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい公共を支える市民活動補償制度の運用：対象者数 0人 【対象者数 3人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい公共を支える市民活動保険料 489千円 ・その他 533千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動への入り口となるボランティアについて、身近な場所で気軽にボランティア情報を手に取ることができるよう、更なる情報提供に努めていきます。 ・市民活動センターと連携して協働事業等提案制度の周知に努めるとともに、提案しやすい環境づくりを検討していく必要があります。 					

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	05 市民活動センター管理運営事業					担当課	市民活動課	
目的	社会資源の充実を図るための市民活動の拠点として設置された市民活動センターの管理運営を行います。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	7,572	
						令和3年度 予算現額	7,021	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動センターを市民活動団体との協働で管理運営します。 NPO団体等を支援する組織として助言、コーディネートを行います。 市民活動に関する情報の収集及び提供を行います。 社会資源の創出及び発信を行います。 市民活動団体と市の交流、情報共有を推進します。 ボランティア支援ネットワークの拠点として位置づけます。 					令和3年度 決算額	7,017	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
令和4年度 予算額	6,821							
活動内容								
指標	1	市民活動センター利用登録団体数	2		3		4	
		市民活動センターを利用して活動している団体数						
	予定(目標)	200 団体						
	令和3年度実績	156 団体						
	令和2年度実績	200 団体						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>「拠点やまと」との協働事業として、市民活動センター管理運営を行いました。</p> <p><市民活動センター事業年間実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 会議室利用 710件【586件】 印刷機利用 142件【98件】 <p><主な実施事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 共育セミナーの開催 4回【5回】 カッコーフェスタ2021はコロナ禍のため中止。ホームページで登録団体の活動を紹介 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民活動センター管理運営事業負担金 6,896千円 その他 121千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動センターは、市民活動団体との協働事業で運営しており、共に育ちあえる場として、市民活動の広がりや交流を積極的に進めました。 市民活動センターは、平成30年4月から市民活動拠点ベテルギウスに移転していますが、引き続き、より多くの市民、団体に活用いただけるよう周知を図るとともに、更なる事業の展開と充実を図っていきます。 							

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	06 市民相談支援事業					担当課	市民相談課	
目的	日常生活での様々な悩みや困りごとの相談に応じるとともに、専門的な立場からのアドバイスを行い、市民が安心して生活を送ることができる環境を整えます。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		
						22,629		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の困りごとや相続等の相談に対応する相談員を配置するほか、より専門的な知識が必要な相談窓口を定期に開設して、市民に適切な相談の場を提供します。 					令和3年度 予算現額		
						25,259		
						令和3年度 決算額		
						23,174		
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
その他	0							
一般財源	23,174							
令和4年度 予算額								
25,149								
活動内容								
指標	1	市民一般相談・女性相談受理件数	2	法律相談受理件数	3	その他の専門相談受理件数	4	法律専門家に引き継ぐ多重債務相談受理件数
		市民一般相談件数・女性相談件数		法律相談件数		その他の専門相談件数		法律専門家に引き継ぐ多重債務相談件数
	予定(目標)	5,117 件	431 件	350 件	40 件			
	令和3年度実績	3,916 件	308 件	302 件	13 件			
令和2年度実績	4,420 件	318 件	255 件	23 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市民相談受理件数は、4,539件でした。 【5,016件】</p> <p><実績の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民相談員による相談 <ul style="list-style-type: none"> 一般相談 3,898件 【4,398件】 女性相談 18件 【22件】 専門相談員による相談 <ul style="list-style-type: none"> 法律相談 308件 【318件】 その他の専門相談 302件 【255件】 法律専門家に引き継ぐ多重債務相談 13件 【23件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員職員報酬 16,994千円 職員手当等 2,912千円 その他 3,268千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 現状の体制の相談事業については、市民の日常の困りごとの解決のために適切な専門相談の活用を含め、スムーズに実施できています。 今後も各相談員の相談技術向上を図りつつ、新型コロナウイルスに関連する問合せについても、関係機関との連携や協力を強化し、相談体制の充実に努めてまいります。 							

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	09 地域防犯活動支援事業					担当課	生活あんしん課	
目的	まちぐるみの防犯活動を活発にします。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	977	
						令和3年度 予算現額	1,340	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市防犯協会に対し補助金を交付するなど、活動への支援を行います。 自主防犯活動団体に対し、防犯物品購入費・青色防犯パトロール費・青色防犯パトロール車両購入費の補助をします。 市、警察、市防犯協会、市民、自治会、商店会、事業者、学校、NPO法人、防犯ボランティア団体等が連携し各団体や地域が協力して防犯活動を実施します。 ※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で一部の事業手法を変更					令和3年度 決算額	1,205	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和4年度 予算額	1,080							
活動内容								
指標	1	重点地区防犯キャンペーン等参加人数	2	大和市防犯協会ニュース配布枚数	3	地域防犯活動重点地区事業数	4	子ども向け防犯教室開催数
		地域安全活動重点地区における防犯キャンペーン等参加人数		キャンペーンや自治会で配付した枚数		地域安全活動重点地区における防犯関係事業の回数		子どもを対象にした防犯教室を開催した回数
	予定(目標)	700 人	4,000 枚	16 回	12 回			
	令和3年度実績	110 人	4,000 枚	6 回	4 回			
	令和2年度実績	29 人	4,000 枚	6 回	0 回			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>大和市防犯協会に対し、補助金の交付と実施事業への協力をしました。また、防犯活動を実施している団体に対し、防犯物品購入費および防犯パトロール車両購入費等の一部を補助しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民まつり出店 0回【 1回】 防犯活動パネル展 0回【 0回】 地域安全活動重点地区の指定 渋谷西地区【上草柳地区】 功労者表彰 17件【 17件】 防犯活動団体への補助金 20件【 15件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市防犯協会補助金 235千円 防犯物品購入費・青色防犯パトロール費補助 970千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 自主防犯活動団体に対し「防犯物品購入費」、「青色防犯パトロール実施経費」の一部を補助することにより、地域の自主防犯活動の推進を図ることが出来ました。 新型コロナウイルス感染症の防止対策のため、人が集まる防犯活動の実施にあたっては、感染症対策に留意した形での実施を検討していく必要があります。 							

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	10 地域防犯活動推進事業					担当課	生活あんしん課	
目的	市民一人ひとりの自主防犯意識の高揚を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	11,004	
						令和3年度 予算現額	8,573	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 青色回転灯装備車両での防犯パトロールを行います。 市民対象の防犯教室を行います。 防犯活動団体への研修、表彰を行います。 市民との協働事業による防犯活動を行います。 防犯に関する各種キャンペーンを、大和警察署、関係各団体と協力のうえ実施します。 特殊詐欺対策のための電話機等購入費を補助します。 ※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で一部の事業手法を変更					令和3年度 決算額	7,459	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	430	
						地方債	0	
						その他	0	
令和4年度 予算額	8,868							
活動内容								
指標	1	防犯教室の実施回数	2	協働事業実施回数	3		4	
		市民を対象にした防犯教室の開催回数		協働事業により開催した事業の回数				
	予定(目標)	25 回	20 回					
	令和3年度実績	5 回	1 回					
	令和2年度実績	0 回	0 回					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市民や事務所、防犯協会などの関係団体と連携し、防犯活動を推進しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯教室の実施 5回【 0回】 みんなでつくろう安全のまち事業(協働事業) 1回【 0回】 防犯情報メール配信 90回【 59回】 振り込め詐欺防止対策電話機等購入費補助金 308件【498件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 負担金(大和・綾瀬地区防犯協会連合会、協働事業) 2,207千円 振り込め詐欺防止対策電話機等購入費補助金 2,997千円 公用車白黒塗装委託料、SOSアプリ保守委託料 1,716千円 防犯啓発物品、印刷費、保険料、備品その他 539千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 振り込め詐欺防止対策のための電話機等購入費補助金の募集件数を前年度比で減としたこと等により、決算額が減少しています。 市内の犯罪認知件数は、ピークである平成15年の6,427件から令和3年は1,051件にまで減少し、ピーク時と比較して8割以上減少しました。 特殊詐欺については、電話機等購入費補助金の交付などの対策により、被害件数は前年と同件数であったものの、被害金額については前年比で微増となり、被害抑止のための啓発活動を充実させる必要があります。 減少傾向ながら依然多発する自転車盗について対策を講じる必要があります。 							

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費	
事業名	11 防犯灯設置事業					担当課	生活あんしん課
目的	市民が夜間安心して街を歩けるようにします。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	55,525
						令和3年度 予算現額	50,672
手段手法	・防犯灯の設置及び維持管理を行っていきます。					令和3年度 決算額	46,670
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
						地方債	0
						その他	0
令和4年度 予算額	51,370						
活動内容							
指標	1	防犯灯の設置数、器具交換数等	2	防犯灯総数	3		4
		新設、撤去、照度アップした灯数 (大和駅周辺事業分除く)		3月末日現在の防犯灯総数			
	予定 (目標)	50 灯		13,344 灯			
	令和3年度実績	83 灯		13,377 灯			
令和2年度実績	154 灯		13,294 灯				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>既設の防犯灯について維持管理を行いました。 自治会等の要望を受けLED防犯灯を新設しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯維持管理 対象 13,377灯【13,294灯】 ・LED防犯灯賃貸借 対象 9,699灯【9,699灯】 ・防犯灯設置 新設 83灯【154灯】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯電気料 18,936千円 ・防犯灯修繕費 1,552千円 ・防犯灯管理システム保守委託 264千円 ・LED防犯灯賃借料 21,256千円 ・防犯灯設置工事費 4,590千円 ・防犯灯管理プレート、保険料 72千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全域での防犯灯数の増加により、夜間の通行に不安を感じる箇所での犯罪の抑止と市民の体感治安向上を図ることができました。 ・引き続き自治会や警察等と連携を図り、設置効果の高い場所や、新たに開発された場所等へ効率的に防犯灯の設置を進めて行く必要があります。 						

決算書ページ 99	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	12 自治会活動支援事業					担当課	生活あんしん課	
目的	市民の積極的なコミュニティ活動への参加を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	20,446	
						令和3年度 予算現額	18,664	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市自治会連絡協議会（自治連）への支援を行います。（事業費等補助金の交付、事務局の設置場所や会議室等の場の提供等） 自治会館の賃貸借に係る費用等の一部補助、自治会加入パンフレット配布などによる自治会加入促進など、自治会活動の支援を行います。 自治会活動の充実と活性化を図るため、自治連と協力して、アンケート調査や各自治会の取り組みなどを調査研究します。 					令和3年度 決算額	16,803	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
一般財源		16,803						
令和4年度 予算額		22,720						
活動内容								
指標	1	自治連の会議の開催回数	2	自治連の会報の発行回数	3	自治会加入パンフレットの配布枚数	4	
		総会、部会、三役会、理事会等		会報「自治連やまと」の発行回数		市窓口、宅建協会（不動産会社）等での配布枚数		
	予定 (目標)	30 回	2 回	10,000 枚				
	令和3年度 実績	31 回	2 回	11,626 枚				
	令和2年度 実績	26 回	2 回	9,442 枚				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容>自治連及び自治会事業を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治連事務局職員の人件費補助 1 1, 4 6 6 千円 【 1 2, 5 3 3 千円】 自治会館土地・家屋賃借料の一部を補助 1 7 自治会 【 1 7 自治会】 自治会館掲示板の新設・改修等 3 3 基 【 2 1 基】 自治会活性化事業を補助 1 団体 【 3 団体】 自治会活性化事業（ラジオ体操）奨励金 2 6 自治会 【 2 3 自治会】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会連絡協議会事業費補助金 1 1, 4 6 6 千円 自治会館土地賃借料補助金 7 1 2 千円 自治会館家屋賃借料補助金 1, 2 4 7 千円 自治会掲示板設置改修費補助金 3, 0 1 8 千円 自治会活性化事業（ラジオ体操を含む） 3 6 0 千円 <p>※コミュニティ助成事業補助金はなし</p>							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 自治連及び自治会への支援により、自治会活動の活性化が図られています。 自治連と協力し自治会加入率の向上を目指し、地域コミュニティの醸成や地域における連帯感を高めることによって、自治会組織の活性化につなげます。 自治会活動活性化事業（ラジオ体操事業奨励金）の活用を促し、自治会活動の活性化と自治会加入率の向上を目指します。 							

決算書ページ 99	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	13 自治会活動推進事業					担当課	生活あんしん課	
目的	自治会活動を活発にします。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	36,677	
						令和3年度 予算現額	33,963	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市配布物等事務委託契約を大和市自治会連絡協議会(自治連)と締結し、自治会の役割を明確にしていきます。 自治連での定例会を通じ、情報交換を行います。 					令和3年度 決算額	32,281	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
一般財源		32,281						
						令和4年度 予算額	28,120	
活動内容								
指標	1 「市事務委託契約」による委託業務数	2 各種委員及び指導員等の推薦	3	4				
	年間市事務委託件数	各自治会からの推薦委員数						
	予定(目標)	100 件	400 人					
	令和3年度実績	49 件	356 人					
	令和2年度実績	54 件	395 人					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>配布物事務委託契約の締結により、市と自治会のそれぞれの役割分担を明確にして、効率的かつ効果的に自治会活動の推進を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 1回あたり広報配布数(年18回) 68,775枚 【年21回68,786枚】 自治会加入世帯数(4月1日時点) 68,775世帯 【68,786世帯】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 配布物等事務委託 31,479千円 事業系ごみ袋の配布 711千円 永年表彰 91千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 市が自治連に配布物を委託することにより、地域のコミュニケーションが活性化され、地域コミュニケーションの醸成に繋げることができました。 自治会加入世帯の増加と自治会組織の強化に繋がる各種施策に取り組み、低下する自治会加入率の向上を図る必要があります。 							

決算書ページ	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	10	地域活動推進費
99									
事業名	15 コミュニティセンター管理運営事業							担当課	生活あんしん課
目的	市内コミュニティセンター20館の適切な管理運営を行います。							令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
								133,450	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市内に20館あるコミュニティセンターについて、各会館の管理運営委員会と協定を締結し、指定管理者制度により施設維持管理及び事業を実施します。 各会館管理運営委員会会長から成る管理運営協議会を組織し、管理運営に関する各管理運営委員会との連絡調整を図ります。 							令和3年度 予算現額	
								139,034	
								令和3年度 決算額	
								132,389	
								令和3年度 財源内訳	
								国庫支出金	0
								県支出金	0
地方債	0								
その他	7,263								
一般財源	125,126								
令和4年度 予算額									
139,972									
活動内容									
指標	1	管理運営協議会役員会等実施回数	2	コミュニティセンター管理運営委員会会長の会議実施回数	3	コミュニティセンター管理指導員会議実施回数	4	施設修繕件数	
		20館をまとめる管理運営協議会の役員会等実施回数		20館をまとめる管理運営協議会の会長会実施回数		コミュニティセンター管理指導員による連絡調整会議の実施回数		施設を修繕した件数	
	予定(目標)	4回	4回	12回	40件				
	令和3年度実績	4回	5回	1回	36件				
令和2年度実績	9回	5回	1回	41件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>指定管理者制度による施設維持管理及び事業を実施することで、効率的かつ効果的に会館の運営を行いました。</p> <p><事業内容></p> <p>年間総利用者数(20会館) 128,297人【64,322人】</p> <p>平均利用者数(1会館あたり) 6,415人【3,216人】</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 91,999千円 保守点検委託料 25,083千円 施設修繕費 8,983千円 その他 6,324千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 各会館とも経年による施設の劣化が目立つようになっており、修繕費の増加が見込まれます。 ユニバーサルデザイン、バリアフリー整備等のハード面の一層の充実が望まれます。 より効率的、効果的な管理運営手法について、引き続き検討が必要です。 								

決算書ページ 99	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費	
事業名	16 コミュニティセンター施設整備事業					担当課	生活あんしん課
目的	施設利用者に安全で快適な利用環境を提供します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	18,514
						令和3年度 予算現額	115,279
手段手法	・空調設備改修工事をはじめ、各種改修工事を計画的に実施します。					令和3年度 決算額	109,933
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	79,092
						県支出金	0
						地方債	25,000
						その他	0
						令和4年度 予算額	0
活動内容							
指標	1	施設点検回数	2	大規模工事件数	3	4	
		施設を点検した回数		空調改修、外壁塗装、屋上防水等の大規模工事			
	予定(目標)	20 回	1 件				
	令和3年度実績	20 回	2 件				
	令和2年度実績	20 回	0 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>深見中会館の空調設備改修工事や鶴間会館門扉設置工事を実施しました。</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・深見中会館引越運搬業務委託 5 2 8 千円 ・深見中会館外構改修工事測量業務委託 4 2 2 千円 ・深見中会館空調設備等改修工事監理業務委託 1, 8 7 5 千円 ・深見中会館外構改修工事 4, 9 7 3 千円 ・鶴間会館門扉設置工事 4 7 8 千円 ・深見中会館空調設備等改修工事 8 1, 3 1 9 千円 ・中央林間会館屋上防水・外壁塗装改修工事(継続費) 2 0, 3 2 8 千円 ・その他 1 0 千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・2カ年で実施した中央林間会館の2年目分の工事と、深見中会館の空調設備等改修工事を同時に実施したため、事業費が増加しました。 ・経年による施設の劣化が目立つようになってきています。単年度に複数施設が建設されており、平準化した大規模改修などの事業実施が必要です。 ・継続的に事業を進めるために財源を確保していく必要があります。 						

決算書ページ 99	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費
事業名	17 コミュニティセンター下鶴間会館移転整備事業				担当課	生活あんしん課
目的	コミュニティセンター下鶴間会館を移転し、施設利用者に安全で快適な利用環境を提供します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	移転先となる用地の買収及び新下鶴間会館の設計・建築工事を行います。				令和3年度 予算現額	
					133,081	
					令和3年度 決算額	
					129,534	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	96,500
その他	0					
一般財源	33,034					
令和4年度 予算額		0				
活動内容						
指標	1	用地買収	2		3	
	移転先用地の買収件数					
	予定 (目標)	1				
	令和3年度 実績	1				
令和2年度 実績	0					
具体的 内容	<p>下鶴間会館移転に向けて、用地買収を行いました。</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地購入費 108,404千円 ・物件補償費 20,377千円 ・その他 753千円 					【 】内は前年度数値
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンター下鶴間会館の移転整備に向けて、引き続き設計業務が必要となります。 					

決算書ページ 99	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	19 大和駅周辺防犯特別対策事業					担当課	生活あんしん課	
目的	大和駅周辺の防犯対策を強化し、イメージアップを図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	63,898	
						令和3年度 予算現額	4,818	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 「大和市客引き行為、つきまとい行為等の防止に関する条例」に基づき、大和警察署と協力し指導、警告等を実施します。 大和駅周辺の街頭防犯カメラを増設します。 大和駅周辺に客引き防止のための横断幕を設置します。 					令和3年度 決算額	1,039	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
令和4年度 予算額		7,603						
活動内容								
指標	1	街頭防犯カメラの新設数	2	防犯灯の新設数	3		4	
		大和駅周辺への街頭防犯カメラの新設数		大和駅周辺への防犯灯の新設数				
	予定(目標)	2		0				
	令和3年度実績	0		0				
	令和2年度実績	43		31				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>大和駅周辺に設置を予定する街頭防犯カメラの設計と、設置予定箇所の試掘調査等の設置事前準備を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 街頭防犯カメラ設置 0台(0箇所) 【43台(20箇所)】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 街頭防犯カメラ設置工事設計業務委託料 770千円 街頭防犯カメラ電源管路調査試掘工事 266千円 電柱共架可否判定費 3千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 街頭防犯カメラ設置工事設計業務委託にかかる入札不調および再入札のため設計完了時期がずれ込んだため街頭防犯カメラ設置工事が令和4年度に延期となったことから、決算額が減少しています。 大和駅周辺での街頭防犯カメラをはじめとする施設整備が進み、市民アンケート結果では大和駅周辺の治安が改善傾向にあると感じる市民が多数となるなど、市の施策が市民の体感治安の向上につながりました。 警察や商店会と連携を図り、大和駅周辺における防犯対策および客引き等行為対策の新たな手法を検討していく必要があります。 							

決算書ページ 99	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	20 人権啓発事業					担当課	国際・男女共同参画課	
目的	人権尊重の重要性を認識し、人権意識の普及高揚を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位: 千円)	1,481	
						令和3年度 予算現額	2,284	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 人権週間に関連した啓発事業、講演会を開催します。 市内小中学校向けに人権教室を開催します。 中学生人権作文・ポスターコンテストを実施します。 人権団体主催の講演会や研修会に市民・職員の参加、派遣を行います。 					令和3年度 決算額	1,643	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	355	
						地方債	0	
						その他	0	
						一般財源	1,288	
令和4年度 予算額	2,150							
活動内容								
指標	1	人権教室開催数	2	人権作文コンテスト応募者数	3	人権啓発資料配布実施回数	4	
	市内小中学校向けに人権教室を開催します。		市内中学生の人権作文を募集します。		街頭などにおいて人権に関する啓発資料を配布します。			
	予定(目標)	4 回	650 人	4 回				
	令和3年度実績	1 回	556 人	4 回				
令和2年度実績	1 回	0 人	4 回					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>多くの市民が人権について理解を深め、考える機会を提供できるよう、人権擁護委員とともに啓発活動を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> FMラジオスポット広告 7回【14回】 人権教室 1回【1回】 中学生人権作文コンテスト・ポスター募集 1回【0回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発資料及び啓発用品 791千円 FMラジオスポット広告製作委託費 69千円 人権団体負担金 700千円 その他 83千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> パートナーシップ宣誓制度の開始に合わせ、職員、市民、関係団体に理解を深めるためのリーフレット等を作成・配布し、さらに市内中学生向けには授業で活用してもらうための人権啓発全般に関する冊子を配布するなど周知啓発に努めました。また、人権週間には中学生作文コンテスト優秀作品を含むパネル展示を実施することにより、多くの市民に対して周知啓発が出来ました。 							

決算書ページ 99	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費
事業名	21 人権相談支援事業				担当課	国際・男女共同参画課
目的	人権問題の解決を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					270	
手段手法	・法務大臣より委嘱された人権擁護委員が人権相談を受付けます。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で事業手法を変更(対面式を電話相談に変更)				令和3年度 決算額	
					271	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
令和4年度 予算額						
		272				
活動内容						
指標	1	人権問題全般の相談開設数	2		3	
	人権擁護委員による当該年度相談開設数					
	予定(目標)	23 日				
	令和3年度実績	23 日				
令和2年度実績	2 日					
具体的内容	【 】内は前年度数値 大和市人権擁護委員に対して補助金を交付しました。 <事業内容> ・大和市人権相談 23回【1回】 (第2、4木曜日午後1時30分から午後4時) ・横浜地方法務局 厚木支局 常設相談当番 8回【1回】 (毎週木曜日午前9時30分から午後4時30分) ・横浜地方法務局 本局 集約相談当番 12回【4回】 (平日午前8時30分から午後5時15分) <決算額の内訳> ・大和市人権擁護委員会補助金 271千円					
評価課題	・電話での人権相談を開始することで、コロナ禍にあっても、人権課題に直面している市民に対しての相談窓口を閉ざさないようにしました。 ・多様化する人権課題に対応できるよう、引き続き人権擁護委員と連携し、相談体制の充実を図るとともに、相談窓口の周知に努めます。					

決算書ページ 99	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 11	基地対策費
事業名	01 基地対策涉外・要請等活動事業				担当課	基地対策課
目的	航空機騒音、安全対策など諸問題の改善、解決を図ります。また、厚木基地に関わる現状や市の取り組みについて情報を提供します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					257	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市独自の渉外事務として、国や米軍等との連絡・調整や情報収集等を行うとともに、苦情の対応・処理、国や米軍等への要望・要請を行います。また、県及び関係市とも連携して要請等の活動を行います。 ホームページなどを通じて情報提供を行います。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業手法を変更。 				令和3年度 予算現額	
					597	
					令和3年度 決算額	
					135	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	56
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	79					
令和4年度 予算額						
597						
活動内容						
指標	1	国、米軍への要請等実施回数	2	神奈川県基地関係県市連絡協議会会議等回数	3	厚木基地騒音対策協議会会議等回数
		航空機騒音や事故等に関する要請実施回数		定例会等の実施回数		幹事会等の実施回数
	予定(目標)	9 回	7 回	6 回		
	令和3年度実績	7 回	4 回	5 回		
	令和2年度実績	7 回	4 回	5 回		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 市独自の活動はもとより県や関係市とも連携しつつ、国や米軍等に対して、交渉・要請活動等を行います。 厚木基地に関わる現状、本市の取り組みを市のホームページなどで情報提供しました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 厚木基地に関する情報の収集や調査・研究 県や周辺市から構成される神奈川県基地関係県市連絡協議会や厚木基地騒音対策協議会などを通じて行う要請などの活動 厚木基地に関わる現状、本市の取り組みについて、市のホームページや広報やまとなどで情報提供 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 各種協議会にかかる負担金 0千円 ・その他 75千円 交渉、要請活動にかかる旅費 60千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 航空機騒音被害をはじめとする厚木基地の諸問題について、市単独はもとより県や周辺市とも連携しつつ、国や米側に対して要請活動を行いました。 国の安全保障政策や米軍の動向など、厚木基地に関連する国内外の情報収集や調査研究を行いました。 市民からの航空機騒音に関する問い合わせに対し、丁寧な対応に努めました。 					

決算書ページ 99	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 11	基地対策費		
事業名	02 大和市基地対策協議会活動支援事業					担当課	基地対策課	
目的	市民、議会、行政の代表から組織される協議会を通じて厚木基地に起因する諸問題の解決を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	1,200	
						令和3年度 予算現額	1,200	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 協議会への補助金を交付します。 協議会の運営及び諸活動の支援を行います。 					令和3年度 決算額	1,200	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
一般財源		1,200						
						令和4年度 予算額	1,000	
活動内容								
指標	1	国、米軍等への要望等の実施回数	2	総会等活動日数	3	部会、実行委員会活動日数	4	
		基地諸問題解決に向けた要望等の実施回数		総会を開催した回数		部会、実行委員会を開催した回数		
	予定(目標)	1 回	1 回	3 回				
	令和3年度実績	1 回	1 回	3 回				
	令和2年度実績	1 回	1 回	3 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市基地対策協議会に対して補助金を交付しました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 総会、部会、実行委員会の開催 厚木基地に関連した情報の収集 厚木基地に起因する諸問題の解決に向けた国や米側への効果的な要請等 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市基地対策協議会補助金 1,200千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善を図るという目標の下に、空母艦載機の着陸訓練を厚木基地で決して実施しないことや、騒音対策及び安全対策等の徹底などを国や米側に対して要請しました。 防衛省が行う住宅防音事業について、助成対象を拡大し、早期に事業を完了させるなど、基地周辺対策を拡充し、市民負担を軽減するよう国に要請しました。 							

決算書ページ 99	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 11	基地対策費
事業名	03 騒音測定事業				担当課	基地対策課
目的	航空機騒音被害の状況を把握し、厚木基地に関連した航空機騒音問題解決の一助とします。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					5,435	
手段手法	・市内5地点に設置した測定器により、常時、航空機騒音測定を行い、データの収集分析を行います。				令和3年度 予算現額	
					5,637	
					令和3年度 決算額	
					5,607	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	594
					県支出金	386
地方債	0					
その他	0					
一般財源	4,627					
令和4年度 予算額		5,485				
活動内容						
指標	1 騒音測定日数	2 騒音測定箇所	3	4		
	自動記録騒音計により騒音測定を実施した日数		自動記録騒音計の設置箇所数			
	予定(目標)	365 日	5 地点			
	令和3年度実績	365 日	5 地点			
令和2年度実績	365 日	5 地点				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内5地点に設置した測定器による航空機騒音測定データの収集と分析を行いました。 <測定器の設置箇所> <ul style="list-style-type: none"> ・厚木基地の滑走路から 北3km、北2km、北1km、東800m、南500mの各地点 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音測定器等リース料 3,972千円 ・騒音測定専用回線使用料等 561千円 ・騒音計等保守管理委託 809千円 ・その他 265千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市内5地点に設置した自動記録騒音計により、24時間365日航空機騒音測定を行いました。 ・収集したデータは、課内で分析、研究を行い、要望、要請活動等のための基礎資料などとして活用しました。 					

決算書ページ 99	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 12	市史編さん費	
事業名	02 地域歴史資料整理・保存事業					担当課	文化振興課
目的	地域の歴史的資料を市民共通の財産として将来にわたり引き継ぐとともに、活用可能な状態とします。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
						2,002	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 中性紙の封筒・箱に収納するとともに、目録を整備します。 保存と活用のためマイクロフィルムなどへ媒体変換(複製作成)します。 歴史的資料が欠けている分野と時期については、資料を補完するため、聞き取り調査を実施します。 					令和3年度 予算現額	
						1,335	
						令和3年度 決算額	
						1,224	
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
地方債	0						
その他	0						
一般財源	1,224						
令和4年度 予算額							
1,820							
活動内容							
指標	1	マイクロフィルム撮影コマ数	2	製本数	3	史料の記録作業等件数	4
		資料をマイクロフィルム撮影したコマ数		各資料を保存のため製本した冊数		記録と保存作業(整理・目録化・点検・分類)を行った件数	
	予定(目標)	4,000 コマ	30 冊	300 件			
	令和3年度実績	3,462 コマ	30 冊	123 件			
令和2年度実績	4,045 コマ	38 冊	336 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>地域の歴史資料を長期にわたり安寧に保存・活用できるよう、資料の目録化および翻刻を行うとともに、マイクロフィルムなどへの媒体変換も実施しました。</p> <p><資料の目録化・製本・媒体変換></p> <ul style="list-style-type: none"> 翻刻・目録化 1 2 3点【 3 3 6点】 資料製本 3 0冊【 3 8冊】 マイクロフィルム化 3, 4 6 2コマ【4, 0 4 5コマ】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員報酬 1 2 0千円 資料整理謝礼 3 7 2千円 資料の製本費用 6 9千円 マイクロフィルム化費用 5 3 3千円 資料保存用品等、その他 1 3 0千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 昭和48年頃に行った悉皆調査時に目録化した市域の重要資料および調査後に把握した新出資料について、保存と活用のための作業は順調に進んでいます。 一方、まだ市で把握できていない各家所蔵の資料については、引き続き探索を続けていく必要があります。 						

決算書ページ 101	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 14	交通安全対策費		
事業名	01 交通安全啓発事業					担当課	道路安全対策課	
目的	交通安全意識を高め、事故を抑制します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	15,880	
						令和3年度 予算現額	29,490	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室等を実施します。 自転車運転免許証及び認定証を交付し、保険加入の推進やTSマーク助成、ヘルメット助成を行います。 新入学児童に黄色い帽子を配布します。 交通安全要望対策を行います。 					令和3年度 決算額	24,338	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和4年度 予算額	30,717							
活動内容								
指標	1	交通安全教室等開催回数	2	交通安全教室等参加人数	3	TSマーク助成件数	4	幼児・児童用自転車ヘルメット助成件数
		市で開催する教室等の開催回数		市で開催する教室等ののべ参加人数		TSマーク助成申請件数		幼児・児童用自転車ヘルメット助成申請件数
	予定(目標)	200 件	20,000 人	200 件	300 件			
	令和3年度実績	125 件	13,846 人	76 件	75 件			
令和2年度実績	108 件	9,541 人	82 件	87 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>交通安全教室等の実施により、交通ルールやマナーの意識高揚を図りました。 また、TSマーク助成や自転車保険に加入しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育員の配置 自転車保険 TSマーク、ヘルメット助成 交通安全教室の実施 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員報酬 5,732千円 自転車保険 14,469千円 TSマーク、ヘルメット助成金 224千円 その他 3,913千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 自転車利用者が増加し、保険会社が負担する支払金額が増大したことによる保険料の基準単価の上昇(830円から1,820円に上昇)に伴い、決算額が令和2年度15,880千円から令和3年度は24,338千円に増額しました。 コロナ禍においても、定員削減により密を回避するなど対策を講じて、一般、地域、小中学校・幼稚園等向けの交通安全教室を可能な限り実施しました。 引き続き、感染症対策を講じながら、慎重に交通安全教室を開催し、啓発を実施します。 							

決算書ページ 101	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 14	交通安全対策費
事業名	05 放置自転車対策事業				担当課	道路安全対策課
目的	駅周辺に自転車等が放置されることを防止することにより、良好な生活環境を維持し、併せて災害時における活動スペースを確保します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					34,119	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺の自転車等の放置を防ぐため、適正駐輪の指導活動を実施します。 自転車等放置禁止区域に放置されている自転車等の移動、保管、返還を行います。 				令和3年度 予算現額	
					37,028	
					令和3年度 決算額	
					35,691	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	2,155					
一般財源	33,536					
令和4年度 予算額						
37,010						
活動内容						
指標	1	適正駐輪指導数	2	放置自転車等の移動台数(放置禁止区域内)	3	放置自転車等台数(日・平均)
		放置自転車・バイクへの年間指導札貼付数		年間移動台数		放置されていた自転車等の台数
	予定(目標)	25,000 枚	500 台	20 台		
	令和3年度実績	23,153 枚	351 台	17 台		
	令和2年度実績	23,776 枚	361 台	18 台		
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>駅周辺における放置自転車等の削減に努めました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 放置対策全般に携わる交通安全巡視員の配置 大和駅を除く各駅周辺で指導警告を行う駅前常駐指導員の配置 放置対策に係る諸経費(看板、保管所警備料他) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全巡視員報酬 19,896千円 駅前常駐指導業務委託 8,486千円 その他 7,309千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 通勤、通学等による駅周辺の放置自転車は減少傾向です。 放置自転車を防止するため、交通安全巡視員等の立哨及び巡視や放置自転車への警告、移動等を粘り強く継続していきます。 					

決算書ページ 103	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 16	文化振興費
事業名	06 文化芸術振興事業				担当課	文化振興課
目的	市民の文化芸術活動の発表の場及び芸術鑑賞の機会を提供します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					8,234	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭、文芸祭を開催し、一般公募による文化芸術作品等の発表を行います。 コミュニティ音楽館を開催します。 芸術文化ホール等で文化芸術事業(委託)を開催します。 文化芸術団体や財団などと連携協力しながら、YAMATO ART100プロジェクトを実施します。 文化芸術情報サイト「大和文化百花」を活用し、情報発信を行います。 ※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で一部の事業を中止				令和3年度 決算額	
					4,613	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	13
令和4年度 予算額						
9,020						
活動内容						
指標	1	文化芸術作品の展示日数	2	コミュニティ音楽館の開催日数	3	文化芸術事業委託件数
	文化祭・文芸祭で一般公募展を開催した日数		コミュニティセンターで音楽会を開催した日数		(公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団に委託した件数	
	4	YAMATO ART100の開催日数		YAMATO ART100として開催した日数		
	予定(目標)	23 日	15 日	1 件	100 日	
令和3年度実績	23 日	0 日	1 件	100 日		
令和2年度実績	18 日	0 日	2 件	100 日		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>文化祭一般公募展、YAMATO ART100等を実施しました。</p> <p><文化祭></p> <p>出品数 : 268点【257点】</p> <p>来場者数 : 2,422人【2,371人】</p> <p><YAMATO ART100></p> <p>参加団体 : 32団体【24団体】</p> <p>参加イベント : 54イベント【49イベント】</p> <p>来場者数 : 23,329人【13,654人】</p> <p><決算額の内訳></p> <p>・文化芸術事業委託 3,086千円 ・文化祭、文芸祭 1,326千円</p> <p>・コミュニティ音楽館 0千円 ・その他 201千円</p>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部の事業が中止となり、事業費が減少しました。 令和4年度は、感染対策を徹底し、市民が文化芸術を親しむことができるよう事業の実施に努めていきます。 					

決算書ページ 103	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 16	文化振興費
事業名	08 文化創造担い手育成事業				担当課	文化振興課
目的	これからの文化創造を牽引する若い世代の発表活動の支援を行うとともに、市民が日常生活の中で文化芸術を感じ、楽しめる機会を提供します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,587	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 公募型の「YAMATOイラストレーションデザインコンペ」を開催します。 コンペ入賞者の作品等を活用して、イラストレーションを日常の生活空間の中に取り入れる取り組みを行います。 ※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で事業手法を変更				令和3年度 予算現額	
					2,190	
					令和3年度 決算額	
					2,008	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	2,008					
令和4年度 予算額						
2,130						
活動内容						
指標	1	YAMATOイラストデザインコンペ作品数	2	作品展等の開催回数	3	コンペ入賞者等の制作依頼件数
		YAMATOイラストデザインコンペに応募のあった作品数		イラストレーションに関するイベント・展覧会の開催回数		コンペ入賞者にイラスト制作を依頼した年間件数
	予定(目標)	500 点	1 回	20 件		
	令和3年度実績	511 点	0 回	20 件		
令和2年度実績	595 点	0 回	11 件			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>及川正通氏を中心とした審査員の選考を経て、入賞作品等を決定しました。また、入賞者をイラストレーターとして起用し、市のイベントポスター等を作成しました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため作品展の開催は中止とし、入賞作品及び入選作品をホームページに掲載しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 応募者(点数) : 404人(511点) 【416人(595点)】 入選作品展(中止) : 0人【0人】 入賞者の活用実績 スタンドパイプ消火資機材普及啓発ポスター、ヤマトン年賀状等 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> イラスト制作謝礼 738千円 募集中用ポスター等 434千円 記念品 199千円 アートフラッグ設置 475千円 その他 162千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> イラストレーションを通じて、魅力的な生活空間を創り出していくためには、民間事業者の協力が不可欠であり、入賞者の活用を促進するためのPRを定期的に行っていく必要があります。 					

決算書ページ 103	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 16	文化振興費		
事業名	10 美術鑑賞推進事業					担当課	文化振興課	
目的	美術鑑賞教育の推進を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	3,410	
						令和3年度 予算現額	6,157	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 美術鑑賞教育をサポートするガイドスタッフを育成します。 小学校における対話による美術鑑賞授業にガイドスタッフを派遣します。 ボランティア発掘につなげるための取り組みを進めます。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止					令和3年度 決算額	6,018	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和4年度 予算額	6,157							
活動内容								
指標	1	ガイドスタッフ育成研修の開催回数	2	ガイドスタッフを派遣した学校数	3		4	
		ガイドスタッフ育成のための研修の開催回数		ガイドスタッフを派遣した学校数				
	予定(目標)	20 回		19 校				
	令和3年度実績	17 回		15 校				
	令和2年度実績	16 回		0 校				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>ガイドスタッフの募集及び育成のための研修を実施しました。 また、市立小学校15校の対話による美術鑑賞授業にガイドスタッフを派遣しました。(新型コロナウイルスの影響で4校中止)</p> <p><事業の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ガイドスタッフ育成研修 : 17回【16回】 ガイドスタッフ登録者数 : 47名【47名】 対話による美術観賞事業実施校 : 15校【0校】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 美術鑑賞推進事業委託料 6,018千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、コロナの影響により、学校での授業を全校中止し、ガイドスタッフの育成研修のみ実施しましたが、令和3年度は、学校授業を再開したため、決算額が大幅に増加しました。 本事業の目的を達成するためには、優秀なガイドスタッフが不可欠であり、こうした人材を継続的、計画的に発掘、育成していく必要があります。 							

決算書ページ 103	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 16	文化振興費		
事業名	11 芸術文化ホール管理運営事業					担当課	文化振興課	
目的	やまと芸術文化ホールの円滑な管理運営を行います。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	284,774	
						令和3年度 予算現額	290,637	
手段手法	・指定管理者による管理運営を行います。					令和3年度 決算額	289,722	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
令和4年度 予算額		289,722						
						令和4年度 予算額	290,343	
活動内容								
指標	1 開館日数	2 利用者数	3	4				
	芸術文化ホールの開館日数	ホール、ギャラリー、マルチスペース利用者数						
	予定 (目標)	360 日	250,000 人					
	令和3年度実績	360 日	99,156 人					
	令和2年度実績	359 日	43,931 人					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を活用し、芸術文化ホール（メインホール、サブホール、ギャラリー、マルチスペース）の管理運営を行います。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 274,600千円 光熱水費 13,193千円 会計年度任用職員報酬等 1,914千円 その他 15千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染拡大による様々な制限により、利用者及び稼働率が大幅に減少しました。 今後も感染状況を徹底し、安心・安全に利用できる体制を継続します。 							

決算書ページ 103	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 16	文化振興費	
事業名	13 文化創造拠点シリウス管理運営事業					担当課	図書・学び交流課
目的	文化創造拠点シリウスの円滑な管理運営を行います。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	110,176
						令和3年度 予算現額	186,656
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・市施設共用部の管理を行います。 ・管理組合や各施設所管課、指定管理者等との調整を行います。 ・大和市文化創造拠点の管理等に関する審議を行うため、文化創造拠点等運営審議会を開催します。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で、一部の事業手法を変更					令和3年度 決算額	170,319
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	53,024
						県支出金	0
						地方債	0
						その他	0
令和4年度 予算額	125,222						
活動内容							
指標	1	指定管理者及び関係各課との連絡調整会議参加回数	2	文化創造拠点等運営審議会実施回数	3		4
		連絡調整会議に参加した回数。		文化創造拠点等運営審議会を実施した回数。			
	予定 (目標)	12 回		4 回			
	令和3年度実績	12 回		3 回			
	令和2年度実績	10 回		4 回			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>文化創造拠点等運営審議会において、令和2年度指定管理者評価を実施するとともに、施設の適切な管理を行うため、関係各課及び指定管理者等と定期的に調整を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化創造拠点等運営審議会の開催 ・指定管理者との連絡調整会議の開催 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 187千円 ・光熱水費 31,964千円 ・負担金 83,692千円 ・修繕工事費 53,024千円 ・その他 1,452千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、シリウスの内壁補修工事（抗ウイルスシート貼付）を行ったため、決算額が増額しました。 ・令和3年度は、一時的に開館時間を短縮した期間はありましたが、感染対策を徹底し、「安心できる居場所」づくりに継続的に取り組んできたことにより、シリウスの来館者数は前年度比の165.7%の223万人となり、コロナ前の水準に戻りつつあります。 ・新型コロナウイルスの感染状況に応じて、制限の実施や緩和を行うなど、適切なサービスが提供できるよう指定管理者と都度調整していく必要があります。 						

決算書ページ 103	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 17	防災対策費
事業名	04 自主防災組織支援事業				担当課	危機管理課
目的	災害発生時に地域で自主的に防災活動が行えるよう支援します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					5,775	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会員などを対象に、防災に関する基本的な知識を習得するための防災セミナーを実施します。 防災セミナーを修了した方のうち、防災協力員（防災リーダー）に登録した方を対象に、災害活動に必要な防災資機材の取扱いなどの研修会を実施します。 防災活動の強化向上のため、自主防災会に防災資機材の購入に要する費用を補助します。 避難生活施設運営委員会の情報共有の場を設けます。 ※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で一部の事業を中止				令和3年度 決算額	
					5,045	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
令和4年度 予算額						
7,182						
活動内容						
指標	1	防災セミナー開催数	2	防災協力員研修会開催数	3	防災資機材購入費補助金交付自主防災会数
	防災意識向上のための防災セミナーの開催数		防災協力員として登録されている方を対象とした研修会開催数		防災資機材購入費補助金を交付した自主防災会数	
	予定(目標)	3 回	3 回	65 団体	1 回	4
	令和3年度実績	0 回	0 回	38 団体	1 回	避難生活施設運営委員会会長会議開催回数
令和2年度実績	0 回	0 回	41 団体	1 回		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> 防災セミナー、防災協力員研修を開催するとともに、自主防災会に対して防災資機材購入費の補助を行い、地域防災活動の強化に努めました。 <事業内容> <ul style="list-style-type: none"> 防災セミナーの開催数 0回【 0回】 防災セミナーの修了者数 0名【 0名】 防災協力員研修の開催数 0回【 0回】 防災協力員研修の受講者延べ人数 0名【 0名】 防災資機材購入費補助件数 38 団体【 41 団体】 避難生活施設運営委員会会長会議 1回【 1回】 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織防災資機材購入費補助金 3,428千円 消耗品 1,590千円 その他 27千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織が必要とする防災資機材が多様化していることから、自主防災組織の実状に応じた支援が必要です。 地域の防災活動において、女性の視点が欠かせないため、より多くの女性の参加が求められています。 					

決算書ページ 103	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 17	防災対策費
事業名	05 総合防災訓練運営事業				担当課	危機管理課
目的	大規模災害発生時における自助、地域共助、公助の促進のために、市、市民、防災関係機関等との相互連携の強化と、防災技術、知識の向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> すべての人に防災を身近に感じてもらえるよう、来場者が気軽に参加できる体験型ブースを中心に展覧します。 市の防災に関する取り組みを展覧ブースでの紹介や演習等により来場者に披露します。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業手法を変更				令和3年度 予算現額	
					3,144	
					令和3年度 決算額	
					1,135	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,135					
令和4年度 予算額						
3,144						
活動内容						
指標	1	訓練の開催回数	2	参加団体数(企業・ボランティア団体等)	3	4
	総合防災訓練の実施		総合防災訓練の防災関係団体の参加数			
	予定(目標)	1回	28団体			
	令和3年度実績	1回	0団体			
令和2年度実績	0回	0団体				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> 防災フェスタ2021については、新型コロナウイルス感染症の影響で会場開催を中止し、代替イベントとしてオンライン版防災フェスタ2021を実施しました。 <事業内容> ・開催日 令和3年9月26日(日) ・参加人数 218人 <決算額の内訳> ・業務委託 1,135千円					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 今後も様々な世代が参加できるようなブースの展覧やイベント等を実施するように努めます。 					

決算書ページ 103	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 17	防災対策費	
事業名	06 防災備蓄品等維持管理事業					担当課	危機管理課
目的	災害時における市民生活に必要な物資を確保し、円滑に避難生活を送ることができる体制を整えます。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	76,149
						令和3年度 予算現額	36,426
手段手法	・備蓄品計画に基づき、避難生活施設等に災害用非常食、災害対策用資機材を備蓄します。					令和3年度 決算額	27,190
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	9,685
						地方債	0
						その他	202
						令和4年度 予算額	42,615
活動内容							
指標	1 備蓄食料数	2 新規整備食料数	3 毛布・アルミヒートブランケット整備数	4 防災備蓄倉庫等の修繕計画数			
	避難者用備蓄食料整備総数	更新を含め、新たに整備する食料数	避難生活施設・一時滞在施設等で使用する毛布等整備総数	既存施設修繕数			
	予定(目標)	199,557 食	33,000 食	38,905 枚	3 基		
	令和3年度実績	199,941 食	33,100 食	38,905 枚	1 基		
令和2年度実績	201,073 食	46,900 食	37,005 枚	4 基			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容> 備蓄の整備 ・非常食 33,100食【46,900食】 ・携帯トイレ 28,720個【28,720個】 ・アルミヒートブランケット 1,900枚【1,900枚】</p> <p><決算額の内訳> ・非常食 16,426千円 ・災害用消耗品 4,647千円 ・避難生活施設発電装置保守業務委託等 3,102千円 ・その他 3,015千円</p>						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・決算額の減少は、令和2年度に大規模な避難所等における新型コロナウイルス感染症対策衛生用品等の整備を行なったことによるものです。 ・必要となる災害対策用資機材が多種多様化されており、実状に応じて見直す必要があります。 ・備蓄品の種類が多くなり、大型備蓄倉庫等での多くの物資の適切な維持管理がさらに求められます。 						

決算書ページ 103	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 17	防災対策費
事業名	07 災害対策本部運営等事業				担当課	危機管理課
目的	自然災害や緊急事案において必要とされる情報収集や応急活動の態勢を確保します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					7,476	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害や緊急事案の規模に応じて、災害調整会議、警戒本部、対策本部を設置し、発生した事案等に対し迅速かつ適切な対策を行います。 				令和3年度 予算現額	
					9,243	
					令和3年度 決算額	
					7,048	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	82
地方債	0					
その他	0					
一般財源	6,966					
令和4年度 予算額						
8,796						
活動内容						
指標	1	災害警戒本部等設置回数	2	災害調整会議設置回数(事案数)	3	災害対策本部訓練
	自然災害に対する災害対策本部、警戒本部設置回数(事案数)		自然災害に対する災害調整会議設置回数(事案数)		災害対策本部設置運営訓練	
	予定(目標)	1回	1回	1回	1回	
	令和3年度実績	0回	1回	1回	1回	
令和2年度実績	0回	1回	1回	1回		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p>大規模災害時に、自治体職員としてとるべき基本行動等について、災害事例や教訓から学びとり、自治体の責務等の理解を深めるための研修会を実施しました。</p> <p><事業内容> <ul style="list-style-type: none"> 防災基礎研修の実施 (係長級を対象: 46人) <p><決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 災害対策活動の装備品・消耗品 797千円 通信運搬費 1,361千円 気象情報提供等業務委託料 4,488千円 その他 402千円 </p></p>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 全国各地で、自然災害が頻発し、当市においても大雨の対応など自然災害の備えは重要であり、災害対策本部の円滑な運営を行えるよう、災害時の体制整備を継続して行う必要があります。 					

決算書ページ 105	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 17	防災対策費
事業名	11 地域防災計画等策定・管理事業				担当課	危機管理課
目的	自然災害や武力事態等の脅威から、市民の生命、財産等を保護するとともに、被害を最小限にとどめます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢の変化及び関係法令の改定等に応じ、地域防災計画及び国民保護計画の見直しを行います。 各計画について、市民への周知に努め、計画に定めた取り組みの実現につなげていきます。 				令和3年度 予算現額	
					17,113	
					令和3年度 決算額	
					11,792	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	3,410
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	8,382					
令和4年度 予算額						
635						
活動内容						
指標	1	防災会議開催回数	2	防災マップ作成	3	4
	本市計画の修正等に伴う防災会議開催回数		市民の防災意識の啓発に資する防災マップ作成部数			
	予定(目標)	1 回	140,000 部			
	令和3年度実績	0 回	140,000 部			
令和2年度実績	0 回	0 部				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市の強靱化の指針となる大和市国土強靱化地域計画の策定を行いました。また、土砂災害特別警戒区域等を反映した防災マップの作成を行い、全戸配布を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市国土強靱化地域計画の策定 防災マップの更新及び配布 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 国土強靱化地域計画作成費 3,520千円 防災マップ作成費 6,820千円 防災マップ配布費 1,452千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 国土強靱化地域計画の策定、防災マップの作成・配布を行ったため、決算額が増加しました。 大和市国土強靱化地域計画については、各部の該当する事業等をまとめた大和市国土強靱化地域計画(個別事業編)を適切に管理する必要があります。 					

決算書ページ 105	款	02	項	02	目	02	賦課徴収費									
事業名	02 収納サービス向上推進事業					担当課	収納課									
目的	納税環境を整備し市税等の収納率の向上を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)										
						21,035										
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 納付書に口座振替依頼書を同封する他、市内各金融機関に常置することにより口座振替を推進します。 コンビニエンスストアでの支払いやスマホアプリからのキャッシュレスでの納付を可能とすることにより納税機会を拡大し、自主納付を推進します。 					令和3年度 予算現額										
						25,465										
						令和3年度 決算額										
						23,730										
						令和3年度 財源内訳										
						国庫支出金	0									
						県支出金	0									
地方債	0															
その他	0															
一般財源	23,730															
令和4年度 予算額																
25,872																
活動内容																
指標	1	市税等の口座振替登録件数	2	コンビニエンスストアでの 収納件数	3	キャッシュレス収納件数	4									
		口座振替による納税義務者数		延べ件数		スマホアプリ等による収納延べ 件数										
	予定 (目標)	46,000 人	210,000 件	14,000 件												
	令和3年度 実績	45,977 人	203,600 件	11,615 件												
令和2年度 実績	45,758 人	210,414 件	0 件													
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 当初納税通知書に口座振替依頼書を同封しました。 市内金融機関に口座振替依頼書を常置しました。 コンビニエンスストアでの収納を行いました。 キャッシュレス収納（モバイルレジ）を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>・口座振替手数料</td> <td style="text-align: right;">5,384千円</td> </tr> <tr> <td>・口座振替依頼書等印刷費</td> <td style="text-align: right;">1,232千円</td> </tr> <tr> <td>・口座振替伝送委託費</td> <td style="text-align: right;">1,346千円</td> </tr> <tr> <td>・コンビニエンスストア収納等委託費</td> <td style="text-align: right;">14,435千円</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td style="text-align: right;">1,333千円</td> </tr> </table>						・口座振替手数料	5,384千円	・口座振替依頼書等印刷費	1,232千円	・口座振替伝送委託費	1,346千円	・コンビニエンスストア収納等委託費	14,435千円	・その他	1,333千円
・口座振替手数料	5,384千円															
・口座振替依頼書等印刷費	1,232千円															
・口座振替伝送委託費	1,346千円															
・コンビニエンスストア収納等委託費	14,435千円															
・その他	1,333千円															
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 電子マネー導入の準備を行いました。 デジタル化の推進、更なる利便性向上を目指した納税環境の整備の必要があります。 															

決算書ページ 105	款	02	総務費	項	02	徴税費	目	02	賦課徴収費
事業名	03 滞納整理・処分事務							担当課	収納課
目的	市税等収納率の向上及び滞納額の圧縮を図ります。							令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
								19,510	
手段手法	・市税等の納付の督促、納税相談、滞納整理及び滞納処分を行います。							令和3年度 予算現額	
								28,221	
								令和3年度 決算額	
								19,666	
								令和3年度 財源内訳	
								国庫支出金	0
								県支出金	0
地方債	0								
その他	1,306								
一般財源	18,360								
令和4年度 予算額									
30,771									
活動内容									
指標	1	督促状発送件数	2	差押件数	3	公売等取立件数	4		
	全税目の納期別発送件数		年度内差押件数		差押債権を現金化した件数				
	予定 (目標)	130,000 件	1,400 件	3,000 件					
	令和3年度 実績	114,799 件	1,258 件	2,265 件					
令和2年度 実績	117,917 件	1,021 件	1,980 件						
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による影響を踏まえ、令和2年度には最小限で行うこととした滞納処分について、令和3年度は例年通りの運用へ徐々に戻しながら、給与、国税還付金等の債権差押や、差し押さえた動産、不動産の公売等を実施しました。 ・特別滞納整理期間を設け、夜間電話納税相談を行ったほか、一斉催告文書の送付を実施するとともに、早期に滞納が生じている方への納付督促を目的として民間委託による電話催告業務などを行い、滞納の速やかな解消を図りました。 <p><財産差押処分実績> 合計 1,258 件【1,021 件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不動産 292 件【239 件】 ・生命保険等債権 293 件【232 件】 ・給与 490 件【414 件】 ・預貯金 182 件【134 件】 ・動産 1 件【2 件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話催告業務委託 7,645 千円 ・郵送料 5,607 千円 ・督促状等作成業務委託 3,451 千円 ・その他 2,963 千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・納付催告や滞納処分を推進したことなどにより、令和3年度の収納率は現年度分、滞納繰越分ともに前年度を上回りましたが、今後は、コロナ禍に加えて、国際情勢や国内外の経済動向等が市税を取り巻く状況にどのような影響を及ぼすかなどを注視していく必要があると考えます。 ・収納率のさらなる向上に向け、引き続き納付催告や滞納処分の推進等を図ることが求められます。 								

決算書ページ 107	款 02	総務費	項 03	戸籍住民基本台帳費	目 01	戸籍住民基本台帳費
事業名	04 諸証明交付事務				担当課	市民課
目的	証明書等を迅速、正確に交付することで、利便性を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位 :千円)	
					144,617	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 通常の窓口受付のほか、電話予約、郵送、コンビニエンスストアによる各種証明書の交付業務を行います。また、土日にも各種証明書の交付業務を行います。 				令和3年度 予算現額	
					140,457	
					令和3年度 決算額	
					136,221	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	4,206
					県支出金	0
					地方債	0
その他	79,453					
一般財源	52,562					
令和4年度 予算額						
144,644						
活動内容						
指標	1	証明書等の取扱通数(全体)	2	土日開庁日の証明書等取扱通数	3	郵便、電話予約による取扱通数
		証明書等の交付通数		証明書等の取扱通数		郵便及び夜間等の受取り通数
	予定(目標)	264,000 通	22,000 通	40,000 通	18,000 通	コンビニ交付機取扱通数
	令和3年度実績	257,266 通	24,140 通	38,902 通	25,641 通	コンビニ交付機による住民票及び印鑑証明書の交付通数
令和2年度実績	263,836 通	20,583 通	39,737 通	15,518 通		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> 本庁市民課及び各連絡所の管理や証明書の交付業務を行いました。 <各種証明書交付通数> <ul style="list-style-type: none"> 窓口 257,266通 【263,836通】 郵送及び電話予約 38,902通 【39,737通】 コンビニ 25,641通 【15,518通】 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 報酬及び職員手当等 8,810千円 委託料及び賃借料 114,294千円 その他 13,117千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 安定した事業運営を行い、利用者の利便性を実現しています。 本庁及び出先機関において均一のサービスが提供されるよう、知識や技術、情報の共有に努めます。 					

決算書ページ 113	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 01	社会福祉総務費
事業名	12 民生委員児童委員活動支援事業				担当課	健康福祉総務課
目的	市民の地域における相談相手・支援者として、民生委員児童委員活動の円滑な推進体制を確保します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					34,561	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員法に基づき、推薦会を開催し民生委員児童委員の委嘱を行います。 市・地区民生委員児童委員協議会の事務局として庶務を行います。 民生委員児童委員の資質の向上を目的に研修会や情報交換会を行います。 民生委員児童委員協議会の円滑な運営を図るために活動費の助成を行います。 				令和3年度 予算現額	
					36,640	
					令和3年度 決算額	
					34,918	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	17,892
地方債	0					
その他	0					
一般財源	17,026					
令和4年度 予算額						
36,892						
活動内容						
指標	1 役員会開催	2 地区定例会開催数	3 相談・支援件数	4 推薦会開催回数		
	月1回×12月	月1回×12月×11地区	民生委員が行った個別相談・支援件数	民生委員推薦会の開催回数		
	予定(目標)	12 回	132 回	3,000 件	5 回	
	令和3年度実績	7 回	77 回	3,202 件	4 回	
令和2年度実績	7 回	77 回	2,851 件	2 回		
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>民生委員児童委員の活動に対して支援を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 民生嘱託員報酬対象者数(延べ人数) 3,181人【3,150人】 推薦会委員報酬対象者数(延べ人数) 40人【21人】 民生委員児童委員協議会部会開催回数 10回【6回】 (児童委員部会・生活福祉部会・広報部会) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 民生嘱託員等報酬 11,788千円 負担金 22,774千円 (地区民児協活動費、民生委員児童委員活動費等) その他 356千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員児童委員の選任要件の内、年齢の上限(75歳未満)を撤廃し、神奈川県と同様としました。 民生委員児童委員は、地域の見守り役として重要な役割を担っていますが、地域のつながりの希薄化や個人情報保護法の施行等により、民生委員児童委員活動を行う上で必要な情報を入手しにくくなっています。 					

決算書ページ 113	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 01	社会福祉総務費
事業名	18 災害時避難行動要支援者対策事業				担当課	健康福祉総務課
目的	避難行動要支援者対策として平常時から要支援者の情報を把握するとともに、その情報を地域等と共有し、災害時における安否確認や避難支援等に活用します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					430	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者の情報把握のために調査を実施し、避難行動要支援者名簿の作成・管理を行います。 地域における避難支援等の取り組みが進むよう支援を行います。 				令和3年度 予算現額	
					580	
					令和3年度 決算額	
					499	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	499					
令和4年度 予算額						
582						
活動内容						
指標	1	調査等対象者数 (送付者数)	2	支援への取り組み地区	3	名簿掲載者数
	避難行動要支援者名簿への掲載に関する意向調査等		避難行動要支援者情報の共有数		避難行動要支援者名簿に掲載されている同意者数	
	予定 (目標)	4,000 人	148 件	4,300 人		
	令和3年度実績	6,066 人	148 件	4,280 人		
令和2年度実績	4,186 人	149 件	4,575 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>避難行動要支援者の情報を地域等に共有するための避難行動要支援者名簿を整備するとともに、各地域において避難支援等の体制整備に必要な支援を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 調査等対象者数 (70歳以上世帯、要介護者、障がい者等) 6,066人【4,186人】 支援への取り組み地区数 (自治会) 148件【149件】 名簿掲載者数 (同意者数) 4,280人【4,575人】 地域 (自治会) での制度説明会開催回数 104回【103回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 通信運搬費 (調査書類等郵送料) 379千円 消耗品費等 (調査書類・封筒代等) 120千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であっても、多くの自治会に対して、説明会が実施できました。また、説明会の実施がなかった自治会には、個別に説明を行いました。 令和3年度に災害対策基本法の改正があったため、国及び他市町村の動向を注視するとともに、情報収集を行いました。 令和3年度には、災害時に避難所では生活が困難な方の避難先として社会福祉施設等が利用できるよう、新たに4施設と協定を締結し、受け入れ体制の整備に努めました。 					

決算書ページ 113	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 01	社会福祉総務費
事業名	23 自殺対策事業				担当課	健康福祉総務課
目的	神奈川県との協力関係や庁内関係課による横断的な連携を図りながら、啓発活動などに取り組み、自殺で亡くなられる方が減少することを目指します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					697	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市自殺対策庁内連絡会の設置により、自殺対策に取り組みます。 市民に対して自殺予防に関する人材育成・啓発・周知等を図ります。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で、一部の事業を中止または事業手法を変更しました。				令和3年度 予算現額	
					1,124	
					令和3年度 決算額	
					819	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	472
地方債	0					
その他	0					
一般財源	347					
令和4年度 予算額						
3,231						
活動内容						
指標	1	やまと自殺対策フォーラムまたは講演会の参加人数	2	こころサポーター養成講座等受講人数	3	4
		フォーラムまたは講演会の参加人数		地域における早期発見、対応の役割を果たす人材の養成人数		
	予定(目標)	80 人	230 人			
	令和3年度実績	0 人	75 人			
	令和2年度実績	0 人	25 人			
具体的内容	【 】内は前年度数値 こころサポーター養成講座など、自殺防止等の普及啓発を行いました。 <実施内容> <ul style="list-style-type: none"> やまと自殺対策講演会 (参加人数) 0人【0人】 こころサポーター養成講座 (参加人数) 75人【25人】 こころサポーターフォローアップ研修 (参加人数) 29人【28人】 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 自殺防止等普及啓発関係経費 435千円 やまと自殺対策講演会経費 2千円 人材育成関係経費 109千円 その他経費 (こころの健康相談) 273千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、街頭キャンペーンや自殺対策講演会等の事業を中止しましたが、広報紙やSNS、動画配信等の手法により、自殺対策事業を実施しました。 新型コロナウイルス感染症の影響も考慮しながら相談内容等を分析し、効果的に自殺対策事業を実施していく必要があります。 					

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 01	社会福祉総務費		
事業名	26 おひとりさま施策推進事業				担当課	おひとりさま政策課		
目的	主に高齢のひとり暮らしの方々などが健康で安心して暮らせるよう、おひとりさま施策の推進を図ります。				令和2年度 決算額	(以下単位:千円) 1,052		
					令和3年度 予算現額	2,187		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 協力葬祭事業者、司法書士等の専門家との連携により、葬儀・納骨・財産整理などに関する情報発信や本人からの相談受付、葬儀生前契約に関するサポート等を行います。 高齢のひとり暮らしの方々などが利用可能な支援、相談できる窓口等を掲載したガイドブックを配布します。 おひとりさまなどの政策情報の収集や分析を行います。 				令和3年度 決算額	1,458		
					令和3年度 財源内訳			
					国庫支出金			0
					県支出金			0
					地方債			0
					その他			0
一般財源			1,458					
					令和04年度 予算額	1,860		
活動内容								
指標	1	相談件数	2	講演会等の開催回数	3	4		
	葬儀や納骨に関する市民からの相談件数		終活に関する講演会・地区説明会などの開催					
	予定(目標)	150 件	4	回				
	令和3年度実績	285 件	5	回				
令和2年度実績	161 件	3	回					
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>ひとり暮らし等の市民からの終活に関する相談を受け付け、葬儀の生前契約に関するサポート等を行いました。また、終活の周知・啓発のため、終活支援映画の上映会や講座、講習会などを開催しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民からの終活に関する相談の件数 285件【 161件】 葬儀生前契約して市に登録した人数(累計) 50名【 43名】 講座・講習会の開催 5回【 3回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品(終活クイズ景品等) 519千円 生活お役立ちガイド作成業務委託 616千円 終活映画上映用 ソフトレンタル 99千円 その他 224千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による外出自粛などの間、自宅で楽しく学べるよう「やまと終活クイズ」を3回実施して、終活への意識を醸成しました。 終活相談の件数は285件となり、前年度との比較で約1.8倍となりました。 終活の内容は多岐にわたるため、継続して終活コンシェルジュによるきめ細かい個別相談や、講演会や説明会の開催、終活に関する冊子の発行などによって、終活に関する意識の定着を図って参ります。 							

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 01	社会福祉総務費								
事業名	28 配偶者暴力等相談支援事業				担当課	生活援護課								
目的	配偶者等から暴力を受けた被害者への支援体制を強化することで、被害者保護の充実を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)									
					4,391									
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 配偶者等から暴力を受けた被害者を保護するため、必要な相談、指導・支援等を行います。 危険性が高く緊急避難を必要とする場合は、県のDV支援センター、女性相談所と連携を図りながら、保護施設に一時保護入所措置を行います。 				令和3年度 予算現額									
					5,290									
					令和3年度 決算額									
					4,772									
					令和3年度 財源内訳									
					国庫支出金	1,946								
					県支出金	0								
地方債	0													
その他	0													
一般財源	2,826													
令和4年度 予算額														
5,243														
活動内容														
指標	1	婦人相談件数	2	一時保護件数	3	4								
	配偶者からの暴力や、生活上の相談件数		配偶者の暴力から避難するため、保護施設に一時避難した件数											
	予定(目標)	400 件	20 件											
	令和3年度実績	464 件	9 件											
令和2年度実績	435 件	9 件												
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ドメスティック・バイオレンス(DV)被害者等の相談に電話、窓口で応じます。 危険性が高く緊急避難を必要とする場合には、県のDV支援センターや女性相談所と連携を図り、保護施設への一時保護入所措置を行いました。 <p><一時保護入所措置世帯数及び人数> 9世帯 15人 【9世帯 12人】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護施設が満所若しくは、時間が遅く手続きが間に合わないときには、一時的にホテルなどの宿泊施設に宿泊するなどの措置を行います。 <p><シェルター代替緊急宿泊扶助世帯数及び人数> シェルター代替緊急宿泊扶助 0世帯 0人【0世帯 0人】</p> <p><決算額の内訳></p> <table border="0"> <tr> <td>・緊急宿泊費等</td> <td>0千円</td> <td>・婦人相談員報酬</td> <td>4,590千円</td> </tr> <tr> <td>・シェルター負担金等</td> <td>130千円</td> <td>・その他</td> <td>52千円</td> </tr> </table>						・緊急宿泊費等	0千円	・婦人相談員報酬	4,590千円	・シェルター負担金等	130千円	・その他	52千円
・緊急宿泊費等	0千円	・婦人相談員報酬	4,590千円											
・シェルター負担金等	130千円	・その他	52千円											
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 被害者からの相談件数の増加は、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が社会的に認知されてきたこと等が要因として考えられます。 家庭内で起こる被害であるため、潜在化しやすく、被害者が相談までに至らない現状を踏まえて、早期発見と迅速な対応が求められます。 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することも予測し動向を注視することが必要です。 													

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 01	社会福祉総務費
事業名	30 生活困窮者自立支援事業				担当課	生活援護課
目的	経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者の相談に応じ、本人の状況に合わせた支援を行うことで、自立促進を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					87,301	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 主任相談支援員等による就労その他の自立に関する相談支援を行います。 市内連絡会を実施して他課との連携や、情報の共有を図ります。 離職及び就業機会の減少に伴う減収により住居を失うおそれのある生活困窮者等に対し、住居確保給付金を支給します。 				令和3年度 予算現額	
					90,931	
					令和3年度 決算額	
					80,598	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	49,543
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	31,055					
令和4年度 予算額						
50,655						
活動内容						
指標	1	新規相談受付件数	2	年延べ支援実施件数	3	住居確保給付金支給決定者数
	電話、来所、訪問により新規相談を受け付けた件数		相談を受けて支援を実施した延べ件数		住居確保給付金の支給を決定した人数	
	予定(目標)	500 件	350 件	180 人	30 人	
	令和3年度実績	254 件	442 件	102 人	26 人	
令和2年度実績	700 件	502 件	334 人	32 人		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口を設置し、生活困窮者の相談に対して面談、電話で応じます。来所できない人に対しては相談員が訪問して対応します。 住居を失う恐れのある生活困窮者に住居確保給付金を支給しました。 <p><住居確保給付金支給世帯数及び人数> 新規：102世帯 181人 継続：125世帯 204人 【新規：334世帯 563人 継続：0世帯 0人】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主任相談支援員等による就労その他の自立に関する相談支援を行い、就労収入の増収を図ることが出来ました。 <p><就労収入増収者人数> 26人 【32人】</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 住居確保給付金 42,686千円 自立相談支援事業業務委託 12,615千円 過年度国庫負担金返還金 24,327千円 ・その他 970千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響による住居確保給付金の支給要件の緩和は継続していますが、相談件数及び支給件数は前年に比べて減少しました。 相談件数は減少しているものの潜在的な困窮者は存在すると考えられるため、引き続き相談体制を維持する必要があります。 					

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 01	社会福祉総務費
事業名	31 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業				担当課	生活援護課
目的	新型コロナウイルス感染症の影響の長期化を踏まえ、生活に困窮する世帯の就労による自立を図るため、自立支援金を支給します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給するとともに、受給者の再就職や増収のための求職活動を支援します。 相談者や受給者の状況に応じて生活困窮者自立支援事業や生活保護事業との連携を図ります。 				令和3年度 予算現額	
					179,711	
					令和3年度 決算額	
					89,245	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	89,245
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	0					
令和4年度 予算額						
42,527						
活動内容						
指標	1	初回支給決定件数	2	就労・増収者数	3	4
	新型コロナウイルス感染生活困窮者自立支援金初回支給決定人数		自立支援金受給者の中で就労・増収につながった人数			
	予定(目標)	0 件	0 件			
	令和3年度実績	310 件	28 件			
令和2年度実績	0 件	0 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談窓口を設置し、社会福祉協議会による総合支援資金の貸付を借り終わった人に申請書を送付し、郵送と窓口で申請を受け付けます。 支給決定者に支援金を支給するとともに求職活動の支援を行います。 <p><新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金初回支給決定人数> 310世帯 573人 【0世帯 0人】 (※決定者数=世帯数なので310件ですが、決定した世帯の世帯員数は573人です)</p> <p><新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金受給中就労・増収人数> 28人 【0人】</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 自立支援金 71,340千円 自立支援金支給事業委託 17,905千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて令和3年7月に開始となった新規事業であり、要件を満たす可能性がある方へ申請書を個別送付しましたが、当初の想定を下回る申請件数となりました。 支給期間中に就労による自立が達成できなかった方が生活困窮者自立支援事業や生活保護につながられるように、他機関との連携を図り受給者への継続的な支援を行う必要があります。 					

決算書ページ 115	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
事業名	32 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業						担当課	生活・暮らし支援 臨時特別給付金担当	
目的	新型コロナウイルス感染症が長期化する中、さまざまな困難に直面している世帯の生活・暮らしを支援します。						令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		0
							令和3年度	予算現額	3,693,346
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 対象となる1世帯あたり10万円を支給します。 住民税非課税世帯に対し、申請に必要な書類を送付します。 家計急変世帯については、市内公共施設に申請に必要な書類を配架し、申請者からの申出により申請を受け付けます。 						令和3年度	決算額	1,974,320
							令和3年度	財源内訳	
							国庫支出金	1,974,320	
							県支出金	0	
							地方債	0	
							その他	0	
令和4年度	予算額	0							
活動内容									
指標	1	支給世帯数(住民税非課税世帯等)	2		3		4		
		支給した世帯数							
	予定(目標)	20,000世帯							
	令和3年度実績	18,554世帯							
	令和2年度実績	0世帯							
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>令和3年度の住民税非課税世帯等を対象に、臨時特別給付金を支給しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支給額 1世帯あたり 100,000円 支給済世帯数 令和3年度住民税非課税世帯等 18,554世帯 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金 1,855,400千円 役務費 6,312千円 委託料 112,519千円 その他 89千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 臨時特別給付金を支給することにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている生活困窮世帯の経済的負担を軽減しました。 支給資格があるにもかかわらず、申請がないことにより支給に至っていない世帯があることから、当制度の情報が広く周知されるよう、様々な手法を検討する必要があります。 								

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	03 自立支援給付事業				担当課	障がい福祉課
目的	障がい者及び難病患者等が、日常生活及び社会生活を営むために、必要な支援を受けることができるようにします。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,727,881	
手段手法	障がい者及び難病患者等からの申請を受け、自立支援給付費を給付します。				令和3年度 予算現額	
					4,084,968	
					令和3年度 決算額	
					3,918,185	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	2,010,317
					県支出金	1,002,839
					地方債	0
その他	0					
令和4年度 予算額		905,029				
		4,317,261				
活動内容						
指標	1	居宅介護利用者数	2	短期入所利用者数	3	共同生活援助利用者数
		今年度より、支給決定者数から利用者数へ変更しました。		今年度より、支給決定者数から利用者数へ変更しました。		今年度より、支給決定者数から利用者数へ変更しました。
	4	補装具費の交付・修理件数				
		今年度より、支給決定者数から利用者数へ変更しました。	障がい児者に対する補装具費交付・修理件数			
予定 (目標)	254 人	62 人	262 人	513 件		
令和3年度 実績	254 人	62 人	262 人	385 件		
令和2年度 実績	255 人	82 人	260 人	365 件		
具体的 内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者及び難病患者等に対し、居宅介護や短期入所等の必要な支援に係る費用を給付します。 ＜事業内容＞ <ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅介護事業 52,647.50時間【48,916.75時間】 ・ 短期入所 5,242日【5,265日】 ・ 共同生活援助 3,222人【2,975人】 ・ 日中活動支援 12,778人【12,431人】 ＜決算額の内訳＞ <ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅介護事業 273,375千円 ・ 短期入所事業 60,679千円 ・ 共同生活援助事業 728,297千円 ・ 日中活動支援事業 2,394,014千円 ・ 相談支援給付事業その他 461,820千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい特性や生活環境に応じた障害福祉サービスの支給及び補装具費助成を行うことで、障がい者の自立した生活の一助となっています。 ・ 住み慣れた地域での生活を推進するため、重度の障がいがある方の受け入れも可能となる日中支援型グループホーム等、社会資源の検討が必要です。 ・ 対象者の増加により各事業所とも慢性的に従事者が不足しており、国や県に報酬単価の見直し等働きかけを行いながら利用者のニーズに対応できるよう努めます。 					

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	04 地域生活支援事業				担当課	障がい福祉課
目的	障がい者及び難病患者等が、利用者の個々の状態に応じ、地域の実態に沿った支援を受け、地域生活を営むことができるようにします。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					165,900	
手段手法	障がい者や難病患者等、または福祉施設を運営する事業者等から申請を受け、市もしくは委託した団体等がその事業を実施します。				令和3年度 予算現額	
					194,419	
					令和3年度 決算額	
					173,917	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	33,929
					県支出金	21,386
					地方債	0
その他	0					
一般財源	118,602					
令和4年度 予算額		196,070				
活動内容						
指標	1	移動支援利用者数	2	日常生活用具の給付数	3	地域活動支援センター相談者数
	今年度より、支給決定者数から、利用者数へ変更しました。		身体・知的の重度障がい児者への給付件数		地域活動支援センター相談延べ人数	
	4	グループホーム家賃助成件数	グループホーム入居者に対する月額家賃助成件数			
	予定(目標)	123 人	4,767 件	2,200 人	2,199 件	
令和3年度実績	123 人	3,832 件	3,892 人	2,249 件		
令和2年度実績	107 人	4,004 件	2,152 人	2,101 件		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> 地域で暮らす障がい者及び難病患者等が日常生活又は社会生活を営むことが出来るように事業を実施しました。 <事業内容> <ul style="list-style-type: none"> 移動支援 16,846.5時間【16,428.5時間】 日常生活用具給付 3,832件【4,004件】 GH家賃助成 2,249件【2,101件】 地域活動支援センター相談延人数 3,892人【2,152人】 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 移動支援事業 37,130千円 日常生活用具 38,846千円 GH家賃助成 23,838千円 地域活動支援センター運営 23,023千円 日中一時支援事業その他 51,080千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者や難病患者等が地域で生活していく上で必須の事業となります。 相談支援事業では、障がい特性に対する専門性の向上や医療分野との連携について、検討する必要があります。 					

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	05 自立支援医療等給付事業				担当課	障がい福祉課
目的	障がいを除去又は軽減し、日常生活能力の回復を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					442,391	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 身体に障がいのある児童及び18歳以上の身体障がい者から申請を受け、障がい軽減を目的とした手術等の医療費の支給を行います。 通院による精神医療を継続的に要する精神障がい者から、当該通院費の助成申請を受け、県へ進達し、受給者証の交付を行います。 				令和3年度 予算現額	
					474,242	
					令和3年度 決算額	
					453,202	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	236,921
					県支出金	117,580
					地方債	0
その他	0					
令和4年度 予算額						
482,635						
活動内容						
指標	1	身体障害者の自立支援医療給付者数	2	身体障害児の自立支援医療給付者数	3	精神障害者の自立支援医療給付者数
		更生医療（18歳以上の手術等への給付）		育成医療（18歳未満の手術等への給付）		精神通院医療（精神科通院医療費の給付）
	予定（目標）	360 人	9 人	4,400 人		
	令和3年度実績	348 人	9 人	4,270 人		
	令和2年度実績	330 人	11 人	4,619 人		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 4 】内は前年度数値</p> <p>身体に障がいのある児童及び身体障がい者の障がい軽減を目的とした手術等の医療費助成については、対象者からの申請を受け支給決定を行いました。また、精神障がい者の通院医療費助成については、県への進達事務を行いました。</p> <p><主な事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 更生医療（18歳以上の身体障がい者の手術等の医療費助成） 人工透析、抗免疫療法、人工股関節手術等 育成医療（18歳未満の身体に障がいのある児童の手術等の医療費助成） 口唇口蓋裂手術、側弯症手術等 精神障がい者を対象とした精神通院医療費助成 精神科通院費助成の申請の県への進達、受給者証の対象者への送付 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 自立支援医療給付費等 452,823千円 手数料等 379千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 更生医療については、心身障害者医療費助成制度の支給制限により、その対象とならない方の新規申請件数が増加傾向にあり、支給決定数も増加しています。 精神通院医療の助成申請の新規・継続申請も増加傾向にあり、県への進達・交付件数も増加しています。 医療保険の特定疾病を併用する受給者の情報を的確に把握し、自立支援医療等給付事務の適正化を図る必要があります。 					

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	09 在宅重度障がい者サポート事業				担当課	障がい福祉課
目的	重度の障がい児者が快適な在宅生活を送れるようにします。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					43,611	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 福祉タクシー券の配布や紙おむつの支給、入浴サービスの提供、住宅設備改良の助成、福祉車両利用券の配布、自動車燃料費の給付を行います。 				令和3年度 予算現額	
					51,752	
					令和3年度 決算額	
					44,566	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	3,814
					県支出金	3,759
					地方債	0
その他	0					
一般財源	36,993					
令和4年度 予算額						
54,205						
活動内容						
指標	1	福祉タクシー利用者数	2	入浴サービス利用者数(訪問入浴)	3	福祉車両助成
		福祉タクシー利用券交付件数		訪問入浴利用回数		福祉車両利用助成件数
	予定(目標)	1,076 人	902 回	733 件	277 人	
	令和3年度実績	1,145 人	796 回	617 件	282 人	
令和2年度実績	1,130 人	815 回	628 件	276 人		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p><利用人(件)数></p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉タクシー助成 : 1,145人【1,130人】 紙おむつ支給 : 58人【56人】 自動車燃料費助成 : 282人【276人】 入浴サービス : 11人【13人】 住宅設備改良費助成 : 5件【7件】 他 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉タクシー利用券 16,863千円 紙おむつ支給 2,703千円 自動車燃料費助成 5,973千円 入浴サービス 9,878千円 福祉車両利用助成 4,456千円 その他 4,693千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児者の増加により、受給者数が増えていますが、重度障がい児者が在宅生活を維持するために事業を継続する必要があります。 					

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	12 市障害者福祉手当支給事業				担当課	障がい福祉課
目的	障がい児者を経済的に支援し、生活の安定と福祉の増進を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					148,368	
手段手法	年に2回(9月・3月)、大和市に居住している重度・中度の障がい児者に手当を支給します。				令和3年度 予算現額	
					149,484	
					令和3年度 決算額	
					147,723	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	147,723					
令和4年度 予算額		152,505				
活動内容						
指標	1	受給対象件数	2		3	
	年間延べ受給件数					
	予定(目標)	49,828 件				
	令和3年度実績	49,241 件				
令和2年度実績	49,456 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>在宅の重度、中度の障がい児者に対して手当を年2回支給します。 <受給見込人数(延べ)> 49,241人【49,456人】 <受給内容>月額: 3,000円 ※重度・中度の障がい児者 1～4級の身体障害者手帳の交付を受けている方 IQ50以下の方(療育手帳A1、A2、B1の該当者) 1～2級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方 【支給制限】・障害児福祉手当、特別障害者手当、特別児童扶養手当や障害基礎年金を受給している場合 ・福祉施設に入所している場合 ・所得が一定以上あるとき</p> <p><決算額の内訳> ・大和市障害者福祉手当 147,723千円</p>					
評価課題	<p>・障がい児者の増加に伴い、事業費は増加傾向にあります。手当の増額や対象者の範囲拡大を望む声はありますが、将来にわたり事業を安定的に運営していくことが重要と捉え、当面は現状のまま事業を継続していく予定です。</p>					

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	14 心身障害者医療費助成事業				担当課	障がい福祉課
目的	重度障がい児者にかかわる医療費の負担軽減を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					394,160	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 重度障がい児者からの心身障害者医療の助成申請に基づき対象者に医療証を交付します。 医療機関又は個人に対して医療費（健康保険診療）の自己負担分を支払います。 				令和3年度 予算現額	
					418,695	
					令和3年度 決算額	
					390,424	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	181,413
地方債	0					
その他	0					
一般財源	209,011					
令和4年度 予算額						
422,533						
活動内容						
指標	1	医療証交付件数	2	医療費助成件数	3	医療費助成額
	医療証の交付対象者数（年度末時点）		医療費の助成件数（同医療機関、同診療科目、同月で1件）		医療費の助成額（健康保険の自己負担分の助成額）	
	予定（目標）	2,740 件	80,050 件	412,814 千円		
	令和3年度実績	2,646 件	80,450 件	384,932 千円		
令和2年度実績	2,721 件	80,026 件	386,279 千円			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>心身障害者医療の助成申請受付後、医療証の交付を行い、医療費を助成します。</p> <p><医療費助成件（人）数></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療費助成 80,450件【80,026件】 対象者数 2,646人【2,721件】 <p><助成対象者（重度障がい児者）></p> <ul style="list-style-type: none"> 身体障害手帳1・2級 1,998人【2,081人】 IQ35以下（療育手帳A1・A2該当） 540人【541人】 精神保健福祉手帳1級 108人【99人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療費助成額 384,932千円 その他 5,492千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 所得制限や年齢制限が定着してきたことにより、事業を安定して継続できる環境が整いつつあり、当面は現状のまま事業を継続していく予定です。 					

決算書ページ 117	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	18 障がい者地域作業所等運営支援事業				担当課	障がい福祉課
目的	企業就労等が困難な障がい者に対して、福祉的就労の場を確保します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					13,923	
手段手法	・市内の旧障がい者地域作業所を運営する団体に対して、家賃補助を行います。				令和3年度 予算現額	
					14,373	
					令和3年度 決算額	
					13,273	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	13,273					
令和4年度 予算額		0				
活動内容						
指標	1	家賃補助を行った地域作業所数	2		3	
	2		3		4	
	予定(目標)	2箇所				
	令和3年度実績	2箇所				
令和2年度実績	2箇所					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>身体・知的・精神の障がい者の福祉的就労の場となっている旧地域作業所等が安定して事業が継続できるよう家賃補助等の支援を実施しました。</p> <p><旧地域作業所等助成件数></p> <p>・7事業所【7事業所】</p> <p><決算額の内訳></p> <p>・賃借料：4事業所 9,632千円</p> <p>・補助金：2事業所 2,640千円</p> <p>・負担金：2事業所 1,001千円</p>					
評価課題	<p>・障害者総合支援法の施行に伴い、市が関与する必要性が低くなりつつあることから、事業所と協議を行ってきた結果、3年度で家賃補助を終了しました。引き続き障がい福祉サービスの情報提供等の支援は行っていきます。</p>					

決算書ページ 117	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費									
事業名	23 松風園防音設備整備事業				担当課	障がい福祉課									
目的	厚木基地の航空騒音による影響を軽減し、障がい福祉サービス提供環境の向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)										
					52,827										
手段手法	老朽化してきている防音設備(空調、建具、内装)の機能復旧を計画的に行っていきます。 一部の利用の補完のため園庭に仮設園舎を設置します。 。 本体の空調設備工事中に、各居室に仮設空調を設置します。				令和3年度 予算現額										
					190,586										
					令和3年度 決算額										
					148,143										
					令和3年度 財源内訳										
					国庫支出金	97,023									
					県支出金	0									
					地方債	40,300									
その他	0														
令和4年度 予算額															
0															
活動内容															
指標	1	第1松風園開園日数	2	第2松風園開園日数	3	4									
	年間開園日数		年間開園日数												
	予定(目標)	230	260												
	令和3年度実績	233	263												
令和2年度実績	233	265													
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・松風園における防音設備の整備・機能復旧を行います。 ・工事完了時に前年度に設置した仮設園舎と仮設空調を撤去します。 <決算額の内訳> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>・空調設備改修工事</td> <td style="text-align: right;">125,932千円</td> </tr> <tr> <td>・仮設園舎賃貸借料</td> <td style="text-align: right;">12,850千円</td> </tr> <tr> <td>・仮設空調設備賃貸借料</td> <td style="text-align: right;">6,491千円</td> </tr> <tr> <td>・本体工事に伴う付帯工事</td> <td style="text-align: right;">1,920千円</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td style="text-align: right;">950千円</td> </tr> </table>					・空調設備改修工事	125,932千円	・仮設園舎賃貸借料	12,850千円	・仮設空調設備賃貸借料	6,491千円	・本体工事に伴う付帯工事	1,920千円	・その他	950千円
・空調設備改修工事	125,932千円														
・仮設園舎賃貸借料	12,850千円														
・仮設空調設備賃貸借料	6,491千円														
・本体工事に伴う付帯工事	1,920千円														
・その他	950千円														
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2～3年度にかけて空調設備工事を実施していることから、前年度に比較して今年度の決算額が増加しています。 ・工事中は、障がい福祉課、公共建築課、工事業者、松風園による定期的な打ち合わせを行い、進捗状況の確認、意思疎通を図り、松風園の運営に配慮しつつ作業工程どおり工事を進め、予定工期の12月に整備事業を終了しました。 														

決算書ページ 117	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費	
事業名	05 生きがい対応型デイサービス事業					担当課	健康づくり推進課
目的	地域における高齢な方の自立支援及び介護保険法による地域支援事業への円滑な移行を推進します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
						17,020	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の市民を対象にひまわりサロンを開催し、地域の人との交流を図りつつ、閉じこもりを防止します。また、介護予防に関する普及啓発も行います。 ・地域包括支援センターと連携し、介護予防事業の推進を図ります。 ※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で一部の事業手法を変更					令和3年度 予算現額	
						14,384	
						令和3年度 決算額	
						13,634	
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
地方債	0						
その他	0						
一般財源	13,634						
令和4年度 予算額							
14,225							
活動内容							
指標	1	利用者数	2	実施回数	3	健康・介護予防に関する知識の普及啓発	4
		ひまわりサロン利用者数		ひまわりサロン実施回数		専門職による実施回数	
	予定(目標)	7,600 人	573 回	40 回			
	令和3年度実績	4,649 人	375 回	15 回			
令和2年度実績	3,290 人	259 回	19 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> ひまわりサロンを開催し、健康状態の維持・改善を図るとともに介護予防を推進します。 <事業内容> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所：コミュニティセンター等 16か所【 16か所】 ・実施回数： 375回【 259回】 ・利用者数： 4,649人【3,290人】 ※新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言やまん延防止重点措置発令等により事業中止期間があり、計198回中止となりましたが、中止期間中は電話相談や訪問等を実施しました。 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> ・生きがい対応型デイサービス事業委託料 13,548千円 ・保険料等 49千円 ・自動車整備費等 37千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、開催人数、時間等を工夫して実施しています。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令により中止とした期間には、介護予防の取り組みを継続できるよう、電話や個別訪問による声かけ等を実施しました。 ・利用者が年々高齢化してきており、状態に即した介護予防プログラムの実施が必要です。また、超高齢社会に伴い、介護予防の取り組みが必要な方への利用を促進していく必要があります。 						

決算書ページ 117	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費
事業名	07 老人福祉施設建設等支援事業				担当課	介護保険課
目的	老人福祉施設等の整備を推進します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					15	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉施設等の整備を行う法人等に建設費等の補助を行います。 				令和3年度 予算現額	
					41,168	
					令和3年度 決算額	
					5,875	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	5,873
					地方債	0
その他	0					
一般財源	2					
令和4年度 予算額						
17						
活動内容						
指標	1	建設費等補助金交付対象事業所数	2	特別養護老人ホームの床数	3	4
	市の補助を受ける社会福祉法人等の事業所数		市内に整備されている特別養護老人ホームの床数			
	予定(目標)	1 件	875 床			
	令和3年度実績	1 件	865 床			
令和2年度実績	0 件	861 床				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>老人福祉施設等の整備を行う法人に開設準備経費の補助を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護小規模多機能型居宅介護事業所 1 事業所 セントケア看護小規模つきみ野 登録定員29人 通所定員18人 宿泊定員7人 令和4年2月1日開所 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 開設準備経費補助 5,873千円 旅費 2千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に補助金の執行がなかったことに対し、令和3年度は看護小規模多機能型居宅介護事業所へ開設準備経費に係る補助を行ったことから、決算額が増加しました。 第8期介護保険事業計画(令和3年度～5年度)に基づいて、施設整備の取り組みを着実に進めます。 					

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費
事業名	13 シルバー人材センター支援事業				担当課	人生100年推進課
目的	高年齢者の経験と能力を生かし、生きがいとして就業の機会を提供している（公社）大和市シルバー人材センターの運営を支援します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					48,525	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 補助金を交付します。 事業運転資金の貸付等の支援を実施します。 				令和3年度 予算現額	
					43,525	
					令和3年度 決算額	
					43,525	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	15,000					
一般財源	28,525					
					令和4年度 予算額	
					44,168	
活動内容						
指標	1	民間からの受注割合	2		3	
	受注総件数に占める民間件数の割合					
	予定(目標)	94 %				
	令和3年度実績	96 %				
	令和2年度実績	96 %				
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> (公社)大和市シルバー人材センターに対して補助金の交付及び事業資金の貸付けを実施しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業補助金 28,415千円 事業貸付金 15,000千円 その他 110千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大により、就業先の休業が継続されるなど、事業運営にも影響がありましたが、チラシの全戸配布や入会説明会の開催回数を増やすなどした結果、会員数は前年度比2.7%増、契約金額は1.3%増と前年度実績を上回ることができました。 今後も、就業を希望する高年齢者には社会参加を促進するとともに、シルバー人材センターに求められる社会的な役割を認識し、社会情勢の変化に適切に対応していくことを目指します。 					

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費	
事業名	14 老人クラブ育成支援事業					担当課	人生100年推進課
目的	概ね60歳以上であるシニアクラブ会員の社会参加を積極的に進め、健康づくり・生きがいを図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
						11,331	
手段手法	・シニアクラブの育成を図るため、補助金を交付します。					令和3年度 予算現額	
						11,959	
						令和3年度 決算額	
						11,051	
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	1,951
地方債	0						
その他	0						
一般財源	9,100						
令和4年度 予算額		11,091					
活動内容							
指標	1	単位シニアクラブ数	2	シニアクラブ会員数	3		4
	大和市シニアクラブ連合会加入のシニアクラブ数						
	予定(目標)	80 団体	4,000 人				
	令和3年度実績	73 団体	3,334 人				
令和2年度実績	80 団体	3,914 人					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>単位シニアクラブ及び大和市シニアクラブ連合会に対して補助金を交付しました。</p> <p><主な活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ数：73クラブ【80クラブ】 ・仲間を増やす活動の展開 加入促進活動支援として「そうめん・うどん販売」「ハム販売」の実施 ・健康づくり、介護予防活動の推進 専門家を招いての健康講座や「ゆめクラブ大和ウォーキング」の実施 ・地域の支え合い活動の推進 友愛研修会として「友愛活動とフレイル予防」を開催 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニアクラブ連合会補助金 9,036千円 ・単位シニアクラブ育成補助金 2,015千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢、健康寿命やライフスタイルの変化により、クラブ数、加入者ともに減少が続いています。 ・求められるシニアクラブの形態、活動を検討していく必要があると思われます。 						

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費
事業名	16 高齢者見守り事業				担当課	人生100年推進課
目的	在宅高齢者の日常生活における不安を解消します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					15,759	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者見守り（緊急通報）システムにより、相談や緊急時の対応を行います。 声かけ訪問調査、在宅介護認定者調査を実施し、高齢者の見守り支援に活用します。また、介護予防アンケートを実施する年度については、当アンケート内に調査項目を設定し、調査を行います。 				令和3年度 予算現額	
					19,415	
					令和3年度 決算額	
					16,686	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	16,686					
令和4年度 予算額						
18,768						
活動内容						
指標	1	高齢者見守り（緊急通報）システム利用者数	2		3	
	年度末のシステム利用者数					
	予定（目標）	739 人				
	令和3年度実績	721 人				
令和2年度実績	682 人					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者見守り（緊急通報）システムにより、ひとり暮らし高齢者等の安否確認を行いました。 声かけ訪問調査、在宅介護認定者調査、高齢者の支援体制と安全確保に必要な資料収集を行いました。 <p>【声かけ訪問調査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者数：249名（有効回答数：198名（79.5%）） <p>【在宅者の生活状況調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者数：1,631名（有効回答数：1,133名（69.5%）） <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者見守り（緊急通報）システム事業委託 16,560千円 その他 126千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者等が増えていく中で、緊急時の対応、安否確認等に対応できる高齢者見守りシステムは有効であり、令和3年度は、40件を超える救急車出動要請、70件を超える安否確認出動を行いました。 その他ひとり暮らしの認知症の方や、難聴の方等への対応については、見守りシステムのほか、民生委員や近隣住民による見守り体制を網羅的に整備していく必要があります。 固定電話回線契約がない方についても見守りシステムが利用できるような体制を整備していきます。 					

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費
事業名	22 施設入所等措置事業				担当課	人生100年推進課
目的	在宅生活の維持が困難な高齢の方の日常生活の場を確保します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					37,472	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 相談、通報時において、経済的及び環境上の理由等により、居宅での養護や介護サービスの利用が困難である高齢の方に対して、老人福祉法に基づく措置を行います。 				令和3年度 予算現額	
					46,432	
					令和3年度 決算額	
					36,732	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	6,462					
一般財源	30,270					
令和4年度 予算額						
46,309						
活動内容						
指標	1	養護老人ホーム入所申請受付数	2	養護老人ホーム新規入所者数	3	養護老人ホーム被措置者数
		高齢者・保健福祉サービス審議会での入所決定件数		入所者数		年度末被措置者数
	予定(目標)	4 件	4 人	16 人		
	令和3年度実績	3 件	3 人	15 人		
令和2年度実績	4 件	4 人	16 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 養護老人ホームへ入所措置を行いました。 やむを得ない事由により、介護保険サービスを受けられない高齢者に対して、行政の権限で短期入所生活介護等の措置を実施しました。 <p><実績の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内施設 ※新規入所者3名、逝去等により4名退所 養護老人ホーム敬愛の園 15人【16人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 老人ホーム入所措置費 36,669千円 その他 63千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 生活を続けることができない不衛生な環境や適切な服薬管理を行えないなどの環境上の理由、及び金銭的に居所の設定が難しいなどの経済的な理由により、居宅において養護を受けることが困難な高齢者に対し、必要時に迅速・適切に入所措置を図っていきます。 					

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費
事業名	26 認知症施策推進事業				担当課	人生100年推進課
目的	認知症の人やその家族が安心して暮らせる環境を整えます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					890	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・はいかい高齢者等SOSネットワーク登録者を被保険者、保険契約者を大和市として、個人賠償責任保険と傷害保険に加入します。傷害保険を基本契約、個人賠償責任保険は特約とします。 ・認知症施策の推進に必要な認知症サポート医の確保のため、国が実施する認知症サポート医研修受講費を負担します。 				令和3年度 予算現額	
					1,201	
					令和3年度 決算額	
					889	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	889					
令和4年度 予算額						
1,452						
活動内容						
指標	1	はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数	2		3	
		年度保険加入者実人数				
	予定(目標)	500 人				
	令和3年度実績	486 人				
令和2年度実績	464 人					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・はいかい高齢者等SOSネットワーク登録者を被保険者とし、被保険者が踏切事故等により他者に負わせた損害を補償する損害賠償責任保険及び交通事故等による本人の死亡等を補償する傷害保険に大和市が保険契約者として加入します。 <p style="padding-left: 20px;">年度保険加入者実人数 486人【464人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師が認知症サポート医養成研修を受講する費用を負担します。 <p style="padding-left: 20px;">研修受講者数 0人【0人】</p> <p style="padding-left: 20px;">令和3年度は受講希望者なし</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険料 889千円 ・研修費 0円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的により合った補償の保険について随時確認を行っています。 ・令和3年度は年間132名の新規登録がありました。支援を必要とする市民への周知が進んできています。 ・今後も認知症の人は増加することが予想されるため、事業対象となる方々の支援に繋がるよう、地域包括支援センターなどの関係機関との情報共有をさらに行う必要があります。 					

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費	
事業名	27 養護老人ホーム建替え支援事業					担当課	人生100年推進課
目的	措置施設を運営する社会福祉法人に対して建替費用の一部を補助することで、施設利用者のサービス向上を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
						0	
手段手法	社会福祉法人の助成に関する条例に基づき、一床あたり県補助金(4,000千円)の3/16=750千円を補助金として交付します。					令和3年度 予算現額	
						40,500	
						令和3年度 決算額	
						40,500	
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
地方債	38,100						
その他	0						
一般財源	2,400						
令和4年度 予算額							
4,500							
活動内容							
指標	1	工事完了進捗率	2		3		4
	工事の進捗率						
	予定(目標)	90%					
	令和3年度実績	90%					
令和2年度実績	0%						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>養護老人ホームの建替えを行う社会福祉法人に施設整備費の補助を行います。</p> <p>【施設整備費補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助対象：養護老人ホーム 敬愛の園 定員60人 1法人(社会福祉法人 敬愛の園) 令和4年9月1日開所予定 令和3年度補助額： 令和2年度繰越分 $750 \text{千円} \times 60 \text{人} \times \text{工事進捗率} 10\% = 4,500 \text{千円}$ 令和3年度分 $750 \text{千円} \times 60 \text{人} \times \text{工事進捗率} 80\% = 36,000 \text{千円}$ 令和4年度補助予定額： $750 \text{千円} \times 60 \text{人} \times \text{工事進捗率} 10\% = 4,500 \text{千円}$ 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 当補助金は、各年度の工事進捗率に基づいて交付しています。 計画：令和2年度10%、令和3年度80%、令和4年度10% 実績：令和2年度0%、令和3年度90%、令和4年度10% 						

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	05 小児医療費助成事業				担当課	こども総務課
目的	子育て支援策の一環として、小児の健全な育成と健康保持を促進します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					566,907	
手段手法	・小児医療証を交付し、医療機関での通院、入院について保険適用分医療費の自己負担額を助成します。				令和3年度 予算現額	
					695,358	
					令和3年度 決算額	
					665,429	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	170,000
					県支出金	114,311
					地方債	0
その他	0					
一般財源	381,118					
令和4年度 予算額						
690,693						
活動内容						
指標	1	医療証交付児童数	2	受診件数	3	4
	医療証を交付した児童数		医療機関で受診した延べ件数			
	予定 (目標)	23,470 人	367,530 件			
	令和3年度 実績	23,806 人	318,857 件			
令和2年度 実績	23,821 人	280,250 件				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>受給対象者の認定、医療証の交付、医療費の助成を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成対象 <ul style="list-style-type: none"> 現物給付（医療証使用） 313,953件【275,392件】 現金給付（償還払い） 4,904件【 4,858件】 ※1歳以上は所得制限あり。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療助成費 639,635千円 ・審査支払手数料 19,286千円 ・報酬・職員手当等 4,484千円 ・消耗品・印刷製本費 363千円 ・その他 1,661千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の適正な執行により、子育て世帯の経済的負担の軽減と小児の健全な育成・健康保持が推進されています。 ・市町村により、対象年齢や所得制限の有無が異なるため、国・県で統一した制度とするよう要望しています。 					

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	06 児童手当支給事業				担当課	こども総務課
目的	すべての子どもの良質な成育環境を保護し、子どもの健やかな育ちを社会全体で支援します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,604,196	
手段手法	・市内に住所を有し、中学校修了までの児童を監護する父または母などを対象に児童手当を支給します。				令和3年度 予算現額	
					3,607,131	
					令和3年度 決算額	
					3,578,112	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	2,488,813
					県支出金	535,757
					地方債	0
その他	0					
一般財源	553,542					
令和4年度 予算額						
3,545,257						
活動内容						
指標	1 対象児童数	2 受給者数	3	4		
	手当の支給対象児童数	手当の受給者数				
	予定(目標)	28,185 人	17,828 人			
	令和3年度実績	28,088 人	17,795 人			
令和2年度実績	28,080 人	17,748 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>中学校修了までの児童を監護する父母等を対象に、児童手当を支給しました。</p> <p><対象延べ児童数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満 57,001人【 57,620人】 ・3歳～小学校修了前 第1子・第2子 166,243人【 169,417人】 第3子以降 19,700人【 19,751人】 ・中学生 57,289人【 56,032人】 ・所得超過者 35,316人【 34,830人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・扶助費 3,561,370千円 ・委託料 6,262千円 ・その他 10,480千円 					
評価課題	・制度改正等に適切に対応し、適正に手当を支給する必要があります。					

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	08 子育て支援センター運営事業				担当課	こども総務課
目的	子育て家庭の育児不安等の解消を図り、地域での育児支援を推進します。また、地域の中でゆとりをもって育児が楽しめる環境をつくります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					16,120	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭の親子が、子育てに関する相談をしたり子育ての情報を得たり、気軽に他の親子と交流できる場所を提供します。 子育てに関する情報提供、育児相談・サロンの運営や子育て講座などを開催します。 ※令和3年度は新型コロナの影響で事業手法を変更				令和3年度 決算額	
					16,120	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	4,696
					県支出金	4,762
					地方債	0
					その他	0
					一般財源	6,662
令和4年度 予算額						
16,120						
活動内容						
指標	1	子育て支援センター利用者数	2	子育て相談 (内容別件数)	3	子育て講座参加者数
		常設子育てサロンを利用した親子数		子育てに関する相談の受付件数		子育て支援センター主催の子育て講座に参加した親子組数
	予定 (目標)	7,000 人	920 件	30 組		
	令和3年度実績	4,761 人	616 件	37 組		
	令和2年度実績	5,607 人	827 件	15 組		
具体的内容	【 】内は前年度数値 <ul style="list-style-type: none"> 子育て何でも相談、子育てサロンの運営、子育てサークル育成支援等について指定管理で運営しました。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き予約制・定員制で運営しました。 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 16,120千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 今後も感染症対策を徹底しつつ、講座やイベントの内容のほか利用者の利便性への配慮について検討していく必要があります。 					

決算書ページ 121	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事業名	09 つどいの広場事業							担当課	こども総務課
目的	子育て中の親の子育てへの負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整備し、もって地域の子育て支援機能の充実を図ります。							令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
								14,622	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 子育て中の親子の交流の場を提供するとともに、子育てに関する相談、地域の子育てに関する情報の提供を行います。 ※令和3年度は新型コロナの影響で事業手法を変更 							令和3年度 予算現額	
								28,688	
								令和3年度 決算額	
								28,367	
								令和3年度 財源内訳	
								国庫支出金	10,156
								県支出金	9,771
地方債	0								
その他	0								
一般財源	8,440								
令和4年度 予算額									
28,818									
活動内容									
指標	1	「こどもーる」来場者数	2	「こどもーる」相談件数	3		4		
		来場した保護者と子どもの延べ人数		保護者等からの相談件数					
	予定 (目標)	49,000 人	2,000 件						
	令和3年度実績	45,273 人	7,630 件						
	令和2年度実績	17,164 人	2,431 件						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> つどいの広場「こどもーる」事業を市内4か所で実施しました。 利用者：おおむね3歳未満の児童と保護者 施設：こどもーる中央林間（市民交流拠点ポラリス内） こどもーる鶴間（イオンモール大和内） こどもーる大和（こどもの城内） こどもーる高座渋谷（イオン大和店内） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時間制・定員制で運用しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 28,167千円 役務費（保険料） 169千円 その他 31千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新たにこどもーる大和を開設したことから決算額が増加しており、利用者数・相談件数も増加しました。 今後も感染症対策を徹底しつつ、利用者に満足いただけるような運営の在り方を検討していく必要があります。 								

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	12 屋内こども広場管理運営事業				担当課	ほいく課
目的	多様化する子育てニーズに応え、市民の子育てを支援する拠点のひとつ、また、子育て世代の親子の新たな交流の場となるよう管理運営します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					102,579	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 親子が天候にかかわらず安全に安心して過ごせる空間を提供します。 子育て中の親が気軽に他施設を利用できるよう、保育サービス等を提供します。 子育てを支援するため、相談室等を使用して、保育士等による育児相談を実施します。 				令和3年度 予算現額	
					88,377	
					令和3年度 決算額	
					85,854	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	1,073
					県支出金	1,040
					地方債	0
その他	0					
一般財源	83,741					
令和4年度 予算額						
87,019						
活動内容						
指標	1	げんきっこ広場延べ利用者数	2	保育室延べ利用者数	3	4
	利用した児童、保護者の実績延べ人数		利用した児童の実績延べ人数			
	予定(目標)	28,000 人	2,100 人			
	令和3年度実績	38,574 人	1,450 人			
令和2年度実績	20,983 人	543 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>遊び場を提供する屋内公園事業、保育サービス等を提供する保育施設事業、保育士等による育児相談事業について、指定管理で運営しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用実績 げんきっこ広場 38,574人【20,983人】 保育室 1,450人【543人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 80,250千円 光熱水費 2,476千円 補助金 3,119千円 その他 9千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する子育てニーズに応えるため、利用者からの意見等を踏まえ、感染対策を継続しながら利用率向上に向け、より良い運営方法について検討する必要があります。 					

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	13 病児保育事業				担当課	ほいく課
目的	病児保育の実施により保護者の就労等を支援します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					45,489	
手段手法	・市内の民間病児保育施設に補助金を交付するほか、市立病院の敷地内に設置する病児保育施設において病児保育を実施します。				令和3年度 予算現額	
					53,368	
					令和3年度 決算額	
					45,456	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	15,642
					県支出金	12,760
地方債	0					
その他	398					
一般財源	16,656					
令和4年度 予算額						
53,079						
活動内容						
指標	1	病児対応型実績延べ人数	2	体調不良児対応型実績延べ人数	3	4
	病児対応型を利用した児童の延べ人数		体調不良児対応型を利用した児童の延べ人数			
	予定(目標)	2,028 人	60 人			
	令和3年度実績	1,137 人	181 人			
令和2年度実績	410 人	0 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当面症状の急変は認められないが、病気の回復期に至っていない又は病気の回復期であることから、集団保育が困難であり、保護者の勤務等の都合により仮定で保育を行うことが困難な小学校6年生までの児童を対象に実施しました。 病児対応型施設数：3か所 ・児童が保育中に「体調不良」となった場合において、安心かつ安全な体制を確保し、保育所等における緊急的な対応を行い、また、保育所等に通所する児童に対して保健的な対応等を図りました。 体調不良児対応型施設数：1か所 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・もみの木医院病児保育室 16,343千円 ・十六山病児保育室Bambini 8,391千円 ・公私連携型保育所ななつぼし 4,499千円 ・大和市病児保育室ぽかぽか(運営業務委託分) 15,393千円 ・その他 830千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の利用実績や市民ニーズ等を踏まえ、病児保育事業の内容および実施施設等について検討を続ける必要があります。 					

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	14 子育て支援施設管理運営事業				担当課	ほいく課
目的	幼稚園児等を対象とした送迎ステーションや、預ける理由を問わない託児施設などの管理運営を行います。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					53,204	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園バスによる送迎を実施し、これまで幼稚園を利用できなかった方のニーズに対応することで、定員に余裕のある幼稚園の利用を促進します。 子育て中の親の育児負担を軽減するため、託児サービスを提供します。 子育てを支援するため、相談室等を使用して、保育士等による育児相談を実施します。 				令和3年度 予算現額	
					53,038	
					令和3年度 決算額	
					53,013	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	12,009
					県支出金	6,840
地方債	0					
その他	0					
一般財源	34,164					
令和4年度 予算額						
50,925						
活動内容						
指標	1	送迎ステーション事業の実績利用人数	2	託児事業の実績延べ人数	3	4
		児童の在籍人数 (月平均)		利用した児童の延べ人数		
	予定 (目標)	35 人	2,100 人			
	令和3年度実績	29 人	3,058 人			
令和2年度実績	31 人	2,098 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>幼稚園児の預かり保育を幼稚園等の教育時間の前後に行い、施設と幼稚園等の間を各幼稚園等の通園バスが送迎を実施する送迎ステーション事業、子育て世代が子どもを理由を問わず預けることができる託児事業、子育てを支援するため保育士による子育て相談について、指定管理者による管理・運営を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用実績 送迎ステーション (月平均) 29人 【 31人】 託児室 3,058人 【2,098人】 子育て相談 147人 【 61人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 41,542千円 ・使用料及び賃借料 10,814千円 ・工事請負費 590千円 ・その他 67千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの意見等を踏まえながら、取り組みを進めており、子育て家庭の支援に努めました。 ・令和5年度からの次期指定期間においても、サービスが滞ることなく安定した運営を継続できる体制を構築していく必要があります。 					

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	15 認定保育施設運営費助成事業				担当課	ほいく課
目的	認定保育施設の円滑な運営を推進し、保育所入所待機児童の解消を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					19,946	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 本市の児童が入所する認定保育施設から請求を受け、内容を審査後、補助金を交付します。 				令和3年度 予算現額	
					21,648	
					令和3年度 決算額	
					17,496	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	17,496					
令和4年度 予算額						
21,648						
活動内容						
指標	1	市認定保育施設数(雇用助成)	2	市認定保育施設補助対象児童数(保育料助成支援)	3	4
		補助金交付施設数		補助対象児童数(延べ人数)		
	予定(目標)	4 箇所		350 人		
	令和3年度実績	4 箇所		225 人		
令和2年度実績	4 箇所		350 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市が定める保育士配置基準を満たす認定保育施設に対し保育士雇用助成を行い、0～3歳児の認可保育所入所保留児童に対し、月10,000円(上限)の保育料助成を行いました。</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 保育士雇用補助金 13,248千円 認定施設利用補助金 2,124千円 認定施設運営支援補助金 2,124千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 認定保育施設に適切な補助を実施することで、保育士の雇用を促進する等、利用児童にとって良質な保育が提供される環境を整備し、また、保護者には保育料の一部を補助することで、経済的負担の軽減を図りました。 保育所入所待機児童の解消の観点からも認定保育施設への入所を促し、利用児童が安心して保育が受けられるように、引き続き保育環境の向上を図ります。 					

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	21 公私連携型保育所等整備事業				担当課	ほいく課
目的	保育需要への対応の充実を図るとともに、子どもを安心して育てることができる環境整備を行います。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					4,910	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 送迎ステーション及び一時預かり事業等を実施する低年齢児型保育所等を設置するため、民間事業者が整備する施設をリースし、民間の運営法人に土地と施設を貸し付けます。 				令和3年度 予算現額	
					58,910	
					令和3年度 決算額	
					58,908	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	28,294
地方債	0					
その他	3,300					
一般財源	27,314					
令和4年度 予算額		58,908				
活動内容						
指標	1	一時預かり利用人数	2	送迎ステーション利用人数	3	休日保育利用人数
	一時預かりを利用した児童の延べ人数 (年間)		児童の在籍人数 (月平均)		休日保育を利用した児童の延べ人数 (年間)	
	予定 (目標)	2,700 人	35 人	480 人		
	令和3年度実績	1,496 人	37 人	485 人		
令和2年度実績	0 人	0 人	0 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 4 】内は前年度数値</p> <p>送迎ステーション及び一時預かり事業等を実施する低年齢児型保育所を設置するため、民間事業者が整備した施設をリースしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開所日 : 令和3年4月1日 賃貸借期間 : 令和3年3月から令和13年3月 施設概要 : 1階部分 <ul style="list-style-type: none"> 認可保育所 (低年齢児型) 定員60名 送迎ステーション 定員60名 ほか 2階部分 <ul style="list-style-type: none"> こどもーる大和 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料及び賃借料 58,908千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、令和3年3月より1カ月分の賃借料が発生しており、令和3年度は1年分のため決算額が増加しました。 運営法人が実施する利用者へのアンケートや利用者からの意見等を踏まえ、運営法人と課題の共有を行い、複合的な子育て支援施設のより良い運営方法について都度検討していく必要があります。 					

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費	
事業名	23 子ども家庭総合支援拠点事業					担当課	すくすく子育て課
目的	家庭の児童養育における悩みの解消や児童虐待の解決を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	23,212
						令和3年度 予算現額	26,932
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 家庭相談員等が電話、面接、訪問等により、子育て等の悩みの相談に応じます。 児童虐待通告を受けたときは職員が訪問し、児童の安全を確認するとともに、必要に応じて保護者に対して注意喚起を行います。 児童虐待の発生予防、早期発見のため、関係機関と連携します。 					令和3年度 決算額	23,005
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	11,592
						県支出金	974
						地方債	0
						その他	20
令和4年度 予算額	29,136						
活動内容							
指標	1	電話・面接・訪問などによる相談件数	2	児童虐待に関する相談対応世帯数	3		4
		家庭相談員等が受けた相談件数(関係機関との連絡を含む)		児童虐待に関する対応及び防止のための相談			
	予定(目標)	9,000 件		250 世帯			
	令和3年度実績	10,891 件		188 世帯			
	令和2年度実績	9,037 件		236 世帯			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><子ども家庭総合支援拠点の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 要支援児童及び要保護児童等並びに特定妊婦等への支援業務 子ども家庭支援にかかる業務 ・ 関係機関との連絡調整 <p><家庭こども相談の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭相談員の体制 週5日(6名が輪番で勤務) 児童虐待相談対応世帯数 188件【236件】(内訳) <ul style="list-style-type: none"> 就学前 105件【106件】 小学生 59件【89件】 中学生 20件【31件】 その他 4件【10件】 虐待以外の相談世帯数 124件【135件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員報酬・手当 19,694千円、その他 3,311千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 支援を必要としている子どもやその世帯等への訪問、見守りを行うとともに、様々な支援策から適切なサービス提供につなげるなど、きめ細やかな対応を継続的に行いました。 学校、保育所、児童相談所や医療機関などの関係機関とのさらなる連携強化を進める必要があります。 児童虐待相談・対応は、緊急かつ高度で専門的な対応が求められるため、引き続き職員の資質向上に取り組む必要があります。 						

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	24 ファミリーサポートセンター事業				担当課	すくすく子育て課
目的	働く人々の仕事と子育ての両立を支援するなど、子育て家庭における育児負担の軽減を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					12,320	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 地域において育児の援助を行うことを希望する者と育児の援助を受けることを希望する者により構成される会員相互間の援助活動を支援します。 				令和3年度 予算現額	
					12,210	
					令和3年度 決算額	
					12,210	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	4,200
					県支出金	3,940
					地方債	0
その他	0					
一般財源	4,070					
令和4年度 予算額						
12,210						
活動内容						
指標	1	支援件数	2		3	
	ファミリーサポートが市民を支援した件数					
	予定(目標)	11,314 件				
	令和3年度実績	10,661 件				
令和2年度実績	10,025 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>保育所・幼稚園の登園前及び終了後の預かりや送迎、親の休養や外出に伴う預かりなどを行いました。また、病児お迎えサービスとして、緊急時の病児預かりや病児保育室への送迎等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 会員数 2,638人【 2,455人】 <ul style="list-style-type: none"> うち、病児会員数 1,006人【 950人】 活動件数 10,661件【 10,025件】 <ul style="list-style-type: none"> うち、病児・病後児の預かり 8件【 2件】 うち、病児・病後児の送迎 46件【 9件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポートセンター事業委託料 12,210千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 長引くコロナ禍におけるニーズに対し、感染拡大防止に努めながら、事業の安定的な運営に努めました。 核家族化や地域ネットワークの希薄化により、子育て家庭の負担感が増しており、今後のニーズの高まりに応えるため、支援会員増を図る必要があります。 					

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費		
事業名	25 子育て世代包括支援センター事業					担当課	すくすく子育て課	
目的	妊娠を考えたときから妊娠・出産・子育て期に切れ目ない相談支援を実施し、安心して妊娠・子育てができる環境をつくります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	2,196	
						令和3年度 予算現額	2,473	
手段手法	国の利用者支援事業に沿って次の内容を行います。 ・妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に係る相談に関すること。 ・支援を必要とする者に対する支援プランの策定及び評価に関すること。 ・母子健康手帳の交付時に全ての妊婦へ面接を実施し、早期より支援を開始する。					令和3年度 決算額	2,293	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	1,365	
						県支出金	311	
						地方債	0	
						その他	0	
令和4年度 予算額	2,483							
活動内容								
指標	1	子育て何でも相談・応援センターでの相談受付数	2	母子健康手帳交付時面接件数	3	支援プラン作成件数	4	
		センターで受け付けた電話・来所等の相談件数		母子健康手帳交付時に面接(スクリーニング)した件数		ケース検討会で支援が必要と判定をされ計画立案をした件数		
	予定(目標)	3,700 件	1,810 件	750 件				
	令和3年度実績	4,279 件	1,963 件	1,111 件				
令和2年度実績	3,944 件	1,672 件	1,072 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て相談におけるワンストップ機能をもった相談機関として、電話・来所相談に対応しました。 妊娠の届出時に専任の保健師がすべての妊婦と面接を行い、支援を必要とする妊婦に対して支援プラン策定などの支援をしました。 人員体制：専任保健師（常勤）1名、会計年度職員保健師 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 電話、来所相談 4,279件【3,944件】 母子健康手帳交付時の妊婦面接件数 1,963件【1,672件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員 報酬 2,293千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の流行により、妊婦同士の交流を通じた妊娠出産の情報を得る機会が減少した影響から相談件数が増加しました。 引き続き、妊娠を考えた時期から子育て期まで、切れ目のない支援に努める必要があります。 							

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	26 養育支援訪問事業				担当課	すくすく子育て課
目的	養育上の諸問題の解決や育児の負担の軽減を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					632	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産後間もない時期の家庭等へ心理士などを派遣し、育児に関する専門的な援助を行います。 ・ 対人接触を図ろうとしない等、育児に問題のある家庭にヘルパーを派遣し、育児や家事を支援することで、安定した児童養育を支援します。 ・ 養育面で支援が必要な家庭に対し、配食サービスを通じて家庭状況を確認します。 				令和3年度 予算現額	
					5,952	
					令和3年度 決算額	
					2,519	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	1,985
					県支出金	311
地方債	0					
その他	0					
一般財源	223					
令和4年度 予算額						
2,784						
活動内容						
指標	1	専門職の訪問件数	2	育児・家事支援派遣回数	3	4
		心理相談員や家庭相談員などの家庭訪問件数		育児・家事支援のヘルパー派遣回数		
	予定(目標)	584 件	283 回			
	令和3年度実績	528 件	259 回			
令和2年度実績	693 件	318 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児の養育について支援が必要でありながら、自ら積極的に支援を求めることが困難な状況にある家庭に対し、心理士、保育士等の専門職員やヘルパーを派遣しました。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による児童虐待リスクの高まりを踏まえ、養育面で支援が必要な家庭について、市が委託する事業者が配食サービスを通じて家庭状況を確認しました。(こども宅食やまと) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 養育支援ヘルパー派遣委託 934千円 ・ 支援対象児童等配食見守り業務委託 1,585千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍における児童虐待リスクの高まりを踏まえ、新たに「こども宅食やまと」の実施により、養育面で支援が必要な家庭について見守り体制を強化したことから、決算額が増加しています。 ・ 引き続き、支援が必要な家庭を早期に把握し、効果的な訪問支援を行うことが必要です。 					

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費		
事業名	27 発達相談支援システム推進事業					担当課	すくすく子育て課	
目的	こどもの発達状況等に応じて、こどもやその家族が充実した社会生活を送ることができるよう支援します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	21,432	
						令和3年度 予算現額	24,430	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 就学前の乳幼児に対して、相談員、心理士、言語聴覚士、保育士、理学療法士、作業療法士などの専門スタッフが、専門的見地から相談・支援等を行います。 軽度・中等度の難聴児に補聴器購入費を助成します。 					令和3年度 決算額	23,247	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	6,335	
						県支出金	3,372	
						地方債	0	
						その他	0	
						一般財源	13,540	
令和4年度 予算額	25,806							
活動内容								
指標	1	発達相談件数	2	発達相談個別指導回数	3	発達相談グループ参加延べ人数	4	幼稚園・保育所への巡回相談機関数
		発達相談に関する新規、継続相談件数		発達相談スタッフによる乳幼児への個別指導回数		乳幼児対象のグループ指導への参加者延べ人数		専門スタッフが訪問した幼稚園や保育所の数
	予定(目標)	600 件	2,500 回	800 人	75 園			
	令和3年度実績	663 件	2,788 回	667 人	90 園			
	令和2年度実績	522 件	2,142 回	426 人	77 園			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学前の乳幼児に対して、専門の職員が相談、支援を行いました。 軽度・中等度の難聴児への補聴器購入費を補助しました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 発達相談件数 663件【 522件】 個別指導回数 2,788回【2,142回】 グループ指導 667人【 426人】 保育所等巡回相談機関数 90園【 77園】 難聴児補聴器購入費等助成 12件【 11件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬 19,661千円 職員手当等 2,643千円 扶助費 489千円 需用費ほか 454千円 							
	評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響が大きかった令和2年度に比べ、令和3年度については新規相談の件数が大幅に増加しました。 相談ニーズは多様化しており、より高い専門性が求められています。 						

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	28 児童発達支援事業				担当課	すくすく子育て課
目的	障がい児の生活領域の拡大と早期療育を通じて、発達を促します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					833,556	
手段手法	・障がい児の保護者からの申請を受け、障害児通所給付費の支給を行います。				令和3年度 予算現額	
					1,092,881	
					令和3年度 決算額	
					1,029,117	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	545,168
					県支出金	267,399
地方債	0					
その他	0					
一般財源	216,550					
令和4年度 予算額		1,151,634				
活動内容						
指標	1	児童発達支援支給決定者数	2	放課後等デイサービス支給決定者数	3	保育所等訪問支援支給決定者数
	給付の支給を決定した人数		給付の支給を決定した人数		給付の支給を決定した人数	
	予 定 (目 標)	240 人	920 人	40 人	1,160 人	
	令 和 3 年 度 実 績	238 人	922 人	36 人	1,161 人	
令 和 2 年 度 実 績	211 人	860 人	45 人	1,077 人		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	障がい児の保護者から申請を受け、障害児通所給付費の支給を行いました。 <事業内容> (支給決定者数) ・児童発達支援 238人【211人】 ・放課後等デイサービス 922人【860人】 ・保育所等訪問支援 36人【45人】 ・サービス利用計画作成 1,161人【1,077人】 <決算額の内訳> ・報酬、需用費ほか 2,486千円 ・児童発達支援 313,528千円 ・放課後等デイサービス 673,315千円 ・保育所等訪問支援 5,822千円 ・サービス利用計画作成 33,557千円 ・高額障害児通所等給付費 409千円					
評価課題	・通所サービスの提供体制が充実したことに伴い、利用が増加しました。 ・サービス利用者の増加やニーズの多様化により、サービス利用計画作成する相談支援事業所の業務負荷が年々増加していることから、引き続き相談支援体制の充実に努める必要があります。					

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費		
事業名	29 障がい児自立支援給付事業					担当課	すくすく子育て課	
目的	障がい児及び難病等の児童が、日常生活及び社会生活を営むために、必要な支援を受けることができるようにします。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	24,966	
						令和3年度 予算現額	36,580	
手段手法	・障がい児及び難病等の児童の保護者からの申請を受け、自立支援給付費を支給します。					令和3年度 決算額	33,006	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金		17,135
						県支出金		8,364
						地方債		0
						その他		0
令和4年度 予算額		35,067						
活動内容								
指標	1	ホームヘルプ支給決定者数	2	短期入所支給決定者数	3		4	
	給付の支給を決定した人数		給付の支給を決定した人数					
	予定 (目標)	15 人	65 人					
	令和3年度実績	12 人	65 人					
令和2年度実績	11 人	63 人						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>障がい児の保護者から申請を受け、障がい児自立支援給付を支給しました。</p> <p><事業内容> (支給決定者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護給付 12人【11人】 ・短期入所給付 65人【63人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護給付 10,642千円 ・短期入所給付 21,953千円 ・高額障害児通所等給付費 411千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響からサービス利用が減少傾向にありましたが、令和3年度は回復傾向に転じ、決算額が増加しました。 ・障がい児とその家族のニーズが多様化する傾向にあり、安定したサービス提供体制の確保が必要です。 							

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	33 児童館管理運営事業				担当課	こども・青少年課
目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにします。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					66,405	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・コミセン併設児童館20館及び単独児童館2館は、それぞれの指定管理者が地域に密着した管理運営を行います。 ・子どもたちと関わりを持ちながら、様々な季節の事業を通して創造力豊かな発想を導き出すよう、展開していきます。 				令和3年度 予算現額	
					67,161	
					令和3年度 決算額	
					66,051	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	66,051					
令和4年度 予算額						
69,645						
活動内容						
指標	1	利用人数	2	1館あたりの行事実施回数	3	4
	全館における利用者合計		総事業実施回数/22館			
	予定(目標)	50,000 人	12	回		
	令和3年度実績	46,725 人	12	回		
令和2年度実績	23,682 人	9	回			
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 <ul style="list-style-type: none"> コミセン併設館：20館 単独館：2館（子安児童館、上和田東児童館） <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 54,788千円（併設館） 11,208千円（単独館） ・その他 55千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度も利用者の大幅な回復にはいたりませんでした。指定管理者が感染防止対策を徹底しつつ、安全に配慮した児童館運営を行うことで、子どもたちが地域の居場所として児童館での時間を過ごしています。 ・子どもたちが児童館において充実した時間を過ごすことができるよう、地域の実情に合わせた各種事業の充実や来館者ニーズの把握、分析等について、指定管理者との調整に努めます。 					

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	34 放課後児童クラブ事業				担当課	こども・青少年課
目的	保護者の就労や疾病等により放課後等に家庭において健全な育成を受けられない児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					502,677	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の余裕教室等を活用し、資格を有する支援員等により児童クラブの運営を行います。 ・公営児童クラブのない学区（南林間小学校、西鶴間小学校）については、民営の児童クラブに業務を委託します。 ・公営及び委託民営児童クラブに入会できない児童（入会保留児童）を受け入れた他の民営児童クラブについては、その人数により、市から運営補助金を交付します。 				令和3年度 予算現額	
					529,575	
					令和3年度 決算額	
					462,935	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	129,155
					県支出金	108,132
地方債	0					
その他	106,570					
一般財源	119,078					
令和4年度 予算額						
491,068						
活動内容						
指標	1	入所児童数（公営）	2	入所児童数（民営委託）	3	入所児童数（民営補助）
	(公営) 児童クラブ入所児童数の合計		(民営委託) 児童クラブ入所児童数の合計		(民営補助) 児童クラブ入所児童数の合計	
	予定 (目標)	1,591 人	146 人	309 人		
	令和3年度 実績	1,535 人	126 人	268 人		
令和2年度 実績	1,591 人	123 人	269 人			
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公営児童クラブ 17クラブ（46クラス）【17クラブ（43クラス）】 ・民営児童クラブ事業委託 2クラブ【2クラブ】 ・民営児童クラブ運営補助 6クラブ【6クラブ】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 241,200千円 ・職員手当等 36,608千円 ・委託料 46,534千円 ・負担金、補助及び交付金 67,488千円 ・その他 71,105千円 					
	評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・入会児童数が増加しているクラブにおいては、学校や教育委員会との調整を行い、放課後の特別教室を借用するとともに、民営児童クラブを活用することにより、入会を希望するすべての児童を受け入れました。今後も待機児童を生じさせないために、居室や支援員等の確保に努めます。 ・配慮が必要な児童については、公認心理師と保育士の資格を有する職員による巡回訪問の充実や関係部署等との連携を図りながら対応し、保育の質の向上に努めます。 				

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	36 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業				担当課	こども総務課
目的	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で低所得の子育て世帯及びひとり親世帯に対し、その実情を踏まえた支援を行います。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	・児童1人あたり5万円を支給します。				令和3年度 予算現額	
					375,164	
					令和3年度 決算額	
					252,053	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	252,053
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	0					
		令和4年度 予算額		0		
活動内容						
指標	1	ひとり親世帯分支給対象児童数	2	その他の子育て世帯分支給対象児童数	3	4
		ひとり親世帯分支給対象児童数		その他の子育て世帯分支給対象児童数		
	予定(目標)	3,325 人	4,000 人			
	令和3年度実績	2,391 人	2,523 人			
	令和2年度実績	0 人	0 人			
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>低所得の子育て世帯に対し、臨時特別給付金を支給しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給金額 : 児童一人あたり5万円 ・対象児童数 ひとり親世帯 : 2,391人 その他世帯 : 2,523人 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付金 245,700千円 ・報酬・期末手当等 2,730千円 ・委託料 2,013千円 ・役務費 981千円 ・需用費 629千円 					
評価課題	・国の支給要領に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた低所得の子育て世帯を支援しました。					

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	37 子育て世帯への臨時特別給付事業				担当課	こども総務課
目的	新型コロナウイルス感染症の長期化を踏まえ、子育て世帯に対して、臨時特別給付金を支給します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	・対象児童1人当たり10万円を指定口座に支給します。				令和3年度 予算現額	
					3,570,704	
					令和3年度 決算額	
					3,285,720	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	3,285,720
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	0					
令和4年度 予算額		0				
活動内容						
指標	1	支給対象児童数	2		3	
	給付金の支給対象児童数					
	予定 (目標)	35,500 人				
	令和3年度 実績	32,735 人				
	令和2年度 実績	0 人				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>0歳から高校3年生相当までの児童を養育する者のうち、児童手当所得制限 限度額未満の者に対し、臨時特別給付金を支給しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給金額 : 対象児童1人あたり10万円 ・対象児童数: 32,735人 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付金 3,273,500千円 ・委託料 6,780千円 ・役務費 5,201千円 ・需用費 239千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国の支給要領に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援しました。 ・本給付金の性質上、速やかな給付が求められます。 					

決算書ページ 125	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 02	保育所等給付費	
事業名	01 保育所等施設型給付事業					担当課	ほいく課
目的	本市の児童が利用する市内公立を除く保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業者の安定した運営を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	6,831,288
						令和3年度 予算現額	7,400,469
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 本市の児童が利用する市内公立を除く保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業者の運営に対して給付を行います。 					令和3年度 決算額	7,267,263
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	3,351,009
						県支出金	1,561,795
						地方債	0
						その他	568,422
						令和4年度 予算額	7,949,850
活動内容							
指標	1	施設型給付費等を給付した市内施設数	2	2・3号認定の延べ利用者数	3	1号認定の延べ利用者数	4
		施設型給付費、地域型保育給付費等を給付した市内施設数		施設型給付費等に関わる2・3号認定の年間の延べ利用者数		施設型給付費等に関わる1号認定の年間の延べ利用者数	
	予定(目標)	86 箇所	51,216 人	21,804 人			
	令和3年度実績	86 箇所	50,194 人	21,851 人			
	令和2年度実績	78 箇所	47,093 人	22,398 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>本市の児童が利用する市内公立を除く保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業者の設置者等に対して、施設型給付費等を交付しました。</p> <p><事業内容・決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 対象施設数(市外を含む) 私立保育所 106施設【100施設】 4,941,238千円 私立認定こども園 21施設【16施設】 361,346千円 私立幼稚園 28施設【23施設】 932,779千円 私立地域型保育事業 35施設【29施設】 1,007,655千円 公立保育所等 10施設【9施設】 13,644千円 法外扶助費 48施設【42施設】 10,601千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 将来の保育需要を踏まえ、施設数・定員数を的確に把握する必要があります。 						

決算書ページ 125	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 02	保育所等給付費		
事業名	02 民間保育所等運営支援事業					担当課	ほいく課	
目的	民間認可保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業の円滑な運営及び、地域における子育て支援を充実させるため、運営費等の補助を行います。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		
						1,095,778		
手段手法	・民間認可保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業の運営に係る経費に対して、予算の範囲内で補助金を交付します。					令和3年度 予算現額		
						1,299,714		
						令和3年度 決算額		
						1,073,699		
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	437,339	
						県支出金	86,542	
地方債	0							
その他	0							
一般財源	549,818							
令和4年度 予算額		1,563,654						
活動内容								
指標	1	補助金の交付を受けた市内施設数	2	2・3号認定の延べ利用者数	3	1号認定の延べ利用者数	4	休日保育の延べ利用者数
		補助金の交付要綱に基づき交付を受けた市内施設数		補助金に関わる2・3号認定の年間の延べ利用者数		補助金に関わる1号認定の年間の延べ利用者数		補助金に関わる休日保育の年間の延べ利用者数
	予定(目標)	93 箇所	51,216 人	21,804 人	1,393 人			
	令和3年度実績	93 箇所	50,041 人	21,851 人	1,244 人			
令和2年度実績	83 箇所	46,769 人	22,341 人	725 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>施設及び事業者に対し、運営費補助金及び貸付金を交付しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設数(市外を含む) <li style="padding-left: 20px;">保育所 49施設【47施設】 <li style="padding-left: 20px;">認定こども園 5施設【4施設】 <li style="padding-left: 20px;">幼稚園 30施設【26施設】 <li style="padding-left: 20px;">小規模保育事業 26施設【18施設】 <li style="padding-left: 20px;">家庭的保育事業 1施設【1施設】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所等運営費補助金 1,073,699千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設に対する補助により、保育の質の向上や待機児童の解消などの成果を得られていますが、幼児教育・保育の無償化および新型コロナウイルス感染防止に係る国の施策の影響により補助内容が複雑になったため、国の子育て支援策や保育ニーズの動きを注視しつつ適宜実施方法を見直しながら事務を進めていく必要があります。 							

決算書ページ 125	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 02	保育所等給付費		
事業名	03 認可保育所等運営事務					担当課	ほいく課	
目的	認可保育所等の利用調整及び在園管理を行います。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	23,875	
						令和3年度 予算現額	26,947	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 認可保育所等への申し込みを受け、利用調整を経て利用を決定し、利用開始後の利用者負担金の賦課・徴収を行います。認可保育所等に係る保護者への情報提供や、入所保留児童へのマッチングについては、保育コンシェルジュが中心となって実施します。また、市外の認可保育所等の希望者について、当該市区町村に協議を行います。 					令和3年度 決算額	25,841	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	5,066	
						県支出金	1,197	
						地方債	0	
						その他	0	
令和4年度 予算額	28,540							
活動内容								
指標	1 申込者数	2 入所決定児童数	3 待機児童数	4 相談件数				
	4月入所申込者数	4月入所児童数	4月1日現在の待機児童の数	保育コンシェルジュ相談件数				
	予定(目標)	4,777 人	4,777 人	0 人	935 件			
	令和3年度実績	4,742 人	4,509 人	0 人	1,018 件			
令和2年度実績	4,495 人	4,332 人	0 人	884 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 入所の申込受付・入所決定を行った後、保育料の賦課、徴収を行います。 保育コンシェルジュが、保育を希望する保護者の相談に応じ、認可保育所等の施設や保育サービスの情報提供を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬 14,290千円 職員手当等 2,460千円 旅費 71千円 需用費 1,541千円 役務費 2,683千円 委託料 3,648千円 使用料および賃借料 1,148千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 認可保育所等の整備を進めたため、利用調整及び在園管理等の事務が増加しましたが、きめ細かい利用調整を実施したことで、7年連続で待機児童数ゼロを達成しました。 令和7年度に予定されている地方公共団体情報システムの標準化へ対応するとともに電子申請を更に拡充し市民サービスの向上を図ります。 							

決算書ページ 125	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 03	母子福祉費
事業名	01 ひとり親家庭等医療費助成事業				担当課	こども総務課
目的	ひとり親家庭等の医療費の負担を軽減します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					124,410	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 申請により、認定を行い、医療証を交付します。 保険診療の医療費のうち自己負担額を助成します。 				令和3年度 予算現額	
					134,621	
					令和3年度 決算額	
					133,198	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	61,486
地方債	0					
その他	0					
一般財源	71,712					
令和4年度 予算額						
134,144						
活動内容						
指標	1 対象者数	2 受診件数	3	4		
	対象者の人数	医療機関で受診した延べ件数				
	予定(目標)	3,749 人	50,746 件			
	令和3年度実績	3,770 人	49,011 件			
令和2年度実績	3,821 人	45,495 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>受給対象者の認定、医療証の交付、医療費の助成を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者：ひとり親家庭の父又は母（若しくは養育者）とその児童 対象世帯： <ul style="list-style-type: none"> 母子家庭 1,454世帯【1,493世帯】 父子家庭 55世帯【42世帯】 養育者家庭 13世帯【14世帯】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療助成費 129,845千円 審査支払手数料 3,208千円 その他 145千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭等の経済的負担の軽減に寄与しています。 ひとり親家庭等の生活に直結した事業で、市が関与する必要性が高いことから、現状のまま事業を継続していきます。 					

決算書ページ 125	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 03	母子福祉費
事業名	02 ひとり親家庭等家賃助成事業				担当課	こども総務課
目的	ひとり親家庭等の住居に係る費用の負担を軽減します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					95,232	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 申請に基づき、所得等の審査を行い、対象世帯に対して、月額の家賃から24,000円を控除した額(10,000円を上限)を支給します。 				令和3年度 予算現額	
					95,477	
					令和3年度 決算額	
					95,474	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	95,474					
令和4年度 予算額						
96,292						
活動内容						
指標	1 助成世帯数	2	3	4		
	家賃助成を行った世帯数					
	予定(目標)	817 世帯				
	令和3年度実績	820 世帯				
令和2年度実績	826 世帯					
具体的内容	<p>母子・父子家庭等に対し、家賃の一部を助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 助成世帯数 820世帯【826世帯】 (内訳) 母子世帯 801世帯【814世帯】 父子世帯 16世帯【9世帯】 養育者 3世帯【3世帯】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 家賃助成 95,380千円 その他 94千円 					【 】内は前年度数値
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭等への家賃に対する助成を行うことで、ひとり親家庭等の経済的負担の軽減が図られています。 					

決算書ページ 125	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 03	母子福祉費
事業名	04 ひとり親家庭等相談事業				担当課	こども総務課
目的	ひとり親家庭等が抱える不安や悩みを解消します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					6,536	
手段手法	・生活上の問題等様々な相談に対応できるよう母子・父子自立支援員を配置し、福祉事務所等の関係機関と連携を図り、相談業務を行います。				令和3年度 予算現額	
					7,319	
					令和3年度 決算額	
					7,089	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	7,089					
令和4年度 予算額						
7,263						
活動内容						
指標	1	相談件数	2		3	
	母子・父子自立支援員が受けた相談の延べ件数					
	予定(目標)	1,500 件				
	令和3年度実績	3,693 件				
令和2年度実績	2,827 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>ひとり親の生活上の様々な問題に母子・父子自立支援員が相談に応じました。</p> <p><相談件数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活一般相談(住宅・就職等) 1, 990件【1, 292件】 ・児童相談(養育・教育等) 329件【 314件】 ・生活援護相談(資金・年金等) 1, 348件【1, 213件】 ・その他の相談(施設利用等) 26件【 8件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援員報酬 5, 910千円 ・自立支援員期末手当 1, 156千円 ・消耗品 20千円 ・その他 3千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等の様々な相談等に対応し、必要な制度利用等に繋がるよう支援しています。 ・相談内容が多岐にわたることから、母子・父子自立支援員のさらなるスキルアップと関係する部署との連携強化が必要です。 					

決算書ページ 127	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 03	母子福祉費
事業名	05 児童扶養手当支給事業				担当課	こども総務課
目的	ひとり親家庭等の生活の安定を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					764,742	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 申請に基づき、戸籍・所得等の書類を審査し、認定後、申請者に手当証書を交付し、手当を支給します。 				令和3年度 予算現額	
					770,355	
					令和3年度 決算額	
					770,212	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	256,044
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	514,168					
令和4年度 予算額						
775,598						
活動内容						
指標	1	受給者数	2		3	
	児童扶養手当を受給しているひとり親家庭の保護者の人数					
	予定(目標)	1,471 人				
	令和3年度実績	1,494 人				
令和2年度実績	1,484 人					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>父母の離婚、父・母の死亡などにより父親・母親と生計を同じくしていない児童について、児童扶養手当を支給しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 受給者数 1, 4 9 4人【1, 4 8 4人】 <p><受給者数の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 母子家庭 1, 4 2 9人【1, 4 3 1人】 父子家庭 5 2人【 3 9人】 養育者 1 3人【 1 4人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 児童扶養手当支給額 7 6 7, 8 7 8千円 その他 2, 3 3 4千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 今後も経済的支援が必要な世帯に対し、適正に手当を支給していく必要があります。 					

決算書ページ 127	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 03	母子福祉費
事業名	06 母子家庭等自立対策支援事業				担当課	こども総務課
目的	ひとり親家庭の父または母の就業を効果的に促進します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					8,435	
手段手法	・就職の促進のため、国の事業実施要綱に基づき資格取得や教育訓練、高等学校卒業程度認定試験合格に向けた講座の受講者に対して、申請を基に給付金を支給します。				令和3年度 予算現額	
					17,280	
					令和3年度 決算額	
					17,276	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	12,849
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	4,427					
令和4年度 予算額						
26,522						
活動内容						
指標	1	自立支援教育訓練給付金申請者数	2	高等職業訓練促進給付金申請者数	3	高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金の申請者数
	自立支援教育訓練給付金の申請者数		高等職業訓練促進給付金の申請者数		高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金の申請者数	
	予定(目標)	8 人	11 人	1 人		
	令和3年度実績	3 人	16 人	2 人		
令和2年度実績	7 人	7 人	1 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>ひとり親家庭における雇用機会促進のため、資格取得や教育訓練等の受講者に対して、給付金を支給しました。</p> <p><給付件数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援教育訓練給付金 : 3件【7件】 ・高等職業訓練促進給付金 : 16件【7件】 ・高等職業訓練修了支援給付金: 4件【0件】 ・高等学校卒業程度認定試験合格支援受講修了時給付金: 2件【1件】 ・高等学校卒業程度認定試験合格支援合格時給付金 : 2件【1件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付金 17,001千円 ・その他 275千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、安定した雇用を求めて申請者が増加したため、給付金が増額となりました。 ・資格の取得が図られることで、就労機会の拡大や就労条件の向上等にもつながり経済的な自立が促進されます。 					

決算書ページ 127	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 03	母子福祉費
事業名	07 児童扶養手当受給者への臨時特別給付金給付事業				担当課	こども総務課
目的	新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に鑑み、児童扶養手当受給者を対象に特別給付金を支給します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					112,645	
手段手法	・児童扶養手当支給における指定口座への振込みにより、支給します。				令和3年度 予算現額	
					81,927	
					令和3年度 決算額	
					78,688	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	48,808
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	29,880					
令和4年度 予算額		0				
活動内容						
指標	1 受給者数	2	3	4		
	令和3年11月分の児童扶養手当受給者の人数					
	予定(目標)	1,600 人				
	令和3年度実績	1,538 人				
令和2年度実績	0 人					
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>児童扶養手当受給者に対し、臨時特別給付金を支給しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給金額：1世帯あたり5万円 ・対象世帯数：1,538世帯 ※申請不要 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付金 76,900千円 ・委託料 1,370千円 ・役務費 345千円 ・需用費 73千円 					
評価課題	・新型コロナウイルス感染症の影響を受けたひとり親家庭等を支援しました。					

決算書ページ 127	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	04	保育所費
事業名	02 保育事業（市立保育所）						担当課	ほいく課	
目的	市立保育所において適切な保育の体制を維持し、安心して子どもを預けることができる環境を整えます。						令和2年度 決算額（以下単位：千円）		91,672
							令和3年度 予算現額		110,760
手段手法	・保育士等の体制整備や傷害保険の加入などにより、適切に児童を受け入れるための環境を確保します。						令和3年度 決算額		96,091
							令和3年度 財源内訳		
							国庫支出金	276	
							県支出金	0	
							地方債	0	
							その他	0	
令和4年度 予算額		117,370							
活動内容									
指標	1	入所児童数	2	時間外保育利用児童数	3	延長保育利用児童数	4	障がい児数	
		1月あたりの入所児童数（平均）		1月あたりの時間外保育利用児童数（10月）		1日あたりの延長保育利用児童数（10月）		入所児童のうちの障がい児数（3月）	
	予定（目標）	540 人	750 人	120 人	40 人				
	令和3年度実績	465 人	695 人	62 人	55 人				
	令和2年度実績	468 人	690 人	58 人	44 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>保育士等の体制整備や傷害保険の加入などにより、適切に児童を受け入れるための環境を確保しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立保育所： 4園【 4園】 ・入所定員： 490人【490人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 57,948千円 ・職員手当等 8,178千円 ・需用費 951千円 ・役務費 951千円 ・委託料 27,605千円 ・その他 458千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育施設の保育の質の向上を図るため、公立保育園が地域における基幹園としての役割を果たす必要があります。 ・地域における様々な保育ニーズ対応し、地域の子育て支援を充実する必要があります。 								

決算書ページ 127	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 04	保育所費
事業名	03 保育所給食事業（市立保育所）				担当課	ほいく課
目的	市立保育所入所児童の健全な発育並びに健康の保持及び増進を図ります。				令和2年度 決算額（以下単位：千円）	
					93,809	
手段手法	・ 所管課の管理栄養士が立案した献立に基づき調理員が調理し、通常保育における昼食、おやつ（0歳から2歳児は午前のおやつも）及び延長保育における補食の提供を行います。				令和3年度 予算現額	
					105,461	
					令和3年度 決算額	
					98,531	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	26,236					
一般財源	72,295					
令和4年度 予算額						
118,601						
活動内容						
指標	1	年間総給食数	2	一日あたりの平均給食数	3	4
	保育園で提供する給食の年間の総合計食数		平日の年間平均給食数			
	予定（目標）	131,555 食	551 食			
	令和3年度実績	119,281 食	485 食			
令和2年度実績	120,469 食	497 食				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>入所児童及び一時預かりで受け入れた児童に対し、昼食、おやつ（0歳から2歳児は午前のおやつも）を提供しました。また、延長保育の児童には補食も提供しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提供する給食の総合計食数 119,281食【120,469食】 ・ 平日の年間平均給食数 485食【 497食】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所食器類消耗品等 1,881千円 ・ 賄材料費 40,816千円 ・ 業務委託料 48,404千円 ・ 物品修繕 381千円 ・ 保育所給食調理業務備品 5,620千円 ・ 賃金等、その他 1,429千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による給食数の変動に対応しつつ、引き続き安定した給食の提供を行う必要があります。 ・ 児童が食に興味を持つように、家庭との連携をさらに深める必要があります。 ・ 使用頻度が高く、安心・安全な給食提供に不可欠なスチームコンベクションオーブン、ガス炊飯器、熱風消毒保管機等の機械類の定期的な入れ替えを検討する必要があります。 					

決算書ページ 127	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 04	保育所費
事業名	04 保育所施設維持管理事務（市立保育所）				担当課	ほいく課
目的	市立保育所の施設、設備を適切に維持管理します。				令和2年度 決算額（以下単位：千円）	
					37,260	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 施設内外を点検し、壁、サッシ、ガラス、排水、空調、電気設備、出入口の施錠、園庭、遊具等の安全を確認するとともに、内外の清掃を行います。破損等がある場合は業者に修理を依頼します。 				令和3年度 予算現額	
					133,650	
					令和3年度 決算額	
					129,613	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	94,880
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	34,733					
令和4年度 予算額						
56,053						
活動内容						
指標	1	消防設備点検実施回数	2	電気保安点検実施回数	3	害虫駆除実施回数
		年2回（4園）		年6回（2園）、年4回（2園）		年2回（4園）
	予定（目標）	8回	20回	8回	24回	24回
	令和3年度実績	8回	20回	8回	24回	24回
令和2年度実績	8回	20回	8回	24回	24回	
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>施設、設備の保守点検、緊急修理等のほか、公共施設保全計画に従い、大規模修繕または中規模修繕を行います。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 市立保育所保守点検 4園【 4園】 市立保育所緊急修繕 29件【37件】 トイレ改修工事 4園 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 需用費 24,636千円 委託料 9,789千円 工事請負費 92,250千円 その他 2,938千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、感染症対策として、トイレの乾式化等の改修工事を行ったため、決算額が増加しています。 施設を安全により長く使用できるよう、施設の状況を見極めながら適切な維持管理をする必要があります。 					

決算書ページ 129	款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	02	扶助費
事業名	01 生活保護事業						担当課	生活援護課	
目的	生活困窮者の最低限度の生活を保障するとともに、自立の助長を目的として扶助を行います。						令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		6,514,077
							令和3年度 予算現額		7,012,151
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 被保護者の困窮の程度に応じて、生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助からなる扶助を現物及び金銭にて給付します。 稼働能力のある被保護者に対し、就労支援員による就労支援を行います。 						令和3年度 決算額		6,715,003
							令和3年度 財源内訳		
							国庫支出金	5,004,139	
							県支出金	139,577	
							地方債	0	
							その他	0	
令和4年度 予算額		6,707,444							
活動内容									
指標	1	保護実人数	2	面接相談件数	3	保護開始件数	4	保護廃止件数	
	年度ごとの月平均実人員数		要援護者に対する年間相談面接件数		生活保護年間開始世帯数		生活保護年間廃止世帯数		
	予定(目標)	4,000 人	1,300 件	400 世帯	400 世帯				
	令和3年度実績	3,689 人	902 件	407 世帯	417 世帯				
令和2年度実績	3,729 人	1,096 件	387 世帯	389 世帯					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>被保護者の生活実態に応じた各種扶助を行いました。</p> <p><被保護世帯数及び人数(月平均、停止を除く)> 2,902世帯 3,689人 【2,908世帯 3,729人】</p> <p><扶助別世帯数又は人数(延べ)></p> <ul style="list-style-type: none"> 生活扶助 42,319人 【42,619人】 住宅扶助 32,178世帯 【31,104世帯】 教育扶助 2,482人 【2,811人】 介護扶助 8,286人 【8,379人】 医療扶助 35,842人 【35,525人】 出産扶助 1人 【2人】 生業扶助 984人 【951人】 葬祭扶助 72人 【59人】 就労自立給付金 55人 【53人】 進学準備給付金 8人 【7人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 扶助費等 6,425,697千円 その他 289,306千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 被保護者数は減少していますが、生活保護開始件数は増加傾向にあります。今後は高齢化の他、コロナ禍における景気変動により一時的な要因でもたらされる被保護者数の増加が予想されることから、引き続き動向を注視します。 働ける世代の被保護者に対しては、就労支援員やハローワークと連携し、本人の経歴や年齢等に応じた個別支援を行い、引き続き自立助長を推進していく必要があります。 併せて、被保護者の健康保持に対する支援が必要なため、受診勧奨等健康管理支援を実施します。 								

決算書ページ 129	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 01	保健衛生総務費
事業名	05 女性の健康診査事業				担当課	医療健診課
目的	女性がかかる疾病の早期発見と健康づくりのため、健康診査、保健・栄養指導を行います。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,326	
手段手法	・健診を通じて、生活習慣病をはじめとする疾病のリスクを早期発見し、生活習慣を見直す機会となるよう、健康診査、健診当日の栄養相談を実施します。健診受診の結果、特に注意が必要な対象者について、電話による健康相談および健康に関する情報提供を行います。				令和3年度 予算現額	
					4,098	
					令和3年度 決算額	
					3,762	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	3,762					
令和4年度 予算額						
4,180						
活動内容						
指標	1	女性健康診査受診者数	2	個別相談実施状況	3	保健指導実施者数
		女性健康診査の受診者数		女性健康診査の当日に、個別相談を実施した人数		女性健康診査の結果郵送時に文書にて指導を実施した数
	予定(目標)	700 人		700 人		700 人
	令和3年度実績	588 人		572 人		588 人
	令和2年度実績	512 人		504 人		512 人
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労・妊娠・子育てと多様な役割を持つ世代の女性へ、健康診査を実施しました。受診を通じて、現在の生活習慣が将来の疾病のリスクに繋がることを理解できるよう、健診日に、食生活アンケートに基づいた個別の栄養・保健相談を行いました。また、健康診査の結果に応じて、電話による保健指導や健康に関するリーフレット送付等を行いました。 ・ 継続的に受診する方が増加するよう、受診勧奨通知を6月・9月・2月に発送したほか、年度末発送の検診ガイドにて事業周知を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催回数： 10回【 9回】 ・ 受診者数： 588人【 512人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診査委託 3,392千円 ・ その他 370千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により減少した令和2年度と比較し、受診者数は増加しました。 ・ 前年度受診者に、継続受診の呼びかけを行うとともに、新規受診者の増加を目指して健診の対象となる市民に広く事業周知を行います。 ・ すべての受診者が自身の健康に関心を持てるよう、結果通知にリーフレットを同封し情報提供を行います。また、健診当日の栄養相談や、電話等での事後指導を通じて、受診者が自主的に健康づくりに取り組むことができるよう働きかけます。 					

決算書ページ 129	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 01	保健衛生総務費	
事業名	06 休日夜間急患診療所運営事業					担当課	医療健診課
目的	休日及び夜間の内科、小児科の軽症患者のために、大和市地域医療センター休日夜間急患診療所で適切な一次救急医療を提供します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
						151,379	
手段手法	・休日夜間急患診療所の運営を大和市医師会に委託します。					令和3年度 予算現額	
						146,084	
						令和3年度 決算額	
						132,910	
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	3,292
						地方債	0
その他	25,816						
一般財源	103,802						
令和4年度 予算額		143,473					
活動内容							
指標	1 診療日数	2 診療件数	3	4			
	休日・夜間の診療日数		休日・夜間の診療件数				
	予定(目標)	365 日	11,600 件				
	令和3年度実績	365 日	3,585 件				
令和2年度実績	365 日	2,971 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>一次救急診療（内科・小児科）を大和市医師会への委託で実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所 大和市地域医療センター（鶴間1-28-5） ・診療時間 月曜日～土曜日 20時～23時 日曜・祝日・年末年始 9時～12時 14時～17時 20時～23時 <p>時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療件数 平日夜間 1,319人【1,147人】 休日昼間 1,726人【1,379人】 休日夜間 540人【445人】 合計 3,585人【2,971人】 <p>※うち、内科 1,720人、小児科 1,865人</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療所の業務委託等 131,456千円 ・その他 1,454千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は令和2年度よりは回復したものの、受診者数が例年に比べ少ない状況が続いており、新型コロナウイルスの感染拡大による受診控え等の影響が少なからずあったと考えられます。 ・新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備え、年末年始における発熱患者の診療体制を充実させるため、12/29～1/3の期間について医師などを増員して対応しました。 ・今後も引き続き、一次救急医療を適切に提供出来るように努める必要があります。 						

決算書ページ	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
131									
事業名	07 夜間診療所運営支援事業							担当課	医療健診課
目的	休日及び夜間における内科等の入院治療等を必要とする中・重症患者のために、病院群輪番制などにより適切な二次救急医療を提供します。							令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
								59,335	
手段手法	救急告示病院又は病院群輪番制参加病院の内科等の二次救急医療の提供に係る経費に対して補助金を交付します。							令和3年度 予算現額	
								57,688	
								令和3年度 決算額	
								57,525	
								令和3年度 財源内訳	
								国庫支出金	0
								県支出金	0
地方債	0								
その他	0								
一般財源	57,525								
令和4年度 予算額									
56,987									
活動内容									
指標	1	診療日数	2	診療件数	3		4		
		休日、夜間診療日数		休日、夜間診療受診者数					
	予定(目標)	365 日	25,000 件						
	令和3年度実績	365 日	16,751 件						
令和2年度実績	365 日	15,021 件							
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>休日及び夜間の中・重症患者に対して、病院群輪番制において、二次救急医療が安定して提供されるよう当該医療機関に係る運営費の一部を助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輪番病院 (内 科) 中央林間病院、桜ヶ丘中央病院、大和徳洲会病院 南大和病院、大和市立病院 (小児科) 大和市立病院 ・ 診療時間 (内 科) 月～金曜日 17時～翌日8時 土曜日 13時～翌日8時 日曜日・祝日・年末年始 8時～翌日8時 (小児科) 24時間 365日 ・ 診療件数 当番日 7,222人 【 6,556人】 当番日以外 9,529人 【 8,465人】 合計 16,751人 【 15,021人】 <p><決算額の内訳> ・ 夜間診療所運営費補助金 34,535千円 ・ 救急搬送実績補助金 22,990千円</p>								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度は令和2年度よりは回復したものの、受診者数が例年に比べ少ない状況が続いており、新型コロナウイルス感染拡大による受診控え等の影響が少なからずあったと考えられます。 ・ 二次救急診療件数における、軽症患者の受診者割合は、少しずつ減少しているものの、8割程度で推移していることから、一次救急(地域医療センター休日夜間急患診療所)利用への誘導を行うなど、今後も適正受診を促す取り組みを更に進める必要があります。 								

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 01	保健衛生総務費		
事業名	13 親子de健康診査事業					担当課	医療健診課	
目的	多忙な子育て世代を対象として、市民の健康づくり事業の一環として健康診査を行うことにより、子育て中の母親及び父親の健康を保持増進します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	3,090	
						令和3年度 予算現額	6,979	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 1歳6か月児歯科健康診査を受ける児の母親及び父親を対象に、問診、血液検査を行います。 親が安心して受診できるよう、保育を実施します。 健診結果から保健指導や精密検査の必要があると認められた人に、保健師等による保健指導や受診勧奨を行います。 <p>※令和3年度は新型コロナの影響で一部の事業手法を変更</p>					令和3年度 決算額	5,129	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
一般財源		5,129						
						令和4年度 予算額	9,322	
活動内容								
指標	1	親子de健康診査受診率	2	親子de健康診査受診者数	3	面接・電話による事後指導実施率	4	
		親子de健康診査受診者数 / 1歳6か月児歯科健康診査受診者数		親子de健康診査を受診した人数		事後指導実施者数 / 保健指導が必要と判断された人		
	予定(目標)	60 %		820 人		70 %		
	令和3年度実績	24 %		515 人		0 %		
	令和2年度実績	20 %		274 人		1.8 %		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催数 : 24回 (1歳6か月児集団歯科健康診査時に実施) 1歳6か月児歯科健康診査対象者数 2,398人【1,652人】 1歳6か月児歯科健康診査受診者数 2,125人【1,367人】 親子de健診受診者数 515人【274人】 事後指導実施者数 0人【1人】 <p>〈決算額の内訳〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 5,084千円 消耗品 45千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による中止や受診控え等により受診者が大きく減少しましたが、令和3年度は受診控えの改善が見られたため決算額が増加しました。 しかしながら、受診率は引き続き低い水準であることから、より効果的な周知等を行う必要があります。 新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、より効果的に事業を実施するため、結果通知に同封するパンフレットの内容を充実させることで受診者が自身の健康について関心をもてるよう働きかけを行いました。 							

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 01	保健衛生総務費
事業名	14 がん患者等支援事業				担当課	医療健診課
目的	がん患者、骨髄移植ドナー等への費用助成を行うことによって、生活の質の維持・向上や先進医療による治療環境、骨髄提供をしやすい環境を整えます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					4,100	
手段手法	・がん患者等を支援するための各種助成を行います。				令和3年度 予算現額	
					4,008	
					令和3年度 決算額	
					3,102	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	195
地方債	0					
その他	0					
一般財源	2,907					
令和4年度 予算額		4,598				
活動内容						
指標	1	ウィッグ購入費助成対象者数	2	重粒子線治療費助成対象者数	3	骨髄ドナー支援事業助成対象者数
	助成実績により評価します。		助成実績により評価します。		助成実績により評価します。	
	4	特別の理由による任意予防接種対象者	助成実績により評価します。			
	予 定 (目 標)	80 人	2 人	2 人	2 人	2 人
令 和 3 年 度 実 績	66 人	3 人	2 人	2 人	2 人	
令 和 2 年 度 実 績	73 人	5 人	2 人	2 人	0 人	
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抗がん剤治療等に伴い脱毛症を発症した方を対象に、ウィッグ購入費用の9割(上限3万円)を助成しました。 助成件数 66件【73件】 ・重粒子線治療を実施した方を対象に、技術料の1割にあたる35万円を上限として助成しました。 助成件数 3件【5件】 ・骨髄バンク事業においてドナーとなった方を対象に、ドナーが通院・入院に要した日数に応じて助成しました。 助成件数 2件【2件】 ・骨髄移植等により免疫を失った子の保護者を対象に、特別の理由による任意の予防接種費用を助成しました。 助成件数 2件【0件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィッグ助成 1,860千円 ・重粒子線助成 850千円 ・骨髄ドナー助成 280千円 ・任意予防接種助成 112千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各助成制度の申請件数は、ここ数年概ね安定的に推移しており、利用者に対する制度の周知が進んでいるものと思われます。 ・申請件数や市民からの声を踏まえ、引き続きより良い助成制度のあり方を検討します。 					

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 01	保健衛生総務費		
事業名	16 食育推進事業					担当課	健康づくり推進課	
目的	食育に関する施策を実施することで、市民の心身の健康増進や生活の質の向上を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		
						1,080		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体等と連携し食育イベント等（フェアや講座など）を開催し、食育を推進します。 食に関する正しい知識の普及啓発を行います。 食生活改善推進員（ヘルスメイト）の養成講座を開催します。また、食生活改善推進協議会の地域での活動を支援します。 市内飲食店事業者等と連携し、健康的な食環境づくりの支援を行います。 若い世代の健康課題改善に向けた取組を行います。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で事業手法を変更					令和3年度 決算額		
						1,247		
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和4年度 予算額	1,247							
		1,321						
活動内容								
指標	1	養成講座開催数	2	大和市食生活改善推進協議会の活動	3	食育イベント参加数	4	大和市食生活改善推進員の人数
		食生活改善推進員養成講座開催回数とその補講回数		食育推進活動実施人数		食育フェア、食の安全に関する講座等参加者数		大和市食生活改善推進協議会の会員数
	予定(目標)	8 回	2,000 人	800 人	77 人			
	令和3年度実績	8 回	1,664 人	254 人	77 人			
令和2年度実績	7 回	1,889 人	245 人	83 人				
具体的内容	【 】内は前年度数値							
	関係団体等と連携し、食育推進運動を行いました。 <事業内容> <ul style="list-style-type: none"> Webで食育フェア：アクセス数＋企画参加 789件【1,061件】 食育啓発グッズ配布 16,264個【11,153個】 食育講座・健康づくり料理教室等を実施 41回【31回】 やまと食の応援団登録店舗 82店【73店】 WebでHealth&Beautyフェア：アクセス数＋企画参加340件【485件】 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 管理栄養士、歯科衛生士等会計年度任用職員報酬 60千円 イベント消耗品、食育推進啓発物 759千円 食育改善活動委託他 370千円 補助金 45千円 その他 13千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でイベントの実施方法は変更になりましたが、やまと食の応援団登録店が増えたことにより、効果的に食育の普及啓発ができるようになりました。 食生活改善推進員の人数を維持し、新しい活躍の場を広げていくことが課題です。 							

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 01	保健衛生総務費
事業名	17 健康づくり普及啓発事業				担当課	健康づくり推進課
目的	地域で健康づくりのリーダーとして活動する健康普及員を支援し健康づくりを推進します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,856	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 健康普及員連絡協議会において、市域全体や地区ごとの活動の検討を行い、ウォーキングや健康測定会等の健康普及員活動を行います。 また関係団体等と連携し、市民まつりや健康都市やまとフェア等のイベントに参加し、効果的に普及啓発活動を行います。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止及び、一部の事業手法を変更				令和3年度 予算現額	
					1,830	
					令和3年度 決算額	
					1,656	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,656					
令和4年度 予算額						
1,812						
活動内容						
指標	1	健康普及員地区活動	2	講座参加者数	3	地域事業への参加回数
		健康普及員が11地区で行う健康講座の開催回数		健康普及員が11地区で行う健康講座の参加者数		市民まつり、ふれあい広場等の健康づくり普及・啓発の回数
	予定(目標)	40 回	1,100 人	55 回	5,000 人	
	令和3年度実績	33 回	632 人	24 回	799 人	
令和2年度実績	24 回	431 人	14 回	14 人		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり普及啓発事業委託：11地区及び全体活動（年間） 健康普及員による健康講座（食生活改善推進員と協力した料理教室等）の開催 市主催事業（健康都市やまとフェア、食育フェア等）への協力 支援部会によるウォーキングマップを活用したウォーキング活動 <事業内容> <ul style="list-style-type: none"> 健康普及員育成講座 3回【4回】 健康普及員連絡協議会の活動（会議） 64回【56回】 健康普及員連絡協議会の活動（啓発活動） 1回【5回】 各地区における啓発活動等（健康講座） 33回【24回】 各地区における啓発活動等（その他） 23回【9回】 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 健康普及員謝礼 964千円 健康づくり普及啓発委託 623千円 消耗品等 67千円 その他 2千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 健康普及員は自治会推薦による選出ですが、自治会会員の減少や地域住民の高齢化により選出困難な地区もあり、健康普及員の担い手が不足しています。自治会や多くの市民へ、健康普及員の必要性や活動内容を周知し、地域の関係団体へ働きかけるなど、担い手を増やす方策が必要です。 新型コロナウイルス等の感染対策は現在も必要ですが、感染予防に対する対応が変化してきていることから、今後も国等の動向を注視しつつ、健康普及員活動マニュアルを適宜更新し、安全にかつ安心して地区活動が継続できるよう取り組んでいく必要があります。 					

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 01	保健衛生総務費
事業名	19 新型コロナウイルス感染者支援事業				担当課	医療健診課
目的	新型コロナウイルス感染症の自宅療養者が安心して自宅療養生活を送れるように支援します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	新型コロナウイルス感染症の自宅療養者であり、県の配食サービスを申し込んだ方で、配食が送達するまでの間の食料確保が困難である方に対して、その間の食料を支援します。				令和3年度 予算現額	
					25,226	
					令和3年度 決算額	
					5,481	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	5,481
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	0					
令和4年度 予算額		0				
活動内容						
指標	1	自宅療養者への食料支援人数	2		3	4
	自宅療養者への食料支援を実施した人数の実績					
	予定(目標)	3,822 人				
	令和3年度実績	1,470 人				
令和2年度実績	0 人					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><令和3年10月より事業開始></p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者であり、県の配食サービスを申し込んだ方で、配食が送達するまでの間の食料確保が困難である方に対して、その間の食料を支援しました。 <p><実施状況> 支援実績数：1,470人</p> <p><決算額の内訳> 新型コロナウイルス自宅療養者に対する食料品配送委託：5,481千円</p>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業のため前年度決算より増加しました。 自宅療養者への食料支援については、本来、感染症法に基づき都道府県が実施するものとなっております(神奈川県：配食サービス)、感染拡大等の理由により、県の配食サービスが送達まで時間を要していたことから、本事業を開始したものです。このため、今後の本事業実施の必要性については、感染状況や県の動向等を注視し、判断していく必要があります。 					

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 02	予防費
事業名	02 予防接種事業				担当課	医療健診課
目的	予防接種法に基づく各種予防接種を実施し、感染症の発生や蔓延を防止します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					735,401	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防接種法に基づく予防接種を実施します。 ・ 特定の任意予防接種の接種費用に対し、助成を行います。 ・ 接種率向上のため、予防接種スケジュールを管理する予防接種モバイルサービスを提供します。また予防接種の必要性を広報やまとやホームページで周知するとともに、対象者には、個別に勧奨通知を行います。 				令和3年度 予算現額	
					713,545	
					令和3年度 決算額	
					681,917	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	7,443
					県支出金	3,714
地方債	0					
その他	0					
一般財源	670,760					
令和4年度 予算額						
847,544						
活動内容						
指標	1 PR回数	2 予防接種協力医療機関数	3 対象者数 (予防接種法におけるA類疾病)	4 接種者数 (予防接種法におけるA類疾病)		
	個別通知・広報等	予防接種協力医療機関数	定期予防接種 (A類疾病) の対象者数 (IPV, DPT, M, R除く)	定期予防接種 (A類疾病) の接種者数 (IPV, DPT, M, R除く)		
	予定 (目標)	1,170 回	175 箇所	54,825 人	53,791 人	
	令和3年度実績	1,270 回	174 箇所	54,078 人	47,227 人	
令和2年度実績	1,221 回	175 箇所	51,514 人	48,905 人		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p><各予防接種件数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期接種 <ul style="list-style-type: none"> A類: BCG 1,734人 B型肝炎 5,326人 ヒブ 7,213人 小児用肺炎球菌 7,195人 4種混合 7,235人 麻しん風しん 3,684人 水痘 3,543人 日本脳炎 4,364人 2期DT 1,574人 ロタ 4,129人 HPV 1,230人 5期MR 247人 風しんに関する追加的対策 抗体検査 978人 B類: 65歳以上等のインフルエンザ 24,306人 成人用肺炎球菌 1,211人 ・ 任意接種 成人風しん 206人 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予防接種等業務委託料 663,685千円 ・ その他 18,232千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフルエンザワクチンの供給スピードが例年より遅かったことから、接種期間の延長を行い、接種希望者の接種機会を確保することができました。 ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、定期予防接種の接種期限を過ぎてしまった方に、接種期限の延長または任意接種の費用助成を行いました。 ・ 厚労省通知により、HPVワクチン対象者へ情報提供の個別通知を行い、ワクチンに関する相談対応を行いました。 ・ HPVワクチンの積極的勧奨再開及びキャッチアップ接種開始に関して、対象者が正しく理解し適切に接種を受けられるよう十分周知を行う必要があります。 					

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 02	予防費
事業名	04 感染症予防事業				担当課	医療健診課
目的	感染症の発生や蔓延を防止し、公衆衛生の向上及び増進を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					6,730	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 感染症に関する正しい知識の普及や情報提供に努めるとともに、16歳以上で健康診断を受ける機会のない方を対象とした結核検診を実施します。 新型コロナウイルスなど感染症対策について、国や県、医療機関等の関係機関と連携して実施します。 				令和3年度 予算現額	
					5,369	
					令和3年度 決算額	
					738	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	738					
令和4年度 予算額						
2,906						
活動内容						
指標	1	集団検診等実施回数	2	結核検診受診者数	3	4
	集団方式による結核検診を実施した回数		集団方式による結核検診の受診者数			
	予定(目標)	42 回	500 人			
	令和3年度実績	42 回	475 人			
令和2年度実績	36 回	460 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症予防の普及啓発及び情報提供を行うとともに、体制整備につとめます。 将来の大規模な感染症の発生に備えて物資の備蓄を進めました。 16歳以上で健康診断を受ける機会のない方を対象に胸部X線検査を実施します。併せて感染症予防の啓発及び情報提供を行いました。 <p><実施状況> ・結核検診受診者数：475人【460人】</p> <p><決算額の内訳> ・胸部X線関節撮影業務委託料 444千円</p> <p> ・感染症医療用品 246千円</p> <p> ・追録代 48千円</p>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 今後も新型コロナウイルスをはじめとした感染症に関する情報提供や知識の普及を図る必要があります。また、新興感染症に対して適切に対応できるよう、国や県、医療機関等の関係機関との連携を図るとともに、必要な物資の備蓄を進める必要があります。 					

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 02	予防費
事業名	05 新型コロナウイルスワクチン接種事業				担当課	新型コロナウイルスワクチン接種担当
目的	予防接種法等に基づき新型コロナウイルスワクチン接種を実施し、感染症の発生や蔓延を防止します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					40,650	
手段手法	・予防接種法に基づき、新型コロナウイルスワクチン接種を実施します。				令和3年度 予算現額	
					3,589,236	
					令和3年度 決算額	
					2,117,475	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	2,115,027
					県支出金	0
地方債	0					
その他	2,448					
一般財源	0					
令和4年度 予算額		0				
活動内容						
指標	1	ワクチンに関する市民への周知回数(ポスター)	2	ワクチンに関する市民への周知回数(チラシ)	3	4
		市政PRボード(市内244箇所)へのポスター掲示回数		全戸(約11万世帯)へのチラシ配布回数		
	予定(目標)	4回	3回			
	令和3年度実績	8回	8回			
令和2年度実績	0回	0回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>公共施設での集団接種と市内の協力医療機関による個別接種、地域特性や接種状況に合わせて柔軟に会場を設営する別動隊の3つで構成された「大和モデル」で接種を実施しました。別動隊では、保育士、幼稚園及び小・中学校の教諭、妊婦とその家族、外国籍市民、受験生、消防職員、警察官等に接種を実施しました。</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費 13,368千円 ・役務費 71,468千円 ・委託料 1,998,892千円 ・その他 33,747千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から新型コロナウイルスワクチンの接種を開始したため、事業費が増額となりました。 ・公共施設8会場での集団接種に加え、地域特性や接種状況に合わせて柔軟に会場を設営する別動隊により、接種を希望する市民が早期にワクチンを接種できる体制を整備しました。 ・ワクチン接種事業は、接種対象者、接種間隔、ワクチンの有効性、安全性、副反応に関する最新の情報等を注視し事業を推進していく必要があります。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費
事業名	02 妊婦健康診査事業				担当課	すくすく子育て課
目的	妊婦健康診査に係る費用の一部を負担し、定期的受診を勧めることで、母子の適切な健康管理ができるようにします。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					114,791	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時に、妊娠中の医療機関への定期受診を促すために、妊婦健康診査費用補助券14回分(多胎児妊娠は17回分)、妊婦歯科健康診査受診券を妊娠期間中に1回分交付し、公費助成します。 受診結果に基づいて、事後指導を行います。 定期的に受診できるよう、随時PR活動を行います。 				令和3年度 予算現額	
					127,093	
					令和3年度 決算額	
					121,545	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	61,029					
一般財源	60,516					
令和4年度 予算額						
121,730						
活動内容						
指標	1	周知方法 (PR回数)	2	妊婦健康診査受診率	3	妊婦歯科健康診査受診者数
		母子健康手帳交付時・随時		1回目受診数/妊娠届出数		受診者数
	予定 (目標)	1,810 回	96 %	600 人		
	令和3年度実績	1,963 回	96 %	673 人		
令和2年度実績	1,864 回	95.5 %	519 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>医療機関および助産院で受ける妊婦健康診査費用を助成し、事後指導が必要な妊産婦に対して保健指導を実施します。</p> <p><健診実績 (受診状況)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10,000円券 (2回) 3,674人【 3,475人】 ・4,000円券 (12回) 18,916人【18,056人】 ・多胎用4,000円券 (3回) 1人【 1人】 ・妊婦歯科健康診査 673人【 519人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健康診査等委託料 116,186千円 ・扶助費 3,765千円 ・会計年度任用職員報酬・期末手当 1,508千円 ・その他 86千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健康診査については、母子健康手帳交付時の啓発や医療機関等の協力により受診率は安定していますが、引き続き、受診率の維持向上に努める必要があります。 ・妊婦歯科健康診査については、妊娠中の口腔衛生の向上についての普及啓発や受診勧奨に努め、受診率の向上を図る必要があります。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費
事業名	03 4か月児健康診査事業				担当課	すくすく子育て課
目的	乳児の疾病の早期発見や発育・発達、養育環境を確認するとともに、この時期に適正な保健指導を行います。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					5,622	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団健診により月4回実施します。疾病の有無や心身の発育発達の状況について診察し、健診の結果を踏まえ、必要な育児支援を行います。 ・ 受診率を高めるために、個別に受診勧奨通知を送ります。未受診家庭には家庭訪問等で状況把握をします。 ・ 健診会場において、育児に役立つ情報提供や子育て支援に関する関係機関等の周知を行い、安心して育児できるよう支援します。 ・ 健診会場において、ブックスタート事業を行います。 ※令和3年度は新型コロナの影響で事業手法を変更				令和3年度 予算現額	
					6,181	
					令和3年度 決算額	
					5,676	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	5,676					
令和4年度 予算額						
6,130						
活動内容						
指標	1 受診案内件数	2 受診率	3 受診児数	4		
	住民基本台帳により把握した対象者に個別通知	受診者数/対象者の割合	保健福祉センターで行う集団健診受診児			
	予定(目標)	1,862 件	98 %	1,862 人		
	令和3年度実績	1,812 件	99.2 %	1,797 人		
令和2年度実績	1,832 件	95.9 %	1,756 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 4 】内は前年度数値</p> 生後3～4か月児を対象に、地域医療センターで健康診査を実施しました。 <事業内容> ・ 健診方法 : 集団健康診査 (地域医療センター) ・ 回数 : 月4回 (年48回) 【72回】 ・ 対象者数 : 1,812人 【1,832人】 ・ 受診者数 : 1,797人 【1,756人】 ・ 受診率 : 99.2% 【95.9%】 ・ ブックスタート事業実施 <決算額の内訳> ・ 医師報酬・負担金 2,640千円 ・ 会計年度任用職員報酬 2,778千円 ・ その他 258千円					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、保護者が安心して受診できるように配慮する必要があります。 ・ 健診による発育・発達の評価や疾病の早期発見にとどまらず、虐待を未然に防ぐため、養育環境の把握に努めるとともに、引き続き、受診率の維持・向上に努める必要があります。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費
事業名	06 3歳6か月児健康診査事業				担当課	すくすく子育て課
目的	3歳6か月児の発育や発達等を確認することで、支援が必要な幼児の早期発見や早期対応を行うとともに、保護者の育児不安の解消を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					9,078	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団健診により月3回実施します。一般健康診査では心身の発育発達や疾病の有無について診察し、歯科健康診査では、むし歯や口腔内の異常等を診察します。 ・ 視聴覚検査は専門機関に委託し精度管理を図ります。 ・ 健康診査の中では育児、栄養、歯科、こども（心理）相談を行います。 ・ 受診率を高めるために、個別に受診勧奨通知を送付します。また、未受診児に対しては、家庭訪問により受診勧奨します。 ※令和3年度は新型コロナの影響で事業手法を変更				令和3年度 予算現額	
					15,483	
					令和3年度 決算額	
					14,696	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	14,696					
令和4年度 予算額						
15,562						
活動内容						
指標	1 受診案内件数	2 受診児数	3 受診率	4 健診回数		
	住民基本台帳により把握した対象者に個別通知		地域医療センターで行う集団健診の受診児	地域医療センターで行う集団健診の受診率	月4回×12ヶ月	
	予定(目標)	2,448 件	2,363 人	96.5 %	48 回	
	令和3年度実績	2,491 件	2,360 人	94.7 %	48 回	
令和2年度実績	1,447 件	1,304 人	90.1 %	48 回		
具体的内容	【 】内は前年度数値 3歳6か月～3歳11か月児を対象に地域医療センターで健康診査を実施しました。					
	<事業内容> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健診方法 : 集団健康診査（地域医療センター） ・ 回数 : 月4回（年48回）【48回】 ・ 対象者数 : 2,491人【1,447人】 ・ 受診数 : 2,360人【1,304人】 ・ 受診率 : 94.7%【90.1%】 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師・歯科医師報酬、負担金 5,280千円 ・ 会計年度任用職員報酬 4,270千円 ・ 精密検査視聴覚委託料 4,468千円 ・ その他 678千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に健診を延期し、対象者を繰り越したことから、令和3年度の健診回数が増え、決算額が増加しました。引き続き、感染症予防策を講じ、保護者が安心して実施できるように配慮する必要があります。 ・ 新型コロナウイルス感染症拡大による受診控えから受診率の低下がみられるため、未受診家庭に対し早期にアプローチし、未受診児の状況把握と受診勧奨に努める必要があります。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費		
事業名	08 母子保健相談指導事業					担当課	すくすく子育て課	
目的	安全な出産を迎えるために母体の健康管理を行うこと、 出産後の健康管理や育児・健康面における情報提供や相談に対応することで、子育て家庭の支援を行います。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	4,896	
						令和3年度 予算現額	6,368	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届を受理し、母子健康手帳を交付します。 ・妊娠・出産に向けた知識の普及啓発のための各種教室を開催します。 ・2歳児歯科相談および育児相談を開催します。 ・1歳6か月児健康診査後のフォロー教室として「おやこ教室」を開催します。 ・子育て何でも応援メールをLINE、Twitter、メールで配信します。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止 また一部の事業手法を変更					令和3年度 決算額	5,914	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和4年度 予算額	6,355							
活動内容								
指標	1	プレママ・パパ教室、イクメン講座参加者延べ数	2	もぐもぐ教室参加者数	3	1歳児育児教室参加利用者数	4	2歳児歯科相談利用者数
		初妊婦とその夫の教室参加者延べ数		4~8か月児の保護者の離乳食教室参加者数		1歳~1歳3か月児と保護者の育児・幼児食教室参加者数		相談者数
	予定(目標)	585 人	330 人	465 人	360 人			
	令和3年度実績	742 人	283 人	35 人	172 人			
令和2年度実績	0 人	0 人	0 人	93 人				
具体的内容	【 】内は前年度数値 <主な事業内容> <ul style="list-style-type: none"> ・プレママ・パパ教室 : 36回【0回】 ・イクメン講座 : 3回【0回】 ・もぐもぐ教室 : 24回【0回】 ・1歳児育児教室 : 3回【0回】 ・おべんとう教室 : 0回【0回】 ・2歳児歯科相談 : 12回【5回】 ・育児相談 : 36回【12回】 ・おやこ教室 : 24回【13回】 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師・会計年度任用職員報酬 1,337千円 ・委託料(子育て支援メール配信委託) 2,889千円 ・その他 1,688千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は一部の事業を中止しましたが、令和3年度は順次再開したことにより決算額が増加しました。 ・各種教室・相談事業について、感染症予防対策を講じ、妊婦やその夫、保護者が安心して参加できるように運営方法・教室内容の見直しを行い、配慮する必要があります。 ・子育て何でも応援メールについては、子育て情報を得やすいツールとして、より多くの方に利用いただけるよう、引き続き、周知に努める必要があります。 							

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費
事業名	09 妊産婦・新生児等訪問事業				担当課	すくすく子育て課
目的	子育て家庭の孤立化を防ぎ、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					6,246	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね生後4か月までの乳児がいる家庭を助産師・保健師・管理栄養士・看護師が訪問し、育児環境の確認や育児支援及び情報提供を行います。 ・各種健康診査において、継続支援が必要な妊婦や乳幼児を対象に保健師や管理栄養士が訪問し、必要な支援を行います。 ・産前産後サポート事業として「助産師さん何でも相談」を開設し、電話、面接相談に応じます。 ・「赤ちゃん訪問プラス」として、育児不安のある家庭に保健師等が再度訪問します。 				令和3年度 予算現額	
					6,828	
					令和3年度 決算額	
					6,193	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	3,475
					県支出金	2,594
地方債	0					
その他	0					
一般財源	124					
令和4年度 予算額						
6,703						
活動内容						
指標	1 訪問指導数(全数・継続支援)	2 生後4か月までの乳児家庭訪問	3 赤ちゃん訪問プラス訪問指導人数	4 助産師何でも相談支援件数		
	乳幼児家庭訪問および継続支援の訪問指導延べ人数	おおむね生後4か月までの乳児家庭が対象	赤ちゃん訪問プラスでの家庭訪問延べ人数	助産師の所内相談・電話相談や訪問実施数		
	予定(目標)	5,000 人	1,862 件	100 人	1,650 件	
	令和3年度実績	4,479 人	1,750 件	117 人	1,372 件	
令和2年度実績	4,290 人	1,619 件	82 人	1,677 件		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>子育て何でも相談・応援センター（子育て世代包括支援センター）と連携し、妊産婦・新生児等の家庭訪問を実施しました。</p> <p><実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問延べ人数 4,479人【4,290人】 ・生後4か月までの乳児家庭訪問数 1,750人【1,619人】 ・乳児家庭全戸訪問実施率 95.0%【90.7%】 ・赤ちゃん訪問プラスでの訪問数 117件【82件】 ・「助産師さん何でも相談」相談件数 1,372件【1,677件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬 6,050千円 ・その他 143千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を充実するために、産後健康診査事業と産後ケア事業を活用し、医療機関との情報共有を密に行い、支援が必要な家庭に早期に介入しました。 ・会計年度任用職員の研修会を定期的実施して、職員の育成、質の向上に努める必要があります。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費
事業名	10 不妊治療費助成事業				担当課	すくすく子育て課
目的	不妊に悩む夫婦の経済的負担を軽減し、少子化対策の充実に図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					17,597	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 一般不妊治療費助成 不妊治療期間12ヶ月を1期とし、2期までを助成対象期間とします。1期につき、治療に要した費用の自己負担の2分の1(上限5万円)を助成します。 特定不妊治療費助成 助成回数の算定方法は神奈川県の実定に基づき、治療に要した保険診療外の医療費から、県の助成額を控除した額(上限5万円)を助成します。 				令和3年度 予算現額	
					26,504	
					令和3年度 決算額	
					22,606	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	22,606					
令和4年度 予算額						
17,381						
活動内容						
指標	1	一般不妊治療費助成件数	2	特定不妊治療費助成件数	3	4
	助成制度を活用し一般不妊治療を実施した件数		助成制度を活用して特定不妊治療を実施した件数			
	予定(目標)	123 件	250 件			
	令和3年度実績	147 件	304 件			
令和2年度実績	131 件	216 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>一般不妊治療(タイミング法、薬物療法、人工授精等)、特定不妊治療(体外受精、顕微授精)に要した医療費の一部を助成しました。</p> <p><一般不妊治療></p> <ul style="list-style-type: none"> 申請件数 147件【131件】 助成決定件数 147件【131件】 <p><特定不妊治療></p> <ul style="list-style-type: none"> 申請件数 304件【218件】 助成決定件数 304件【216件】 <p><決定額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 一般不妊治療費助成金 6,327千円 特定不妊治療費助成金 14,776千円 その他 1,503千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 特定不妊治療費助成について、県の助成対象要件が拡大し、対象者が増えたため、決算額が増加しました。 広報誌やホームページへの掲載、医療機関へポスター掲示など、様々な方法で制度の周知を図りました。 令和4年4月から不妊治療が保険適用となることから、助成制度の変更について周知する必要があります。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費
事業名	11 不育症治療費助成事業				担当課	すくすく子育て課
目的	不育症に悩む夫婦の経済的負担を軽減し、少子化対策の充実を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					529	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 専門の医療機関で受けた不育症の保険診療対象外の治療及びその治療に係る検査に要した費用の自己負担額の一部(年度あたり上限30万円)を助成します。 				令和3年度 予算現額	
					604	
					令和3年度 決算額	
					498	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	498					
令和4年度 予算額						
714						
活動内容						
指標	1	不育症治療費助成件数	2		3	
	助成制度を活用し不育症の治療をした件数					
	予定(目標)	6 件				
	令和3年度実績	4 件				
令和2年度実績	4 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>不育症治療費に要した医療費の一部を助成しました。</p> <p><不育症治療助成></p> <ul style="list-style-type: none"> 申請件数 4 件【4件】 助成件数 4 件【4件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 不育症治療費助成金 498千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 広報やホームページへの掲載、医療機関へのポスター掲示等、様々な方法で制度の周知を図りました。引き続き、不育症という疾患や事業の周知に努める必要があります。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費
事業名	12 出産費用助成事業				担当課	すくすく子育て課
目的	第3子以降を出産した世帯の経済的負担を軽減することで、安心して産みやすい環境を整えます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					5,448	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産費用（分娩及び入院費）から、加入している健康保険組合が助成した出産育児一時金などを控除した額の2分の1（上限5万円）を助成します。所得制限や市税の滞納がないなどの条件があります。 				令和3年度 予算現額	
					5,040	
					令和3年度 決算額	
					4,503	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	4,503					
令和4年度 予算額						
4,872						
活動内容						
指標	1	出産費用助成件数	2		3	
	申請を受理し、助成対象となった件数					
	予定(目標)	120 件				
	令和3年度実績	116 件				
令和2年度実績	126 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>< 出産費用助成 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請件数 1 2 4 件 【 1 3 1 件】 ・ 助成決定件数 1 1 6 件 【 1 2 6 件】 <p>< 決算額の内訳 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出産費用助成金 4, 5 0 3 千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象となる市民には、母子健康手帳の交付時や乳児家庭全戸訪問時、4か月児健康診査受診時などの機会を活用し、周知を図りました。 ・ 第3子以降の出産を検討している家庭にも情報が届くよう、市ホームページや子育て情報誌への掲載など様々な機会を捉え、引き続き、制度について周知に努める必要があります。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費	
事業名	13 産後健康診査事業					担当課	すくすく子育て課
目的	出産後まもない時期の産婦に対する健康診査に係る費用を助成することにより、産後うつ等のリスクが高い産婦の早期把握と支援を行います。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
						13,747	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県産婦人科医会への委託及び償還払い。 ・ 産後2週間、1か月時点で健診を医療機関が実施します。 ・ 医療機関は、精神状態の把握として、エジンバラ産後うつ病の実施、問診、診察などを併せて総合的に評価。セルフケアに関する助言や指導、実施機関での経過観察、精神科に関する情報提供等を行います。 ・ 医療機関は、上記の内容を速やかに市に報告します。市は早急に訪問を行い、家族や精神科医療機関との調整などの支援を開始します。 					令和3年度 予算現額	
						15,304	
						令和3年度 決算額	
						15,303	
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	7,407
						県支出金	0
地方債	0						
その他	0						
一般財源	7,896						
令和4年度 予算額							
15,407							
活動内容							
指標	1	産後健康診査受診率	2	産後健康診査受診者延べ数	3	早期に支援が必要な産婦	4
		産後健康診査受診率 (1か月健診)		産後健康診査受診者延べ数		医療機関より継続支援依頼人数	
	予定 (目標)	75 %	2,794 回	190 人			
	令和3年度実績	84 %	3,002 回	266 人			
令和2年度実績	82 %	2,693 回	191 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>産後2週間、1か月の時期に受診する産後健康診査費用助成を行ない、産後うつ等で支援を要する産婦の早期把握に努めます。</p> <p><実績 (受診状況) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産後2週間 1, 345人【1, 209人】 ・ 産後1か月 1, 657人【1, 484人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産後健康診査委託料 14, 508千円 ・ 扶助費 795千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援が必要な産婦を早期に把握し、赤ちゃん訪問や産後ケア事業などの支援につなげました。 ・ 今後も産後健康診査の受診勧奨に努めるとともに、産科医療機関と連携し、産後うつ等のリスクが高い産婦の早期把握を行っていきます。 						

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費
事業名	14 産後ケア事業				担当課	すくすく子育て課
目的	出産後まもない時期の母子に対して、心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					2,873	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市内産科医療機関でデイサービス型支援を実施します 母親の身体的ケア及び保健指導、栄養指導、心理ケア授乳指導、育児相談を行います。 食事や休養の場の提供を行います。 「子育て何でも相談・応援センター」の専任保健師が利用にあたって面接もしくは訪問を実施し、状況を確認、他のサービス利用を含めたコーディネートを実施します。 ※令和3年度は新型コロナの影響で一部の事業を中止				令和3年度 予算現額	
					3,433	
					令和3年度 決算額	
					2,416	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	1,208
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,208					
令和4年度 予算額						
9,423						
活動内容						
指標	1	産後ケア事業利用者	2	産後ケア利用回数	3	4
	産後ケア事業申請者数					
	予定 (目標)	366 人	366 件			
	令和3年度 実績	92 人	133 件			
令和2年度 実績	93 人	158 件				
具体的 内容	【 】内は前年度数値 産後4か月までの母子を対象に、市内参加医療機関1か所でデイサービス型による心身のサポート、食事や休養の場の提供を行いました。 <利用人数> ・実人員 92人 【93人】 ・利用回数 133件 【158件】 <決算の内訳> ・委託料 2,396千円 ・需用費 20千円					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 利用した産婦からはおおむね好評を得られており、産後うつの傾向がみられた産婦に対し、効果的な支援策の一つとして成果をあげています。 産後うつ発症予防のためにも今後は訪問型を新たに実施し、支援体制を確保していきます。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 04	健康増進費		
事業名	01 健康診査事業					担当課	医療健診課	
目的	各種がん検診や特定健康診査を実施し、がんや生活習慣病の早期発見・早期治療につながる機会の確保に努めます。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		
						723,102		
手段手法	・健康増進法に基づく各種がん検診（胃、肺、大腸、乳房、子宮）、肝炎ウイルス検診、前立腺がん検診及び骨粗しょう症検診を実施するとともに高齢者の医療の確保に関する法律の対象とならない方に対して、基本健康診査を実施します。					令和3年度 予算現額		
						835,841		
						令和3年度 決算額		
						831,502		
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	7,706	
						県支出金	9,064	
						地方債	0	
その他	100,000							
一般財源	714,732							
令和4年度 予算額		831,610						
活動内容								
指標	1	集団がん検診受診者数	2	施設がん検診受診者数	3	精検受診未把握者アンケート送付数	4	精検受診未把握者アンケート返信数
		集団方式のがん検診の受診者数		施設がん検診受診者数		精密検査結果が市に返送されていない方への受診状況の確認		アンケートにより精検結果を把握した数
	予定 (目標)	11,042 人	54,781 人	1,900 人	1,200 人			
	令和3年度 実績	10,975 人	64,241 人	1,856 人	1,181 人			
令和2年度 実績	9,216 人	56,533 人	1,658 人	858 人				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんの早期発見に繋がるよう、集団がん検診・施設がん検診を実施しました。 ・新型コロナウイルス感染拡大のため、令和2年度は見合わせていた未受診者へのはがきによる再勧奨通知を実施しました。 ・集団がん検診において保育を実施しました（14回）。 ・5がん検診受診者数（延べ）：75,216人【65,749人】 ・前立腺がん検診受診者数：8,783人【7,920人】 ・肝炎ウイルス検診受診者数：2,033人【1,792人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団がん検診 37,869千円 ・施設がん検診 699,352千円 ・特定健康診査 46,220千円 ・その他 48,061千円 <p>※骨粗しょう症検診は、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、令和3年度の実施を見送りました。</p>							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度のがん検診は、新型コロナウイルス感染症の流行前の受診者数を回復しました。 ・感染症流行下においても、がんの早期発見のため検診受診は重要であることから、検診の重要性について引き続き啓発を行っていく必要があります。 ・検診会場における感染拡大防止に努めつつ、検診を進めていきます。 							

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 04	健康増進費		
事業名	04 健康相談・教育事業					担当課	健康づくり推進課	
目的	健康増進法に基づき、健康診査後の事後指導及び生活習慣病予防のための保健師や管理栄養士等による相談・教育・訪問指導を実施します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		
						27,903		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防・重症化予防、フレイル予防等を目的に、個別訪問、相談、健康教育を行います。 24時間健康相談を委託で実施します。 健康度見える化コーナー等で、健康相談・健康教育を実施します。 高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施します。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止及び、一部の事業手法を変更					令和3年度 予算現額		
						32,042		
						令和3年度 決算額		
						28,929		
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	688	
地方債	0							
その他	16,811							
一般財源	11,430							
令和4年度 予算額								
32,314								
活動内容								
指標	1	健康教育参加人数	2	健康相談者数	3	訪問指導件数	4	24時間健康相談入電件数
		市民や地域の団体から依頼があり、開催した健康講座など		電話相談、窓口での来所相談、教室開催時の健康相談		訪問指導を行った延件数		入電延件数
	予定(目標)	14,000 人	4,500 人	1,800 件	18,000 件			
	令和3年度実績	2,141 人	1,613 人	503 件	14,758 件			
令和2年度実績	1,206 人	1,238 人	238 件	17,709 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>健康診査の結果から抽出した対象者への訪問指導や健康相談、健康教育を行いました。文化創造拠点シリウス内の健康テラスで健康講座を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 健康相談：相談者延数 1,613人 【1,238人】 健康教育：開催回数 114回 【72回】 参加者延数 2,141人 【1,206人】 訪問指導：被指導者実数 358人 【181人】 被指導者延数 503人 【238人】 やまと24時間健康相談：相談延件数 42,221件 【53,305件】 入電件数 14,758件 【17,709件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 24時間健康相談業務委託など 21,989千円 その他 6,940千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大により、一部の健康講座、健康相談が中止となりましたが、事業実施時には感染防止対策の徹底や実施方法を変更するなど、工夫を図りました。 新型コロナウイルス感染症まん延状況下で、外出機会が減りフレイル傾向にある方が多くなっています。個人の病態や生活習慣を把握し、適宜、介護予防に関する市の各種サービスや講座に関する情報等を案内する必要があります。 							

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 04	健康増進費
事業名	05 大和市健康ポイント事業				担当課	健康づくり推進課
目的	自主的な健康づくりに取り組むためのきっかけをつくる とともに、習慣化されるよう支援します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					5,436	
手段手法	・特定健診や各種がん検診、健康に関する教室、イベントなど、市が指定する健康づくりに係るプログラムへの参加に対してポイントを付与し、一定数のポイントに到達した応募者の中から抽選で景品を交付します。				令和3年度 予算現額	
					6,018	
					令和3年度 決算額	
					5,978	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	581					
一般財源	5,397					
令和4年度 予算額						
5,924						
活動内容						
指標	1	ポイント対象事業数	2	ヤマトン健康ポイントカードの応募枚数	3	ヤマトン健康ポイント協力認定団体数
	ヤマトン健康ポイントが付与されるイベント、教室等の数		応募されたヤマトン健康ポイントカードの総数		ヤマトン健康ポイント協力認定団体として登録した団体の数	
	予定(目標)	270 事業	8,000 枚	70 団体	1,800 人	
	令和3年度実績	300 事業	9,112 枚	75 団体	1,670 人	
令和2年度実績	244 事業	5,521 枚	62 団体	1,217 人		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>より気軽に市民が健康づくりに取り組めるよう、個人の活動に対するポイントの付与を充実させるとともに、年度を繰り越してポイントを利用できるようにしました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイント対象事業数 300事業【 244事業】 ・ポイントカード応募枚数 9,112枚【 5,521枚】 ・ヤマトン健康ポイント協力認定団体数 75団体【 62団体】 ・ポイントカード応募実人数 1,670人【 1,217人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康ポイント還元物品 1,479千円 ・ポイントカード印刷等 511千円 ・ポイントカード封入封緘等委託 1,173千円 ・その他 2,815千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の活動に対してのポイント付与を充実させたことにより、イベント・講座に依らずにポイントの獲得が可能となりました。このことで、現役世代の参加やコロナ禍におけるポイント獲得が容易になりました。 ・年度を繰り越してポイントの利用を可能としたことで、市民が継続的に参加出来るようになりました。 ・より多くの市民の健康づくりの習慣化を支援するため、新たな参加者を募り、さらに既に参加している市民が参加を継続しやすい環境を整備する必要があります。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 04	健康増進費
事業名	06 歩く健康づくり事業				担当課	健康づくり推進課
目的	歩くことによる健康づくりにより、市民の健康増進及び介護予防等の推進を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					4,544	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市民に歩くことを意識付けし、歩くことの効用について、普及啓発を図ります。 歩くことによる健康づくりの普及定着を図るため、イベントを開催します。 				令和3年度 予算現額	
					5,797	
					令和3年度 決算額	
					4,619	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	4,619					
令和4年度 予算額						
5,402						
活動内容						
指標	1	やまとウォーキンピック参加者数	2	普及啓発のためのイベント回数	3	4
	予定(目標)	3,200 人	6 回	イベント等で歩く健康づくりの普及啓発を行います		
	令和3年度実績	3,374 人	3 回			
	令和2年度実績	1,385 人	2 回			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩くことの効用について、講演会の開催などにより普及啓発を図ります。 やまとウォーキンピックを年2回開催するとともに、スポーツフェスタや健康都市やまとフェア等のイベントを通して、歩くことによる健康づくりの普及啓発を図ります。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> やまとウォーキンピックの参加者数 3, 374人【1, 385人】 普及啓発のイベント回数 3回【 2回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 歩数計等 1, 360千円 イベント表彰関係記念品 1, 523千円 その他 1, 736千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> やまとウォーキンピックについて、コロナ禍の影響を受けながらも、歩くことによる健康づくりの普及定着を図るイベントとして、例年どおり年2回実施することができました。 今後も、市民が自主的に歩く健康づくりに取り組めるイベントや仕組みを検討し、市民の健康増進を図る必要があります。 					

決算書ページ 135	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 06	環境対策費
事業名	02 環境意識啓発事業				担当課	環境総務課
目的	市民と事業者の環境問題に関する行動変容を目指して、環境意識の高揚や啓発を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					930	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ等で環境行政情報を提供します。 市内小中学校において「かんきょうノート」を配布し、児童・生徒の環境意識を啓発します。 「やまと みどりの学校プログラム」を支援します。 「こどもエコクラブ」を支援します。 市民環境調査（セミのぬけがら調査）を実施します。 				令和3年度 予算現額	
					941	
					令和3年度 決算額	
					794	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	794					
令和4年度 予算額						
503						
活動内容						
指標	1	かんきょうノートの配布対象数	2	「やまと みどりの学校プログラム」取組学校数	3	環境省こどもエコクラブ登録団体支援数
	市内公立の中学校生徒数と小学5年生の児童数		自発的に行う身近な環境保全活動への取組学校数		市内の民間非営利団体等で支援を受けた団体数	
	予定(目標)	7,500 部	28 校	1 団体		
	令和3年度実績	6,028 部	21 校	1 団体		
令和2年度実績	7,213 部	22 校	1 団体			
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p>環境意識の高揚や環境保全活動の推進に向けて、啓発を図りました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民環境調査参加者数 0人【 0人】 (新型コロナウイルス感染症のため中止) やまと みどりの学校プログラム 登録件数 26件【 28件】 登録学校数 21校【 22校】 かんきょうノートの配布件数 5,945部【 5,872部】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 環境学習支援事業委託料 627千円 やまと みどりの学校プログラム消耗品 167千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 「大和市気候非常事態宣言」と「大和市地球温暖化対策実行計画」改定を踏まえ、市民と事業者、特に将来の大和を担う児童・生徒の環境と脱炭素に関する意識を高めるため、更なる取組が必要です。 					

決算書ページ 135	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 06	環境対策費
事業名	04 太陽光発電等推進事業				担当課	環境総務課
目的	再生可能エネルギー（太陽光）等の利用促進により地球温暖化対策を推進し、脱炭素社会の実現を目指します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					5,640	
手段手法	・住宅用の太陽光発電システム、リチウムイオン蓄電池、家庭用燃料電池システム等の設置に対し、補助金を交付します。				令和3年度 予算現額	
					7,973	
					令和3年度 決算額	
					5,686	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	5,686					
令和4年度 予算額						
7,545						
活動内容						
指標	1	太陽光発電システム等設置費補助件数	2	家庭用燃料電池システム設置費補助件数	3	4
		住宅用太陽光発電システムの設置費補助金交付件数		家庭用燃料電池システムの設置費補助金交付件数		
	予定(目標)	110 件	90 件			
	令和3年度実績	73 件	50 件			
令和2年度実績	66 件	68 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>住宅用太陽光発電システム、リチウムイオン蓄電池及び家庭用燃料電池システムの設置に対して、補助金を交付します。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システム設置費補助金交付件数 73件【66件】 ・リチウムイオン蓄電池設置費補助金交付件数 40件【26件】 ・家庭用燃料電池システム設置費補助金交付件数 50件【68件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システム設置費補助金交付額 2,665千円 ・リチウムイオン設置費補助金交付額 1,200千円 ・家庭用燃料電池システム設置費補助金交付額 1,800千円 ・役務費 21千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国は2030年に向けて、住宅用太陽光発電の普及や、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及、既存住宅の省エネ改修推進などを最大限進める方針を打ち出しています。 ・市による補助の規模や内容について随時見直してゆくとともに、初期設置費用が掛からない「0円ソーラー」の推進などの新たな手法についても検討していきます。 					

決算書ページ 135	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 06	環境対策費
事業名	05 公共施設省エネ推進施設整備事業				担当課	環境総務課
目的	再生可能エネルギーの活用など公共施設の省エネを推進することにより、脱炭素社会の実現を目指します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,960	
手段手法	・市内の公共施設に太陽光発電設備を設置します。				令和3年度 予算現額	
					33,224	
					令和3年度 決算額	
					28,170	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	8,675
					県支出金	0
					地方債	17,400
その他	0					
令和4年度 予算額						
15						
活動内容						
指標	1	太陽光発電設備導入件数	2		3	4
	公共施設への太陽光発電設備の導入件数					
	予定(目標)	1 件				
	令和3年度実績	2 件				
令和2年度実績	0 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>太陽光発電設備等をコミュニティセンター中央林間会館とコミュニティセンター深見中会館に設置しました。 (中央林間会館への設置は、令和2年度からの継続事業です)</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央林間会館太陽光発電設備及び蓄電池設置工事(継続) 12,276千円 ・深見中会館太陽光発電設備及び蓄電池設置工事 15,292千円 ・深見中会館太陽光発電設備及び蓄電池設置工事監理業務委託 601千円 ・旅費 1千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、コミュニティセンター2館に太陽光発電設備等を導入したため事業費が増加しています。 ・本市は、国の目標に鑑み、2030年までの公共施設への太陽光発電設備等の導入の加速を図っているところですが、近年、従前活用してきた国庫補助の確保が困難になっています。 ・新たな国庫補助の活用や初期設置費用のかからない「PPA方式」など新たな手法により、公共施設への太陽光発電設備等の導入を進める必要があります。 					

決算書ページ 137	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 01	清掃総務費			
事業名	05 路上喫煙防止対策事業				担当課	生活環境保全課			
目的	清潔で安全・安心が感じられる快適な環境を確保するため、路上喫煙防止に取り組みます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)				
					17,354				
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 路上喫煙防止の周知徹底のため、重点禁止区域である大和駅を中心に、市内各駅等における巡視・指導業務を実施します。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止 				令和3年度 予算現額				
					17,628				
					令和3年度 決算額				
					16,735				
					令和3年度 財源内訳				
					国庫支出金	0			
					県支出金	0			
地方債	0								
その他	0								
一般財源	16,735								
令和4年度 予算額									
14,756									
活動内容									
指標	1	路上喫煙の実態調査の回数	2	指導件数	3	路上喫煙防止対策用啓発チラシ	4	路上喫煙禁止路面標示の貼り替え	
		路上喫煙防止対策の推進の効果を確認する調査活動		路上喫煙者に対する指導の件数		春と秋に、市内8駅で行うチラシの配布活動		老朽化した路上喫煙禁止標示の貼り替え	
	予定(目標)	4	回	3,000	件	7,000	枚	226	枚
	令和3年度実績	4	回	3,255	件	0	枚	204	枚
令和2年度実績	4	回	2,793	件	0	枚	171	枚	
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>路上喫煙重点禁止区域及び禁止区域での、路上喫煙防止指導及び啓発活動を実施しました。</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 路上喫煙防止指導員報酬 9,307千円 喫煙設備清掃業務委託 1,212千円 路上喫煙禁止路面標示撤去・設置業務委託 4,818千円 その他 1,398千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 路上喫煙防止条例を改正し、市内全域における路上喫煙を禁止することで、更なる路上喫煙防止を進めていきます。 路上喫煙防止対策として、市内各駅頭でのチラシ配布等啓発活動を引き続き行う必要があります。 路上喫煙防止指導員による巡回・指導、路上喫煙禁止路面標示等を通じて、路上喫煙防止対策の推進に努めていきます。 								

決算書ページ 137	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	01	清掃総務費
事業名	06 大和市クリーンキャンペーン事業						担当課	生活環境保全課	
目的	地域の方々によって地域美化が図られ、快適な生活環境を保持します。						令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		2,253
							令和3年度 予算現額		3,998
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 自治会や各種団体・事業所に対し、地域美化の趣旨にご理解とご協力をいただき、市内の清掃を実施します。 環境サポーターによる地域の環境の見守りを行います。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止						令和3年度 決算額		1,431
							令和3年度 財源内訳		
							国庫支出金	0	
							県支出金	0	
							地方債	0	
							その他	0	
令和4年度 予算額		4,000							
活動内容									
指標	1	清掃の日ごみ回収量	2	参加団体数	3	サポーター登録者数	4		
		可燃・不燃ごみ回収量		クリーンキャンペーン参加団体数		環境サポーター活動登録者数			
	予定(目標)	70 t		250 団体		70 人			
	令和3年度実績	0 t		53 団体		88 人			
	令和2年度実績	0 t		68 団体		56 人			
具体的内容	【 】内は前年度数値 <ul style="list-style-type: none"> クリーンキャンペーンを実施します。 <事業内容> <ul style="list-style-type: none"> 「清掃の日」実施 「美化推進月間」実施 「例月まち並み清掃」実施 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 「清掃の日」可燃・不燃ごみ回収委託 1,100千円 クリーンキャンペーン回収ごみ処理費 47千円 クリーンキャンペーン消耗品 219千円 その他 65千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙・チラシの配布など、より多くの方々に参加してもらえるような周知活動を行っていきます。 環境サポーター活動に多くの方が参加してもらえるよう周知活動に努めます。 								

決算書ページ 137	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 01	清掃総務費
事業名	07 不法投棄物未然防止事業				担当課	生活環境保全課
目的	不法投棄やポイ捨ての未然防止を推進します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					5,072	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域において、不法投棄及びポイ捨て等の監視パトロールを行います。 公有地の不法投棄物の回収を行います。 不法投棄やポイ捨て等の状況に応じて、不法投棄防止及びポイ捨て防止等の啓発看板の設置を行います。 				令和3年度 予算現額	
					5,439	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域において、不法投棄及びポイ捨て等の監視パトロールを行います。 公有地の不法投棄物の回収を行います。 不法投棄やポイ捨て等の状況に応じて、不法投棄防止及びポイ捨て防止等の啓発看板の設置を行います。 				令和3年度 決算額	
					4,871	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	1,077
令和4年度 予算額	3,794					
		4,966				
活動内容						
指標	1	不法投棄防止パトロールの実施回数	2	不法投棄防止の啓発看板の配布・設置数	3	夜間パトロールの実施回数
	不法投棄防止パトロールの実施回数		ポイ捨て防止・不法投棄防止の啓発看板の配布・設置枚数		市職員による夜間の市内パトロール回数	
	予定(目標)	200 回	600 枚	4 回		
	令和3年度実績	194 回	585 枚	5 回		
令和2年度実績	190 回	853 枚	5 回			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>不法投棄等のパトロールを定期的実施し、状況に応じて看板等の設置や不法投棄物の回収を実施しました。また、「大和市ポイ捨て等の防止に関する条例」の周知のため、啓発活動を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・深見西、上草柳等の不法投棄防止重点箇所のパトロール ・県との合同パトロールや苦情等の対応 ・ポイ捨てや犬のふんの放置を防止するため啓発物の配布 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄物等回収アルバイト賃金 3,686千円 ・回収不法投棄物処理 258千円 ・その他 927千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の未然防止対策として、防止看板の配布または設置、駅頭でのチラシ配布等啓発活動を引き続き行う必要があります。 ・県と連携した合同パトロール、不法投棄物の迅速な回収や日々の監視活動等を通じて、ごみの捨てられにくい環境づくりに努めていきます。 					

決算書ページ 137	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 01	清掃総務費
事業名	09 ごみ減量化推進事業				担当課	廃棄物対策課
目的	ごみの減量化及び資源化の推進を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					204	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ごみ量、資源化量の推移等を公開します。 ごみの減量化・資源化の啓発を行うとともに、市民等の協力のもと施策を推進します。 一般廃棄物処理基本計画の目標達成に向け、ごみの減量化・資源化の取組みを進めます。 				令和3年度 予算現額	
					69	
					令和3年度 決算額	
					42	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	42					
令和4年度 予算額						
63						
活動内容						
指標	1	広報等での周知回数	2	市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	3	リサイクル率
	ごみ減量化・資源化に関する市民への周知回数		家庭系ごみ総排出量/人口/日		(総資源化量/総排出量) × 100	
	予定(目標)	2 回	439 g	33.7 %		
	令和3年度実績	5 回	421 g	29.2 %		
令和2年度実績	2 回	438 g	29.8 %			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市民や事業者等と協力して、ごみの減量化及び資源化を推進します。また、国の動向等を注視しつつ、今後の本市のごみの減量化及び資源化の取組みについて検討します。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート実施人数 2,000人【2,000人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発用消耗品 40千円 旅費 2千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 本市は、家庭系ごみの有料化を県内他自治体に先立って実施しており、現在でも一人当たりのごみ排出量が県内でも少ない自治体の一つとなっています。 今後も、ごみ処理・資源化の事業を安定的に継続していくことが必要であり、今後のごみ処理・資源化施設の整備などについて、他の自治体の事例等を調査・研究していく必要があります。 					

決算書ページ 137	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 01	清掃総務費			
事業名	10 資源循環型生ごみ処理事業					担当課	廃棄物対策課		
目的	学校給食調理くず等の減量化及び資源化の推進を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	2,438		
						令和3年度 予算現額	2,983		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・業務用生ごみ処理機で生成された堆肥を使用して収穫した農作物の学校給食への利用を確認するとともに推進します。 ・学校給食調理くず等の堆肥化を起点とした資源循環システムの仕組みを、環境学習における題材として活用するよう学校に働きかけます。 ・前年度の資源循環システムによる堆肥化実績、及び農産物納入実績を単独調理校8校へ報告を行い、環境学習、食育での活用を働きかけます。 					令和3年度 決算額	2,472		
						令和3年度 財源内訳			
						国庫支出金	0	県支出金	0
						地方債	0	その他	0
						一般財源	2,472		
						令和4年度 予算額	2,818		
活動内容									
指標	1	生ごみ処理機への生ごみ投入量	2	生ごみ堆肥利用量	3		4		
	生ごみ処理機により資源化できた生ごみの量		生ごみ処理機で処理した生成品を農産物栽培等に利用した量						
	予定(目標)	30 t	6 t						
	令和3年度実績	15.9 t	2.8 t						
令和2年度実績	10.8 t	1.8 t							
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>学校給食単独調理校（8校）から排出される調理くず等の生ごみを、各校に設置した業務用生ごみ処理機により堆肥化し、また、協力農家がこれを利用し農作物を栽培して、収穫された農作物を給食食材として利用しました。</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務用生ごみ処理機保守点検委託費 1,782千円 ・学校給食残渣堆肥化处理委託費 90千円 ・業務用生ごみ処理機修繕 39千円 ・協力農家協定負担金 561千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・設置した業務用生ごみ処理機の適切な維持管理に努め、学校給食単独調理校8校から排出された生ごみ15.9トンが減量するとともに、生成された堆肥2.8トンを利用してもらいました。 								

決算書ページ 137	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	01	清掃総務費	
事業名	11 家庭系ごみ排出抑制推進事業							担当課	廃棄物対策課	
目的	家庭系有料指定ごみ袋の制度により、ごみの減量化を図ります。							令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		123,386
								令和3年度 予算現額		130,579
手段手法	・家庭系ごみの排出に有料指定ごみ袋を使用します。							令和3年度 決算額		127,170
								令和3年度 財源内訳		
								国庫支出金	0	
								県支出金	0	
								地方債	0	
								その他	127,170	
令和4年度 予算額		132,667								
活動内容										
指標	1	有料指定ごみ袋販売組数	2		3		4			
	有料指定ごみ袋の販売組数									
	予定 (目標)	1,214,950 組								
	令和3年度 実績	1,241,550 組								
令和2年度 実績	1,208,410 組									
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>家庭系ごみの減量化を図るため、有料指定ごみ袋によるごみの収集を実施しました。</p> <p><有料指定ごみ袋販売組数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5リットル 156,210組【155,200組】 ・ 10リットル 343,700組【335,450組】 ・ 20リットル 324,600組【316,630組】 ・ 30リットル 187,260組【183,770組】 ・ 40リットル 229,780組【217,360組】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造・保管・配送委託 77,856千円 ・ 手数料徴収事務委託 49,066千円 ・ 償還金 237千円 (取扱店閉店等に伴う清算金) ・ その他 11千円 									
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業による家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給により、ごみの排出量に応じた費用負担が図られており、ごみの排出抑制、負担の公平性が保たれています。 ・ 引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定供給を実施するとともに、他自治体からの転入者など、市民への制度の周知を図っていきます。 ・ 温室効果ガスの排出削減のため、有料指定ごみ袋製造・保管・配送委託の更新の際に、バイオマスプラスチックを配合したものの切り替えを検討していきます。 									

決算書ページ	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	01	清掃総務費
137									
事業名	14 資源分別回収推進支援事業							担当課	廃棄物対策課
目的	資源分別回収の実施により、ごみの資源化を図ります。							令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
								613,179	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・分別された資源をリサイクルステーション、拠点回収場所、資源選別所で回収します。 ・A資源とB資源は、それぞれ月2回(計4回)の回収を行います。 ・その他プラスチック製容器包装は、週1回の回収を行います。 ・回収した資源の選別、圧縮、梱包、保管を行います。 							令和3年度 予算現額	
								618,582	
								令和3年度 決算額	
								614,578	
								令和3年度 財源内訳	
								国庫支出金	0
								県支出金	0
地方債	0								
その他	319,119								
一般財源	295,459								
令和4年度 予算額									
751,106									
活動内容									
指標	1	資源回収の回数	2	直接受入件数	3		4		
	回収数の合計 (AB資源48回+プラ52回) ×ステーション数		資源選別所への持込み件数						
	予定(目標)	137,700 回	46,394 件						
	令和3年度実績	139,200 回	45,229 件						
令和2年度実績	137,700 回	46,394 件							
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>リサイクルステーションでの資源回収業務及び拠点回収業務を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源回収量 10,274 t 【10,670 t】 ・その他プラスチック製容器包装回収量 3,257 t 【3,241 t】 ・リサイクルステーション数 1,392箇所 【1,377箇所】 ・拠点回収場所設置数 8箇所 【8箇所】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源分別回収業務等 446,102千円 ・自治会資源回収報奨金 77,326千円 ・その他プラスチック製容器包装回収業務 75,723千円 ・資源選別所建物及び機械等補修 4,950千円 ・その他 10,477千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のご理解・ご協力により、資源分別回収制度が定着しています。 ・ごみの減量化・資源化の推進、及び資源の分け方・出し方のマナー向上をさらに図るため、引き続き啓発を行うことが必要です。 ・プラスチック資源循環促進法の対応については、国の動向等を注視しつつ、他市の事例の調査・研究を進め、本市の方向性を検討します。 ・資源選別所の施設・設備について、労働環境の改善を図るための整備を進めます。 								

決算書ページ 137	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 02	塵芥処理費	
事業名	03 焼却灰等有効利用事業					担当課	施設課
目的	一般廃棄物焼却灰の資源化を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
						318,720	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却灰を安定かつ安全に資源化できる施設の調査と現地確認を行います。 ・搬出先の自治体と、搬出量等の事前協議を行い、焼却灰の資源化を行います。 ・焼却灰は搬出先で路盤材原料等として有効利用します。 					令和3年度 予算現額	
						313,384	
						令和3年度 決算額	
						312,641	
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
地方債	0						
その他	152,438						
一般財源	160,203						
令和4年度 予算額							
309,463							
活動内容							
指標	1	資源化箇所数	2	焼却灰有効利用量	3		4
	資源化先として焼却灰を搬出した事業所数		路盤材原料等により焼却灰の有効利用を行った量				
	予定(目標)	3箇所	5,986	t			
	令和3年度実績	3箇所	5,974	t			
令和2年度実績	3箇所	6,142	t				
具体的内容	【 】内は前年度数値						
	<p>焼却灰の資源化を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央電気工業株式会社 (茨城県鹿嶋市) 3,382 t 【3,248 t】 ・メルテック株式会社 (栃木県小山市) 1,600 t 【1,598 t】 ・中部リサイクル株式会社 (愛知県名古屋市) 992 t 【1,296 t】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼却灰資源化委託 311,627千円 ・その他 1,014千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却灰を路盤材等の土木資源材料として有効利用を図りました。 ・今後も焼却灰を安心・安定かつ経済的に資源化するよう努めます。 						

決算書ページ 139	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 02	塵芥処理費
事業名	09 環境管理センターごみ処理施設維持補修事業				担当課	施設課
目的	施設の安全かつ安定的な継続運用のために、焼却棟及び粗大棟設備の維持補修を実施します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					381,919	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 「環境管理センターごみ処理施設維持補修計画」に基づいて年間スケジュールを組み、公害防止法等法令遵守を最優先に、施設を継続運用するための補修を実施します。 				令和3年度 予算現額	
					1,852,258	
					令和3年度 決算額	
					1,833,442	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	1,349,100					
その他	408,320					
一般財源	76,022					
令和4年度 予算額						
2,492,920						
活動内容						
指標	1	計画的な補修の実施	2	ごみ焼却処理施設基幹的設備改良工事進捗率	3	
		施設の安全かつ安定的な運転を維持するための補修件数		ごみ焼却処理施設に係る基幹的設備改良工事の進捗率		
	予定(目標)	40 件		24.9 %		
	令和3年度実績	53 件		24.9 %		
	令和2年度実績	46 件		0.3 %		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>「環境管理センターごみ処理施設維持補修計画」に基づき、焼却棟及び粗大棟設備の維持補修を行いました。また、継続費においては、焼却処理施設を令和20年度まで安定的かつ長期的に使用していくため、令和2年度から令和5年度にかけて基幹的設備改良工事を進めます。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼却施設定期補修、焼却炉壁耐火物補修、バグフィルター補修等 ・粗大ごみ処理施設定期補修等 ・3号ボイラー水管更新、No.2ごみクレーン更新(継続費) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費(施設修繕) 388,760千円 ・原材料費(補修用材料) 219千円 ・委託料(投資的委託料・継続費) 10,283千円 ・工事請負費(修繕工事費・継続費) 1,434,180千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から本格的に基幹的設備改良工事の機器等更新を実施しているため、事業費が増加しています。 ・焼却処理施設の延命化については、安定的かつ長期的な使用の観点から、計画に沿って適確に進める必要があります。 ・計画的な更新等により、安全かつ安定した施設の運用が保たれています。 ・維持補修計画に基づき設備の重要度、健全度を考慮し、補修対象が年度で変動することから、引き続き事業費平準化を図る必要があります。 					

決算書ページ 139	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 02	塵芥処理費	
事業名	12 可燃ごみ焼却処理事業					担当課	施設課
目的	可燃ごみを焼却処理することにより、衛生的で快適な生活環境を確保します。併せて、ごみ焼却の熱エネルギーにより発電を行います。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
						311,211	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 搬入された可燃ごみを焼却処理します。 焼却で発生する熱エネルギーを有効利用して経費を削減します。 発生する排ガスに万全な公害防止対策を行います。 					令和3年度 予算現額	
						337,673	
						令和3年度 決算額	
						313,812	
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
						地方債	0
その他	224,097						
一般財源	89,715						
令和4年度 予算額							
331,893							
活動内容							
指標	1	可燃ごみ焼却量	2	発電電力量	3	塩化水素濃度	4
		焼却処理する可燃ごみの量		ごみ焼却により発生する電力量		排ガス中に含まれる有害物質濃度	
	予定 (目標)	53,112 t	15,888,000 kwh	50 ppm			
	令和3年度 実績	54,752 t	16,549,590 kwh	31 ppm			
令和2年度 実績	53,084 t	15,980,396 kwh	35 ppm				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>可燃ごみ焼却を行い、ごみ焼却の熱エネルギーにより発電を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 可燃ごみ焼却量 163.0 t/日 (336日稼働) <li style="padding-left: 20px;">【156.6 t/日 (339日稼働)】 東京電力への売電電力量 6,225,288 kWh <li style="padding-left: 20px;">【4,988,394 kWh】 送電電力 719,283 kWh <li style="padding-left: 20px;">(引地台公園・温水プール・野球場) 【1,233,100 kWh】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物焼却炉運転管理等業務委託 222,200千円 排ガス処理薬品、処理施設光熱水費他 91,612千円 						
	評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きごみを適正に処理し、安全かつ安定した焼却施設の運転管理を行います。 焼却施設の運転について、稼働する炉数、焼却するごみ量など、継続してごみ焼却に伴い発生するエネルギーを効率よく利用できる運転に努め、経費削減を図ります。 					

決算書ページ 139	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 02	塵芥処理費	
事業名	13 不燃・粗大ごみ処理事業					担当課	施設課
目的	不燃ごみ・粗大ごみの安全な処理を推進します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
						66,595	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 有害物・危険物を取り除いた不燃ごみと粗大ごみを、破砕処理します。 不燃ごみ・粗大ごみに含まれる資源を選別し、回収します。 					令和3年度 予算現額	
						67,322	
						令和3年度 決算額	
						66,599	
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
地方債	0						
その他	29,155						
一般財源	37,444						
令和4年度 予算額							
67,356							
活動内容							
指標	1	不燃ごみと粗大ごみの搬入量	2	資源の回収量	3		4
		不燃ごみと粗大ごみの搬入量		不燃ごみと粗大ごみに含まれる資源の回収量			
	予定(目標)	2,253 t		967 t			
	令和3年度実績	2,189 t		956 t			
	令和2年度実績	2,390 t		1,092 t			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>不燃ごみ・粗大ごみを適正に処理しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 資源の回収量 鉄 773 t 【867 t】 ガラスビン 16 t 【24 t】 アルミ 58 t 【75 t】 その他 109 t 【126 t】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 不燃物処理業務委託等 65,591千円 その他 1,008千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 不燃ごみから有害物・危険物を回収して環境負荷の低減や事故等を防ぎ、鉄・アルミ・ガラスビン等を分別して資源の有効利用を図っています。 						

決算書ページ 139	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 02	塵芥処理費	
事業名	17 塵芥収集事業					担当課	廃棄物対策課
目的	家庭から排出されるごみを収集し、衛生的で快適な生活環境を確保します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
						322,828	
手段手法	・可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの戸別収集を行います。					令和3年度 予算現額	
						340,231	
						令和3年度 決算額	
						331,545	
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
地方債	0						
その他	121,064						
一般財源	210,481						
令和4年度 予算額		404,303					
活動内容							
指標	1	1日の可燃ごみの総量	2	1日の不燃ごみの総量	3	1日の粗大ごみの総量	4
	家庭の可燃ごみの収集量		家庭の不燃ごみの収集量		家庭の粗大ごみの収集量		
	予定 (目標)	110 t	9 t	4.2 t			
	令和3年度 実績	107 t	7 t	3.8 t			
令和2年度 実績	110 t	8 t	4.2 t				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ(直営) : 戸別収集(4班 16台) ・可燃ごみ(委託) : 戸別収集(3班 12台) ・粗大ごみ(直営) : 戸別収集 ・不燃ごみ(委託) : 戸別収集 <p><収集実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ 33,210 t 【33,993 t】 310日 ・不燃ごみ 1,680 t 【1,796 t】 239日 ・粗大ごみ 1,172 t 【1,296 t】 310日 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ収集運搬業務委託 208,736千円 ・不燃ごみ収集運搬業務委託 94,961千円 ・その他 27,848千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ、不燃ごみの戸別収集、粗大ごみ収集は市民の協力により安全かつ円滑に実施できました。 ・ルール違反、不法投棄に対する意識啓発及び継続的なパトロールが必要です。 						

決算書ページ 141	款 05	労働費	項 01	労働諸費	目 01	労働諸費
事業名	04 障がい者雇用促進支援事業				担当課	産業活性課
目的	障がい者の就労の安定と福祉の向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,201	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者を雇用している市内事業所に対し、補助金(市内在住の場合1人あたり5万円、市外在住の場合1人あたり3万円)を交付します。 				令和3年度 予算現額	
					2,623	
					令和3年度 決算額	
					1,041	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	1,041					
令和4年度 予算額						
2,003						
活動内容						
指標	1 補助金交付額	2 申請事業所における新規補助対象者数	3	4		
	当該年度の合計額		新規に雇用された障がい者の数			
	予定(目標)	2,610 千円	5 人			
	令和3年度実績	1,030 千円	13 人			
令和2年度実績	1,190 千円	12 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>障がい者を雇用している市内事業所に対して補助金を交付しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 交付件数 17社【14社】 対象となった障がい者数 29人【33人】 <p>(内訳)</p> <p>市内在住 8人(年額50,000円/人)</p> <p>市外在住 21人(年額30,000円/人)</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者雇用促進補助金 1,030千円 現況調査切手代 11千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の雇用促進に向け、引き続き市内事業所に対して事業内容の周知に努めます。 					

決算書ページ 141	款 05	労働費	項 01	労働諸費	目 01	労働諸費
事業名	07 勤労者サービスセンター支援事業				担当課	産業活性課
目的	中小企業で働く勤労者の福利厚生の上昇と生活の安定を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					14,600	
手段手法	・大和市勤労者サービスセンターに対し運営費の一部を補助します。				令和3年度 予算現額	
					14,600	
					令和3年度 決算額	
					14,600	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	14,600					
令和4年度 予算額						
14,600						
活動内容						
指標	1	共済給付事業件数	2	人間ドック・生活習慣病検診受検助成金件数	3	4
	全福ネット慶弔共済利用件数		人間ドック・生活習慣病検診受検助成金の利用件数			
	予定(目標)	600 件	100 件			
	令和3年度実績	499 件	64 件			
令和2年度実績	483 件	58 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市内の中小企業で働いている勤労者と事業主、市外の中小企業で働いている大和市民の福利厚生をサポートする大和市勤労者サービスセンターに対して、運営費の一部を補助しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 勤労者サービスセンター補助金の交付 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 勤労者サービスセンター補助金 14,600千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 長引くコロナ禍による厳しい経済状況においても、会員数の拡大に努め、実施事業の取捨選択をしながら効率的な運営に努めました。 					

決算書ページ 143	款 06	農林費	項 01	農業費	目 03	農業振興費
事業名	03 市民朝霧市支援事業				担当課	農政課
目的	新鮮で安全な地場農産物を市民へ提供します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					600	
手段手法	・朝霧市・夕やけ市・おさんぽマート事業に対し補助金を交付します。				令和3年度 予算現額	
					600	
					令和3年度 決算額	
					600	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	600					
令和4年度 予算額		600				
活動内容						
指標	1	補助金の交付回数	2	自主開催の回数	3	4
	市民朝霧市推進事業補助金		朝霧市・夕やけ市			
	予定 (目標)	1 回	103 回			
	令和3年度 実績	1 回	103 回			
	令和2年度 実績	1 回	96 回			
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 朝霧市・夕やけ市などの実施に対して補助金を交付しました。 <p style="margin-left: 40px;">開催予定回数 朝霧市 : 50回【48回】 夕やけ市 : 53回【48回】</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 朝霧市補助 600千円 					
評価課題	・端境期における販売品数の減少がみられるため、出店者数の増加、出店内容の充実を図る必要があります。					

決算書ページ 143	款 06	農林費	項 01	農業費	目 03	農業振興費
事業名	04 農業近代化等支援事業				担当課	農政課
目的	農業の近代化を進め、農業経営の安定、生産力の向上を図るとともに、環境保全効果の高い営農活動の普及を推進します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					6,978	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 近代化のための施設整備に対する補助金及び農業近代化資金貸付金に係る利子補給金を交付します。 機械揚水の電気使用料への補助金を交付します。 農業団体等が行う近代化施設整備への補助を行います。 				令和3年度 予算現額	
					2,326	
					令和3年度 決算額	
					2,203	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	71
地方債	0					
その他	0					
一般財源	2,132					
令和4年度 予算額						
2,089						
活動内容						
指標	1	機械揚水補助金額	2		3	
		機械揚水電気使用料補助				
	予定 (目標)	638,000 円				
	令和3年度 実績	515,000 円				
	令和2年度 実績	591,000 円				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水稻栽培における機械揚水の電気使用料に対して補助しました。(3水利組合、下和田水田組合) ・ 一ノ関水利組合のポンプ小屋等改修に対して補助しました。 ・ 農産物コイン販売機設置に対して補助しました。 ・ 防鳥ネット等購入に対して補助しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 揚水機械電気料補助 515千円 ・ 多面的機能支払交付金 95千円 ・ ポンプ小屋修繕補助金 193千円 ・ 農産物コイン販売機設置補助金 1,000千円 ・ 防鳥ネット整備事業補助金 400千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模な設備投資をするケースが少なくなっています。 					

決算書ページ 143	款 06	農林費	項 01	農業費	目 03	農業振興費
事業名	05 市民農園運営事業				担当課	農政課
目的	市民が農業に親しむ場を確保するとともに、遊休農地の解消及び緑地の保全を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					4,805	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市民農園の設置と対象地の整備を行います。 運営管理は、市民農園利用者等で組織する大和市民農園運営委員会に委ねています。 				令和3年度 予算現額	
					4,854	
					令和3年度 決算額	
					4,668	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	4,668					
令和4年度 予算額						
4,715						
活動内容						
指標	1 市民農園設置数	2 広報PR回数	3 市民農園區画数	4		
	設置数累計	募集記事掲載	市民農園として利用している区画数			
	予定(目標)	21 箇所	1 回	965 区画		
	令和3年度実績	21 箇所	1 回	965 区画		
令和2年度実績	21 箇所	1 回	966 区画			
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民農園の管理運営を行いました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 農園設置数 21 農園【 21 農園】 区画数 965 区画【966 区画】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民農園土地貸借料 4,668 千円 					【 】内は前年度数値
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者が開設する市民農園の区画数を考慮した上で、必要が生じた際に、適正な用地確保、配置を検討していきます。 					

決算書ページ 145	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	01 大和商工会議所運営支援事業				担当課	産業活性課
目的	大和商工会議所への支援を行い、市内の商工業の振興・発展を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					69,840	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和商工会議所が行う一般事業・相談事業の運営費の一部を補助します。 大和商工会議所が行う融資事業財源の貸付を行います。 各事業の協力・連絡調整等の支援を行います。 				令和3年度 予算現額	
					49,840	
					令和3年度 決算額	
					49,840	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	30,000					
一般財源	19,840					
令和4年度 予算額						
50,140						
活動内容						
指標	1	補助金・貸付金の申請件数	2		3	
	商工会議所への補助金及び貸付金の申請件数					
	予定(目標)	3 件				
	令和3年度実績	3 件				
令和2年度実績	3 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 大和商工会議所に対して補助金及び貸付金を交付します。 <ul style="list-style-type: none"> 一般事業運営費補助金：総合振興事業、産業振興事業、情報化推進事業、調査広報活動事業等に対する補助金 相談事業運営費補助金：経営改善普及事業に対する補助金 貸付金：中小企業支援事業に対する貸付金 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 一般事業運営費補助金 14,937千円 相談事業運営費補助金 4,903千円 貸付金 30,000千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域の総合経済団体である大和商工会議所に対して補助金を交付し、一般事業や相談事業を支援することにより、市内商工業の振興に寄与しました。 大和商工会議所が行う融資財源を貸し付けることにより、制度を利用された事業者を支援しました。 					

決算書ページ 145	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	05 中小企業事業資金支援事業				担当課	産業活性課
目的	市内で事業を営む中小企業者等の経営基盤の確立を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,046,046	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市内金融機関を通じた間接融資（事業資金・緊急支援資金・起業支援資金）を行います。 融資制度に連動して、利子補給・信用保証料補助を行います。 中小企業信用保険法に基づく認定を行います。 				令和3年度 予算現額	
					1,057,654	
					令和3年度 決算額	
					1,057,572	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	1,000,000					
令和4年度 予算額						
1,080,243						
活動内容						
指標	1	中小企業事業資金等融資実行額	2	利子補給金額	3	信用保証料補助金額
	目標値は、預託額に目標協調率を乗じた額		目標値は予算額と同額		目標値は予算額と同額	
	予定(目標)	2,500,000 千円	35,038 千円	15,046 千円		
	令和3年度実績	3,012,400 千円	30,073 千円	27,399 千円		
令和2年度実績	1,127,800 千円	30,808 千円	13,887 千円			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>中小企業事業資金融資制度及び各種補助制度を実施しました。また、中小企業信用保険法に基づく認定を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 融資実行（市融資制度） 286件【 95件】 利子補給（市融資制度） 403件【 391件】 利子補給（県制度融資の一部） 58件【 130件】 信用保証料補助（市融資制度） 168件【 92件】 信用保証料補助（県制度融資の一部） 8件【 28件】 中小企業信用保険法に基づく認定 364件【1871件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内金融機関への預託金 1,000,000千円 信用保証料補助金 27,399千円 システム廃棄業務 38千円 利子補給金 30,072千円 消耗品 63千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 今後さらに市内中小企業の操業環境や起業家支援の充実を図るため、利用状況等を確認しながら検討を進めます。 					

決算書ページ 145	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	12 さがみロボット産業特区促進支援事業				担当課	産業活性課
目的	市内ロボット関連企業等への支援を行い、生活支援ロボット関連産業の振興を図ることにより、市内産業をより一層発展させていきます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					19,764	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川版オープンイノベーションに参画している企業を対象に、調査研究費や設備導入費を補助するとともに、生活支援ロボット共同研究組織に対する支援を行います。 ・ 「さがみロボット産業特区」のPRを図るために、ロボット展示等を通じ、市民の意識を高めていきます。 				令和3年度 予算現額	
					11,271	
					令和3年度 決算額	
					4,516	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	4,516					
令和4年度 予算額						
2,194						
活動内容						
指標	1	「神奈川版オープンイノベーション」参画企業数	2	生産性向上コンサルティング実施数	3	
		「神奈川版オープンイノベーション」に参画する市内企業の数		コンサルティング実施事業者数		
	予定(目標)	20 社	3 社			
	令和3年度実績	15 社	3 社			
	令和2年度実績	15 社	3 社			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活支援ロボット共同研究組織に対して補助金を交付しました。 ・ ロボットの導入を含めた生産性向上に関する診断・提案を行う「生産性向上コンサルティング」を実施しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産性向上コンサルティング業務委託費 762千円 ・ 介護ロボット展示業務委託費 2,575千円 ・ 人型ロボットレンタル料等 566千円 ・ 生活支援ロボット研究開発促進事業補助金 500千円 ・ その他 113千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内企業の生産性向上に向け、ロボット活用に対する意識啓発を図る必要があります。 ・ ロボット事業を見直し、市民の関心を高める方策を検討します。 ・ ロボットの研究・開発に向けて、市内事業者との連携が必要です。 					

決算書ページ 145	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	13 起業家支援事業				担当課	産業活性課
目的	起業を促進することにより、市内産業の活性化を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					679	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、起業する人、または起業して間もない人への支援を行い、市内産業の活性化を図ります。 起業家向けレンタルオフィス（起業家支援スペース）の貸出しにより市内での起業を促進します。 				令和3年度 予算現額	
					3,290	
					令和3年度 決算額	
					170	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	170					
令和4年度 予算額						
3,290						
活動内容						
指標	1	やまと起業家支援スペース 使用区画数	2		3	
		やまと起業家支援スペースの使 用者がいる区画数				
	予定 (目標)	5 区画				
	令和3年度 実績	5 区画				
	令和2年度 実績	5 区画				
具体的 内容	<p>起業家に事務スペースを貸し出します。 【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 起業家支援スペース使用区画 5 区画 【5 区画】 起業サポートセミナー開催 4 回 【2 回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 講師謝礼 6 0 千円 講師派遣手数料 6 0 千円 事務消耗品 5 0 千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 支援内容の充実のため、施設利用者のニーズ等も確認しながら検討を進める必要があります。 様々な起業家の支援のため、商工会議所や金融機関等、関係機関との連携が必要です 					

決算書ページ 145	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	16 イベント観光協会支援事業				担当課	イベント観光課
目的	本市の観光行政の一翼を担う大和市イベント観光協会の運営を支援します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					13,834	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市イベント観光協会に対して補助金を交付します。 大和市イベント観光協会の運営や事業についての支援、助言を行います。 				令和3年度 予算現額	
					16,851	
					令和3年度 決算額	
					12,702	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	12,702					
令和4年度 予算額						
19,116						
活動内容						
指標	1 補助金交付回数	2 定期監査、理事会、総会	3	4		
	一年間に補助金を交付した回数	定期監査、理事会、総会に出席した回数				
	予定(目標)	1 回	3 回			
	令和3年度実績	1 回	3 回			
令和2年度実績	1 回	3 回				
具体的内容	<p>大和市イベント観光協会に対して補助金を交付しました。</p> <p><主な事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> フィルムコミッション事業 問い合わせ件数：200件【147件】 撮影成立件数：41件【49件】 「YAMATO FILM FESTIVAL 2022」の開催 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市イベント観光協会補助金 12,702千円 				【 】内は前年度数値	
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 本市をロケ地としたオムニバス映画「MADE IN YAMATO」を制作し、YAMATO FILM FESTIVALで試写会を実施しました。 フィルムコミッション事業において、単に撮影を誘致するだけでなく、市民エキストラの募集や撮影後のプロモーション、撮影実績の効果的な発信などにも力を注ぐなど、誘致から撮影後のプロモーションまで展開できるように協会と連携し、事業の拡充に取り組んでいきます。 					

決算書ページ 145	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	17 大和市民まつり支援事業				担当課	イベント観光課
目的	大和市民まつり実行委員会の運営を支援します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,270	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市民まつり実行委員会に対して、補助金を交付します。 同実行委員会の総括事務局として、まつり全体の運営を支援します。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で事業手法を変更				令和3年度 決算額	
					1,436	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
令和4年度 予算額	3,940					
活動内容						
指標	1 実行委員会・部会等開催回数	2 イベント実施日数	3 出店数	4		
	役員会、実行委員会、6部会の開催回数	イベントの実施日数	市民まつりに参加した市民団体等の出店数			
	予定(目標)	25 回	2 日	330 店		
	令和3年度実績	17 回	0 日	0 店		
令和2年度実績	13 回	0 日	0 店			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>44回を迎えた大和市民まつりは新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止となりましたが、代替企画としてオンライン企画を開催しました。</p> <p><第44回大和市民まつり> (中止)</p> <p>開催日：5月8日(土)、9日(日)</p> <p>会場：引地台公園ほか</p> <p><大和市民まつりオンライン></p> <p>開催：6月26日(土)～7月25日(日)</p> <p>内容：クイズ企画、パフォーマンス動画、過去の市民まつり映像、お笑い芸人による市民まつりPR動画の各配信。</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市民まつり実行委員会補助金 1,436千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により第44回大和市民まつりは中止となりましたが、代替企画としてオンライン企画を開催しました。 今後も新型コロナウイルスの影響も踏まえ、市民まつりが円滑に開催され、多くの市民に愛されるイベントとなるよう、実行委員会の運営支援を継続していきます。 					

決算書ページ 147	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	19 プレミアム付商品券発行支援事業				担当課	産業活性課
目的	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が落ち込んだ市内事業者を応援するとともに、市民の消費活動を拡大させるため。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					226,702	
手段手法	・市内店舗において使用できるプレミアム付商品券を大和商工会議所が発行することについて支援します。				令和3年度 予算現額	
					155,000	
					令和3年度 決算額	
					143,360	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	143,360
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	0					
令和4年度 予算額		0				
活動内容						
指標	1	商品券の発行冊数と販売冊数 (R2年度)	2	商品券の発行冊数と販売冊数 (R3年度)	3	4
		1冊あたり500円券26枚入りで、6万冊を発行		1冊あたり500円券13枚入りで、7万冊を発行		
	予定 (目標)	0 冊	70,000			
	令和3年度実績	0 冊	70,000			
	令和2年度実績	60,000 冊	0			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>大和市プレミアム付商品券を大和商工会議所が発行することについて支援します (地方創生臨時交付金を活用)。</p> <p><事業内容></p> <p>販売額 : 1冊6,500円 (500円券13枚) 分を5,000円で販売 発行・販売冊数: とともに70,000冊 販売対象: 市内在住者 使用期間: 令和3年11月1日～令和4年2月15日</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム商品券発行事業補助 143,360千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大和市プレミアム付商品券の発行により、新型コロナウイルス感染症の影響で売上が落ち込んでいた市内事業者を応援するとともに、市民の消費活動を拡大することにも寄与できたと考えます。 					

決算書ページ 147	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	20 新型コロナウイルス感染症対策中小企業臨時給付金事業				担当課	産業活性課
目的	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している市内事業者の経営継続を支援します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	・売上が減少した事業者に一律10万円の給付金を支給します。				令和3年度 予算現額	
					150,689	
					令和3年度 決算額	
					122,281	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	122,281
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	0					
		令和4年度 予算額		0		
活動内容						
指標	1	給付件数	2		3	
	中小企業臨時給付金を給付した件数					
	予定 (目標)	1,500 件				
	令和3年度 実績	1,220 件				
令和2年度 実績	0 件					
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している市内事業者の経営継続を支援するため給付金を支給しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策中小企業臨時給付金の交付 1220件 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業臨時給付金 122,000千円 ・ポスター印刷業務委託 99千円 ・郵送料 95千円 ・消耗品 87千円 					
評価課題	・新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少した市内中小事業者の経営継続を支援することができました。					

決算書ページ 147	款 07	商工費	項 01	商工費	目 04	消費生活相談費
事業名	01 消費者啓発事業				担当課	市民相談課
目的	市民が商品やサービスなどの正しい知識を得て判断を行えるよう、消費者意識の啓発を図り、安心、安全な消費生活を送ることができる環境を整えます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					647	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活啓発リーフレット等の配布及び啓発用ポスターの掲示や消費生活講座を開催します。 みんなの消費生活展を開催します。 				令和3年度 予算現額	
					649	
					令和3年度 決算額	
					619	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	619					
令和4年度 予算額						
449						
活動内容						
指標	1	消費啓発リーフレット等の発行部数	2	消費生活講座総受講者数	3	4
	当該年度発行実績数		当該年度受講者数			
	予定(目標)	2,600 部	56 人			
	令和3年度実績	5,400 部	85 人			
令和2年度実績	6,100 部	5 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>消費生活啓発リーフレット等の配布、啓発用ポスター掲示のほか、消費生活出前講座を開催しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発資料等 5,400部【6,100部】 くらしの講座(消費生活出前講座) 6回【1回】 消費生活パネル展 1回【0回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発資料等 615千円 旅費 4千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 商品やサービス、支払方法の多様化に伴い、消費生活の利便性が高まる一方で、その内容が複雑になっている状況や、新しい生活様式によって新たな消費者トラブルが生じている状況を踏まえ、消費者被害の未然防止のために消費者トラブルに対する意識の啓発を図ることが求められています。 成年年齢引き下げや高齢化の加速に伴い、その属性に応じた啓発活動を充実させる必要があります。 					

決算書ページ 147	款 07	商工費	項 01	商工費	目 04	消費生活相談費
事業名	02 消費生活相談事業				担当課	市民相談課
目的	市民が消費生活を送るうえで事業者との取引や契約に関して相談できる体制を整備し、市民が安心して消費生活を送ることができる環境を整えます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					14,095	
手段手法	・消費生活相談窓口を開設します。				令和3年度 予算現額	
					16,655	
					令和3年度 決算額	
					14,456	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	5
地方債	0					
その他	0					
一般財源	14,451					
令和4年度 予算額						
16,507						
活動内容						
指標	1	消費生活相談の開設日数	2	消費生活相談件数	3	4
	消費生活相談窓口の開設日数		消費生活相談を受け付けた件数			
	予定 (目標)	242 日	1,686 件			
	令和3年度 実績	242 日	1,479 件			
令和2年度 実績	243 日	1,637 件				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>消費生活相談の窓口である消費生活センターで、専門の相談員が相談に応じ、助言やあっせんを行い、問題の解決を図ります。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間相談受理件数 1, 479件【1, 637件】 ・相談員 6人【 6人】 ・相談体制 本庁「消費生活センター」(月～金、3人/日) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談員報酬 10, 605千円 ・事務補助員報酬 1, 489千円 ・その他 2, 362千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・商品やサービス、支払い方法が多様化し、複雑になっていることに伴って、市民と事業者との契約等の問題も高度化しています。また、新しい生活様式の影響で新たな消費者トラブルも生じています。このような背景を踏まえ、消費生活相談体制をより充実させることが求められています。 ・消費生活相談に迅速かつ的確に対応するためには、研修等により相談員の資質向上に努め、消費生活センターの機能をさらに強化する必要があります。 					

決算書ページ 149	款 08	土木費	項 01	土木管理費	目 02	建築指導費
事業名	05 建築確認事務				担当課	建築指導課
目的	良好な住環境の確保と災害に強い街づくりを行います。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,610	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 建築基準法に基づく確認審査、検査を行い確認済証及び検査済証を交付します。 民間の指定確認検査機関から確認審査等の状況報告を受け、建築行政共用データベースへの入力や建築計画概要書の整理を行い、必要に応じて指導助言を行います。 				令和3年度 予算現額	
					1,325	
					令和3年度 決算額	
					1,311	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	1,103					
一般財源	208					
令和4年度 予算額						
1,372						
活動内容						
指標	1 確認済証交付件数	2 確認済証交付報告件数	3 完了検査件数	4 中間検査件数		
	確認済証を交付した件数	指定確認検査機関からの確認済の報告を受け内容確認した件数	完了検査済証交付件数	中間検査済証交付件数		
	予定(目標)	30 件	1,100 件	30 件	5 件	
	令和3年度実績	18 件	1,157 件	18 件	0 件	
令和2年度実績	30 件	987 件	19 件	0 件		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築基準法に基づく確認審査、検査を行い確認済証及び検査済証を交付します。 民間の指定確認検査機関から確認審査等の状況報告を受け、建築行政共用データベースへの入力や建築計画概要書の整理を行い、必要に応じて指導助言を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 事務消耗品 80千円 建築行政共用データベースシステム使用料 1,103千円 負担金(日本建築行政会議等) 128千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 建築行政共用データベースを活用した業務のさらなる効率化が必要です。 指定確認検査機関からの建築計画の概要書等の電子化については、実施機関の増加を図ります。 					

決算書ページ 149	款 08	土木費	項 01	土木管理費	目 02	建築指導費	
事業名	06 建築物の耐震化等促進事業					担当課	建築指導課
目的	建築物の耐震化等を促進し、地震による倒壊等の被害から市民の生命、財産を保護します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
						34,267	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 耐震化の必要性について周知を図るとともに、促進策を講じます。 災害時の住民の安全を確保するため、建築物の不燃化やバリアフリー化を支援するとともに、建築物の倒壊による周辺への影響を軽減する取り組みを進めます。 安全性が確認できないブロック塀等の撤去費及び改善費の補助を行います。 					令和3年度 予算現額	
						29,383	
						令和3年度 決算額	
						21,989	
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	775
						県支出金	650
地方債	0						
その他	0						
一般財源	20,564						
令和4年度 予算額							
28,607							
活動内容							
指標	1	木造建築物精密耐震診断補助件数	2	木造建築物耐震改修工事補助件数	3	マンション耐震診断件数	4
	精密耐震診断の助成を行う件数		耐震改修工事の助成を行う件数		予備診断・本診断を行う件数		
	予定(目標)	20 件	7 件	4 件			
	令和3年度実績	19 件	2 件	0 件			
令和2年度実績	12 件	1 件	2 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震診断費の補助を木造住宅、分譲マンション及び耐震診断義務路線沿道建築物に対して行い、さらに、木造住宅には耐震改修工事費への補助、耐震診断義務路線沿道建築物には、耐震改修設計費への補助活用を依頼し、災害に対して自ら備えるための支援、普及啓発を行いました。 また、不燃化・バリアフリー化改修工事費やブロック塀等撤去費及び改善費への支援を行うことにより、避難経路や避難時間の確保を図り、災害発生時における避難の安全性を高めました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震診断、改修工事費補助金及び交付金等 19,456千円 啓発・情報提供パンフレット等 146千円 ブロック塀等調査業務委託 1,095千円 会計年度任用職員報酬、その他 1,292千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修促進計画策定業務委託や吹付アスベスト等含有調査費補助事業が、令和2年度に終了し、ブロック塀等撤去及び改善費への補助額15,406千円(84件)が、令和3年度は9,998千円(51件)に減少しました。 分譲マンションは、耐震化への住民の合意形成に時間を要していることから、今後も管理組合に対し、まずは、耐震診断の実施を誘導し、診断結果による耐震化の方向性(補強や建替え)を整理する必要があります。 今後は一定数の旧耐震基準の木造住宅が残存することが想定されるため、国の方針等に注視しながら、除却等の支援を検討する必要があります。 						

決算書ページ 149	款 08	土木費	項 01	土木管理費	目 03	緑化推進費
事業名	02 緑化推進支援事業				担当課	みどり公園課
目的	市民の緑に対する意識の高揚を図るとともに、緑化を推進します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,663	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> グリーンアップセンター内「緑の相談コーナー」に相談員を配置し、市民からの緑に関する質問に答えます。 基準を満たす接道部緑化(生垣等)について、現物給付又は設置費用の助成を行います。 				令和3年度 予算現額	
					1,962	
					令和3年度 決算額	
					1,937	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,937					
令和4年度 予算額						
1,973						
活動内容						
指標	1 緑化相談	2 生垣設置助成数	3	4		
	緑化相談件数	費用助成、現物給付、ブロック塀撤去助成件数				
	予定(目標)	450 件	2 件			
	令和3年度実績	540 件	2 件			
令和2年度実績	828 件	2 件				
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>緑に関する相談業務を行いました。 生垣設置への費用助成、現物給付を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 緑化相談件数 540件【828件】 生垣設置助成 2件【2件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託料 1,842千円 需用費 45千円 負担金、補助及び交付金 50千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 緑化相談件数については、コロナ禍のため、対面での実施日数を減少させていましたが、目標としていた件数を上回り、利用率が高いことが示されました。 今後も利用者のニーズに即した事業の展開や業務のPR等を行い、市民が緑にふれあう機会を創出します。 生垣設置助成金制度推進のため、今後も広報などを用いたPRを行います。 					

決算書ページ 149	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	03	緑化推進費
事業名	04 保存樹林等支援事業							担当課	みどり公園課
目的	市街化区域内に点在する緑（保存樹林、保存生垣、保存樹木の総称）を保存します。							令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
								30,991	
手段手法	・保存樹林、保存生垣、保存樹木を一定要件のもとに指定し、それぞれの規定に応じて緑化奨励金を支給します。							令和3年度 予算現額	
								31,500	
								令和3年度 決算額	
								29,673	
								令和3年度 財源内訳	
								国庫支出金	0
								県支出金	0
地方債	0								
その他	29,444								
一般財源	229								
令和4年度 予算額									
30,545									
活動内容									
指標	1	保存樹林の指定面積	2	保存生垣の指定箇所数	3	保存樹木の指定本数	4		
	指定している山林の面積		指定している生垣数		指定している樹木数				
	予定 (目標)	84,768 m ²	162 箇所	38 本					
	令和3年度 実績	83,800 m ²	157 箇所	38 本					
令和2年度 実績	84,768 m ²	162 箇所	38 本						
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市街化区域内に残存する山林や樹形が景観上美しい生け垣や樹木について、保存樹林、保存生け垣や保存樹木に指定し、協定を締結しました。また、緑化奨励金を支給しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存樹林 83,800 m² 【84,768 m²】 ・保存樹木 38本 【 38本】 ・保存生け垣 157箇所 【 162箇所】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化奨励金（保存樹林） 28,602千円 ・緑化奨励金（保存樹木） 57千円 ・緑化奨励金（保存生け垣） 785千円 ・その他 229千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域内に残存する山林、生け垣、樹木が保全され、市民が目にする機会の多い街中の緑を残すことができました。 ・相続等により、保存樹林等の指定解除面積が増加していることから、より効果的に緑地を保全できるよう解除申請の際に、市民緑地等へ移行していただけるよう努めています。 								

決算書ページ 151	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 01	道路橋りょう総務費
事業名	04 自転車利用環境推進事業				担当課	道路安全対策課
目的	低炭素社会構築への社会的要請の実現及び自転車利用者の安全の確保を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					19,840	
手段手法	・自転車の通行位置を標示することにより、自転車が安全に、安心して通行できる快適な自転車通行空間を確保します。				令和3年度 予算現額	
					48,900	
					令和3年度 決算額	
					45,867	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	5,117
					県支出金	0
					地方債	29,200
その他	0					
令和4年度 予算額						
46,000						
活動内容						
指標	1	自転車マナーアップ対策	2	自転車通行空間の整備	3	4
	自転車マナーアップ対策		自転車通行空間の整備			
	自転車の車道通行を促す路面シート等の路線的整備		整備可能な路線の自転車通行空間整備			
	予定(目標)	2,800 m	190 m			
令和3年度実績	2,800 m	190 m				
令和2年度実績	3,400 m	0 m				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>自転車通行空間を整備しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナーアップ対策工事 大和市内 工事延長 2,800m【3,400m】 ・自転車通行空間整備工事(大和歩行者専用道2号線) 工事延長 190m【 0m】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 45,867千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・決算額の増額は、自転車通行空間整備工事によるものです。 ・自転車利用者のマナー啓発及び自転車通行空間整備工事を引き続き行い、歩行者を含め道路利用者が円滑かつ安全に通行できるよう努めてまいります。 					

決算書ページ 151	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 02	道路維持費	
事業名	01 道路維持修繕事業					担当課	道路管理課
目的	舗装、橋梁などの道路施設の維持・修繕を効率的に進めることにより、健全性及び安全性を維持して円滑な交通を確保します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	237,574
						令和3年度 予算現額	780,453
手段手法	道路施設の点検結果に基づく計画的修繕に加え、市民からの通報、日常点検等により発見した不具合箇所について、補修、修繕、清掃等を行います。実施に当たっては、軽微なものや応急対応は直営で行い、直営で対応できないものは業者に発注します。					令和3年度 決算額	666,468
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	22,550
						県支出金	0
						地方債	399,200
						その他	0
						一般財源	244,718
令和4年度 予算額	787,212						
活動内容							
指標	1	道路施設補修等申請件数	2	道路施設の補修件数(直営以外)	3	道路施設の補修件数(直営)	4
		市民要望及び道路パトロール件数		道路施設補修工事の発注件数		直営により道路施設の補修等を行った件数	
	予定(目標)	2,400 件		130 件		1,200 件	
	令和3年度実績	2,577 件		114 件		1,411 件	
	令和2年度実績	2,451 件		117 件		1,463 件	
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>計画に基づく修繕工事のほか、市民通報やパトロール等で発見した不具合箇所の修繕等を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕 : 舗装修繕工事 35路線【53路線】 橋梁修繕工事 5橋【2橋】 その他側溝、道路照明等 ・業務委託 : 排水設備清掃、街路樹管理、道路清掃、プロムナード管理等 ・投資的委託 : 橋梁修繕詳細設計等 <p><決算の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕費 477,567千円 ・業務委託料 98,238千円 ・投資的委託料 23,880千円 ・光熱水費その他 66,783千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率化及び事業費の縮減を図るため、令和2年度までの道路施設維持管理事業、道路損傷箇所復旧事業、道路ストック修繕事業を統合したことから、決算額が増加しています。 ・鉄道や高速道路を跨ぐ橋梁の修繕工事の際には、経費が増大します。 						

決算書ページ 153	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 03	道路新設改良費
事業名	01 福田相模原線（福田地区）道路整備事業				担当課	道路安全対策課
目的	本市並びに藤沢市及び綾瀬市に連なる福田相模原線の整備を行うことによって、交通の円滑化、安全性の向上及び防災機能の強化を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,103	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 幅員16m（車道9m、歩道3.5m×2）整備区間（原福田跨線橋～藤沢市境）約800mの都市計画道路を整備します。 藤沢市、綾瀬市と連携を図り、同時期の供用に向けて調整します。 				令和3年度 予算現額	
					4,546	
					令和3年度 決算額	
					5	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	5					
令和4年度 予算額						
6,900						
活動内容						
指標	1	事業認可に係る設計等業務	2	都市計画道路整備に関する協議調整	3	交通協議の実施回数
		都市計画事業認可取得に向けた各種調査設計業務		藤沢市及び綾瀬市、県との都市計画道路整備に関する協議調整		交通協議を実施した回数
	予定 (目標)	1 式		1 回		1 回
	令和3年度 実績	0 式		0 回		1 回
	令和2年度 実績	1 式		0 回		1 回
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>福田相模原線（福田地区）に係る関係機関協議を行いました。</p> <p><事業内容></p> <p>・事業箇所 大和市福田地内</p> <p><決算額の内訳></p> <p>・旅費 5千円</p>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 前年度のコロナ禍の影響により交通管理者との協議が遅れたこと、また、新たな課題も生じたため、引き続き関係機関と協議を進める必要が生じ、協議資料作成委託の実施までには至りませんでした。 また、新幹線上の跨線橋が竣工から50年経過しているため、老朽化対策を含めた構造設計委託を実施し、JRと協調し事業を進めてまいります。 					

決算書ページ 153	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 03	道路新設改良費
事業名	03 生活道路整備事業				担当課	道路安全対策課
目的	生活道路の整備によって、生活環境の向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					45,184	
手段手法	・舗装や側溝の整備を行います。				令和3年度 予算現額	
					33,500	
					令和3年度 決算額	
					26,621	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	26,100
その他	0					
一般財源	521					
令和4年度 予算額		37,700				
活動内容						
指標	1	道路改良延長	2		3	
	道路改良工事実施延長					
	予定 (目標)	219 m				
	令和3年度 実績	219 m				
	令和2年度 実績	392 m				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>生活道路の舗装及び側溝整備等工事を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備延長 219m【392m】 ・整備箇所 2箇所【5箇所】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 26,621千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・決算額の減額は、整備延長の減少によるものです。 ・舗装及び排水施設を整備することで、生活環境が向上しました。 ・側溝整備工事には流末となる雨水管等の整備が先行していることが条件となるため、下水道担当部署との連携が必要です。 					

決算書ページ 153	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 03	道路新設改良費
事業名	04 福田相模原線（南林間地区）道路改良事業				担当課	道路安全対策課
目的	市の骨格をなす都市計画道路の拡幅整備を行い、歩行者の安全確保、交通の円滑化ならびに地域防災性の向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					50,861	
手段手法	・防衛省の補助金制度を活用して、用地買収、改良工事を行います。				令和3年度 予算現額	
					315,105	
					令和3年度 決算額	
					292,094	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	190,385
					県支出金	0
					地方債	83,200
その他	0					
一般財源	18,509					
令和4年度 予算額						
71,235						
活動内容						
指標	1	用地取得面積	2		3	
	取得した道路用地の面積					
	予定 (目標)	326 m ²				
	令和3年度 実績	326 m ²				
令和2年度 実績	98 m ²					
具体的 内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>用地買収を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地取得面積 326 m² 【98 m²】 ・物件補償 12件 【5件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収費 77,717千円 ・物件補償費 197,105千円 ・工事請負費 3,857千円 ・物件調査費 8,063千円 ・その他 5,352千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度より用地買収を本格化したため、事業費が増加しました。 ・本路線は、災害時に重要な緊急輸送路を補完する第1次路線であり、早期に事業効果を発揮する必要があります。 ・新型コロナウイルスの影響で事業期間を延伸しましたが、引き続き着実に用地買収を進めていきます。 					

決算書ページ 153	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 04	交通安全施設費
事業名	02 福田相模原線歩道整備事業（上草柳地区）				担当課	道路安全対策課
目的	市の骨格をなす都市計画道路の拡幅整備を行い、歩行者の安全確保、交通の円滑化ならびに地域防災性の向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					125,348	
手段手法	・用地買収、歩道の拡幅整備を行います。				令和3年度 予算現額	
					98,061	
					令和3年度 決算額	
					66,227	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	52,200					
その他	0					
一般財源	14,027					
令和4年度 予算額		20,815				
活動内容						
指標	1	用地取得面積	2	整備延長	3	4
	取得した道路用地の面積		整備を行った延長			
	予定 (目標)	85 m ²	144 m			
	令和3年度 実績	0 m ²	144 m			
令和2年度 実績	0 m ²	248 m				
具体的 内容	<p>歩道整備工事を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <p>・工事延長 144m【248m】</p> <p><決算額の内訳></p> <p>・工事請負費 66,227千円</p> <p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度より歩道整備延長が短かったこと、用地取得が出来なかったことにより、決算額が減少しました。 令和3年度で未取得用地以外の歩道整備は完了しました。 未取得用地の歩道整備も早期に行えるよう、任意協議だけでなく土地収用法による法的手続きも準備していく必要があります。 					

決算書ページ	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設費	
153										
事業名	03 交通安全施設整備事業							担当課	道路安全対策課	
目的	交通の円滑化と安全性の向上を図ります。							令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		104,538
								令和3年度 予算現額		57,758
手段手法	・交差点の改良、カーブミラー、道路照明灯、カラー舗装等の整備を行います。							令和3年度 決算額		57,730
								令和3年度 財源内訳		
								国庫支出金	0	
								県支出金	0	
								地方債	8,500	
								その他	0	
							令和4年度 予算額		77,590	
活動内容										
指標	1	交通安全施設整備箇所	2		3		4			
	カーブミラー・道路照明灯等交通安全施設の整備を行った箇所									
	予定(目標)	100箇所								
	令和3年度実績	75箇所								
令和2年度実績	81箇所									
具体的内容	<p>交通安全施設整備を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道改良等 20箇所【 22箇所】 ・カーブミラー設置 17箇所【 21箇所】 ・道路照明灯設置 1箇所【 14箇所】 ・カラー舗装 37箇所【 24箇所】 （カラー舗装面積） 1,484㎡【1,185㎡】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 57,730千円 									
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・決算額の減額は、国の第3次補正予算の要望が不採択となった事業があり、予算工事規模が縮小したためです。 ・カーブミラーの設置や歩道の改良などを行うことで、道路の安全性が向上しました。 ・市民等からの交通安全要望に対し、速やかに対応できるように務めています。 									

決算書ページ 153	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 04	交通安全施設費
事業名	04 電線地中化事業（南大和相模原線）				担当課	道路安全対策課
目的	電線共同溝施設の整備完了後、歩道等の舗装工事を行います。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					40,069	
手段手法	大和駅周辺道路に電線共同溝の整備を行います。				令和3年度 予算現額	
					28,000	
					令和3年度 決算額	
					27,991	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	2,458
					県支出金	0
					地方債	24,300
その他	0					
一般財源	1,233					
令和4年度 予算額						
0						
活動内容						
指標	1	引込管の設置数	2	舗装本復旧の整備延長	3	4
	電線共同溝に係る企業者の引込管の設置数		電線共同溝を設置した歩道の舗装復旧延長			
	予定 (目標)	0 箇所	82.8 m			
	令和3年度 実績	0 箇所	82.8 m			
令和2年度 実績	32 箇所	0 m				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 電線共同溝を設置した歩道の舗装復旧工事を実施しました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 工事延長 $L = 82.8 \text{ m}$ 【 0m】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 工事請負費 27,991千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は引込管等の設備工事の委託を実施し、令和3年度は電線地中化工事完了後の舗装復旧工事を実施しました。決算額の減額は、工事の規模、内容が相違したためです。 計画区間の電線地中化事業を完了しました。 					

決算書ページ 155	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費	
事業名	04 鉄道輸送円滑化促進事業				担当課	街づくり総務課	
目的	鉄道輸送力の増強や駅施設の整備、改善を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		
					22,265		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道事業者及び国に対し、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、駅施設の改善や運行に関する要望活動を行います。 				令和3年度 予算現額		
					22,024		
					令和3年度 決算額		
					22,017		
					令和3年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
地方債	0						
その他	0						
一般財源	22,017						
令和4年度 予算額							
24							
活動内容							
指標	1	県鉄道輸送力増強促進会議等の会議出席回数	2	県鉄道輸送力増強促進会議(部会)	3	ホームドア等設置に係る補助金交付決定回数	4
		県鉄道輸送力増強促進会議等の会議出席回数		各部会(小田急・東急・相鉄)を通じた要望回数		ホームドア等設置促進事業費補助金交付要綱に基づく交付決定	
	予定(目標)	3 回	3 回	1 回			
	令和3年度実績	3 回	3 回	1 回			
令和2年度実績	3 回	3 回	1 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>鉄道事業者に対し、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、輸送力の増強や利便性の向上を促進するための要望活動を行いました。また、ホームドア整備に対する補助を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道事業者に対する要望活動 : 小田急電鉄、東急電鉄、相模鉄道 ホームドア整備費に対する補助 : 相鉄相模大塚駅 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームドア等設置事業補助金 22,000千円 その他 17千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 国が都市部における鉄道駅のバリアフリー化に対し補助金の交付は行わないとしたことから、県内市町の動向を把握したうえで、大和市ホームドア等設置促進事業費補助金交付要綱の廃止について検討を行っていく必要があります。 						

決算書ページ 155	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費
事業名	05 コミュニティバス運行事業				担当課	街づくり総務課
目的	生活交通を確保・維持する交通ネットワークを形成し、身近な移動手段を持たない市民の移動手段の確保と、市内における地域間移動の円滑化を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					336,468	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス「のろっと」を市内2地域で、「やまとんGO」を市内4地域で運行します。 				令和3年度 予算現額	
					338,343	
					令和3年度 決算額	
					328,434	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	2,388					
一般財源	326,046					
令和4年度 予算額						
417,549						
活動内容						
指標	1	コミュニティバス運行本数	2	コミュニティバス利用者数	3	4
	6路線の年間運行本(便)数		6路線の年間利用者数(前年実績を目標値に設定)			
	予定(目標)	73,849 本	516,000 人			
	令和3年度実績	73,827 本	579,971 人			
令和2年度実績	73,851 本	515,671 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>コミュニティバスを運行しました。</p> <p><運行概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス「のろっと」 運行本数 : 北部16本、南部11本(35人乗り車両) 利用者数 : 309,034人【276,460人】 ・コミュニティバス「やまとんGO」 運行地域 : 中央林間西側、相模大塚、深見、桜ヶ丘 運行本数 : 各地域44本(13人乗り車両) 利用者数 : 270,937人【239,211人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行委託 327,734千円 ・その他 700千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの利用者数が前年度から約13%増加したことにより、運賃収入が増加し、運行委託費が低減されたため、令和3年度決算額が減額となりました。 ・利用者数は回復傾向となりましたが、新型コロナウイルスの影響等、先行きが見えない状況です。 ・利用促進に向けた取り組みを行うなど、コミュニティバスの運行を持続可能な事業とする必要があります。 					

決算書ページ 155	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費
事業名	06 地域公共交通施策事業				担当課	街づくり総務課
目的	もっと外出が楽しくなるまち「やまと」を実現します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					52,789	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市総合交通施策の3つの基本目標に沿った施策展開に向けて関係団体等との連携を図るため協議等を行います。 住民組織による移動手段創出の取り組みに対して支援を行うとともに、バス運行を業務委託します。(西鶴間・上草柳地域「のりあい」) 市内民間事業者の所有する送迎バス等を活用し、65歳以上の市民の移動を支援します。 ※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で一部の事業を中止				令和3年度 予算現額	
					64,707	
					令和3年度 決算額	
					53,711	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	5,870
					県支出金	2,597
地方債	0					
その他	0					
一般財源	45,244					
令和4年度 予算額						
53,508						
活動内容						
指標	1	協働事業に係る会議回数	2	大和市地域公共交通協議会	3	のりあい利用者数
		運営会議12回、役員会6回開催見込み(令和2年度より)		関係機関との会議回数(H29より分科会、書面協議を含む)		のりあいを利用した人数(前年実績を目標値に設定)
	予定(目標)	18回	6回	20,400人	48人	
	令和3年度実績	0回	8回	23,660人	0人	
令和2年度実績	3回	5回	20,395人	48人		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>住民組織による移動手段創出の取り組みに対し支援を行うとともに、バス運行を業務委託しました。また、関係団体と連携し、大和市総合交通施策に沿った施策を進めるとともに、同計画の改定を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 「のりあい」利用者数(運行本数18便・9人乗り車両) 23,660人【20,395人】 新型コロナウイルス感染症防止対策補助金 5件 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 「のりあい」協働事業負担金 755千円 「のりあい」運行委託 41,314千円 大和市総合交通施策改定委託 7,645千円 新型コロナウイルス感染症防止対策補助金 3,330千円 その他 667千円 					
	評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 大和市総合交通施策の改定を踏まえ、施策パッケージに即した交通施策について、関係団体等との連携を図りながら着実に実施していくことが必要です。 西鶴間・上草柳地域の協働事業(のりあい)における、協働事業のあり方や地域と市の費用負担について 継続して協議していく必要があります。 バス・タクシー事業者が行う新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策について支援することができました。 				

決算書ページ 155	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費
事業名	07 中央林間駅周辺まちづくり事業				担当課	街づくり総務課
目的	中央林間地区街づくりビジョンの方針を踏まえ、中央林間駅周辺のまちづくりを進めます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					256,960	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 駅を中心とした都市機能誘導区域や、誘導すべき都市機能などを立地適正化計画で定め、鉄道事業者との連携のもと、社会資本整備総合交付金などの国庫補助金を活用しながら中央林間駅周辺のまちづくりを進めます。 				令和3年度 予算現額	
					194,020	
					令和3年度 決算額	
					180,309	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	180,309					
令和4年度 予算額						
165,016						
活動内容						
指標	1	庁内検討会議の開催回数	2	鉄道事業者との協議・調整回数	3	4
	庁内関係各課との事前打合せや調整を踏まえた協議の場合		拠点施設整備や駅施設改修等に伴う協議・調整の場合			
	予定(目標)	6 回	20 回			
	令和3年度実績	7 回	17 回			
令和2年度実績	3 回	18 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>中央林間地区街づくりビジョンに基づき、中央林間駅周辺のまちづくりを進めました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道利用者の利便性及び安全性の向上等を図るために必要となる鉄道駅の改良に対し、補助金の交付を行いました。(小田急中央林間駅総合改善事業) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 小田急中央林間駅総合改善事業補助金 180,302千円 その他 7千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 東林間7号踏切拡幅整備工事が終了したため、令和3年度決算額が減額となりました。 令和4年度より国が小田急中央林間駅総合改善事業におけるホームドア設置等に係る費用を補助対象外としたことにより、本市の補助対象事業からも除外されることとなりましたが、ホームドア整備が予定通り(令和6年度)完了するよう、鉄道事業者と協議を行っていきます。 					

決算書ページ 155	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費
事業名	09 空家等対策事業				担当課	建築指導課
目的	空家等の適正管理を促進することにより、防災、衛生、景観面等に与える影響の抑制に努め、生活環境の保全を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					25	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空家等の所有者に適正管理を促すための啓発や情報提供等を行い、空家等の管理不全を抑制します。 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく空家等対策計画の策定を進めます。 空き家や所有者不明土地の発生を抑制するための譲渡に係る所得税及び個人住民税の特例措置の適用に当たり、被相続人居住用家屋等確認書及び低未利用土地等確認書を交付します。 				令和3年度 予算現額	
					156	
					令和3年度 決算額	
					57	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	57					
令和4年度 予算額						
129						
活動内容						
指標	1 空家台帳管理件数	2 適正管理依頼件数	3 被相続人居住用家屋等確認書処理件数	4 低未利用土地等確認書処理件数		
	台帳により経過管理している空家等の件数	空家等に対する適正管理依頼文書の送付件数	家屋の譲渡所得の3000万円特別控除の適用のための手続き件数	土地の譲渡所得税等の特例措置の適用のための手続き件数		
	予定(目標)	120 件	40 件	26 件	0 件	
	令和3年度実績	127 件	49 件	39 件	1 件	
令和2年度実績	114 件	39 件	26 件	0 件		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>管理不全となっている空家等の所有者へ適正管理を促すとともに、被相続人居住用家屋等確認書及び低未利用土地等確認書の交付等により空家等の発生を抑制しながら、空家等対策計画の策定に向けて情報収集等の準備を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 空家等相談件数 48件【32件】 空家等適正管理依頼書送付 49件【39件】 空家等解消数 35件【34件】 被相続人居住用家屋等確認書交付 39件【26件】 低未利用土地等確認書交付 1件【0件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 講習会負担金、その他 57千円 					
	評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き周辺的生活環境に影響を及ぼしている空き家の所有者への適正管理を促し、管理不全の空家等を解消・抑制するとともに、空家等実態調査の結果を分析し、空家等対策計画の策定を進める中で、協議会設置の検討や関係団体との連携強化など今後の空家等対策の方向性や具体策を検討していく必要があります。 				

決算書ページ 155	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費
事業名	10 都市計画決定事務				担当課	街づくり計画課
目的	総合計画及び都市計画マスタープランで示されたまちづくりの方向性を法定都市計画に定めます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					14,365	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な市街地の形成を図るために、線引き・用途地域などの「区域区分・地域地区」や、道路・公園などの「都市施設」、土地区画整理事業・市街地再開発事業などの「市街地開発事業」について見直す必要があるものに関して、都市計画の手続きを行います。 				令和3年度 予算現額	
					20,158	
					令和3年度 決算額	
					13,311	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	5,203
地方債	0					
その他	0					
一般財源	8,108					
令和4年度 予算額						
3,667						
活動内容						
指標	1	法手続きの回数	2		3	
	都市計画審議会を開催した回数					
	予定(目標)	4 回				
	令和3年度実績	1 回				
令和2年度実績	3 回					
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> 生産緑地地区の都市計画の変更の手続きを行いました。 都市計画基礎調査及び都市計画図の作成を行いました。 令和4年以降に申出基準日を迎える生産緑地地区について、特定生産緑地の指定を行いました。 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 生産緑地地区の都市計画の変更 1回【1回】 都市計画審議会を開催した回数 1回【3回】 特定生産緑地の指定 1回【0回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員報酬 821千円 都市計画基礎調査業務委託費 10,362千円 都市計画図等作成業務委託 1,716千円 都市計画審議会報酬、その他 412千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 市で定める都市計画について、都市計画案の段階から、説明会や市HP等を通して分かりやすい周知に努めるとともに、計画内容を正確に情報提供していきます。 地震火災による延焼被害を最小限とするため、第一種低層住居専用地域へ準防火地域を拡大する事務を進めます。 特定生産緑地の指定に向けた事務を適正に進めます。 					

決算書ページ 155	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費
事業名	12 特定地域土地利用誘導事業（内山地区）				担当課	街づくり推進課
目的	内山地区の市街化調整区域について、市街化区域編入を目指し、計画的かつ段階的な市街地整備の誘導を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					10,343	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 土地所有者等の意向や現在の土地利用の状況等を踏まえ、地元の誘導方策を検討し、実施します。 勉強会等の啓発活動を行うことにより、街づくりに対する地元の意識が高まるよう働きかけます。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部事業中止				令和3年度 予算現額	
					243	
					令和3年度 決算額	
					103	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	103					
令和4年度 予算額						
5,479						
活動内容						
指標	1	勉強会等の開催回数	2	地元の会合への市職員出席回数	3	4
	地元の権利者を対象とする街づくりの勉強会等の開催回数		地元の街づくり組織の総会や幹事会等への市職員出席回数			
	予定(目標)	1 回	10 回			
	令和3年度実績	0 回	13 回			
	令和2年度実績	0 回	7 回			
具体的内容	【 】内は前年度数値 内山地区の市街化区域編入に向けた関係機関との協議を行いました。 <事業内容> ・各関係機関調整協議 <決算額の内訳> ・消耗品 3千円 ・補助金（内山地区街づくり事業準備活動助成金） 100千円					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 各関係機関との調整を行ったことにより、事業の方向性を進めることができました。 引続き住民発意による地区計画（案）の賛同率8割を目標に合意形成を図る必要があります。 					

決算書ページ 155	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費
事業名	13 特定地域土地利用誘導事業（中央森林地区）				担当課	街づくり推進課
目的	中央森林地区の市街化調整区域について、緑の拠点として、市民の憩いの場を確保するとともに、複合的な街づくりを誘導します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					2	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 土地所有者等の意向を踏まえ、市街地整備の誘導方を検討し、実施します。 勉強会等の啓発活動を行うことにより、街づくりに対する地元の意識が高まるよう働きかけます。 				令和3年度 予算現額	
					3,930	
					令和3年度 決算額	
					3,885	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	3,885					
令和4年度 予算額						
36						
活動内容						
指標	1	勉強会等の開催回数	2	打ち合わせ回数	3	地元の会合への市職員出席回数
	地元の権利者を対象とする街づくりの勉強会等の開催回数		関係機関との打ち合わせ回数		地元の街づくり組織の総会や役員会等への市職員出席回数	
	予定(目標)	2 回	5 回	5 回	5 回	
	令和3年度実績	0 回	9 回	0 回	0 回	
令和2年度実績	0 回	5 回	0 回	0 回		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>中央森林東側地区の市街化区域編入に向けた関係機関との協議を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 県河川課との治水等対策協議 1回【2回】 県都市計画課との都市計画協議 4回【2回】 県警との交通協議 3回【1回】 横浜国道事務所との打合せ 1回【0回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託費 3,883千円 消耗品 2千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 委託業務費の皆増により、事業費が令和2年度に比べ増加しました。 県河川課との治水等対策協議が完了しました。 市街化区域編入における課題であった公園及び騒音について、県都市計画課との協議により調整が進み、協議完了の目途が立ちました。 県都市計画課や地元と調整しながら土地利用計画及びその実現手法（用途地域、地区計画）を検討しました。 関係機関との協議をさらに進め、その進捗に合わせて市の地区計画（案）を作成し、地元の合意形成を図る必要があります。 					

決算書ページ 157	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 04	公園管理費
事業名	08 ゆとりの森管理運営事業				担当課	みどり公園課
目的	ゆとりの森をスポーツとレクリエーションの場として、安全で快適に利用できるよう管理運営します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					60,748	
手段手法	・指定管理者制度を活用し、施設の維持管理及び運営を行います。				令和3年度 予算現額	
					60,748	
					令和3年度 決算額	
					60,748	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	16,277					
一般財源	44,471					
令和4年度 予算額		60,748				
活動内容						
指標	1	管理日数	2	利用満足度	3	4
	ゆとりの森の管理日数		利用者を対象に実施するアンケート結果 (5点満点)			
	予定 (目標)	365 日	4.5 点			
	令和3年度実績	365 日	4.54 点			
令和2年度実績	365 日	0 点				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>指定管理者制度を活用し、施設の維持管理及び運営を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営に関する事 365日【365日】 ・維持管理に関する事 365日【365日】 ・自主事業に関する事 53件【39件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 60,748千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を適正に管理することにより、市民が安心して利用できる環境を維持することができました。 ・遊具やスポーツ施設等の老朽化による補修が増えてきており、今後、大規模な改修が必要になることも想定されます。 					

決算書ページ 159	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 04	公園管理費
事業名	10 大和スタジアム・つきみ野野球場・宮久保野球場 施設管理運営事業				担当課	スポーツ課
目的	野球場施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ 施設環境を提供します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					56,822	
手段手法	・野球場施設の維持管理及び運営を指定管理により実施 します。				令和3年度 予算現額	
					70,087	
					令和3年度 決算額	
					70,087	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	92					
一般財源	69,995					
令和4年度 予算額		63,047				
活動内容						
指標	1	利用者数	2	利用可能日数	3	4
	3施設年間利用総人数		利用可能日数(大和スタジアム)			
	予定 (目標)	110,000 人	308 日			
	令和3年度 実績	74,919 人	309 日			
令和2年度 実績	50,497 人	256 日				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数(3施設合計) 1,412件【 1,022件】 ・利用人数(3施設合計) 74,919人【 50,497人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料(大和スタジアム、つきみ野野球場、宮久保野球場) 63,047千円 ・大和スタジアム中央監視盤修繕 7,040千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から新たに5年間の指定管理者制度による管理を開始するにあたり、指定管理料の見直しを行いました。また、大和スタジアム中央監視盤修繕を実施したため、事業費が増加しました。 ・施設の老朽化が進行しており、安全で快適な施設として市民に提供するため、指定管理者と連携を図り、適切な維持補修や改修等を継続的に実施していく必要があります。 					

決算書ページ 159	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 04	公園管理費		
事業名	12 ゆとりの森スポーツ施設管理運営事業					担当課	スポーツ課	
目的	ゆとりの森スポーツ施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	32,560	
						令和3年度 予算現額	31,920	
手段手法	・施設の維持管理及び運営を指定管理により実施します。					令和3年度 決算額	31,920	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
令和4年度 予算額		31,920						
							令和4年度 予算額	32,519
活動内容								
指標	1	利用可能日数	2	利用者数	3		4	
		施設の利用可能日数		施設の利用者数				
	予定 (目標)	356 日	130,000 人					
	令和3年度 実績	356 日	145,344 人					
令和2年度 実績	296 日	117,129 人						
具体的 内容	<p>ゆとりの森スポーツ施設の管理運営を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 21,693件【19,328件】 ・利用人数 145,344人【117,129人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理委託料 31,920千円 					【 】内は前年度数値		
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設全般について、良好な利用環境の維持に努めます。 ・ポストコロナにおいて利用者の増加が見込まれることから、指定管理者と連携し、安全で快適にスポーツが行えるよう、施設の管理運営を適正に行う必要があります。 							

決算書ページ 159	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 05	公園建設費	
事業名	02 既設公園等大規模改修事業				担当課	みどり公園課	
目的	利用者の安全を確保し、利便性を向上させる改修工事を行います。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		
					167,978		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 公園内の老朽化及び破損した遊具、設備等を撤去・新設します。 利用者の要望等により、既設公園内に新たな遊具、設備などを設置します。なお、軽微な補修については、維持管理事業において対応しています。 				令和3年度 予算現額		
					175,482		
					令和3年度 決算額		
					170,949		
					令和3年度 財源内訳		
					国庫支出金	15,000	
					県支出金	0	
					地方債	105,000	
その他	0						
令和4年度 予算額							
155,970							
活動内容							
指標	1	改修又は新設した施設数 1年間に改修・新設した施設数	2	改修又は新設した遊具等の数 1年間に改修・新設した遊具等の数	3	公園施設長寿命化計画に伴い改築した遊具の数 1年間に改築した遊具の数	4
	予定(目標)	14 箇所	11 箇所	5 基			
	令和3年度実績	9 箇所	14 箇所	5 基			
	令和2年度実績	31 箇所	15 箇所	3 基			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>公園施設長寿命化改修工事については「大和市公園施設長寿命化計画」に基づき老朽化した遊具等の改修工事を計画的に実施しました。 既設公園等施設改修・設置工事では破損及び老朽化が進んだ危険な遊具など、緊急性の高い施設の改修工事を行いました。</p> <p><事業内容、決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 引地台公園改修工事 83,637千円 公園施設長寿命化計画改築工事 32,153千円 木製施設改修工事 27,522千円 公園施設長寿命化計画補修工事 15,052千円 やまと防災パーク芝生保護材設置工事 6,644千円 宇都宮記念公園仲よし広場園路整備工事 2,730千円 その他事業費 3,211千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 引地台公園の入口にエントランスと芝生広場を整備したことにより、清潔感があり、明るく開放的な景観を演出しました。 整備後20年以上が経過した都市公園が約8割を占め、施設の損傷や老朽化が進んでいることから、今後も公園施設の長寿命化計画に基づき計画的な遊具等の修繕更新を行い利用者が安全で快適に利用できる環境を整えていきます。 						

決算書ページ	款	08	土木費	項	04	都市計画費	目	05	公園建設費	
事業名	03 大規模緑地整備事業							担当課	みどり公園課	
目的	市内に残る貴重な資産である大規模緑地を、将来にわたって保全していくための整備を進めます。							令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		
								1,650		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収、賃貸借契約、市民緑地、借地公園等の手段を効果的に組み合わせて、緑地を確保していきます。 							令和3年度 予算現額		
								2,102		
								令和3年度 決算額		
								0		
								令和3年度 財源内訳		
								国庫支出金	0	
								県支出金	0	
地方債	0									
その他	0									
一般財源	0									
令和4年度 予算額										
0										
活動内容										
指標	1	大規模緑地内の市所有緑地等面積	2		3		4			
	将来にわたって永続的に保全が可能な形態になった緑地の面積									
	予定(目標)	26.5 h a								
	令和3年度実績	26.5 h a								
令和2年度実績	26.5 h a									
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央林間自然の森（3.4 h a）等：用地交渉を継続して行いました。 									
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・泉の森等の保全緑地内の用地を取得することで、貴重な自然環境の保全に繋がります。 ・今後も土地所有者との用地交渉を進めるとともに、県との協議連携を図っていくことが重要です。 									

決算書ページ 159	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 05	公園建設費
事業名	04 街区公園等整備事業				担当課	みどり公園課
目的	周辺住民に憩いや遊びの場を提供します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					116,986	
手段手法	・新たに公園用地として確保した市有地や借用地を、法令に基づき、街区公園や緑の広場として整備します。				令和3年度 予算現額	
					3,653	
					令和3年度 決算額	
					2,978	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	1,800					
その他	0					
一般財源	1,178					
令和4年度 予算額		62,280				
活動内容						
指標	1	公園整備面積	2	市民1人当たりの都市公園面積	3	4
	公園整備面積(年間)		緑の基本計画に定める市民一人当たりの都市公園面積			
	予定(目標)	0.01 ha	6.9 m ²			
	令和3年度実績	0.01 ha	3.42 m ²			
令和2年度実績	0.98 ha	0 m ²				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>令和4年度に整備を予定している(仮称)緑野青空子ども広場跡地公園の樹木診断委託を実施しました。また、中央四丁目自治会館の跡地を、隣接する中央6号公園として拡幅整備しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木診断 11本 ・整備面積 50m² <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)緑野青空子ども広場跡地公園樹木診断委託 495千円 ・中央6号公園拡幅整備工事 2,438千円 ・その他 45千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に実施した中央6号公園の拡幅工事は令和2年度に実施したふれあいの森スカイ広場の整備工事と比較して小規模なものであったため、前年度決算額に対して事業費が減額となりました。 ・中央6号公園は令和3年8月10日に拡幅部分の供用を開始しました。 ・新規公園の整備には多額の費用を要するため、防衛8条補助金等の国庫補助金の活用を検討していく必要があります。 					

決算書ページ 159	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 05	公園建設費
事業名	05 やまと公園改修整備事業				担当課	みどり公園課
目的	供用開始から45年以上経ち施設が老朽化していることから、利用者の安全を確保し、公園の魅力や利便性を向上させる大規模改修整備工事を行います。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					56,982	
手段手法	隣接する旧商工会議所跡地等についても公園として拡張し、大規模改修整備工事の中で整備を行います。大規模改修整備にあたっては、芝生広場や休憩所の整備を行い、憩いや賑わいのある誰もが足を運びたくなる公園の整備を行います。				令和3年度 予算現額	
					187,164	
					令和3年度 決算額	
					186,037	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	72,641
					県支出金	13,343
					地方債	80,400
その他	0					
令和4年度 予算額						
888,465						
活動内容						
指標	1	事業進捗率	2		3	
	進捗率(累計計画事業額÷全体計画事業額×100)					
	予定(目標)	36 %				
	令和3年度実績	21.5 %				
	令和2年度実績	5 %				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>やまと公園の施設整備工事及び休憩所新築工事に着手しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備面積 1. 19ha ・やまと公園大規模改修工事 給排水・電気・園路・管理施設等 ・やまと公園休憩所新築工事 建築・電気設備・機械設備 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまと公園大規模改修工事 118,045千円 ・やまと公園休憩所新築工事 57,564千円 ・その他 10,428千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2～3年度継続工事の精算が生じたほか、施設整備に着手したため、事業費が前年度より増額しました。 ・国や県の補助金を充当し、財源を確保しつつ事業を進めます。 ・令和3～4年度の継続、令和4年度単年と多くの工事を実施するため、関係各所や工事間での調整を適切に行う必要があります。 ・工事に対する市民の関心も高いことから、引き続き丁寧に情報発信してまいります。 					

決算書ページ 159	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 06	引地川公園関連事業費
事業名	01 ゆとりの森整備事業				担当課	みどり公園課
目的	ゆとりの森の広々とした空間を活かし、市民にスポーツとレクリエーションの場を提供します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					25,567	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画、実施計画に基づきスポーツ施設、レクリエーション施設を整備します。 				令和3年度 予算現額	
					5,477	
					令和3年度 決算額	
					5,242	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	3,700
その他	0					
令和4年度 予算額						
2,838						
活動内容						
指標	1 整備面積	2 整備進捗率	3	4		
	ゆとりの森整備完了面積 (年間)		累計整備進捗率 (整備済み面積 ÷ 計画面積 × 100)			
	予定 (目標)	0 ha	91 %			
	令和3年度実績	0 ha	91 %			
令和2年度実績	0 ha	91 %				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>令和3年度は園地の階段設置や臨時駐輪場整備等を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 公園整備工事：中規模多目的スポーツ広場階段設置 臨時駐輪場整備 駐車場安全対策 防衛省新規借受地暫定整備 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ゆとりの森整備工事 5,056千円 その他 186千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 整備工事量が減少したため、前年度決算額に対し減額となりました。 利用者が多い中規模多目的スポーツ広場の階段設置や臨時駐輪場整備等を実施したことにより、公園利用者の安全性や利便性が向上しました。 残る大規模多目的スポーツ広場整備に向け、国による用地取得の動向に注視する必要があります。 					

決算書ページ 161	款 09	消防費	項 01	消防費	目 01	常備消防費
事業名	07 消防職員研修事業				担当課	消防総務課
目的	消防大学校、消防学校への派遣研修等を通じ、知識・技術の習得を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					7,404	
手段手法	・資格取得研修や消防学校、消防大学校等の教育機関に派遣するとともに、消防本部においても職員の知識、技術の習得のため自主研修を実施します。				令和3年度 予算現額	
					9,153	
					令和3年度 決算額	
					7,850	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	7,850					
令和4年度 予算額						
8,736						
活動内容						
指標	1	研修への派遣人数	2	資格取得派遣	3	4
	消防大学校等の教育機関への派遣		各種資格取得のための派遣			
	予定(目標)	42 人	32 人			
	令和3年度実績	35 人	14 人			
令和2年度実績	19 人	33 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>専門的知識・技術の習得と資格取得等のために関係機関へ職員を派遣しました。</p> <p><事業内容></p> <p>派遣研修(専門的知識・技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県消防学校 10科目 33人【2科目 18人】 ・消防大学校 2科目 2人【1科目 1人】 <p>資格取得等(資格・特別教育の受講)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士資格 1人【2人】 ・大型自動車免許 2人【2人】 ・その他資格取得 5科目 11人【5科目 29人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修旅費等 2,851千円 ・各種教育期間養成研修負担金等 4,460千円 ・その他 539千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一部の派遣研修を中止しましたが、令和2年度と比較し、派遣研修人員の増加に伴い事業費が増加しています。 ・今後も引き続き消防職員がその任務の遂行に必要な専門的知識及び技術の習得を図り、確固たる使命感と倫理観を持った職員育成のため派遣を実施する必要があります。 ・研修修了者が所属職員に研修内容を報告することにより、説明能力の向上や職員全体のレベルアップに努める必要があります。 					

決算書ページ 163	款 09	消防費	項 01	消防費	目 01	常備消防費
事業名	18 住宅防火対策事業				担当課	予防課
目的	火災による人的被害を低減するため、住宅の防火対策を推進します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					287	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 住宅防火訪問診断を実施します。 各種広報媒体を活用し、住宅防火思想の普及啓発を行います。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止 				令和3年度 予算現額	
					133	
					令和3年度 決算額	
					130	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	130					
令和4年度 予算額						
383						
活動内容						
指標	1	住宅防火訪問診断数	2	住宅用火災警報器広報	3	住宅防火対策に係る講話
		住宅防火訪問診断の実施件数		住宅用火災警報器普及啓発に係る広報実施回数		住宅防火対策に係る講話等の実施回数
	予定(目標)	100 件	8 回	3 回	6,800 件	
	令和3年度実績	8 件	7 回	1 回	6,678 件	
令和2年度実績	2 件	6 回	1 回	4,715 件		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>火災による人的被害を低減するため、住宅の防火対策を推進しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅防火訪問診断の実施(公募のみ) 8世帯【 2世帯】 地域の住民を対象に防火講話の実施 1回【 1回】 住宅用火災警報器の適正な維持管理と、未設置世帯への設置促進及び設置支援の実施 4世帯【 1世帯】 住宅用火災警報器の設置と維持管理についての横断幕を設置(市内3か所) 各種広報媒体を活用した住宅防火に関する市民への啓発 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品 112千円 印刷製本 18千円 					
	評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 住宅防火訪問診断や防火講話を実施することで、一般住宅からの出火防止が図られます。 住宅用火災警報器の広報により、適正な維持管理を推進することで、火災による人的被害・物的被害の低減が図られます。 新型コロナウイルス感染症の影響により、住宅防火訪問診断が実施できず、防火講話の実施回数も減少したことから、新型コロナウイルス感染症の影響を受けない、多種多様な広報方法等の検討が必要です。 				

決算書ページ 163	款 09	消防費	項 01	消防費	目 01	常備消防費		
事業名	28 応急手当普及啓発事業					担当課	救急救命課	
目的	救命率の向上を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		
						2,857		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、事業所及び団体を対象に、各種救命講習会を開催し、指令課と協力して適切な119番通報及び口頭指導訓練を実施する。 ・事業所などに設置されているAED（自動体外式除細動器）を、緊急時に提供していただけるよう「やまとAED救急ステーション」として認定します。 ・シリウス4階の健康テラスで応急手当が学べる「救急ミニ講座」を開催し、更なるAEDの普及啓発に努めます。 					令和3年度 予算現額		
						1,778		
						令和3年度 決算額		
						1,505		
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	314	
地方債	0							
その他	0							
一般財源	1,191							
令和4年度 予算額								
1,545								
活動内容								
指標	1	普通救命講習会参加数	2	上級救命講習会参加数	3	応急手当講習会参加数	4	応急手当普及員講習会参加数
	国が定めた3時間の救命講習		国が定めた8時間の救命講習		3時間に満たない救命講習		国が定めた応急手当普及員を養成する24時間の講習	
	予定(目標)	1,000 人	60 人	1,700 人	30 人			
	令和3年度実績	341 人	17 人	2,851 人	0 人			
令和2年度実績	291 人	0 人	1,527 人	0 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市内在住・在勤・在学の方を対象に、各種救命講習を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通救命講習会 49回【46回】 ・上級救命講習会 3回【0回】 ・応急手当講習会 76回【50回】 ・応急手当普及員講習会 0回【0回】 ・応急手当普及員再講習会 12回【1回】 <p>市内中学校及び小学校の授業内で、救命講習会を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校 4校【5校】 ・小学校 6校【1校】 <p>やまとAED救急ステーション 30事業所【4事業所】</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種講習会消耗品 799千円 ・その他 706千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度も新型コロナの影響はありましたが、令和2年度と比較し講習受講者数は増加しています。 ・救命講習会の開催や受講者数に制限を設けて継続し、救命に関する動画配信やWEB講習等を有効に活用して、市民への普及啓発に努めていきます。 ・国が定める3時間以上の普通救命講習会に参加できない市民に対しては、市民ニーズに合わせた講習会を開催していく必要があります。 ・小・中学校での救命講習会の実施に向け、校長会での説明等により、全校実施を目指します。 							

決算書ページ 163	款 09	消防費	項 01	消防費	目 01	常備消防費
事業名	29 メディカルコントロール推進事業				担当課	救急救命課
目的	救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置の知識・技術の維持及び向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,900	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な教育研修・訓練に救急救命士を含む救急隊員を派遣します。 神奈川県メディカルコントロール協議会指導救命士制度運用要綱に基づき、指導救命士の認定を行います。 県北・県央地区メディカルコントロール協議会で定める実施基準に基づき、救急救命士を含む救急隊員の研修に伴うポイントを適切に管理します。 				令和3年度 予算現額	
					5,421	
					令和3年度 決算額	
					4,827	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	4,827					
令和4年度 予算額						
5,565						
活動内容						
指標	1	救急救命士就業前、生涯研修実施割合	2	気管挿管認定救急救命士資格取得割合	3	教育研修回数
		救急救命士として現場活動するための研修		救急救命士の気管挿管認定資格の割合		消防本部主催回数
	予定(目標)	80 %	75 %	2 回		
	令和3年度実績	100 %	78 %	2 回		
	令和2年度実績	80 %	86 %	2 回		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p>救急救命士の各種研修を実施しました。</p> <p><研修実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 就業前研修 5人【2人】 生涯研修 29人【1人】 <p><新資格研修></p> <ul style="list-style-type: none"> 気管挿管認定救命士 2人【1人】 認定資格者合計37人【38人】 ビデオ喉頭鏡認定救命士 1人【0人】 認定救命士合計31人【32人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 研修負担金 2,926千円 県北・県央地区メディカルコントロール協議会負担金 1,105千円 その他 796千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の認定資格取得研修や生涯研修等への派遣については、医療機関側の受入れ体制の確保ができていたため、令和2年度と比較し研修派遣人員の増加に伴い事業費が増加しています。 救急業務に携わる救急隊員の知識・技術の向上のためには、救急救命士を含む救急隊員が病院研修を受けられる体制を継続していく必要があるため、県北・県央地区メディカルコントロール協議会と連携して、救急救命士を含む救急隊員に必要な教育体制の確保を図ります。 					

決算書ページ 163	款 09	消防費	項 01	消防費	目 01	常備消防費	
事業名	30 救護活動用機材整備事業					担当課	救急救命課
目的	心肺停止状態の傷病者が、早期に除細動の処置を受けることができる環境を整備します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	7,792
						令和3年度 予算現額	9,299
手段手法	市内の24時間営業のコンビニエンスストア、公共施設、郵便局及び大規模集合住宅等にAED（自動体外式除細動器）を設置し、維持管理します。					令和3年度 決算額	8,533
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
						地方債	0
						その他	0
令和4年度 予算額	11,304						
活動内容							
指標	1	AEDの定期点検	2		3		4
	維持管理確認のための動作点検 (6ヶ月毎)						
	予定 (目標)	250	回				
	令和3年度実績	250	回				
令和2年度実績	240	回					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストア、郵便局及び大規模集合住宅に設置しているAED（自動体外式除細動器）の更新及び定期的な点検を実施しました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストア 6社 99店舗【6社102店舗】 ・郵便局 14箇所【 14箇所】 ・大規模集合住宅 43箇所【 43箇所】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストア、郵便局及び大規模集合住宅等のAEDの更新及び使用料 <p style="text-align: right;">8,533千円</p>						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各店舗にAED（自動体外式除細動器）が常設されていることが救命率の向上につながることから、開店、閉店または移転の情報を早期に収集する必要があります。 ・設置したAEDについては、定期点検を含めた適切な維持管理を継続し、更新する必要があります。 ・市民が24時間AEDを使用でき、心肺停止状態の傷病者に対し、早期に除細動が実施できる環境を継続して整備する必要があります。 						

決算書ページ 163	款 09	消防費	項 01	消防費	目 01	常備消防費	
事業名	35 救急活動事業					担当課	消防署管理課
目的	病気又は怪我による傷病者に、救命処置等を実施しながら、医療機関に搬送することで、救命率の向上を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
						11,415	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 救急隊を6隊配置し、傷病者に応急処置又は救命処置を行い、迅速に医療機関へ搬送します。 重度傷病者の収容時及び心肺機能停止状態の傷病者が発生した時などは、消防隊との連携により救急活動を行っています。 					令和3年度 予算現額	
						13,499	
						令和3年度 決算額	
						13,473	
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	4,036
						県支出金	0
地方債	0						
その他	0						
一般財源	9,437						
令和4年度 予算額							
11,126							
活動内容							
指標	1	救急出動時の現場到着時間	2	救急車定期消毒回数	3	救急資機材点検日数	4
		指令から現場到着までの平均所要時間 (10進法)		救急車両内及び資機材定期消毒回数		救急資機材の日常点検日数	
	予定 (目標)	5.93 分	84 回	365 日			
	令和3年度実績	6.85 分	84 回	365 日			
令和2年度実績	6.18 分	84 回	365 日				
具体的内容	【 】内は前年度数値						
	<実績の内訳>						
	・救急出動件数	急病	7,546件	【6,870件】			
		一般負傷	1,740件	【1,682件】			
	交通事故	725件	【736件】				
	その他	1,753件	【1,559件】				
・救急搬送人員	急病	7,005件	【6,531件】				
	一般負傷	1,611件	【1,596件】				
	交通事故	685件	【695件】				
	その他	1,233件	【1,029件】				
<決算額の内訳>							
・救急隊管理消耗品		9,789千円					
・酸素容器検査等		1,448千円					
・その他		2,236千円					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 救急出動件数は前年度と比較し増加しています。 心肺停止等の重症患者や搬出困難な場合など、救急隊だけでは対応困難な事態に対して消防隊が支援出動する件数が増加しています。 新型コロナウイルス感染防止対策に係る経費（感染性廃棄物処分、毛布クリーニング、酸素充填）が前年度と比較して増額しています。 指令から現場到着までの時間が隊員の新型コロナウイルス感染症対策を行うため時間を要しています。 						

決算書ページ 163	款 09	消防費	項 01	消防費	目 01	常備消防費
事業名	37 地域防災訓練事業				担当課	消防署管理課
目的	地震災害などに備えるため、市民の防火防災に対する知識や技術を高めます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,857	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の要望により訓練習熟度に合わせた初期消火訓練、負傷者救護訓練、心肺蘇生訓練、地震体験訓練等の地域防災訓練を指導します。 				令和3年度 予算現額	
					2,662	
					令和3年度 決算額	
					2,288	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	487
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,801					
令和4年度 予算額						
9,107						
活動内容						
指標	1 訓練実施数	2 訓練実施組織数	3 訓練参加者数	4		
	訓練申込件数	訓練参加延べ組織数	訓練参加延べ人数			
	予定(目標)	55 件	149 組織	5,500 人		
	令和3年度実績	6 件	13 組織	249 人		
令和2年度実績	2 件	8 組織	208 人			
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・救出救護訓練 173人【60人】 ・初期消火訓練 339人【170人】 ・身体保護訓練 0人【0人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費 1,997千円 ・役務費 269千円 ・その他 22千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンドパイプ消火資機材の認知度向上を図るため、標章や横断幕を市内全域に設置すると共に、新たな動画を大和市動画チャンネルで公開したことにより、市民の関心が高まり、防災意識の向上を図ることができています。 ・コロナ禍で地域防災訓練の実施率が減少していることから、実施率の増加と訓練実施以外にも情報発信型の活動を行うなど地域防災力の向上を図る必要があります。 ・大規模震災時の同時多発火災への対応力の更なる強化を図るため、スタンドパイプ消火資機材の新たな担い手を育成する必要があります。 					

決算書ページ 163	款 09	消防費	項 01	消防費	目 02	非常備消防費
事業名	05 消防団活動用資機材整備事業				担当課	警防課
目的	消防団員の災害活動の充実、強化を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					16,335	
手段手法	消防団が行う災害活動に対し、適切な資機材を選定し整備します。				令和3年度 予算現額	
					5,631	
					令和3年度 決算額	
					5,100	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	28
					県支出金	433
地方債	0					
その他	0					
一般財源	4,639					
令和4年度 予算額		3,452				
活動内容						
指標	1	消火用資機材	2		3	
	消防用ホースを計画的に整備します。					
	予定(目標)	34 本				
	令和3年度実績	34 本				
令和2年度実績	51 本					
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>消防団活動用消耗品、資機材、備品を整備しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防用ホース 34本【 51本】 ・ヘッドライト、ゴーグル 各10個【各20個】 ・救命胴衣 68個【 0個】 ・ストリームライト 4台【 8台】 ・震災用活動消耗品 180人分【 0人分】 ・角型組立水槽 1式【 0式】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品、修繕費 4,151千円 ・委託料 784千円 ・備品購入 165千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団専用スタンドパイプ消火資機材の整備が終了したこと等により、事業費が前年度より減額しました。 ・消防団に必要な資機材を適切に整備しています。 ・今後は製造中止になったMCA無線の計画的な更新が必要です。また、近年頻発している豪雨災害に備えた資機材の整備が必要です。 					

決算書ページ 165	款 09	消防費	項 01	消防費	目 03	消防施設費
事業名	02 消防活動用資機材整備事業				担当課	警防課
目的	安全かつ迅速な消防活動と、効果的な災害防ぎょ活動を行うために必要な資機材の整備を行います。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					17,609	
手段手法	消防活動に必要な資機材及び装備品を計画的に整備します。				令和3年度 予算現額	
					9,243	
					令和3年度 決算額	
					9,218	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	675
地方債	0					
その他	0					
一般財源	8,543					
令和4年度 予算額		11,585				
活動内容						
指標	1	空気呼吸器用ポンペ購入	2	消防用ホース購入	3	4
	空気呼吸器の交換用ポンペを整備します。		消火活動に欠かせない消防用ホースを整備します。			
	予定(目標)	1 本	89 本			
	令和3年度実績	1 本	89 本			
令和2年度実績	17 本	100 本				
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>消防活動消耗品を整備しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・救助ロープ 4 コイル 【4 コイル】 ・消防用ホース 89 本 【100 本】 <p>消防・救助・救急用資機材を整備しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気呼吸器用ポンペ 1 本 【17 本】 ・熱画像直視装置 1 台 【1 台】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防活動消耗品 6,426 千円 ・消防・救助・救急用資機材購入費 2,792 千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・消防活動用資機材整備計画に基づく、更新整備対象資機材が少なかったことにより、事業費が前年度より減額しました。 ・資機材の更新整備における方針に沿って、耐用年数が定められている資機材の更新、労働安全衛生規則等の関係法令改正内容に則した資機材の整備及び全国各地で発生した特異災害事象等を注視した資機材を整備しています。 ・消防活動用資機材整備計画に基づき、消防活動用資機材を計画的に更新整備します。 					

決算書ページ 165	款 09	消防費	項 01	消防費	目 03	消防施設費
事業名	03 消防車両整備事業				担当課	警防課
目的	災害活動の中心となる消防車両を整備し、消防力の向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					123,957	
手段手法	複雑多様化する災害に対応するため、また車両の老朽化に伴う消防力の低下を防ぐため、消防車両等更新基本計画に基づき、各車両の更新・整備を行います。				令和3年度 予算現額	
					334,104	
					令和3年度 決算額	
					323,785	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	85,309
					県支出金	11,234
					地方債	214,100
その他	0					
令和4年度 予算額						
48,096						
活動内容						
指標	1 購入車両数	2	3	4		
	整備の必要のある車両数					
	予定(目標)	3 台				
	令和3年度実績	3 台				
令和2年度実績	2 台					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>消防車両を整備しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高規格救急自動車 1台【1台】 ・30m級先端屈折式はしご付消防自動車 1台【0台】 ・小型水槽付消防ポンプ自動車 1台【0台】 ・多目的災害対策車 0台【1台】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資的備品購入費 323,134千円 ・その他 651千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・更新対象車両の総事業費に係る経費が増額したことにより、決算額が増加しています。 ・消防力の低下を防ぐため、消防車両等更新基本計画に基づき消防車両を適正かつ計画的に更新整備します。 					

決算書ページ 167	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 03	教育研究費				
事業名	05 情報教育推進事業				担当課	教育研究所				
目的	教育の情報化に関する知識・技能習得の場を提供し、ICT機器を活用した授業での指導力向上を図り、教員が様々な教育の情報化の課題に対応できるようにします。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)					
					6,077					
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 教育の情報化有識者及び授業実践者を招き、ICT機器を活用した様々な授業実践に関する研修講座の開催や、調査研究を行います。 教育の情報化推進校研究委託は指導講師の提言を受け学校をあげて2年間実践研究を行います。 市立小中学校における情報モラル教育を支援します。 教育の情報化を推進するため、教育の情報化プロジェクト委員会やネットワークリーダー会議を開催します。 ※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で一部の事業を中止				令和3年度 決算額					
					5,155					
					令和3年度 財源内訳					
					国庫支出金	0				
					県支出金	0				
					地方債	0				
					その他	0				
令和4年度 予算額	5,122									
活動内容										
指標	1 研修講座開催数	2 調査研究部会開催数	3 教育の情報化プロジェクト委員会開催数	4 ネットワークリーダー会議開催数						
	教職員の資質・能力向上のための研修講座の開催数	教育の情報化についての調査研究部会の開催数	教育の情報化プロジェクト委員会の会議開催数	ネットワークリーダー会議の会議開催数						
	予定(目標)	42 回	12 回	2 回	3 回					
	令和3年度実績	17 回	8 回	2 回	3 回					
令和2年度実績	86 回	8 回	4 回	3 回						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育の情報化に関する調査研究と研修を行いました。 教育の情報化に関する実践研究の成果として教職員に向け公開授業を行いました。 教育の情報化計画策定のため、大和市教育の情報化プロジェクト委員会を開催しました。 教育の情報化に関する情報支援の場として、ネットワークリーダー会議を開催しました。 市立全小中学校における情報モラル教育を支援しました。 <決算額の内訳> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>・業務委託料</td> <td style="text-align: right;">4,974千円</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td style="text-align: right;">181千円</td> </tr> </table>						・業務委託料	4,974千円	・その他	181千円
・業務委託料	4,974千円									
・その他	181千円									
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、児童生徒1人1台端末の効果的な活用に向けて、市立小中学校での授業での端末使用状況を調査し、活用の幅を広げるための研修や調査研究を実施します。 ICT機器の活用が進む中で、児童生徒が情報モラルについて主体的に考えていけるよう、情報モラル教育を支援していきます。 									

決算書ページ 169	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	04 外国人児童生徒教育推進事業				担当課	指導室
目的	外国につながりを持つ児童生徒が、日本語で教育内容を理解できるようにします。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					20,159	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校に日本語指導員及び外国人児童生徒教育相談員を派遣します。 外国につながりを持つ児童生徒と保護者用に教育委員会や学校からの通知文書等を各言語に翻訳します。 「楽しい学校」改訂版を残部に応じて増刷します。 日本語教育アドバイザー、日本語指導巡回教員、外国人児童生徒支援コーディネーターを配置します。 編入児童・生徒への拠点方式による日本語指導を行います。(プレクラスの開設) プレスクールを実施します。 				令和3年度 予算現額	
					21,272	
					令和3年度 決算額	
					19,317	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	19,317					
令和4年度 予算額						
21,407						
活動内容						
指標	1	日本語指導員の派遣回数	2	外国人児童生徒教育相談員派遣回数	3	通知文書の翻訳枚数
		外国人児童・生徒に対して日本語指導等を行った回数		外国人児童・生徒に対して教科指導等を行った回数		通知文書等を各言語等に翻訳した枚数
	予定(目標)	450 回	500 回	350 枚	50 セット	
	令和3年度実績	436 回	390 回	255 枚	20 セット	
令和2年度実績	411 回	496 回	327 枚	50 セット		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校に日本語指導員および外国人児童生徒教育相談員を派遣しました。(日本語指導員:7名、外国人児童生徒教育相談員:22名) 国際教室担当教員の指導力向上に資する研修会の充実および国際教室未設置校に在籍する児童生徒への支援体制の充実を図りました。 日本語教育アドバイザー、日本語指導巡回教員および外国人児童生徒支援コーディネーターを配置し、支援・助言指導体制の充実を図りました。 日本語指導が必要な編入児童・生徒に対して、拠点方式による日本語指導(プレクラス)を行いました。 大和市国際化協会と連携し、プレスクールを開催しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員報酬・手当等 10,518千円 外国人児童生徒教育相談員等謝礼 6,664千円 役務費(筆耕翻訳料・保険料等) 1,316千円 委託料(プレスクール)、その他 819千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 様々な国籍を有した外国につながりのある児童生徒の小中学校における在籍数は年々増加傾向にあり、入管法の改訂に伴い今後も増加が予想されます。 日本語指導が必要な外国につながりのある児童生徒に対して、日本語力の向上や学校生活を円滑に送るためのきめ細やかな支援が必要です。日本語指導員や外国人児童生徒教育相談員のより効果的な運用が求められています。 外国につながりのある未就学児童への支援に関して、プレスクール事業の充実に向けた見直しが必要です。さらに、外国につながりのある入学児童への早期のアセスメントとそれにとともなう適切な支援が必要です。 					

決算書ページ 169	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	06 英語教育推進事業				担当課	指導室
目的	外国語を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、言語、文化について理解を深めるコミュニケーション力の向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					56,823	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動を充実させるため、外国語の音声や基礎的な表現に慣れ親しむことを目的に、外国語を母語とする外国語活動指導助手を配置します。 ・中学校の英語指導を助けるため、外国人の英語指導助手が各中学校を巡回し、指導にあたります。 				令和3年度 予算現額	
					66,046	
					令和3年度 決算額	
					61,437	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	61,437					
令和4年度 予算額						
65,582						
活動内容						
指標	1	外国語活動指導助手派遣回数 対象：小学校	2	英語指導助手派遣回数 対象：中学校	3	小学校英語学習実施校数 小学校における英語学習活動の実施校数
	4					
	予定(目標)	2,100 回	684 回	19 校		
	令和3年度実績	2,044 回	681 回	19 校		
令和2年度実績	2,465 回	684 回	19 校			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の全中学校へ英語指導助手を派遣しました。 ・市内の全小学校へ外国語活動指導助手を派遣しました。 ・中学校外国語教育、小学校外国語教育の充実に向けて、引き続き英語教育スーパーバイザーを設置します。 ・夏休みのイングリッシュ・デイは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催を中止しました。 ・外国語教育における小中連携を、令和4年度より正式に開始できるよう整備しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤特別職報酬、会計年度任用職員報酬・手当 61,315千円 ・その他 122千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校において、学習指導要領の改訂に伴い、今後も支援をしていく必要があります。 ・義務教育9年間を見据えた英語教育を推進するため、学習指導要領の実施を支援していくことを継続しつつ、小・中学校が連携した英語教育の研究を継続していく必要があります。 					

決算書ページ 169	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	08 ことばの教室運営事業				担当課	指導室
目的	ことばと聞こえの障がいを改善するため、その児童の症状に合わせた指導を行い、会話などを通じたコミュニケーション能力の向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					343	
手段手法	・市立小学校3校（草柳小・渋谷小・林間小）のことばの教室へ対象児童を通級させ、障がいを改善するための指導を行います。				令和3年度 予算現額	
					479	
					令和3年度 決算額	
					471	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	471					
令和4年度 予算額						
728						
活動内容						
指標	1	ことばの教室在籍児童数	2	ことばの教室設置校	3	ことばの教室修了者
	対象：ことばの発達に心配のある児童		草柳小・渋谷小・林間小		初期の目的を達成した児童数	
	予定 (目標)	230 人	3 校	65 人		
	令和3年度 実績	224 人	3 校	42 人		
令和2年度 実績	202 人	3 校	43 人			
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍する小学校で通常の学習を続けながら、障がいの程度によりことばの教室に通級させ、障がいを改善するための指導を行いました。 ・個々のニーズに応じたきめ細やかな支援・指導の充実のため、指導に使用する備品を整備しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品購入費 119千円 ・備品購入費 172千円 ・オーディオメータ一点検校正料 180千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばや聞こえの障がいについては、早期からの適切な指導や訓練が効果的とされており、早期の入級が求められます。 ・就学する子どもたちの多様な学びの場の1つとして、広く周知を図ることが必要とされます。 ・個々の教育的ニーズに対応するため、指導に使用する視聴覚機器の入れ替えが必要です。 ・児童への充実した指導のため、環境の整備が必要です。 					

決算書ページ 169	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	09 特別支援教育推進事業				担当課	指導室
目的	教育上配慮を要する児童生徒に対し、教育的ニーズに応じたきめ細やかな支援を行うことにより、特別支援教育の充実を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					109,991	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市内の小中学校を対象に、必要に応じて特別支援教育ヘルパーを配置します。 市内の小中学校を対象に、特別支援教育スクールアシスタントを配置します。 大和市特別支援教育巡回相談チームを各学校の要請を受け派遣します。 医療的ケアの必要な児童・生徒が在籍する学校に看護師を派遣します。 特別支援教育における専門的な研修の充実を図ります。 				令和3年度 予算現額	
					128,430	
					令和3年度 決算額	
					112,906	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	4,852
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	108,054					
令和4年度 予算額						
124,522						
活動内容						
指標	1	特別支援教育ヘルパーの配置人数	2	特別支援教育スクールアシスタントの配置人数	3	特別支援教育巡回チームの派遣回数
		大和市立小中学校に配置した人数		大和市立小中学校に配置した人数		支援を必要とする児童生徒に対するアドバイス回数
	予定(目標)	96 人	36 人	150 回	10 件	4 特別支援学級新1年生に関する関係機関との連絡会 就学前所属施設の関係者と学校との情報の共有件数
	令和3年度実績	96 人	36 人	65 回	10 件	
	令和2年度実績	96 人	36 人	103 回	9 件	
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育ヘルパーを配置し、特別支援学級に在籍する児童生徒の介助にあたりました。 特別支援教育スクールアシスタントを配置し、教員とともに通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒の指導にあたりました。 特別支援教育巡回相談チームを派遣し、教職員への助言や保護者への相談支援を行いました。 医療的ケアの必要な児童生徒への支援の充実を図るため、看護師を6校に派遣しました。(令和3年5月より5校へ派遣) 特別支援教育における研修の充実を図りました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育ヘルパー、スクールアシスタント報酬 96,619千円 看護師派遣費用 14,557千円 その他 1,730千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 教育的ニーズの高い児童生徒が特別支援学級に在籍し、多岐にわたる支援が求められるため、巡回相談等活用による教職員に対する専門的知識及びスキルの向上が必要です。 通常の学級に在籍し支援を必要とする児童生徒の数が増加する中、児童生徒一人一人のニーズに応じた支援が求められています。 医療的ケアの必要な児童生徒に対応するため、今後も継続的に看護師派遣を行う必要があります。 					

決算書ページ 169	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	11 児童生徒安全対策事業				担当課	指導室
目的	犯罪等から子どもの安全を守り、保護者が安心して学校に通わせられるよう、安全対策を強化します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					5,513	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> メール配信システムを活用し、犯罪・不審者・自然災害等の情報を、利用登録した保護者へ迅速に伝達します。 学校ごとの連絡事項をメール配信で保護者へ伝達します。 市内小学校の新1年生を対象に防犯ブザーを配付します。 見守り活動を視覚的にアピールするため「大和市子ども見守り隊」のベストを購入します。 				令和3年度 予算現額	
					2,881	
					令和3年度 決算額	
					2,504	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	2,504					
令和4年度 予算額						
2,733						
活動内容						
指標	1	学校P Sメール実施学校数	2	学校P Sメール配信件数	3	学校P Sメール世帯普及率
	大和市内全公立小中学校		不審者・登下校・行事・その他について配信		児童生徒在籍世帯数における学校P Sメール登録世帯数の割合	
	4	防犯ブザー配布校数				
	新一年生へ防犯ブザーを配布した小学校数					
予定(目標)	28	校	1,334	件	97	%
令和3年度実績	28	校	2,039	件	99.1	%
令和2年度実績	28	校	2,221	件	97.6	%
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> 加入者に対して、犯罪、不審者、自然災害等の情報を電子メールで迅速に伝達しました。 学校ごとの連絡事項をメール配信で伝達しました。 市内小学校の新1年生を対象に防犯ブザーを配布しました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校P Sメール実施学校数 28校【28校】 学校P Sメール配信件数 2,039件【2,221件】 学校P Sメール世帯普及率 99.1%【97.6%】 防犯ブザー配布校数 19校【19校】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯ブザー等消耗品 1,752千円 メール配信サービス使用 752千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校P Sメールは緊急時の連絡手段としての重要性が高いため、今後も学校P Sメール世帯普及率を高い水準で維持する必要があります。 防犯ブザーの継続的な配付と効果的な使用方法の周知が必要です。 					

決算書ページ 169	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費		
事業名	12 いじめ等対策事業					担当課	指導室	
目的	市立小中学校におけるいじめの撲滅を目指すとともに、子どもたちが安心して学校生活を送れるような学校づくりに取り組みます。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	18,347	
						令和3年度 予算現額	16,823	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止を学校指導者・地域で考え、行動に移せるよう教育フォーラムを開催します。 児童支援中核教諭に伴う非常勤講師を配置します。 全小中学校に対して児童・生徒指導研修会（訪問研修）を実施します。 匿名報告・相談アプリケーションを市内全生徒が使用できる環境を整備します。 					令和3年度 決算額	16,275	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和4年度 予算額	18,212							
活動内容								
指標	1	リーフレットの配付枚数	2	フォーラムの開催回数	3	1人1台端末によるアプリケーション登録率	4	スマートフォン・PC等によるアプリケーション登録率
		いじめ撲滅や不登校対策の啓発リーフレットの配布枚数		いじめ撲滅や不登校対策のフォーラムの開催回数		1人1台端末による匿名報告・相談アプリ登録率		スマートフォン・PC等による匿名報告・相談アプリ登録率
	予定(目標)	4,500 枚	1 回	100 %	8 %			
	令和3年度実績	4,500 枚	1 回	100 %	5.38 %			
令和2年度実績	4,500 枚	0 回	100 %	6.36 %				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 全小学校において指導体制の充実を図るため、児童支援中核教諭を校内から選任し、その授業代替要員として非常勤講師を県費と市費で配置しました。 大和市いじめ防止基本方針に基づき、いじめ問題対策連絡協議会や、いじめ問題対策調査会を定期的に開催しました。 中学校全生徒が使用できる匿名報告・相談アプリケーションを活用し、いじめ等の問題解決に努めます。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 児童支援中核教諭に伴う非常勤講師報酬 14,314千円 委託料（匿名報告・相談アプリケーション） 1,839千円 いじめ・不登校ポスターコンクール参加記念品・その他 122千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題への啓発活動を行うとともに、いじめについてのアンケートを実施することで、いじめの早期発見・早期対応につながりました。 いじめ防止対策推進法はいじめの定義に基づく、いじめの認知については浸透してきているため、より精度の高い児童生徒理解と認知後の丁寧な対応ができるよういじめ防止基本方針の共通理解が必要です。 匿名報告・相談アプリ対象者を市内全中学校生徒に加えて市内全小学校5、6年生児童へ拡大する準備を行いました。相談が必要な時に、端末等からいつでも利用可能であることを広く周知し、活用を促進する取り組みが必要です。 							

決算書ページ 169	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	04	教育指導費
事業名	13 学力向上対策推進事業						担当課	指導室	
目的	児童生徒への学習支援を行うとともに、特に小学校の若手教員の指導力を養うことで、総合的に学力の向上を図ります。						令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		206,546
							令和3年度 予算現額		232,712
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において「放課後寺子屋やまと」「夏休み寺子屋やまと」「放課後子ども教室(ひろば)」を開催します。 ・小学校教員の指導力向上のための支援を行います。 ・中学校において「中学校寺子屋やまと」「長期休業期間中における学習支援」を開催し、授業中、放課後及び長期休業期間中の学習支援を行います。 ・オンライン学習システムを市内全児童生徒が利用できる環境を整備します。 						令和3年度 決算額		211,732
							令和3年度 財源内訳		
							国庫支出金	0	
							県支出金	57,275	
							地方債	0	
							その他	0	
一般財源		154,457							
令和4年度 予算額		233,543							
活動内容									
指標	1	放課後寺子屋やまとの開催校	2	中学校放課後寺子屋やまとの開催校	3		4		
	小学校空き教室を利用し、学習支援を行った校数		中学校空き教室を利用し、学習支援を行った校数						
	予定(目標)	19 校	9 校						
	令和3年度実績	19 校	9 校						
令和2年度実績	19 校	9 校							
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小学校において、空き教室等を活用した「放課後寺子屋やまと」「放課後子ども教室」を開催し、児童の学習支援を行いました。また寺子屋と子ども教室共同で体験的な学習活動を行いました。(全19校) ・全小学校において、経験年数の少ない教員に対する指導を実施し、指導力の向上を図りました。 ・全中学校において、放課後学習支援(「放課後寺子屋やまと」)を開催し、授業中及び放課後に生徒の学習支援を行いました。また「夏休み・冬休み寺子屋やまと」を開催し、長期休業期間中の学習支援を行いました。(全9校) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後寺子屋やまと関連報酬・手当 (94人) 100,920千円 ・中学校学習支援関連報酬・手当 (36人) 62,394千円 ・放課後子ども教室関連報酬・手当 (116人) 41,217千円 ・教材等消耗品購入費、保険料、その他 7,201千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において、放課後寺子屋やまとと放課後子ども教室の開催日を調整して平日毎日いずれかを実施することに伴い、全小学校で学習支援員・パートナーの増員が必要です。 ・中学校学習支援事業が各学校に浸透し、参加生徒は増加傾向にあります。今後も、中学校学習支援員の配備は必要です。 ・小中学校放課後寺子屋やまと及び放課後子ども教室において学習等に必要な消耗品・備品を、さらに充実させるとともに、1人1台端末を活用した学習に対応するため、Wi-Fi等の設備環境を充実させる必要があります。 								

決算書ページ 169	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	17 引地台中学校分教室整備事業				担当課	指導室
目的	不登校状態が長期化した生徒を支援するための施設として、引地台中学校分教室を整備します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	不登校状態が長期化した生徒を支援するための施設として、柳橋小学校敷地内に新設した引地台中学校分教室を整備するため、内外装やネットワーク整備のための改修工事等を実施するとともに、必要となる消耗品の購入等を実施します。				令和3年度 予算現額	
					43,281	
手段手法	不登校状態が長期化した生徒を支援するための施設として、柳橋小学校敷地内に新設した引地台中学校分教室を整備するため、内外装やネットワーク整備のための改修工事等を実施するとともに、必要となる消耗品の購入等を実施します。				令和3年度 決算額	
					41,043	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	27,600
					その他	0
令和4年度 予算額						
0						
活動内容						
指標	1	在籍予定生徒数	2		3	
	次年度当初に引地台中学校分教室へ在籍予定の生徒数					
	予定(目標)	30	人			
	令和3年度実績	13	人			
令和2年度実績	0	人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな支援・指導の充実のため、施設用及び指導用消耗品を購入しました。 柳橋小学校内に設置していた理科センターを桜丘小学校内に移設しました。 教育研究所旧理科センターの改修工事を行い、不登校状態が長期化した生徒を支援するための施設としての環境整備を実施しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費 (消耗品) 2,698千円 ・ 委託料 (引越業務委託等) 1,533千円 ・ 工事請負費 (施設改修、ネットワーク整備等) 36,812千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの学びの場の1つとして、広く周知を図ることが必要とされます。 ・ 個々の教育的ニーズに対応するため、引き続き施設用及び指導用の物品整備が必要です。 ・ 生徒への充実した指導のため、改修工事等による環境の整備が必要です。 					

決算書ページ 169	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 05	青少年相談費
事業名	02 青少年相談・街頭補導事業				担当課	青少年相談室
目的	青少年やその家庭が抱える課題の解消を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					56,887	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 電話や来室（オンライン相談を含む）で相談を受け、課題解消に向けた支援を行います。 スクールソーシャルワーカー、青少年心理カウンセラーを中心に家庭環境の改善等の支援を行います。 青少年街頭指導員と青少年相談員による街頭補導を行います。 青少年の健全育成のため、社会環境実態調査・有害看板撤去活動等を行います。 ※令和3年度は新型コロナの影響で一部の事業を中止				令和3年度 決算額	
					60,694	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
令和4年度 予算額	60,694					
令和4年度 予算額						
63,992						
活動内容						
指標	1	年間の新規相談受理件数	2	年間の継続相談件数	3	少年補導回数
		年間の電話・来室新規相談件数の合計		年間の継続相談件数の合計		補導(指導・声かけ等)した回数
		年間の新規相談受理件数		年間の新規相談受理件数		有害看板等撤去活動回数
		年間の新規相談受理件数		年間の新規相談受理件数		関係団体と協力して実施した回数
予定(目標)	600 件	600 件	300 回	1 回		
令和3年度実績	644 件	755 件	312 回	0 回		
令和2年度実績	525 件	838 件	271 回	1 回		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p>電話や来室により相談を受け、必要に応じて継続相談や学校との連携を図り、問題解決につなげました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話相談受理件数 226件【206件】 来室相談受理件数 147件【100件】 年間相談継続件数 755件【838件】 メール相談件数 10件【5件】 <p>街頭指導員が毎日午前と午後の2回、街頭補導を行います。また各地区の青少年相談員とともに月2回、街頭補導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 街頭補導回数 312回【271回】 街頭補導従事者数 986人【824人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 相談員等報酬・手当 57,262千円 その他 3,432千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 市内小学校に派遣されている教育相談員の活動が定着し、学校と教育相談員がしっかりと連携を図ることができています。各ケースについて迅速かつ適切な初期対応が可能になっています。 各地区に青少年心理カウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置し、毎週、情報共有会議を開催することで複雑なケースにも対応できています。 学校主体の相談体制をより一層支えるために、教育相談員の資質向上を図りつつ、特別相談員の助言を生かした連携の在り方を今後もいっそう検討していく必要があります。 					

決算書ページ 171	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 05	青少年相談費
事業名	03 不登校児童生徒援助事業				担当課	青少年相談室
目的	不登校児童生徒の社会的自立に向けて支援します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					27,278	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒が通室する学校外の施設として、教育支援教室を開設します。 学校には登校できるが、教室では授業を受けることができない児童生徒への学習支援及び相談・家庭訪問する不登校生徒支援員・不登校児童支援員を配備し、支援を行いました。 令和4年度「不登校特例校分教室」の開室に向けての準備を行いました。 				令和3年度 予算現額	
					29,983	
					令和3年度 決算額	
					27,750	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	27,750					
令和4年度 予算額						
29,905						
活動内容						
指標	1	教育支援教室開室日数	2	教育支援教室行事回数	3	4
	教育支援教室の年間開室日数		教育支援教室が実施した教室行事の年間回数			
	予定(目標)	205 日	35 回			
	令和3年度実績	197 日	19 回			
令和2年度実績	183 日	16 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>不登校児童生徒が通室する学校外の施設として教育支援教室を開設しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登校を考える保護者会参加人数 23人【18人】 医療相談員による個別面談者数 9人【9人】 <p>教育支援教室では、通室児童生徒に対して、カウンセリング・学習支援・人間関係づくりの補助等を行い、社会的自立を目指した支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育支援教室への通室児童生徒数 43人【33人】 通室児童生徒のうち学校復帰した人数 40人【16人】 <p>全中学校に不登校生徒支援員と小学校重点校に不登校児童支援員を配置し、不登校の解消を目指しています。</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 教育支援教室指導員報酬・手当 10,858千円 不登校児童生徒支援員報酬・手当 16,397千円 その他 495千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> スクールソーシャルワーカーや青少年心理カウンセラー、指導主事が学校に対し積極的に訪問・相談を行うことを通してコンサルティング等を行い、学校主体の支援体制の充実に努めます。 研修の回数や内容をより一層精査し、児童生徒への対応や進め方についての不登校児童生徒支援員の資質・スキルの向上を図ります。 					

決算書ページ 171	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 01	学校管理費
事業名	08 児童健康管理事業				担当課	保健給食課
目的	疾病の早期発見と予防、健康の保持増進を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					39,239	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 学校医等による定期健康診断、尿検査、心臓病検診を実施します。 必要に応じ精密検査を行い、複数の医師により組織された判定委員会で治療勧告等を行います。 保健室における健康診断、健康相談、救急措置等に必要な備品の新規購入及び更新を行います。 				令和3年度 予算現額	
					37,763	
					令和3年度 決算額	
					36,861	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	36,861					
令和4年度 予算額						
37,989						
活動内容						
指標	1	検診回数	2	判定会・検診委員会・対策委員会開催回数	3	
	尿検査、心臓検診、結核検診実施回数×実施校		腎臓病・糖尿病・結核・心臓病の各判定委員会			
	予定(目標)	57 回	5 回			
	令和3年度実績	57 回	5 回			
令和2年度実績	57 回	4 回				
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校医による定期健康診断を実施しました。 内科・歯科(全学年)・眼科・耳鼻科(小4のみ) 委託業者等による健康診断、精密検査を実施しました。 定期検尿、糖尿病・腎臓病検診(全学年)、心臓病検診(小1のみ) 目の健康に関する取り組みとして、ランドルト環式視力検査表と文書を配布し、啓発を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校嘱託医、学校薬剤師、各種委員報酬 23,243千円 委託業者等による健康診断、精密検査 7,855千円 目の健康に関する取り組み 927千円 保健室備品、その他 4,836千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 保健室における健康診断等に必要な備品の老朽化が進んでおり、児童の安全な健康管理の面からも、計画的に更新する必要があります。 					

決算書ページ 173	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 02	教育振興費	
事業名	02 小学校学用品等就学援助事業					担当課	学校教育課
目的	経済的理由により、小学校への就学が困難な家庭の負担を軽減します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	160,146
						令和3年度 予算現額	197,678
手段手法	・保護者からの申請をもとに、要保護・準要保護基準に合うか審査し、認定者に給食費や学用品費等の援助を行います。					令和3年度 決算額	179,060
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	226
						県支出金	206
						地方債	0
						その他	0
						一般財源	178,628
令和4年度 予算額	185,754						
活動内容							
指標	1	就学援助の申請・審査件数	2	就学援助の認定・支給件数	3		4
		就学援助の申請を受け審査した件数		就学援助対象として認定し、就学援助費を支給した件数			
	予定(目標)	3,000 人		2,300 人			
	令和3年度実績	2,592 人		2,248 人			
令和2年度実績	2,863 人		2,346 人				
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>受給申請書等を審査し、認定者に給食費等を援助しました。</p> <p><給食費等を援助した人数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費 2,190人【2,336人】 ・学用品費 2,201人【2,346人】 ・新入学学用品費 144人【355人】 ・修学旅行費 387人【254人】 ・宿泊を伴う校外活動費 288人【179人】 ・入学準備金(新小1) 251人【230人】 ・入学準備金(新中1) 374人【397人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品等経費 179,032千円 ・事務費等 28千円 						
評価課題	<p>・本市の認定基準の見直しについて、近隣市などを参考に検討する必要があります。</p>						

決算書ページ 173	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 02	教育振興費		
事業名	04 小学校特別支援教育就学奨励事業					担当課	学校教育課	
目的	特別支援学級への就学や「ことばの教室」「はぐくみの教室」に通級する家庭に援助を行うとともに、特別支援教育就学奨励費の普及を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	6,220	
						令和3年度 予算現額	8,181	
手段手法	・保護者からの申請に対し、どの所得基準に該当するか審査し、所得に応じて給食費や学用品費、通学費等の援助を行います。					令和3年度 決算額	8,123	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	4,061	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和4年度 予算額		9,985						
活動内容								
指標	1	就学奨励費申請・審査件数	2	就学奨励費認定・支給件数	3		4	
	就学奨励費の申請を受け、審査した件数		就学奨励費の支給対象として認定した件数					
	予定(目標)	230 件	230 件					
	令和3年度実績	294 件	294 件					
令和2年度実績	289 件	289 件						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>保護者からの申請を審査し、所得基準に応じて給食費等を援助しました。</p> <p><実績の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費 225人【215人】 ・学用品費 219人【215人】 ・新入学学用品費 52人【40人】 ・修学旅行費 31人【15人】 ・宿泊を伴う校外活動費 21人【15人】 ・通学費 33人【21人】 ・交流・共同学習費 0人【0人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品費等経費 8,123千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度、新型コロナウイルス感染症による給食の未実施や、就学旅行の中止等により、事業費が減少しましたが、令和3年度は実施されたことから、事業費が増加しています。 ・保護者への周知及び申請受領までは、原則、学校が実施することから、継続して学校共同事務室と連携し、効率的で効果的な事務処理方法について、検討・協議する必要があります。 							

決算書ページ 173	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事業名	06 小学校地域教育力活用推進事業						担当課	指導室	
目的	学校評議員をはじめ、地域の人材を積極的に活用し、家庭・地域と一体となって開かれた学校運営を図ることにより、学校教育の充実を図ります。						令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		1,048
							令和3年度 予算現額		1,146
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員を依頼します。 各学校に対し、地域教育力を活用した教育活動を支援します。 教育委員会で作成した学校支援ボランティア人材バンクのファイルを各校へ配付します。 コミュニティスクールを導入します。 						令和3年度 決算額		895
							令和3年度 財源内訳		
							国庫支出金	0	
							県支出金	0	
							地方債	0	
その他	0								
一般財源	895								
		令和4年度 予算額		1,247					
活動内容									
指標	1	学校評議員の人数	2	地域教育力活用実施校数	3	学校支援人材ボランティア登録者数	4		
		小学校における学校評議員の人数		地域教育力を活用して教育活動を進める学校数		地域教育力活用として学校運営に携わるボランティア登録者数			
	予定(目標)	115 人	19 校	70 人					
	令和3年度実績	106 人	19 校	40 人					
令和2年度実績	109 人	19 校	37 人						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校評議員を依頼しました。 地域教育力を活用した教育活動を支援しました。 学校支援ボランティア人材バンクのファイルを各校へ配付しました。 コミュニティスクールを開始しました。(文ヶ岡小) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校評議員、地域教育力謝礼 895千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員による外部の立場からの助言は、教育活動を展開していくうえでも重要であることから、今後も学校評議員を活用した学校運営が望まれます。 更なる地域を活用した、学校運営を行うためのコミュニティスクールの評価と改善が必要です。 								

決算書ページ 173	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 02	教育振興費	
事業名	10 小学校図書館教育推進事業					担当課	指導室
目的	学校図書館の機能を十分発揮できるよう、図書環境の充実を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
						56,735	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入します。 各小学校の学校図書館に学校司書を配置します。 学校図書館に配架している新聞を普通教室に配架します。 子どもたちの読書活動推進のため、読書フェスティバル及び調べる学習コンクールを開催します。 					令和3年度 予算現額	
						48,809	
						令和3年度 決算額	
						47,570	
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
地方債	0						
その他	1,259						
一般財源	46,311						
令和4年度 予算額							
47,881							
活動内容							
指標	1	学校図書館蔵書数	2	学校図書館図書標準充足校	3		4
	全19校合計		国が定める蔵書冊数を満たしている学校数				
	予定(目標)	217,160 冊	19 校				
	令和3年度実績	218,784 冊	19 校				
	令和2年度実績	218,524 冊	19 校				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入しました。 各小学校に学校司書を1人配置しました。 蔵書の電算管理システムを用いて、データの活用を進めました。 学校図書館、小学校の5、6年生各教室及び特別支援級の教室に新聞を配架しました。 読書フェスティバル及び調べる学習コンクールを開催しました。 学校図書館の安全対策及び環境整備のため備品の購入を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館スーパーバイザー報酬 1,712千円 学校司書報酬・手当(19人) 28,797千円 新聞配架 1,829千円 図書館用図書等需用費 13,350千円 図書館システム利用料、その他 1,882千円 						
	評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書の充足率と鮮度を踏まえた選書を継続実施してまいります。 児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の実現のため、学校図書館に「学習センター」及び「情報センター」としての機能を充実させてまいります。 各教科の特質を踏まえつつ新聞を有効活用することで、児童の豊かな人間性の育成に取り組んでまいります。 					

決算書ページ 173	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 03	学校建設費
事業名	01 小学校大規模改修事業				担当課	教育総務課
目的	児童及び学校関係者の学校生活における教育環境の向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					185,870	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 建設年度及び現在の状況を総合的に判断し、学校施設の改善や設備の新設・更新を行います。 文部科学省「学校施設環境改善交付金」の対象事業となるものについては、「施設整備計画」を策定し、整備を行います。 				令和3年度 予算現額	
					15,000	
					令和3年度 決算額	
					14,850	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	10,800					
その他	0					
一般財源	4,050					
令和4年度 予算額						
97,717						
活動内容						
指標	1	小学校大規模施設改修等の整備・改善件数	2	施設整備計画	3	4
	大規模な老朽施設等の改修等		交付金申請に必要な施設整備計画の策定			
	予定(目標)	1 件	1 件			
	令和3年度実績	1 件	1 件			
令和2年度実績	3 件	1 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市立小学校における老朽化した施設の整備・改善を行いました。</p> <p><事業内容及び決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 防火シャッター改修工事 14,850千円 (西鶴間小、草柳小、深見小、上和田小) 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 改修計画を見直し、令和3年度は防火シャッター改修工事のみを対象としたため事業費が前年より減少しました。 建設後40年を経過する施設が約9割を占める中、教育環境の維持向上を図るうえでは、経年による劣化を計画的に改修し、建物の延命化を図るため、今後も文部科学省の学校施設環境改善交付金を活用しながら、適切な施設改修を実施していく必要があります。 小学校の学級編制の標準の引下げ(35人学級)に伴い、適切な教育環境を確保する必要があります。 					

決算書ページ 173	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 03	学校建設費
事業名	02 小学校防音設備整備事業				担当課	教育総務課
目的	厚木基地の航空機騒音による影響を軽減し、教育環境の向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					118,657	
手段手法	・老朽化してきている防音設備(建具、内装、空調)の機能復旧を計画的に行っていきます。				令和3年度 予算現額	
					177,246	
					令和3年度 決算額	
					176,721	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	136,134
					県支出金	0
地方債	38,400					
その他	0					
一般財源	2,187					
令和4年度 予算額		13,154				
活動内容						
指標	1	設計実施校数	2	工事实施校数	3	4
	防音・空調設備整備のための設計		防音・空調設備整備のための工事			
	予定(目標)	0校	1校			
	令和3年度実績	0校	1校			
令和2年度実績	0校	1校				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>文ヶ岡小学校復旧防音工事及び復旧温度保持除湿工事(令和2～3年度)を実施しました。</p> <p><事業内容及び決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧温度保持除湿工事 168,419千円 ・復旧温度保持除湿工事監理委託 4,290千円 ・復旧温度保持除湿工事付帯工事 3,996千円 ・その他(消耗品等) 16千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2～3年度にかけて文ヶ岡小学校復旧温度保持除湿工事を実施したため、事業費が増加しました。 ・施設の老朽化による防音設備(建具・空調等)の機能低下に伴い、教育環境が劣悪な状況となることが想定されるため、計画的に改修を実施していく必要があります。 ・事業費が多額になるため、補助金を活用するなど市の財政負担を軽減しながら計画的に事業を進めていく必要があります。 					

決算書ページ 175	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 03	学校建設費
事業名	03 北大和小学校増築事業				担当課	教育総務課
目的	児童数の増加に伴う教室不足を解消し、快適な教育環境を確保します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					46,966	
手段手法	・敷地西側に校舎を増築し、また、既存プレハブやプールの解体、体育館の建替え、校庭整備等を行います。				令和3年度 予算現額	
					118,452	
					令和3年度 決算額	
					117,982	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	12,873
					県支出金	0
					地方債	81,800
その他	0					
一般財源	23,309					
令和4年度 予算額		562,530				
活動内容						
指標	1	工事実施校数	2		3	
	教室不足を解消するための増築工事					
	予定(目標)	1 校				
	令和3年度実績	1 校				
令和2年度実績	1 校					
具体的内容	<p>北大和小学校体育館建替工事を実施しました。 <事業の内容及び決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館建替工事 86,410千円 ・体育館建替工事実施設計委託 21,015千円 ・体育館建替工事監理委託 2,500千円 ・仮設校舎賃借料(債務負担行為) 7,178千円 ・体育館引越運搬業務委託 432千円 ・工事に伴う付帯工事 291千円 ・その他(手数料) 156千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から体育館建替工事を開始したため、事業費が増加しました。 ・令和3年度にリース期間満了となった、仮設校舎の解体を実施しました。 ・児童数の増加に伴う教室不足等を解消し、快適な教育環境を確保するよう努めます。 ・工事開始に伴い、児童及び教職員等の安全を確保し、学校生活への影響を最小限にできるよう調整を行いました。引き続き、安全の確保を行いながら工事を実施します。 					

決算書ページ 175	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 03	学校建設費
事業名	04 中央林間小学校増築事業				担当課	教育総務課
目的	児童数の増加に伴う教室不足を解消し、快適な教育環境を確保します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					184,582	
手段手法	・敷地西側に校舎を増築します。				令和3年度 予算現額	
					549,950	
					令和3年度 決算額	
					547,301	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	174,267
					県支出金	0
					地方債	328,200
その他	3,957					
一般財源	40,877					
令和4年度 予算額		63,156				
活動内容						
指標	1	工事実施校数	2		3	
	教室不足を解消するための増築工事					
	予定(目標)	1 校				
	令和3年度実績	1 校				
令和2年度実績	1 校					
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>中央林間小学校の校舎増築工事を行いました。 <事業内容及び決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 増築校舎：鉄筋コンクリート造4階建て 防音仕様 延床面積：約1,318㎡（普通教室6室、第2職員室） 令和2～3年度 増築併行防音工事 令和4年4月 使用開始 増築併行防音工事 520,430千円 増築併行防音工事監理委託 13,405千円 工事に伴う付帯工事 8,293千円 その他（消耗品等） 5,173千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に校舎増築工事を実施したため、事業費が増加しました。 令和4年度に校庭整備工事を実施する予定です。 児童数の増加に伴う教室不足等を解消し、快適な教育環境を確保するよう努めます。 工事開始に伴い、児童及び教職員等の安全を確保し、学校生活への影響を最小限にできるよう調整を行いました。引き続き、安全の確保を行いながら工事を実施します。 					

決算書ページ 175	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 01	学校管理費
事業名	08 生徒健康管理事業				担当課	保健給食課
目的	疾病の早期発見と予防、健康の保持増進を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					21,578	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 学校医等による定期健康診断、尿検査、心臓病検診を実施します。 必要に応じ精密検査を行い、専門医師により組織された判定委員会で治療勧告等を行います。 保健室における健康診断、健康相談、救急措置等に必要の備品の新規購入及び更新を行います。 				令和3年度 予算現額	
					22,807	
					令和3年度 決算額	
					21,098	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	21,098					
令和4年度 予算額						
22,322						
活動内容						
指標	1	検診回数	2	判定会・検診委員会・対策委員会開催回数	3	4
	尿検査、心臓検診、結核検診実施回数×実施校		腎臓病・糖尿病・結核・心臓病の各判定委員会			
	予定(目標)	27 回	5 回			
	令和3年度実績	27 回	5 回			
令和2年度実績	27 回	4 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校医による定期健康診断を実施しました。 内科・歯科(全学年)・眼科(中2のみ)・耳鼻科(中1のみ) 委託業者等による健康診断、精密検査を実施しました。 定期検尿、糖尿病・腎臓病検診(全学年)、心臓病検診(中1のみ) 目の健康に関する取り組みとして、ランドルト環式視力検査表と文書を配布し、啓発を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校嘱託医、学校薬剤師、各種委員報酬 11,181千円 委託業者等による健康診断、精密検査 6,380千円 目の健康に関する取り組み 480千円 保健室備品、その他 3,057千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 保健室における健康診断等に必要の備品の老朽化が進んでおり、児童の安全な健康管理の面からも、計画的に更新する必要があります。 					

決算書ページ 175	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 02	教育振興費		
事業名	02 中学校学用品等就学援助事業					担当課	学校教育課	
目的	経済的理由により、中学校への就学が困難な家庭の負担を軽減します。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	81,469	
						令和3年度 予算現額	117,860	
手段手法	・保護者からの申請をもとに、要保護・準要保護基準に合うか審査し、認定者に給食費や学用品費等の援助を行います。					令和3年度 決算額	101,981	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	572	
						県支出金	76	
						地方債	0	
						その他	0	
令和4年度 予算額	114,225							
活動内容								
指標	1	就学援助の申請・審査件数	2	就学援助の認定・支給件数	3		4	
		就学援助の申請を受け審査した件数		就学援助対象として認定した件数				
	予定(目標)	1,600 件		1,100 件				
	令和3年度実績	1,361 件		1,149 件				
令和2年度実績	1,491 件		1,166 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>受給申請書等を審査し、認定者に給食費等を援助しました。</p> <p><給食費等を援助した人数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費 1,087人【1,156人】 ・学用品費 1,117人【1,166人】 ・新入学学用品費 33人【390人】 ・修学旅行費 375人【55人】 ・宿泊を伴う校外活動費 338人【24人】 ・通学費 1人【1人】 ・体育実技用具費 15人【15人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品等経費 101,981千円 ・事務費等 0千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による給食の未実施や修学旅行の中止等により事業費が減少しましたが、令和3年度は概ね実施されたため、増加しています。 ・本市の認定基準の見直しについて、近隣市などを参考に検討する必要があります。 							

決算書ページ 177	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 02	教育振興費
事業名	04 中学校特別支援教育就学奨励事業				担当課	学校教育課
目的	特別支援学級へ就学する家庭に援助を行うとともに、特別支援教育就学奨励費の普及を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					2,646	
手段手法	・保護者からの申請に対し、どの所得基準に該当するか審査し、所得に応じて給食費や学用品費、通学費等の援助を行います。				令和3年度 予算現額	
					4,531	
					令和3年度 決算額	
					3,740	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	1,873
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,867					
令和4年度 予算額						
5,471						
活動内容						
指標	1	就学奨励費申請・審査件数	2	就学奨励費認定・支給件数	3	4
	就学奨励費の申請を受け、審査をする件数		就学奨励費の支給対象として認定する件数			
	予定(目標)	80 件	80 件			
	令和3年度実績	92 件	92 件			
令和2年度実績	100 件	100 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>保護者からの申請を審査し、所得基準に応じて給食費等を援助しました。</p> <p><実績の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費 72人【 66人】 ・学用品費 72人【 66人】 ・新入学学用品費 26人【 21人】 ・修学旅行費 18人【 3人】 ・宿泊を伴う校外活動費 19人【 0人】 ・通学費 12人【 13人】 ・体育実技用具費 0人【 0人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品費等経費 3,740千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度、新型コロナウイルス感染症による給食の未実施や、就学旅行の中止等により、事業費が減少しましたが、令和3年度は実施されたことから、事業費が増加しています。 ・保護者への周知及び申請受領までは、原則、学校が実施することから、継続して学校共同事務室と連携し、効率的で効果的な事務処理方法について、検討・協議する必要があります。 					

決算書ページ 177	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 02	教育振興費		
事業名	06 中学校地域教育力活用推進事業					担当課	指導室	
目的	学校評議員をはじめ、地域の人材を積極的に活用し、家庭・地域と一体となって開かれた学校運営を図ることにより、学校教育の充実を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	648	
						令和3年度 予算現額	755	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員を依頼します。 各学校に対し、地域教育力を活用した教育活動を支援します。 教育委員会で作成した学校支援ボランティア人材バンクのファイルを各学校へ配付します。 コミュニティスクールを導入します。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止					令和3年度 決算額	568	
						令和3年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和4年度 予算額	806							
活動内容								
指標	1	学校評議員の人数	2	地域教育力活用実施校数	3	学校支援人材ボランティア登録者数	4	職業体験及び職業講話の実施校数
		中学校における学校評議員の人数		地域教育力を活用して教育活動を進める学校数		地域教育力活用として学校運営に携わるボランティア登録者数		職業体験及び職業講話を実施した学校数
	予定(目標)	50 人	9 校	70 人	9 校			
	令和3年度実績	50 人	9 校	31 人	0 校			
	令和2年度実績	48 人	9 校	37 人	4 校			
具体的内容	【 】内は前年度数値 <ul style="list-style-type: none"> 学校評議員を依頼しました。 地域教育力を活用した教育活動を支援しました。 学校支援ボランティア人材バンクのファイルを各校へ配付しました。 コミュニティスクールを開始しました。(つきみ野中) <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 学校評議員、地域教育力謝礼 568千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員による外部の立場からの助言は、教育活動を展開していくうえでも重要であることから、今後も学校評議員を活用した学校運営が望まれます。 更なる地域を活用した、学校運営を行うため導入したコミュニティスクールについて、評価と改善が必要です。 							

決算書ページ 177	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 02	教育振興費
事業名	11 中学校図書館教育推進事業				担当課	指導室
目的	学校図書館の機能を十分発揮できるよう、図書環境の充実を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					35,455	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入します。 各中学校の学校図書館に学校司書を配置します。 学校図書館に配架している新聞を普通教室に配架します。 子どもたちの読書活動推進のため、読書フェスティバル及び調べる学習コンクールを開催します。 				令和3年度 予算現額	
					33,028	
					令和3年度 決算額	
					32,253	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	32,253					
令和4年度 予算額						
30,471						
活動内容						
指標	1	学校図書館蔵書数	2	学校図書館図書標準充足校	3	4
	全9校合計		国が定める蔵書冊数に達している学校数			
	予定(目標)	127,760 冊	9 校			
	令和3年度実績	140,780 冊	9 校			
令和2年度実績	137,286 冊	9 校				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入しました。 各中学校に学校司書を1人配置しました。 蔵書の電算管理システムを用いて、データの活用を進めました。 学校図書館、中学校の普通級の各教室及び特別支援級の教室に新聞を配架しました。 読書フェスティバル及び調べる学習コンクールを開催しました。 学校図書館の安全対策及び環境整備のため備品の購入を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館スーパーバイザー報酬 856千円 学校司書報酬・手当(9人) 13,460千円 新聞配架 3,740千円 図書館用図書等需用費 12,963千円 図書館システム利用料・その他 1,234千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書の充足率と鮮度を踏まえた選書を継続実施してまいります。 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の実現のため、学校図書館に「学習センター」及び「情報センター」としての機能を充実させてまいります。 各教科の特質を踏まえつつ新聞を有効活用することで、生徒の豊かな人間性の育成に取り組んでまいります。 					

決算書ページ 177	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 03	学校建設費	
事業名	01 中学校大規模改修事業					担当課	教育総務課
目的	生徒及び学校関係者の学校生活における教育環境の向上を図ります。					令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
						92,251	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 建設年度及び現在の状態を総合的に判断し、学校施設の改善や設備の新設・更新を行います。 文部科学省「学校施設環境改善交付金」の対象事業となるものについては、「施設整備計画」を策定し、整備を行います。 					令和3年度 予算現額	
						23,287	
						令和3年度 決算額	
						19,030	
						令和3年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
						地方債	17,800
その他	0						
一般財源	1,230						
令和4年度 予算額							
5,494							
活動内容							
指標	1	中学校大規模施設改修等の整備・改善件数	2	施設整備計画	3		4
	大規模な老朽施設等の整備・改修等		交付金申請に必要な施設整備計画の策定				
	予定(目標)	1 件	1 件				
	令和3年度実績	1 件	1 件				
令和2年度実績	4 件	1 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市立中学校における老朽化した施設の整備・改善を行いました。 <事業内容及び決算額の内訳> ・空調中央監視装置改修工事(渋谷中) 19,030千円</p>						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 改修計画を見直し、令和3年度は空調中央監視盤更新工事のみを対象としたため事業費が前年より減少しました。 建設後40年を経過する施設が約9割を占める中、教育環境の維持向上を図るうえでは、経年による劣化を計画的に改修し、建物の延命化を図るため、今後も文部科学省の学校施設環境改善交付金を活用しながら、適切な施設改修を実施していく必要があります。 						

決算書ページ 177	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 03	学校建設費
事業名	02 中学校防音設備整備事業				担当課	教育総務課
目的	厚木基地の航空機騒音による影響を軽減し、教育環境の向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					289,572	
手段手法	・老朽化してきている防音設備(建具、内装、空調)の機能復旧を計画的に行っていきます。				令和3年度 予算現額	
					1,695,905	
					令和3年度 決算額	
					1,600,758	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	548,127
					県支出金	0
					地方債	919,200
その他	0					
令和4年度 予算額						
		1,651,144				
活動内容						
指標	1	設計実施校数	2	工事実施校数	3	4
		防音・空調設備整備のための設計		防音・空調設備整備のための工事		
	予定(目標)	0校	2校			
	令和3年度実績	0校	2校			
	令和2年度実績	1校	1校			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>鶴間中学校の復旧防音・大規模改修工事、及び引地台中学校の復旧防音・大規模改修工事を行いました。</p> <p><事業内容及び決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧防音・大規模改修工事(鶴間中) 1,011,472千円 ・復旧防音・大規模改修工事監理委託(鶴間中) 15,730千円 ・仮設校舎賃借料(鶴間中) 149,421千円 ・工事に伴う付帯工事(鶴間中) 7,251千円 ・校庭整備工事(鶴間中) 10,102千円 ・復旧防音・大規模改修工事(引地台中) 282,202千円 ・復旧防音・大規模改修工事監理委託(引地台中) 3,905千円 ・仮設校舎賃借料(引地台中) 101,670千円 ・工事に伴う付帯工事(引地台中) 7,074千円 ・その他(引越業務委託等) 11,931千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から鶴間中学校、令和3年度から引地台中学校で復旧防音及び大規模改修工事を開始したため、事業費が増加しました。 ・施設の老朽化による防音設備(建具・空調等)の機能低下に伴い、教育環境が劣悪な状況となることが想定されるため、計画的に改修を実施していく必要があります。 ・事業費が多額になるため、補助金を活用するなど市の財政負担を軽減しながら計画的に事業を進めていく必要があります。 					

決算書ページ 179	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 02	青少年育成費
事業名	07 青少年育成事業				担当課	こども・青少年課
目的	大和ユースクラブの各種活動を通して、若者の健全育成と能力開発を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					54	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和ユースクラブに青少年に関わる事業を委託し、自主企画・自主運営を促進します。 ※令和3年度は新型コロナの影響で一部の事業を中止 				令和3年度 予算現額	
					238	
					令和3年度 決算額	
					128	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	63
地方債	0					
その他	0					
一般財源	65					
令和4年度 予算額		861				
活 動 内 容						
指標	1 ユースクラブ活動日数	2	3	4		
	ユースクラブが実施した研修・ボランティア活動等の日数					
	予定(目標)	63 日				
	令和3年度実績	39 日				
令和2年度実績	22 日					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>大和ユースクラブの各種活動を通し若者の健全育成と能力開発を図りました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年社会・自然体験推進事業委託 (大和ユースクラブ) <ul style="list-style-type: none"> わくわく冒険隊 (小学5・6年生) : 2回 77人 【 0回 0人】 ジュニアシニアクラブ (中・高生) : 21回 74人 【11回 51人】 ユースボランティア (青年) : 21回 42人 【11回 37人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年社会・自然体験推進事業委託 128千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の減少傾向を踏まえたユースクラブ活動範囲の拡大やわくわく冒険隊参加者の増加を念頭に、ユースクラブ会員の確保と会員それぞれの資質向上とともに、活動の運営方法や事業の周知方法等を引き続き検討していく必要があります。 					

決算書ページ 179	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 02	青少年育成費
事業名	08 青少年指導者育成支援事業				担当課	こども・青少年課
目的	地域で青少年健全育成を進める団体の協議会活動を支援し、指導者を養成することで、青少年が活動しやすい環境を構築します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					4,817	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 地域で青少年の健全育成を進める3団体については、補助金による運営費の支援と、行政内に事務局を置く人的な支援を行っています。 青少年育成団体や中高生ボランティア等が主体となり、青少年を対象としたイベントを開催します。 さらに指導者の資質向上のための研修も開催しています。 ※令和3年度は新型コロナの影響で一部の事業を中止				令和3年度 予算現額	
					7,151	
					令和3年度 決算額	
					4,640	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	197
地方債	0					
その他	0					
一般財源	4,443					
令和4年度 予算額						
7,499						
活動内容						
指標	1	青少年指導員年間活動数	2	市子ども会連絡協議会加入数	3	青少年センターまつり参加団体数
	各地区での活動数+専門部会開催数+連協事業数		市子ども会連絡協議会加入子ども会数		青少年センターまつりのステージや出店等の参加団体数	
	4	子どもの外遊び地域イベント開催地区数	子どもの外遊び地域イベントを開催した地区数			
	予定(目標)	90 回	25 団体	3 団体	12 地区	
令和3年度実績	144 回	25 団体	0 団体	0 地区		
令和2年度実績	86 回	27 団体	0 団体	0 地区		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> 青少年育成を進める3団体に対して補助金交付等の支援を行い、青少年健全育成を推進しました。 <補助金交付団体> <ul style="list-style-type: none"> 青少年指導員連絡協議会 年度末青少年指導員数：94人【96人】 子ども会連絡協議会 母親クラブ連絡協議会 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 青少年指導員謝礼 3,470千円 青少年指導員活動用消耗品 64千円 補助金(青少年指導員、子ども会、母親クラブ) 985千円 その他 121千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのイベントや事業が中止となりましたが、各団体で感染症対策をした上で、実施可能な活動を工夫して行いました。 今後も新型コロナウイルス感染症の影響下においても実施できる事業について協議するほか、アフターコロナを見据えた取り組みについて検討していく必要があります。 					

決算書ページ 179	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 02	青少年育成費
事業名	09 大和市家庭・地域教育活性化会議支援事業				担当課	こども・青少年課
目的	学校と地域・家庭の連携を強化し、家庭や地域の教育力を高めるとともに、地域の連帯感を高め、地域ぐるみの青少年健全育成活動を推進します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,095	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・地区活性化会議については、推進委員会をとおして事業内容に応じた運営費の支援を補助金によって行っています。また、各種団体代表及び地区代表から成る推進委員会との連絡調整を行っています。 ※令和3年度は新型コロナウイルスの影響で一部の事業を中止 				令和3年度 予算現額	
					1,945	
					令和3年度 決算額	
					1,514	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	757
地方債	0					
その他	0					
一般財源	757					
令和4年度 予算額						
1,706						
活動内容						
指標	1	推進委員会開催回数	2	研修会等への役員参加地区数	3	環境浄化活動の実施地区数
		推進委員会と研修会等の開催回数		研修会等に役員が参加した地区数		環境浄化活動に関わる事業を実施した地区数
	予定(目標)	4 回	9 地区	5 地区		
	令和3年度実績	3 回	0 地区	7 地区		
	令和2年度実績	3 回	0 地区	5 地区		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>推進委員会、地域青少年健全育成会に対して補助金の交付と保険の加入等により地区活動を支援しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進委員会開催回数 3回【3回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域教育活性化会議推進委員会（9地区）補助金 1,202千円 つきみ野中学校区、南林間地区、鶴間中学校区、和中地区、光中地区、引地台地区、上和田中学校区、高座渋谷地区、下福田中学校区 ・地域青少年健全育成会（3地区） 146千円 「愛の一声をかける運動」をすすめる会 中央林間連合自治会環境浄化推進協議会 大和東小学校区青少年を健やかに育てる会 ・活性化会議保険料 166千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、役員研修会が中止となりましたが、各地区で感染対策を行ったうえで、工夫して活動を行いました。 ・今後も感染防止対策を行ったうえで、活動を充実させることが必要であると考えます。 					

決算書ページ 179	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 03	公民館費		
事業名	02 健康都市大学事業				担当課	図書・学び交流課		
目的	学びを通じた、市民の新たな居場所づくり、市民どうしの繋がり創出を図るとともに、市民の充実した学習環境を整備します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)			
					4,052			
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市や外郭団体などが実施する講座等に共通のポイント制度を設定するほか、当事業を構成する多種多様な講座を広く周知します。 市民が講師を務め、市民どうして学び合える場「市民でつくる健康学部」の講義を実施します。 				令和3年度 予算現額			
					6,173			
					令和3年度 決算額			
					3,726			
					令和3年度 財源内訳			
					国庫支出金	0		
					県支出金	0		
地方債	0							
その他	0							
一般財源	3,726							
令和4年度 予算額								
6,144								
活動内容								
指標	1	市民講師登録者数	2	「市民でつくる健康学部」講座開催回数	3	ガイドブック発行回数	4	PR手段数
		年度末時点での市民講師登録者数		一年間で「市民でつくる健康学部」の講座を開催した回数		一年間に健康都市大学ガイドブックを発行した回数		一年間に事業を周知宣伝したメディア等の数 (HP、広報等)
	予定 (目標)	134 人	253 回	2 回	17 種類			
	令和3年度実績	140 人	251 回	2 回	17 種類			
令和2年度実績	118 人	96 回	1 回	17 種類				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が講師を務める「市民でつくる健康学部」を運営しました。 市や外郭団体などが実施する講座等の情報をまとめたガイドブックの発行や、受講ポイントの管理運営を行いました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 「市民でつくる健康学部」の受講者数 延べ6,686人【2,419人】 健康都市大学ガイドブック発行部数 3,500部【3,000部】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬 2,807千円 印刷製本費 490千円 報償費 117千円 その他 312千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 「市民でつくる健康学部」の講座は受講定員 (35名) を設けているにも関わらず、延べ6,686人もの受講があり、学びを通じた市民の居場所としての役割を発揮できたものと捉えています。 コロナ禍においても、徹底した感染防止策を講じながら「市民でつくる健康学部」の安全安心な運営を行うための環境整備に努めるとともに、「月イチ学園祭」を開催し、普段とは違う学びの場を提供することで、より多くの受講生が学ぶ楽しさに触れ、学びが継続されるよう、きめ細かな情報提供に努めています。 							

決算書ページ 181	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 03	公民館費
事業名	03 生涯学習センター管理運営事業				担当課	図書・学び交流課
目的	生涯学習センターの円滑な管理運営を行います。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					408,020	
手段手法	・指定管理者による管理運営を行います。				令和3年度 予算現額	
					331,734	
					令和3年度 決算額	
					328,881	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	268					
令和4年度 予算額						
326,697						
活動内容						
指標	1	指定管理者との協議回数	2		3	
	指定管理者と運営に関する協議・会議等を行った回数					
	予定(目標)	12 回				
	令和3年度実績	12 回				
令和2年度実績	9 回					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>指定管理者制度を活用し、市内5館の学習センターの管理運営を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営の実施 生涯学習センター、北部文化・スポーツ・子育てセンター、地区館（つきみ野・桜丘・渋谷学習センター） <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 310,596千円 光熱水費 16,303千円 その他 1,982千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても学習センターの講座を受講できるよう、オンライン講座の実施に力を入れ、生涯学習センター、つきみ野学習センターでは定期的に子育てオンライン講座を実施し、学習センターに来ることが難しい方、不安な方にも参加していただくことができました。 今後も、コロナ禍において、市民の継続的な学習機会が確保できるよう、デジタルディバイドの解消を目的とした取組を進めるとともに、従来の対面による講座にとらわれない様々な提供方法を、指定管理者とともに検討していきます。 					

決算書ページ 181	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 03	公民館費	
事業名	04 学習センター施設整備事業				担当課	図書・学び交流課	
目的	施設の適正な機能水準を維持し、学習環境の向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		
					11,001		
手段手法	学習センターの機能保全のため、年次ごとに整備や改修工事を進めます。				令和3年度 予算現額		
					204,351		
					令和3年度 決算額		
					202,031		
					令和3年度 財源内訳		
					国庫支出金	16,136	
					県支出金	15,766	
					地方債	131,600	
その他	0						
令和4年度 予算額							
381,365							
活動内容							
指標	1 整備工事数	2 庁内他課・事業者との打合せ等	3	4			
	施設整備のための工事数	庁内他課・事業者との打合せ等の回数					
	予定(目標)	1 件	5 回				
	令和3年度実績	1 件	5 回				
	令和2年度実績	0 件	5 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> つきみ野学習センター改修工事に伴う工事費（建築、機械設備、電気設備）等 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 工事費 198,272千円 その他 3,759千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に実施設計を行ったつきみ野学習センター大規模改修工事の実施に伴い、事業費が増加しました。 改修工事期間中に生じた課題に迅速に対応するため、施工業者や監理業者・関係機関等との情報共有や連絡調整を密接に行っていく必要があります。 						

決算書ページ 181	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 04	図書館費
事業名	01 図書館管理運営事業				担当課	図書・学び交流課
目的	図書館の円滑な管理運営を行います。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					581,691	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営を行います。 図書館の運営に必要なインフラの管理をします。 				令和3年度 予算現額	
					608,366	
					令和3年度 決算額	
					604,626	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	14,580
					県支出金	0
					地方債	0
その他	2,536					
一般財源	587,510					
令和4年度 予算額		595,020				
活動内容						
指標	1	指定管理者との協議回数	2		3	
	指定管理者と図書館運営に関する協議・会議等を行った回数。					
	予定(目標)	6 回				
	令和3年度実績	6 回				
令和2年度実績	9 回					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を活用し、市内3館の図書館の管理運営を行いました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営の実施 大和市立図書館、中央林間図書館、渋谷図書館 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 392,450千円 光熱水費 15,862千円 システム使用料 89,120千円 中央林間図書館賃料 40,997千円 その他 66,197千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 市立図書館を中心とする3つの図書館において、それぞれの特性に合わせたさまざまなサービスを展開し、市民が本に親しむことのできる機会を提供することができました。 中央林間図書館については、区画を拡充し、新しい区画には36席の閲覧席を設置しました。 引き続き、指定管理者と連絡、調整を行いながら、図書館運営のさらなる充実を図り、図書館城下町にふさわしい施策の推進に努めていきます。 					

決算書ページ 183	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 05	文化財保護費
事業名	15 郷土民家園施設整備事業				担当課	文化振興課
目的	施設の適正な水準を維持し、気軽に郷土の文化財に触れることができる環境を整えます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					8,140	
手段手法	経年劣化による旧小川家の屋根茅の葺き替え工事を行います。また、旧北島家の破損している屋根部分の復元工事を行います。				令和3年度 予算現額	
					21,108	
					令和3年度 決算額	
					18,484	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	17,200					
その他	0					
一般財源	1,284					
令和4年度 予算額						
0						
活動内容						
指標	1	北島家屋根修繕件数	2	小川家屋根葺き替え件数	3	4
	工事調整、折損屋根材の補強工事等を実施した件数		工事調整、屋根茅の調達、葺き替え工事等を実施した件数			
	予定(目標)	1 件	1 件			
	令和3年度実績	1 件	1 件			
令和2年度実績	0 件	1 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>旧小川家の屋根茅の葺き替え工事および旧北島家の破損した屋根部分の復元工事を行いました</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 旧小川家の屋根の全面葺き替えを行いました。 旧北島家の折損した屋根材の補修工事を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 工事請負費(旧小川家) 13,073千円 工事請負費(旧北島家) 5,411千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2、3年度に郷土民家園旧小川家住宅の劣化した屋根の全面葺き替え工事を、また令和3年度に旧北島家住宅の折損した屋根材の補修工事を実施しました。葺き替えおよび補修工事により来園者が安全に昔の暮らしに接することができるようになり、また、貴重な文化財を将来に継承することができます。 					

決算書ページ 183	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 01	保健体育総務費
事業名	03 スポーツ大会開催事業				担当課	スポーツ課
目的	市民の体力向上及び競技力向上を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,570	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市民総合スポーツ選手権大会、大和市民駅伝競走大会、スポーツフェスタを開催します。 大和市民ゴルフ大会(年2回)、大和市民まつりスポーツイベントの開催を支援します。 ※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で一部の事業を中止。 				令和3年度 予算現額	
					4,061	
					令和3年度 決算額	
					2,043	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	2,043					
令和4年度 予算額						
4,089						
活動内容						
指標	1	大会等開催回数	2	広報掲載回数	3	4
	主催・委託・支援した大会の回数		大会の告知及び結果の掲載			
	予定(目標)	6回	6回			
	令和3年度実績	3回	3回			
令和2年度実績	3回	8回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市民総合スポーツ選手権大会 選手：約5,500人【選手：約2,900人】 大和市民駅伝競走大会 中止【中止】 スポーツフェスタ 中止【中止】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市民総合スポーツ選手権大会 2,043千円 大和市民駅伝競走大会 0千円 スポーツフェスタ 0千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染状況に十分配慮しつつ、事業を展開する必要があります。 複数年にわたり多くの事業が中止となっており、開催する事業により多くの市民参加を促すため、開催日の設定や周知方法について検討を行う必要があります。 					

決算書ページ 183	款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事業名	04 スポーツ教室開催事業						担当課	スポーツ課	
目的	スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供します。						令和2年度 決算額 (以下単位:千円)		4,778
							令和3年度 予算現額		5,406
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体が独自で取り組むことが難しい種目、また市の施策に発展的につながるスポーツ教室を開催します。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止。 						令和3年度 決算額		4,746
							令和3年度 財源内訳		
							国庫支出金	0	
							県支出金	0	
							地方債	0	
							その他	0	
一般財源	4,746								
		令和4年度 予算額		5,497					
活動内容									
指標	1	開催種目数	2	開催延べ教室数	3		4		
		各教室で開催した種目数		開催延べ教室数					
	予定 (目標)	11 種目		16 教室					
	令和3年度 実績	4 種目		4 教室					
令和2年度 実績	3 種目		6 教室						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ教室を開催します。(12種目全17~20回) <ul style="list-style-type: none"> スポチャレ 中止【中止】 親子ふれあいサッカー教室 1回【1回】 障がい者サッカー教室 1回【1回】 総合型地域スポーツクラブ連携教室3団体 1回【4回】 ファミリースポーツ教室 中止【中止】 オリンピック種目体験教室 中止【中止】 ラグビー体験教室 中止【中止】 親子のスポーツ教室 1回【中止】 ボランティアサミット 中止【中止】 障がい者フライングディスク体験教室 中止【中止】 パラチャレ(パラスポーツ体験教室) 中止【中止】 <p>＜決算の内訳＞スポーツ教室委託 4,746千円</p>								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーが創出できるよう、ニーズの高い魅力的なスポーツ教室を開催します。 運動機会が得にくい子育て世代、働く世代にも、広く参加していただけるような環境を創出します。 委託先であるスポーツ・よか・みどり財団が中心となり、総合型地域スポーツクラブや各種目協会等と連携し、スポーツ教室でのスポーツ経験をきっかけにその後も地域で継続的にスポーツを楽しむことができる環境を整えます。 教室実施の際には、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に行います。 								

決算書ページ 183	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 01	保健体育総務費
事業名	05 スポーツ関係団体支援事業				担当課	スポーツ課
目的	市民の体力向上、スポーツ精神の養成、青少年の健全育成等を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,995	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市社会体育関係団体補助金交付要綱により大和市地区体育振興会、大和市体育協会、大和市スポーツ少年団本部、大和市レクリエーション協会、大和市軽スポーツ協会に補助金を交付します。 				令和3年度 予算現額	
					4,225	
					令和3年度 決算額	
					3,990	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	3,990					
令和4年度 予算額						
4,221						
活動内容						
指標	1	スポーツ少年団本部登録団体数	2	体育協会加盟団体数	3	4
	スポーツ少年団本部への総登録団体数		大和市体育協会への各種目加盟団体総数			
	予定(目標)	13 団体	24 団体			
	令和3年度実績	13 団体	24 団体			
令和2年度実績	13 団体	24 団体				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の団体に対して補助金を交付します。 <ul style="list-style-type: none"> 大和市体育協会（24協会及び連盟）：約19,900人 大和市スポーツ少年団（13団）：団員数約250人 指導者約140人 大和市レクリエーション協会（2協会）：約230人 大和市軽スポーツ協会：約130人 大和市地区体育振興会（11地区） ＜決算額の内訳＞ <ul style="list-style-type: none"> 大和市体育協会（24協会及び連盟） 1,680千円 大和市スポーツ少年団（13団体） 65千円 大和市レクリエーション協会（2協会） 30千円 大和市軽スポーツ協会 15千円 大和市地区体育振興会（10地区） 2,200千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 団体の自主性や独自性強化のための支援策を検討する必要があります。 					

決算書ページ 183	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 01	保健体育総務費
事業名	08 学校施設スポーツ開放事業				担当課	スポーツ課
目的	学校施設を利用してスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					6,963	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校の校庭及び体育館等を登録団体に開放します。 学校施設を利用したい団体の登録手続を行います。 ※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で一部の事業を中止。 				令和3年度 予算現額	
					7,931	
					令和3年度 決算額	
					7,073	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	3,047					
一般財源	4,026					
令和4年度 予算額						
29,431						
活動内容						
指標	1	校庭開放延件数	2	体育館・武道場開放延件数	3	プール開放延日数
		小・中学校すべての校庭開放の延べ件数		小・中学校すべての体育館・武道場開放の延べ件数		小学校のすべてのプール開放の延べ日数
	予定(目標)	3,000 件	10,000 件	0 日	430 団体	
	令和3年度実績	2,364 件	7,261 件	0 日	370 団体	
令和2年度実績	1,721 件	5,484 件	0 日	414 団体		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>スポーツ及びレクリエーション活動の場として市内小、中学校の校庭・体育館・武道場を開放しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 校庭開放 利用人数 87,216人【60,143人】 体育館、武道場 利用人数 132,422人【97,988人】 プール開放 開放校 中止【17校】 開放期間 中止 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校開放事業管理運営委託 4,953千円 その他 2,120千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 地区ごとの問題に関しては、各地区学校開放事業実施委員会との連携を密に行い、課題解決を図ります。 また、老朽化した備品の更新等、地区を横断した課題については、学校開放事業実施委員会連絡協議会と連携し、事業の効果的な運営に努めます。 					

決算書ページ 185	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 01	保健体育総務費
事業名	14 地域スポーツ推進事業				担当課	スポーツ課
目的	市民が主体的にスポーツに取り組み、世代を超えた交流が促進されるよう、地域スポーツの推進を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,100	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ関連イベントを実施し様々な場面で「する」「みる」「ささえる」「つながる」それぞれの分野からスポーツに親しむことができる機会を提供します。 ・総合型地域スポーツクラブの活動を支援します。 ・本市をホームタウンとする「横浜F・マリノス」との連携を図り、スポーツへの関心を高めます。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止。				令和3年度 予算現額	
					1,909	
					令和3年度 決算額	
					1,893	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,893					
令和4年度 予算額						
6,265						
活動内容						
指標	1	総合型地域スポーツクラブ設置数	2	「夢の教室」実施クラス数	3	出前講座「スポーツだいすき！」実施回数
		総合型地域スポーツクラブの設置数		「夢の教室」を実施したクラス数		出前講座「スポーツだいすき！」を実施した回数
	予定(目標)	3 団体	0 クラス	15 回		
	令和3年度実績	3 団体	0 クラス	4 回		
令和2年度実績	3 団体	0 クラス	1 回			
具体的内容	【 】内は前年度数値 <事業内容> ・「トップスポーツ観戦デー」の開催 0人(無観客) 【3,205人】 ・出前講座「スポーツだいすき！」の開催 4回185人 【1回16人】 ・総合型地域スポーツクラブの活動支援 0回 <決算額の内訳> ・「トップスポーツ観戦デー」 1,100千円 ・オリンピック関連 700千円 ・啓発グッズ 93千円					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ庁が生涯スポーツ社会の実現を掲げる中推し進める総合型地域スポーツクラブに対して、会員拡大や人材育成につながる支援を継続します。 ・東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー創出につながるスポーツ教室や観戦スポーツの開催など、多角的にスポーツの魅力を発信し、引き続きスポーツへの関心を高めます。 ・熱中症、感染症等に配慮しながら、安全に事業を実施できるよう努めます。 					

決算書ページ 185	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 01	保健体育総務費
事業名	15 女子サッカー推進事業				担当課	スポーツ課
目的	地域スポーツの推進を図るため、女子サッカーに取り組む市民の活動を支えます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,205	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 「大和なでしこカップ」等、女子サッカーに関するイベントを開催します。 ホームタウンチーム「大和シルフィード」の活動を通じたシティセールスを展開するための支援を行います。 女子サッカーの環境整備を行うための調査、研究を行う ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止。				令和3年度 決算額	
					3,142	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
令和4年度 予算額	5,310					
活動内容						
指標	1	女子サッカー関連のイベント回数	2	女子サッカー関連イベントの参加者数	3	「大和シルフィード」ホームゲーム平均来場者数
		女子サッカー関連のイベントの実施回数		女子サッカー関連イベントの参加者数		「大和シルフィード」ホームゲーム平均来場者数
	予定(目標)	30 回	7,000 人	700 人		
	令和3年度実績	16 回	1,985 人	274 人		
令和2年度実績	14 回	1,879 人	304 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和なでしこカップ (U-15) 中止【中止】 大和なでしこカップ (U-12) 中止【中止】 「女子サッカー観戦デー (なでしコレジェンドイベント他)」の開催 1,919人【1,824人】 女子小中学生体験会の実施 5回【4回】 66人【55人】 女子サッカークラブの活動を通じたシティセールス 大和なでしこサッカーフェスティバル 中止【中止】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和なでしこカップ2021開催事業委託 0千円 大和シルフィードシティセールス広告料 3,000千円 その他女子サッカー推進事業 142千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 女子サッカー人口の裾野を広げるために、「大和なでしこカップ」の開催や女子小中学生を対象とした体験会を継続的に開催し、女子サッカー事業の取り組みを定着させ、認知拡大を図ります。 「女子サッカーのまち大和」の実現のため、ホームタウンチーム「大和シルフィード」のプロ化に向けて、継続的な支援を行います。 女子サッカー事業の成果を検証するとともに、「女子サッカーのまち大和」の将来的なビジョンについて検討していきます。 					

決算書ページ	款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事業名	16 ねんりんピック開催事業							担当課	スポーツ課
目的	長寿社会を健やかで明るいものとし、国民一人ひとりが積極的に健康づくりや社会参加に取り組み、活動の意義について広く国民の理解を深めることを目的とします。							令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
								0	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会(ねんりんピックかながわ2022)開催にあたり、大和スポーツセンターを会場に太極拳交流大会を開催します。 ※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で事業を中止。 							令和3年度 予算現額	
								2,264	
								令和3年度 決算額	
								0	
								令和3年度 財源内訳	
								国庫支出金	0
								県支出金	0
地方債	0								
その他	0								
一般財源	0								
令和4年度 予算額									
16,091									
活動内容									
指標	1	参加チーム数	2		3		4		
	太極拳交流大会(リハーサル大会及び本大会)の参加チーム数								
	予定(目標)	50 チーム							
	令和3年度実績	0 チーム							
	令和2年度実績	0 チーム							
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 太極拳交流大会(リハーサル大会) 中止 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ねんりんピック補助金 0千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ねんりんピックかながわ2022大和市実行委員会への支援を継続します。 関係団体と連携を図り、太極拳交流大会の開催を通じて「する」「みる」「ささえる」「つながる」の各分野でスポーツに親しむ機会を提供します。 新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら、安全に事業を実施できるよう努めます。 								

決算書ページ 185	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 02	体育施設費
事業名	01 スポーツセンター施設大規模改修事業				担当課	スポーツ課
目的	施設の適正な機能水準を維持し、安全で快適なスポーツ環境を整えます。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	・大和スポーツセンターにおいて、施設の老朽化などによる支障個所を改修・更新・補修します。				令和3年度 予算現額	
					17,523	
手段手法					令和3年度 決算額	
					12,848	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	12,000
					その他	0
令和4年度 予算額						
0						
活動内容						
指標	1	工期内工事等の完了件数	2		3	
	予定した工期内に工事や委託業務が完了した件数					
	予定(目標)	1 件				
	令和3年度実績	1 件				
令和2年度実績	0 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンター体育館の給湯ボイラの更新工事を実施しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館ボイラ更新工事費 12,848千円 					
評価課題	・今後も必要に応じて計画的に適正な改修を行います。					

決算書ページ 185	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費
事業名	05 北部学校給食共同調理場運営事業				担当課	保健給食課
目的	北部学校給食共同調理場における給食調理業務が円滑に実施されるように、適切な運営管理の推進を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					162,722	
手段手法	安全で良質な学校給食を提供するため、学校給食衛生管理基準に基づく給食調理業務を実施します。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止				令和3年度 予算現額	
					171,416	
					令和3年度 決算額	
					168,747	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	168,747					
令和4年度 予算額		172,849				
活動内容						
指標	1	検食の実施回数	2	食に関する指導	3	4
		受入校に給食を配送する前に調理場で行う検食の回数		栄養士によるティームティーチング等による指導を行った回数		
	予定(目標)	191 回		15 回		
	令和3年度実績	191 回		7 回		
	令和2年度実績	159 回		0 回		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>給食調理業務等の委託、施設の運営管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象校：大野原小、文ヶ岡小学校、中央林間小学校 大和中、つきみ野中学校 令和3年度食数：3,980食【3,835食】（5月1日現在） <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 給食業務委託 137,236千円 光熱水費、燃料費 22,874千円 食器等消耗品費 5,150千円 その他 3,487千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 食品の搬入から調理、保管、配食における衛生管理を徹底し、安全で良質な学校給食の提供を維持する必要があります。 					

決算書ページ 185	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費
事業名	06 中部学校給食共同調理場運営事業				担当課	保健給食課
目的	中部学校給食共同調理場における給食調理業務が円滑に実施されるように、適切な運営管理の推進を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					178,581	
手段手法	安全で良質な学校給食を提供するため、学校給食衛生管理基準に基づく給食調理業務を実施します。				令和3年度 予算現額	
					182,620	
					令和3年度 決算額	
					181,516	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	181,516					
令和4年度 予算額		192,620				
活動内容						
指標	1	検食の実施回数	2	食に関する指導	3	4
	受入校に給食を配送する前の調理場での検食の実施		栄養士によるティームティーチング等による指導を行った回数			
	予定(目標)	191 回	24 回			
	令和3年度実績	193 回	38 回			
令和2年度実績	159 回	24 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>給食調理業務等の委託、施設の運営管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象校：柳橋小、南林間小、緑野小学校 光丘中、鶴間中、南林間中学校 ・令和3年度食数：4, 433食【4, 357食】（5月1日現在） <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食業務委託 144,672千円 ・光熱水費、燃料費 26,079千円 ・食器等消耗品費 6,763千円 ・その他 4,002千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の搬入から調理、保管、配食における衛生管理を徹底し、安全で良質な学校給食の提供を維持する必要があります。 					

決算書ページ 185	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費
事業名	07 南部学校給食共同調理場運営事業				担当課	保健給食課
目的	南部学校給食共同調理場における給食調理業務が円滑に実施されるように、適切な運営管理の推進を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					185,501	
手段手法	安全で良質な学校給食を提供するため、学校給食衛生管理基準に基づく給食調理業務を実施します。 ※令和3年度は、新型コロナの影響で一部の事業を中止				令和3年度 予算現額	
					199,888	
					令和3年度 決算額	
					192,067	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	192,067					
令和4年度 予算額						
194,993						
活動内容						
指標	1	検食の実施回数	2	食に関する指導	3	4
	受入校への配送前に、調理場で給食の検食を実施する。		栄養士によるティームティーチング等による指導を行った回数			
	予定(目標)	191 回	10 回			
	令和3年度実績	189 回	6 回			
令和2年度実績	159 回	2 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>給食調理業務等の委託、施設の運営管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象校：上和田小、福田小、下福田小、引地台小、大和東小学校 渋谷中、引地台中、上和田中、下福田中学校 令和3年度食数：4,203食【4,212食】（5月1日現在） <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 給食業務委託 154,044千円 光熱水費、燃料費 23,530千円 食器等消耗品費 8,276千円 その他 6,217千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 食品の搬入から調理、保管、配食における衛生管理を徹底し、安全で良質な学校給食の提供を維持する必要があります。 					

決算書ページ 185	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費
事業名	08 単独調理校運営事業				担当課	保健給食課
目的	単独調理校8校における給食調理業務が円滑に実施されるように、適切な運営管理の推進を図ります。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					226,897	
手段手法	安全で良質な学校給食を提供するため、学校給食衛生管理基準に基づく給食調理業務を実施します。				令和3年度 予算現額	
					246,384	
					令和3年度 決算額	
					238,479	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	238,479					
令和4年度 予算額						
248,882						
活動内容						
指標	1	給食の検食実施回数	2	食に関する指導	3	4
	児童への給食提供前に、学校長が検食を行います。		栄養士によるティームティーチング等による指導を行った回数			
	予定(目標)	191 回	50			
	令和3年度実績	191 回	51			
令和2年度実績	158 回	37				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>給食調理業務等の運営（2校）・委託（6校）、施設の運営管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象校：北大和小、林間小、大和小、草柳小、深見小、桜丘小、渋谷小、西鶴間小学校 令和3年度食数：6,229食【6,372食】（5月1日現在） <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 給食業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 北大和小 44,379千円 大和小 36,711千円 渋谷小 27,708千円 林間小 39,119千円 桜丘小 24,531千円 西鶴間小 28,908千円 光熱水費、燃料費 17,748千円 食器等消耗品 2,976千円 学校給食調理補助員報酬 4,948千円 その他 11,451千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 直営校における調理員の退職時期を見据え、給食調理業務委託の拡大について検討する必要があります。 					

決算書ページ 185	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費
事業名	13 学校給食施設大規模改修事業				担当課	保健給食課
目的	学校給食施設の大規模な改修を行い、安全で良質な学校給食を提供します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					148,740	
手段手法	学校給食施設設備の老朽化に対応するために、安全で衛生的な施設改善として大規模な改修を行います。				令和3年度 予算現額	
					98,158	
					令和3年度 決算額	
					83,843	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	75,600					
その他	0					
一般財源	8,243					
		令和4年度 予算額		59,494		
活動内容						
指標	1	大規模改修件数	2		3	
	給食施設に係る改修工事を行った件数					
	予定(目標)	2 件				
	令和3年度実績	2 件				
	令和2年度実績	8 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 南部学校給食共同調理場中規模改修工事（二期工事及びボイラー設備）を行いました。 中部学校給食共同調理場中規模改修工事（ボイラー設備）設計業務委託を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 南部調理場中規模改修工事（二期工事） 26,108千円 南部調理場中規模改修工事（ボイラー設備 令和2年度～3年度） 51,564千円 南部調理場中規模改修工事（ボイラー設備）監理業務委託 3,124千円 中部調理場中規模改修工事（ボイラー設備）設計業務委託 3,047千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 決算額の減少は、南部調理場中規模改修工事（建築）及び単独調理校空調設備工事が完了したことにより、事業費が減少しました。 給食施設の老朽化が進んでいることから、引き続き計画的に施設整備を進めていきます。 					

決算書ページ 187	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費				
事業名	14 学校給食食育推進事業				担当課	保健給食課				
目的	健全で豊かな人間性を育むため、学校給食における食育を推進します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)					
					31					
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 食育の推進を図る重要性から、学校給食の環境整備に取り組みます。 学校給食への理解を深めるため、学校給食展を開催するほか、調理従事者等の資質向上を図るため、研修会等を実施します。 ※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で一部の事業を中止				令和3年度 予算現額					
					484					
					令和3年度 決算額					
					91					
					令和3年度 財源内訳					
					国庫支出金	0				
					県支出金	0				
地方債	0									
その他	0									
一般財源	91									
令和4年度 予算額										
497										
活動内容										
指標	1	米飯給食の週平均回数	2	夏休み親子料理教室実施回数	3	4				
	給食で米飯を提供した、週当たりの平均回数		児童・生徒と保護者を対象とした料理教室の実施回数							
	予定(目標)	4 回	2 回							
	令和3年度実績	4 回	0 回							
令和2年度実績	4 回	0 回								
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食展は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しましたが、食育啓発資料を作成し、児童生徒約18,000人へ配布しました。 学校給食ポスター展は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、WEB開催としました。(令和4年1月24日(月)～2月28日(月)) 親子料理教室は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。 学校給食講習会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。 <決算額の内訳> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>・消耗品</td> <td>35千円</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>56千円</td> </tr> </table>						・消耗品	35千円	・その他	56千円
・消耗品	35千円									
・その他	56千円									
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、多くの事業が中止になりましたが、そのような中でも、一部の事業においては、感染防止対策を考慮した上で、手法を変えて実施しました。 今後も引き続き感染防止対策を考慮した上で、工夫を凝らし事業実施へ向けた検討を行うなど、食育を推進していく必要があると考えます。 									

決算書ページ 187	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費
事業名	15 学校給食設備整備事業				担当課	保健給食課
目的	学校給食施設の給食設備を整備します。				令和2年度 決算額 (以下単位:千円)	
					83,357	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理の改善充実を行うために、耐用年数を超過した設備機器を順次買い替えます。 耐用年数を経過した学校給食設備の交換などを行い、安心、安全な給食の提供ができる環境を整えます。 				令和3年度 予算現額	
					36,462	
					令和3年度 決算額	
					34,694	
					令和3年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	34,694					
令和4年度 予算額						
35,409						
活動内容						
指標	1 購入備品数	2	3	4		
	購入した給食調理用備品の数					
	予定 (目標)	12 台				
	令和3年度実績	28 台				
令和2年度実績	20 台					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>各学校給食共同調理場等における調理機器等及び給食用備品を更新しました。</p> <p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 食器消毒保管機 6 台 ブラストチラー&フリーザー 1 台 食器食缶洗浄機 1 台 包丁俎板殺菌庫 1 台 フードカッター 1 台 電動缶切機 1 台 他 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 備品購入費 31,330 千円 工事請負費 3,109 千円 消耗品費 255 千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 決算額の減少は、前年度と比較して高額な給食用調理機器が少なかったことによるものです。 今後も調理用機器については、既存機器の経過年数や総合点検の結果、機器の使用状況を踏まえ、計画的に更新していく必要があります。 					

3. 令和3年度国民健康保険事業特別会計決算

歳入総額は、21,939,100千円で前年度(21,293,016千円)と比較して646,084千円、3.0%の増加で、収入率は92.2%となりました。一方、歳出総額は21,669,841千円で、前年度(21,045,205千円)と比較して624,636千円、3.0%の増加で、執行率は98.5%となりました。

歳入の主なものは、国民健康保険税が対前年度比1.4%減の4,552,256千円(構成比20.7%)で、1人当たり93,786円となりました。県支出金は対前年度比4.1%増の14,867,884千円(構成比67.8%)となりました。

歳出の主なものは、保険給付費が対前年度比3.7%増の14,655,005千円(構成比67.6%)となり1人当たりの費用額は301,922円で、前年度に対し17,153円の増となりました。

なお、本年度の年間平均被保険者数は、48,539人となり、前年度比2.1%の減となりました。

ア 歳 入

(単位:千円、%)

区 分	最終予算額	決算額	構成割合	前年度決算額	比 較	増減率
1. 国民健康保険税	4,407,496	4,552,256	20.7	4,618,436	△ 66,180	△ 1.4
2. 県 支 出 金	15,079,012	14,867,884	67.8	14,282,982	584,902	4.1
3. 財 産 収 入	181	10	0.0	60	△ 50	△ 83.3
4. 繰 入 金	2,364,436	2,348,620	10.7	2,179,876	168,744	7.7
5. 繰 越 金	36,412	36,412	0.2	44,237	△ 7,825	△ 17.7
6. 諸 収 入	107,050	120,043	0.5	131,547	△ 11,504	△ 8.7
7. 国 庫 支 出 金	—	13,875	0.1	35,878	△ 22,003	△ 61.3
合 計	21,994,587	21,939,100	100.0	21,293,016	646,084	3.0

イ 歳 出

(単位:千円、%)

区 分	最終予算額	決算額	構成割合	前年度決算額	比 較	増減率
1. 総務費	262,062	231,851	1.1	221,498	10,353	4.7
2. 保険給付費	14,881,146	14,655,005	67.6	14,125,671	529,334	3.7
3. 国民健康保険事業費納付金	6,506,635	6,506,633	30.0	6,440,628	66,005	1.0
4. 保健事業費	268,181	219,728	1.0	210,369	9,359	4.4
5. 積立金	181	10	0.0	60	△ 50	△ 83.3
6. 諸支出金	66,382	56,614	0.3	46,979	9,635	20.5
7. 予備費	10,000	0	0.0	0	0	—
合 計	21,994,587	21,669,841	100.0	21,045,205	624,636	3.0

国民健康保険加入状況（年間平均）

（単位：世帯、人、％）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	増減率
国保加入世帯	32,803	33,139	△ 336	△ 1.0%
被保険者数	48,539	49,604	△1,065	△ 2.1%

国民健康保険税の収入状況

（単位：千円、％）

種別	令和3年度決算額		令和2年度 決算額(C)	比 較 (B)－(C)	徴 収 率	
	調定額(A)	収入済額(B)			令和3年度	令和2年度
現年度分	4,677,367	4,224,141	4,304,133	△ 79,992	90.3%	90.0%
滞納繰越分	1,683,110	328,115	314,303	13,812	19.5%	17.6%
計	6,360,477	4,552,256	4,618,436	△ 66,180	71.6%	70.3%

保険給付の状況

（単位：千円、％）

種別	令和3年度		令和2年度	比 較	増減率
	予算現額	決算額	決算額		
療養諸費	12,846,121	12,742,361	12,210,460	531,901	4.4%
高額療養費	1,929,536	1,826,332	1,818,117	8,215	0.5%
移送費	136	0	6,273	△ 6,273	—
出産育児諸費	85,894	69,243	73,054	△ 3,811	△ 5.2%
葬祭諸費	15,000	15,000	15,200	△ 200	△ 1.3%
傷病手当金	4,459	2,069	2,567	△ 498	△ 19.4%
計	14,881,146	14,655,005	14,125,671	529,334	3.7%

4. 令和3年度介護保険事業特別会計決算

歳入総額は17,039,206千円で、前年度(16,487,250千円)と比較して551,956千円、3.3%の増加で、収入率は99.1%となりました。一方、歳出総額は16,849,503千円で、前年度(16,097,253千円)と比較して752,250千円、4.7%の増加で、執行率は97.2%となりました。

歳入の主なものは、介護保険料が対前年度比2.5%増の3,941,171千円(構成比23.1%)、支払基金交付金が対前年度比4.2%増の4,331,246千円(構成比25.4%)、国庫支出金が対前年度比0.1%増の3,440,078千円(構成比20.2%)、繰入金が対前年度比8.1%増の2,852,757千円(構成比16.7%)、県支出金が対前年度比3.2%増の2,366,799千円(構成比13.9%)となりました。また、保険料徴収率は96.5%でした。

歳出の主なものは、保険給付費が対前年度比4.9%増の15,507,538千円(構成比92.0%)で、そのうち居宅介護サービス費が対前年度比8.5%増の7,046,484千円、施設介護サービス費が対前年度比2.0%増の4,450,913千円、地域密着型サービス費が対前年度比2.9%増の2,263,749千円でした。また、地域支援事業費は、対前年度比2.8%増の775,806千円(構成比4.6%)となりました。

第一号被保険者は、年度末では前年度比0.6%増の57,928人で、そのうち65歳から74歳までの前期高齢者は2.6%減の27,306人、75歳以上の後期高齢者は、3.6%増の30,622人でした。

また、要支援・要介護認定者数は年度末では10,840人となり、令和3年4月から令和4年3月の月平均数では、10,710人で、認定者1人当たりの保険給付額は、1,447,949円となりました。

区 分	最終予算額	決算額	構成割合	前年度決算額	比較	増減率
1. 介護保険料	3,961,391	3,941,171	23.1	3,844,871	96,300	2.5
2. 国庫支出金	3,463,840	3,440,078	20.2	3,438,059	2,019	0.1
3. 支払基金交付金	4,410,251	4,331,246	25.4	4,157,510	173,736	4.2
4. 県支出金	2,406,110	2,366,799	13.9	2,292,663	74,136	3.2
5. 財産収入	796	38	0.0	118	△80	△67.8
6. 繰入金	2,994,042	2,852,757	16.7	2,638,009	214,748	8.1
7. 繰越金	99,997	99,998	0.7	103,298	△3,300	△3.2
8. 諸収入	3,845	7,119	0.0	12,722	△5,603	△44.0
合 計	17,340,272	17,039,206	100.0	16,487,250	551,956	3.3

イ 歳 出

(単位：千円、%)

区 分	最終予算額	決算額	構成割合	前年度決算額	比較	増減率
1. 総務費	563,134	476,273	2.9	459,362	16,911	3.7
2. 保険給付費	15,813,197	15,507,538	92.0	14,790,151	717,387	4.9
3. 地域支援事業費	863,621	775,806	4.6	754,917	20,889	2.8
4. 積立金	796	38	0.0	118	△80	△67.8
5. 諸支出金	92,613	89,848	0.5	92,705	△2,857	△3.1
6. 予備費	6,911	0	0.0	0	0	-
合 計	17,340,272	16,849,503	100.0	16,097,253	752,250	4.7

介護保険料の収入状況

(単位：千円、%)

区 分	令和3年度決算額		令和2年度 決算額 (C)	比 較 (B) - (C)	徴収率		
	調定額 (A)	収入済額 (B)			令和3年度	令和2年度	
現年度分	特別徴収	3,548,559	3,548,759	3,413,694	135,065	100.0	100.0
	普通徴収	426,637	377,855	410,837	△ 32,982	88.6	86.1
	計	3,975,196	3,926,614	3,824,531	102,083	98.8	98.5
滞納繰越分	普通徴収	109,690	14,557	20,340	△ 5,783	13.3	13.9
計		4,084,886	3,941,171	3,844,871	96,300	96.5	96.0

保険給付の状況

(単位：千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	増 減 率
居宅介護サービス費	7,046,484	6,491,606	554,878	8.5
地域密着型サービス費	2,263,749	2,200,671	63,078	2.9
施設介護サービス費	4,450,913	4,364,471	86,442	2.0
福祉用具購入費	15,620	15,932	△ 312	△ 2.0
住宅改修費	48,703	48,542	161	0.3
サービス計画給付費	901,756	826,631	75,125	9.1
審査支払手数料	13,389	12,447	942	7.6
高額サービス費	485,247	489,430	△ 4,183	△ 0.9
特定入所者介護サービス等諸費	281,265	340,247	△ 58,982	△ 17.3
被災利用者負担支援経費	412	174	238	136.8
計	15,507,538	14,790,151	717,387	4.9

第一号被保険者 (年度末)

(単位：人、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	増 減 率
前期高齢者 (65～74歳)	27,306	28,047	△ 741	△ 2.6
後期高齢者 (75歳以上)	30,622	29,556	1,066	3.6
計	57,928	57,603	325	0.6

要支援・要介護認定者 (年度末)

(単位：人)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
認定者数 (年度末)	1,255	1,461	2,331	2,011	1,472	1,384	926	10,840

5. 令和3年度後期高齢者医療事業特別会計決算

歳入総額は3,227,846千円で前年度(3,157,466千円)と比較して70,380千円、2.2%の増加で、収入率は98.8%となりました。一方、歳出総額は3,104,654千円で、前年度(3,020,076千円)と比較して84,578千円、2.8%の増加で、執行率は93.7%となりました。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料が対前年比1.1%増の2,639,609千円(構成比81.8%)で、一人当たり90,739円となりました。繰入金は対前年比2.0%増の441,187千円(構成比13.7%)となりました。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金が対前年比3.0%増の3,046,075千円(構成比98.1%)となりました。

なお、本年度の年間平均被保険者数は29,090人で、前年度と比較して2.0%の増加となりました。

ア 歳 入

(単位：千円、%)

区 分	最終予算額	決 算 額	構成割合	前年度決算額	比 較	増減率
1. 後期高齢者医療保険料	2,699,513	2,639,609	81.8	2,610,594	29,015	1.1
2. 繰 入 金	464,652	441,187	13.7	432,664	8,523	2.0
3. 繰 越 金	137,390	137,390	4.2	104,753	32,637	31.2
4. 諸 収 入	11,014	9,660	0.3	9,337	323	3.5
5. 国庫支出金	0	0	0.0	118	△118	△100
合 計	3,312,569	3,227,846	100.0	3,157,466	70,380	2.2

イ 歳 出

(単位：千円、%)

区 分	最終予算額	決 算 額	構成割合	前年度決算額	比 較	増減率
1. 総 務 費	70,725	55,874	1.8	60,819	△4,945	△8.1
2. 後期高齢者医療広域連合納付金	3,236,419	3,046,075	98.1	2,956,755	89,320	3.0
3. 諸 支 出 金	3,425	2,705	0.1	2,502	203	8.1
4. 予 備 費	2,000	0	0.0	0	0	—
合 計	3,312,569	3,104,654	100.0	3,020,076	84,578	2.8

後期高齢者医療加入状況（年間平均）

（単位：人、％）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	増減率
被保険者数	29,090	28,514	576	2.0

後期高齢者医療保険料の収入状況

（単位：千円、％）

区分 種別	令和3年度決算額		令和2年度 決算額(C)	比 較 (B)－(C)	徴 収 率	
	調定額(A)	収入済額(B)			令和3年度	令和2年度
現年度分	2,646,951	2,633,185	2,601,944	31,241	99.5	99.5
滞納繰越分	30,428	6,424	8,650	△2,226	21.1	27.1
計	2,677,379	2,639,609	2,610,594	29,015	98.6	98.6

索 引

担当課別の索引です。

担当部・課		事業名	掲載ページ
市長室	広報広聴課	市政等PR事業	20
市長室	基地対策課	基地対策涉外・要請等活動事業	42
市長室	基地対策課	大和市基地対策協議会活動支援事業	43
市長室	基地対策課	騒音測定事業	44
市長室	危機管理課	自主防災組織支援事業	53
市長室	危機管理課	総合防災訓練運営事業	54
市長室	危機管理課	防災備蓄品等維持管理事業	55
市長室	危機管理課	災害対策本部運営等事業	56
市長室	危機管理課	地域防災計画等策定・管理事業	57
政策部	政策総務課	寄附金等管理事業	21
政策部	総合政策課	健康都市推進事業	22
政策部	デジタル戦略課	デジタルサービス運用管理事業	23
政策部	デジタル戦略課	デジタル推進事業	24
総務部	人財課	一般研修事業	18
総務部	人財課	職員健康管理事務	19
総務部	収納課	収納サービス向上推進事業	58
総務部	収納課	滞納整理・処分事務	59
市民経済部	市民活動課	市民活動推進事業	28
市民経済部	市民活動課	市民活動センター管理運営事業	29
市民経済部	市民相談課	市民相談支援事業	30
市民経済部	市民相談課	消費者啓発事業	181
市民経済部	市民相談課	消費生活相談事業	182
市民経済部	市民課	諸証明交付事務	60
市民経済部	生活あんしん課	地域防犯活動支援事業	31
市民経済部	生活あんしん課	地域防犯活動推進事業	32
市民経済部	生活あんしん課	防犯灯設置事業	33
市民経済部	生活あんしん課	自治会活動支援事業	34
市民経済部	生活あんしん課	自治会活動推進事業	35
市民経済部	生活あんしん課	コミュニティセンター管理運営事業	36
市民経済部	生活あんしん課	コミュニティセンター施設整備事業	37
市民経済部	生活あんしん課	コミュニティセンター下鶴間会館移転整備事業	38
市民経済部	生活あんしん課	大和駅周辺防犯特別対策事業	39
市民経済部	産業活性課	障がい者雇用促進支援事業	165
市民経済部	産業活性課	勤労者生活資金支援事業	166
市民経済部	産業活性課	勤労者サービスセンター支援事業	167
市民経済部	産業活性課	大和商工会議所運営支援事業	171
市民経済部	産業活性課	中小企業事業資金支援事業	172
市民経済部	産業活性課	企業活動促進支援事業	173
市民経済部	産業活性課	さがみロボット産業特区促進支援事業	174

担当部・課		事業名	掲載ページ
市民経済部	産業活性化課	起業家支援事業	175
市民経済部	産業活性化課	プレミアム付商品券発行支援事業	179
市民経済部	産業活性化課	新型コロナウイルス感染症対策中小企業臨時給付金事業	180
市民経済部	生活・暮らし支援臨時特別給付金担当	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業	68
環境施設農政部	環境総務課	環境意識啓発事業	148
環境施設農政部	環境総務課	太陽光発電等推進事業	149
環境施設農政部	環境総務課	公共施設省エネ推進施設整備事業	150
環境施設農政部	生活環境保全課	公害対策調査事業	151
環境施設農政部	生活環境保全課	路上喫煙防止対策事業	152
環境施設農政部	生活環境保全課	大和市クリーンキャンペーン事業	153
環境施設農政部	生活環境保全課	不法投棄物未然防止事業	154
環境施設農政部	みどり公園課	緑化推進支援事業	185
環境施設農政部	みどり公園課	緑地保全事業	186
環境施設農政部	みどり公園課	保存樹林等支援事業	187
環境施設農政部	みどり公園課	ゆとりの森管理運営事業	204
環境施設農政部	みどり公園課	既設公園等大規模改修事業	207
環境施設農政部	みどり公園課	大規模緑地整備事業	208
環境施設農政部	みどり公園課	街区公園等整備事業	209
環境施設農政部	みどり公園課	やまと公園改修整備事業	210
環境施設農政部	みどり公園課	ゆとりの森整備事業	211
環境施設農政部	農政課	市民朝霧市支援事業	168
環境施設農政部	農政課	農業近代化等支援事業	169
環境施設農政部	農政課	市民農園運営事業	170
環境施設農政部	施設課	焼却灰等有効利用事業	160
環境施設農政部	施設課	環境管理センターごみ処理施設維持補修事業	161
環境施設農政部	施設課	可燃ごみ焼却処理事業	162
環境施設農政部	施設課	不燃・粗大ごみ処理事業	163
環境施設農政部	廃棄物対策課	ごみ減量化推進事業	155
環境施設農政部	廃棄物対策課	資源循環型生ごみ処理事業	156
環境施設農政部	廃棄物対策課	家庭系ごみ排出抑制推進事業	157
環境施設農政部	廃棄物対策課	生ごみ処理容器等設置支援事業	158
環境施設農政部	廃棄物対策課	資源分別回収推進支援事業	159
環境施設農政部	廃棄物対策課	塵芥収集事業	164
健康福祉部	健康福祉総務課	民生委員児童委員活動支援事業	61
健康福祉部	健康福祉総務課	災害時避難行動要支援者対策事業	62
健康福祉部	健康福祉総務課	自殺対策事業	63
健康福祉部	おひとりさま政策課	おひとりさま施策推進事業	64
健康福祉部	医療健診課	女性の健康診査事業	123
健康福祉部	医療健診課	休日夜間急患診療所運営事業	124
健康福祉部	医療健診課	夜間診療所運営支援事業	125
健康福祉部	医療健診課	親子de健康診査事業	126

担当部・課		事業名	掲載ページ
健康福祉部	医療健診課	がん患者等支援事業	127
健康福祉部	医療健診課	新型コロナウイルス感染者支援事業	130
健康福祉部	医療健診課	予防接種事業	131
健康福祉部	医療健診課	感染症予防事業	132
健康福祉部	医療健診課	健康診査事業	144
健康福祉部	健康づくり推進課	生きがい対応型デイサービス事業	77
健康福祉部	健康づくり推進課	食育推進事業	128
健康福祉部	健康づくり推進課	健康づくり普及啓発事業	129
健康福祉部	健康づくり推進課	健康相談・教育事業	145
健康福祉部	健康づくり推進課	大和市健康ポイント事業	146
健康福祉部	健康づくり推進課	歩く健康づくり事業	147
健康福祉部	介護保険課	老人福祉施設建設等支援事業	78
健康福祉部	人生100年推進課	シルバー人材センター支援事業	79
健康福祉部	人生100年推進課	老人クラブ育成支援事業	80
健康福祉部	人生100年推進課	高齢者見守り事業	81
健康福祉部	人生100年推進課	施設入所等措置事業	82
健康福祉部	人生100年推進課	認知症施策推進事業	83
健康福祉部	人生100年推進課	養護老人ホーム建替え支援事業	84
健康福祉部	障がい福祉課	自立支援給付事業	69
健康福祉部	障がい福祉課	地域生活支援事業	70
健康福祉部	障がい福祉課	自立支援医療等給付事業	71
健康福祉部	障がい福祉課	在宅重度障がい者サポート事業	72
健康福祉部	障がい福祉課	市障害者福祉手当支給事業	73
健康福祉部	障がい福祉課	心身障害者医療費助成事業	74
健康福祉部	障がい福祉課	障がい者地域作業所等運営支援事業	75
健康福祉部	障がい福祉課	松風園防音設備整備事業	76
健康福祉部	生活援護課	配偶者暴力等相談支援事業	65
健康福祉部	生活援護課	生活困窮者自立支援事業	66
健康福祉部	生活援護課	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業	67
健康福祉部	生活援護課	生活保護事業	122
健康福祉部	新型コロナウイルスワクチン接種担当	新型コロナウイルスワクチン接種事業	133
こども部	こども総務課	小児医療費助成事業	85
こども部	こども総務課	児童手当支給事業	86
こども部	こども総務課	子育て支援センター運営事業	87
こども部	こども総務課	つどいの広場事業	88
こども部	こども総務課	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業	108
こども部	こども総務課	子育て世帯への臨時特別給付事業	109
こども部	こども総務課	ひとり親家庭等医療費助成事業	113
こども部	こども総務課	ひとり親家庭等家賃助成事業	114
こども部	こども総務課	ひとり親家庭等相談事業	115
こども部	こども総務課	児童扶養手当支給事業	116

担当部・課		事業名	掲載ページ
こども部	こども総務課	母子家庭等自立対策支援事業	117
こども部	こども総務課	児童扶養手当受給者への臨時特別給付金給付事業	118
こども部	ほいく課	屋内こども広場管理運営事業	89
こども部	ほいく課	病児保育事業	90
こども部	ほいく課	子育て支援施設管理運営事業	91
こども部	ほいく課	認定保育施設運営費助成事業	92
こども部	ほいく課	民間保育所建設・増設支援事業	93
こども部	ほいく課	私立幼稚園等運営支援事業	94
こども部	ほいく課	保育所等乳児見守り安全対策事業	95
こども部	ほいく課	公私連携型保育所等整備事業	96
こども部	ほいく課	保育所等施設型給付事業	110
こども部	ほいく課	民間保育所等運営支援事業	111
こども部	ほいく課	認可保育所等運営事務	112
こども部	ほいく課	保育事業(市立保育所)	119
こども部	ほいく課	保育所給食事業(市立保育所)	120
こども部	ほいく課	保育所施設維持管理事務(市立保育所)	121
こども部	すくすく子育て課	子ども家庭総合支援拠点事業	97
こども部	すくすく子育て課	ファミリーサポートセンター事業	98
こども部	すくすく子育て課	子育て世代包括支援センター事業	99
こども部	すくすく子育て課	養育支援訪問事業	100
こども部	すくすく子育て課	発達相談支援システム推進事業	101
こども部	すくすく子育て課	児童発達支援事業	102
こども部	すくすく子育て課	障がい児自立支援給付事業	103
こども部	すくすく子育て課	障がい児地域生活支援事業	104
こども部	すくすく子育て課	妊婦健康診査事業	134
こども部	すくすく子育て課	4か月児健康診査事業	135
こども部	すくすく子育て課	3歳6か月児健康診査事業	136
こども部	すくすく子育て課	母子保健相談指導事業	137
こども部	すくすく子育て課	妊産婦・新生児等訪問事業	138
こども部	すくすく子育て課	不妊治療費助成事業	139
こども部	すくすく子育て課	不育症治療費助成事業	140
こども部	すくすく子育て課	出産費用助成事業	141
こども部	すくすく子育て課	産後健康診査事業	142
こども部	すくすく子育て課	産後ケア事業	143
こども部	こども・青少年課	児童館管理運営事業	105
こども部	こども・青少年課	放課後児童クラブ事業	106
こども部	こども・青少年課	こども食堂支援事業	107
こども部	こども・青少年課	青少年育成事業	252
こども部	こども・青少年課	青少年指導者育成支援事業	253
こども部	こども・青少年課	大和市家庭・地域教育活性化会議支援事業	254
文化スポーツ部	文化振興課	地域歴史資料整理・保存事業	45

担当部・課		事業名	掲載ページ
文化スポーツ部	文化振興課	文化芸術振興事業	48
文化スポーツ部	文化振興課	文化創造担い手育成事業	49
文化スポーツ部	文化振興課	美術鑑賞推進事業	50
文化スポーツ部	文化振興課	芸術文化ホール管理運営事業	51
文化スポーツ部	文化振興課	郷土民家園施設整備事業	259
文化スポーツ部	国際・男女共同参画課	海外友好都市交流事業	17
文化スポーツ部	国際・男女共同参画課	男女共同参画意識啓発事業	25
文化スポーツ部	国際・男女共同参画課	国際化推進事業	26
文化スポーツ部	国際・男女共同参画課	平和都市推進事業	27
文化スポーツ部	国際・男女共同参画課	人権啓発事業	40
文化スポーツ部	国際・男女共同参画課	人権相談支援事業	41
文化スポーツ部	図書・学び交流課	文化創造拠点シリウス管理運営事業	52
文化スポーツ部	図書・学び交流課	健康都市大学事業	255
文化スポーツ部	図書・学び交流課	生涯学習センター管理運営事業	256
文化スポーツ部	図書・学び交流課	学習センター施設整備事業	257
文化スポーツ部	図書・学び交流課	図書館管理運営事業	258
文化スポーツ部	スポーツ課	大和スタジアム・つきみ野野球場・宮久保野球場施設管理運営事業	205
文化スポーツ部	スポーツ課	ゆとりの森スポーツ施設管理運営事業	206
文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ大会開催事業	260
文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ教室開催事業	261
文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ関係団体支援事業	262
文化スポーツ部	スポーツ課	学校施設スポーツ開放事業	263
文化スポーツ部	スポーツ課	地域スポーツ推進事業	264
文化スポーツ部	スポーツ課	女子サッカー推進事業	265
文化スポーツ部	スポーツ課	ねんりんピック開催事業	266
文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツセンター施設大規模改修事業	267
文化スポーツ部	イベント観光課	観光等促進事業	176
文化スポーツ部	イベント観光課	イベント観光協会支援事業	177
文化スポーツ部	イベント観光課	大和市民まつり支援事業	178
街づくり施設部	街づくり総務課	鉄道輸送円滑化促進事業	196
街づくり施設部	街づくり総務課	コミュニティバス運行事業	197
街づくり施設部	街づくり総務課	地域公共交通施策事業	198
街づくり施設部	街づくり総務課	中央林間駅周辺まちづくり事業	199
街づくり施設部	建築指導課	建築確認事務	183
街づくり施設部	建築指導課	建築物の耐震化等促進事業	184
街づくり施設部	建築指導課	空家等対策事業	200
街づくり施設部	街づくり計画課	都市計画決定事務	201
街づくり施設部	街づくり推進課	特定地域土地利用誘導事業(内山地区)	202
街づくり施設部	街づくり推進課	特定地域土地利用誘導事業(中央森林地区)	203
街づくり施設部	道路安全対策課	交通安全啓発事業	46
街づくり施設部	道路安全対策課	放置自転車対策事業	47

担当部・課		事業名	掲載ページ
街づくり施設部	道路安全対策課	自転車利用環境推進事業	188
街づくり施設部	道路安全対策課	福田相模原線(福田地区)道路整備事業	190
街づくり施設部	道路安全対策課	生活道路整備事業	191
街づくり施設部	道路安全対策課	福田相模原線(南林間地区)道路改良事業	192
街づくり施設部	道路安全対策課	福田相模原線歩道整備事業(上草柳地区)	193
街づくり施設部	道路安全対策課	交通安全施設整備事業	194
街づくり施設部	道路安全対策課	電線地中化事業(南大和相模原線)	195
街づくり施設部	道路管理課	道路維持修繕事業	189
教育部	教育総務課	小学校大規模改修事業	240
教育部	教育総務課	小学校防音設備整備事業	241
教育部	教育総務課	北大和小学校増築事業	242
教育部	教育総務課	中央林間小学校増築事業	243
教育部	教育総務課	中学校大規模改修事業	250
教育部	教育総務課	中学校防音設備整備事業	251
教育部	学校教育課	小学校学用品等就学援助事業	236
教育部	学校教育課	小学校特別支援教育就学奨励事業	237
教育部	学校教育課	中学校学用品等就学援助事業	245
教育部	学校教育課	中学校特別支援教育就学奨励事業	246
教育部	保健給食課	児童健康管理事業	235
教育部	保健給食課	生徒健康管理事業	244
教育部	保健給食課	北部学校給食共同調理場運営事業	268
教育部	保健給食課	中部学校給食共同調理場運営事業	269
教育部	保健給食課	南部学校給食共同調理場運営事業	270
教育部	保健給食課	単独調理校運営事業	271
教育部	保健給食課	学校給食施設大規模改修事業	272
教育部	保健給食課	学校給食食育推進事業	273
教育部	保健給食課	学校給食設備整備事業	274
教育部	保健給食課	学校給食費助成事業	275
教育部	指導室	外国人児童生徒教育推進事業	223
教育部	指導室	英語教育推進事業	224
教育部	指導室	就学相談事業	225
教育部	指導室	ことばの教室運営事業	226
教育部	指導室	特別支援教育推進事業	227
教育部	指導室	人権教育推進事業	228
教育部	指導室	児童生徒安全対策事業	229
教育部	指導室	いじめ等対策事業	230
教育部	指導室	学力向上対策推進事業	231
教育部	指導室	引地台中学校分教室整備事業	232
教育部	指導室	小学校地域教育力活用推進事業	238
教育部	指導室	小学校図書館教育推進事業	239
教育部	指導室	中学校地域教育力活用推進事業	247

担当部・課		事業名	掲載ページ
教育部	指導室	中学校部活動等支援事業	248
教育部	指導室	中学校図書館教育推進事業	249
教育部	教育研究所	情報教育推進事業	222
教育部	青少年相談室	青少年相談・街頭補導事業	233
教育部	青少年相談室	不登校児童生徒援助事業	234
消防本部	消防総務課	消防職員研修事業	212
消防本部	警防課	消防団活動用資機材整備事業	219
消防本部	警防課	消防活動用資機材整備事業	220
消防本部	警防課	消防車両整備事業	221
消防本部	予防課	住宅防火対策事業	213
消防本部	救急救命課	応急手当普及啓発事業	214
消防本部	救急救命課	メディカルコントロール推進事業	215
消防本部	救急救命課	救護活動用機材整備事業	216
消防署	消防署管理課	救急活動事業	217
消防署	消防署管理課	地域防災訓練事業	218